

1999(平成11)年度

# 講 義 内 容

第 2 部

經 濟 学 部  
法 学 部  
経 営 学 部

 駒 澤 大 學

# 講 義 内 容

## 目 次

I	全 学 共 通 科 目	
	1 宗 教 教 育 科 目 .....	7
	2 教 養 教 育 科 目 .....	17
	(1) 人 文 分 野 .....	17
	(2) 社 会 分 野 .....	27
	(3) 自 然 分 野 .....	37
	3 外 国 語 科 目 .....	53
	4 保 健 体 育 科 目 .....	115
II	専 門 教 育 科 目	
	1 経 済 学 部 .....	131
	2 法 学 部 .....	203
	3 経 営 学 部 .....	259
III	他 学 部 履 修 科 目 .....	317
IV	教 職 課 程 科 目 .....	353

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野 社会分野 自然分野
外 国 語 科 目	英語
	ドイツ語
	フランス語
	中国語
	スペイン語
	ロシア語
	選択科目
専 門 教 育 科 目	保健体育科目
	経済学部
	法学部 経営学部
科 目	他学部 履修科目
	教職課程



# I 全学共通科目



# 1 宗教教育科目



# I 全学共通科目

## 1 宗教教育科目

仏教と人間	(皆川 広義)	.....	7
仏教と人間〔再クラス〕			
仏教と人間	(小坂 機融)	.....	8
仏教と人間〔再クラス〕			
仏教と人間	(松本 史朗)	.....	8
仏教と人間〔再クラス〕			
仏教と人間	(河村 孝道)	.....	9
仏教と人間〔再クラス〕			
仏教と人間	(青龍 宗二)	.....	9
仏教と人間〔再クラス〕			
仏教と人間	(岩永 正晴)	.....	10
仏教と人間〔再クラス〕			





科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	みな かわ ひろ よし 皆 川 広 義	二経1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全学科	4

## 講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、約2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、この生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を発見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなられるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとずいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの人間としての道を学びとっていただきたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

## I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我国の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

## II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の入滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

## III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

## 履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の「仏教と人間」は、本学がほりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなかし得ない人間の陶冶と人格の完成をなして、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

## 成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

## 参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	こ 小 坂 機 融	二 経 1 必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全 学 科	4

講義のねらい

当授業は、広い知識と専門的学術を修得せしめるという大学教育の基本と共に、本学の建学の理念に基づいて、仏教による偏りのない知性と慈悲とを兼ね備えた人材の育成を目指す、本学の独自性を発揚する講座である。

仏教は、人間およびこの世界に対する深い洞察によって到達された思想信仰である。従って、人間の陥る困難な問題を明らかにし、正しい知慧獲得のあり方と、それによる正しい認識判断によって、我々個々の実人生を、虚偽のものとしてではなく、それぞれにおいて確かなものとして生きる道を示して来たと言える。この点を現代の事として明らかにし、個々の学業と人生に生かして貰うことを目指すものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 現代文明社会の光と影について。
- ② 現代文明の理念と人間の情況。
- ③ 人間の自然認識とその問題点。
- ④ 疑似種としての人間の成り立ち（学習する人間）。
- ⑤ 本能と自我とエゴイズム。
- ⑥ 仏教における認識と行動のあり方。
- ⑦ 仏教的人間形成（時々行尽）。

履修上の留意点

人間だれしもの課題として、自身で真摯に考えることを切望する。

成績評価の方法

個々の受け止めの様相を確認するため、毎時間の終わりに課題を出して個々の考え或いは意見を書いて貰うこと、坐禅実習（1～2回）を含む出席状況、および学期末試験等によって、総合的に評価する。

参 考 書 等

松本史朗著『仏教への道』（東京書籍選書 134）  
奈良康明著『仏教と人間——主体的アプローチ——』（同 136）各1,400円

そ の 他

講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	まつ もと し ろう 松 本 史 朗	二 法 1 必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全 学 科	4

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の經典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	かわ むら こう どう 河 村 孝 道	二 法 1 必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全 学 科	4

## 講義のねらい

宗教——仏教・禅の教えを学び、その教説を通して自己の生死の問題を考えてゆく。

## 参 考 書 等

宗教学Ⅰ・Ⅱ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	せい りゅう むね つぐ 青 龍 宗 二	二 堂 1 必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全 学 科	4

## 講義のねらい

本学は禅を建学の理念としているので、この講義を通して、知慧と慈悲に満ちた禅的人間観を学びとっていただくことをねらいとしている。

 講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容は以下のように進めてゆく。序論的に仏教とは何かについて、仏教の基礎的構造を存在論（教）実践論（行）仏陀論（証）の三部門より入門的解説を行ってから、本論として、(1)仏教の人間観を人間のもつ煩惱面と仏性面との両面より明らかにし、(2)更に禅とくに道元禅を中心として、今日の問題に視点を当て、日常の人間と本来の人間との矛盾的自己同一性を追求しつつ人間の在るべき姿を考えてゆきたい。(3)同時に現代の重要課題である人間の生命倫理について、その背景となっている西洋世界の功利的実利主義的な倫理観を批判しながら、禅の立場からこの問題を考えて見たい。

## 履修上の留意点

講義方法は次の点に留意して欲しい。特に教科書は使用しないが、参考書は随時に紹介する。受講生に対しては十二分に理解し得るよう配慮しつつ講述を進め、重要事項は黒板書きするので、各人が必要に応じて筆記し、定期試験に備える努力を期待すると共に、講義初日は一年間にわたって考えていただく課題を提示するので、予めこの課題が成績評価の一部に加えられることを承知していただきたい。なお必要に応じてはプリントを配布することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いわ <small>なが</small> 永 <small>しょう</small> 正 <small>せい</small> 晴	二 営 1 必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全 学 科	4

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教への関心を持ってもらうこと、これが本講義の目的です。しかし、漢文などの語学・特殊な用語・独特の思考法・多量の文献など、諸君から仏教を遠ざける要因は少なくないでしょう。そこで本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、仏教について冷静に考察するための材料が提示できれば、と考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回ひとつの用語を選び、解説していきます。

教 科 書

随時資料を配布します。

参 考 書 等

適宜指示します。

## 2 教養教育科目



## 2 教養教育科目

### (1) 人文分野

宗教学(1)〔聖と俗〕(菅原壽清) .....	17
宗教学(2)〔比較宗教文化〕(田中かの子) .....	18
文学(1)(3)〔日本文学-古典-〕(山下哲郎) .....	20
文学(2)〔日本文学-近代-〕(大泉政弘) .....	20
歴史学(1)〔日本近代史〕(林彰) .....	21
歴史学(2)〔中国古代史〕(茂沢方尚) .....	21
歴史学(3)〔中国古代思想史〕(茂沢方尚) .....	22
哲学(1)〔西洋思想の源流〕(河谷淳) .....	22
哲学(2)〔近代の人間観と世界観〕(伊古田理) .....	23
哲学(3)〔現代文明と人間〕(麻生享志) .....	23
論理学(1)(2)〔科学方法論と現代論理学〕(伊古田理・山本敦之) .....	24
倫理学(1)(2)〔西洋倫理学〕(河谷淳・末木恭彦) .....	24

### (2) 社会分野

法学・憲法(1)〔法と権利〕(光田督良) .....	27
法学・憲法(2)〔法と社会生活〕(長谷川日出世) .....	28
社会科学論(1)〔社会認識の思想〕(小杉修二) .....	29
経済学(1)〔現代経済と人間〕(明瀬政治) .....	30
社会学(1)〔現代社会を考える〕(橋爪敏) .....	30
社会学(2)〔現代文化を考える〕(橋爪敏) .....	31
統計学(1)〔社会現象の統計的決定〕(日下泰夫) .....	31
文化人類学(1)〔文化と人間〕(小川順敬) .....	32
文化人類学(2)〔諸民族とコスモロジー〕(杉井純一) .....	33
政治学(1)〔政治システムと政治参加〕(宝利尚一) .....	34
政治学(2)〔国際社会と日本〕(山田敦) .....	34

### (3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕(鈴木順一) .....	37
心理学(2)〔人間関係を考える〕(鈴木順一) .....	38
生物学(1)〔生態と進化〕(清水善和) .....	39
生物学(2)〔生物と環境〕(中村敏枝) .....	41
コンピュータ基礎(1)〔コンピュータと情報〕(竹田洋一) .....	42
コンピュータ基礎(2)〔コンピュータと情報〕(上原隆平) .....	43
地球科学(1)(2)〔変動帯としての日本列島〕(藤井亨) .....	44
自然環境論(1)〔宇宙から見た地球環境〕(篠原正雄) .....	45
自然環境論(2)〔環境と保全〕(漆原和子) .....	45
情報数学(1)〔情報と論理〕(三好重明) .....	46





## (1) 人 文 分 野



科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 (1) 〔 聖 と 俗 〕	すが 原 とし きよ 菅 原 壽 清	二経・二法・二営	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあつて人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえて行きたいと考えております。授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な問題を、後半は聖と俗、アニミズム、シャーマニズムを手がかりに、日本人の生死観など具体的な事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について、順次考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 〈宗教人類学入門〉
1. 宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
  2. 宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
  4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈聖なるコスモロジー〉
5. 聖と俗
  6. アニミズム・シャーマニズムの世界
  7. 日本人の生死観
  8. 東南アジア・稲作の人びとの暮らしと宗教

成績評価の方法

試験・その他

教 科 書

指定なし

参 考 書 等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

そ の 他

ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔比較宗教文化〕	た な か の こ 田 中 か の 子	二経・二法・二営	4

## 講義のねらい

宗教は、人間が自他の生命（いのち）をより善くまっとうするための究極的な拠りどころと生き方を提示する。

諸宗教の興起し発展してきたこの世界において、わたしたちはいま、宗教を比較して宗教それぞれの現代的意義と役割を見出すべき時機を迎えている。

以上の視点から観ると宗教学とは、諸宗教における生命（いのち）や人間性の普遍的価値を追究し、人間相互の理解と協調への道を拓くいとなみであるといえよう。

本講は、1)宗教学の基本的立場をふまえ、2)諸宗教の思想・文化を正しく把握することで、3)国際的視野における「他者」認識と「人間」理解の眼を養うことをねらいとする。

## 講義の内容・授業スケジュール

## I. 宗教学とは何か

- 1) 「宗教」religion という用語の起源と「作業仮設的」限界。
- 2) 「宗教学」成立のいきさつ。
- 3) 宗教学の意味と目的とは何か。
- 4) 宗教学のさまざまな方法と可能性。

## II. 宗教生活の原初形態

- 1) 「いのち」に気づく（生への畏敬、「いのち」の表情（洞窟壁画の思想）、「いのち」のゆくえ（死への畏怖と生死観のめばえ）、生死観四態。
- 2) アニミズム説、ブレアニミズム説、原始一神教説、「起因者」説の提起と問題点。

## III. 科学・呪術・宗教

- 1) 呪術の原理と諸類型。
- 2) 科学と呪術。
- 3) 呪術と宗教。
- 4) 宗教と科学。

## IV. 宗教の類型論

- 1) ひとつの宗教の諸相・さまざまな宗教の比較。
- 2) 人格的「神」を拠りどころとする宗教と非人格的「法」を拠りどころとする宗教。
- 3) 権威主義的宗教と人間主義的宗教。
- 4) 神秘主義的宗教と預言者の宗教。
- 5) 汎神的宗教の諸相。
- 6) 「救い型」「悟り型」「つながり型」の三類型。
- 7) 民族宗教と世界宗教の歴史的連関。
- 8) 「宗教進化の五類型」説（宗教史における「進化」とは何か）。

## V. 宗教を構成するもの

- 1) 「聖なるもの」は目に見えない（宗教的実在）。
- 2) 「聖なるもの」からのメッセージ（神話・教説・教義・聖典）。
- 3) 「聖なるもの」を祀る空間（聖域・聖地・聖所）。
- 4) 「聖なるもの」の象徴論（symbolism）。
- 5) 「聖なるもの」に向かって祈り集う人々（宗教集団）。
- 6) 「聖なるもの」をめぐる行なわれること（宗教儀礼）・体験されること（宗教体験）。
- 7) 「偶像」（idol）とは何か。

## VI. 宗教的人間観

- 1) 人類の起源神話。
- 2) 人間というものの二元的構造（霊と肉、善と悪、聖と俗）。
- 3) 宗教的人格の理想像とその形成過程。

## VII. 宗教的世界観

- 1) コスモロジー（宗教的宇宙論）。
- 2) 「この世」と「来たるべき世」。
- 3) 時間と空間。

VIII. I～VIIをふまえながら、現代も生きつづける諸宗教の思想と文化について解説する。また、異なる宗教の間に生じる誤解や偏見を指摘し、正しい「他者」認識と平和友好的な「人間」理解とはどうあるべきかを考える。そのためには何よりもまず、それぞれの宗教を信奉する人々が「生命（いのち）をまっとうするための道」（a way of 'Life'）をどのように歩んでいるのかを実際に観ることが望ましい。本講の後半においては、スライドと録音テープを併用しながら「人間」のさまざまな生き方にアプローチしていく。

- 1) ゾロアスター教、2) ユダヤ教、3) キリスト教、4) イスラーム、5) シーク教、6) ヒンドゥー教、7) ジャイナ教、8) 仏教。

## 履修上の留意点

毎回、1) 板書を写す、2) 教科書や配布資料を参照する、3) 講義内容をメモしながらキーワードを探す、4) 視聴覚資料を鑑賞したときは、その感想を書き留めておくなどの作業をおとして、自分自身の見方・考え方をしっかりと持てるように心がけていこう。

## 成績評価の方法

期末試験、レポート、出席状況、受講態度。

## 教科書

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。後期は、プリント資料を中心にすすめる。

## 参考書等

水野弘元・柴田道賢（監修）『宗教学ハンドブック』（世界書院）。そのほかは、必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (1) (3) 〔日本文学－古典－〕	やま した てつ ろう 山下 哲 郎	二経・二法・二営	4

講義のねらい

本年度は、中世随筆文学の代表的な作品、兼好法師の『徒然草』を読む。わが国の古典文学に親しみ、その作品世界を愉しみながら読み進めていくことを目標とする。古典作品を原文で読解していくため、内容の理解にはやや努力を要するが、年間を通してできる限り多くの章段の読解を期したい。作品の時代的背景や、各章段の関連事項など、特に問題となる事柄に関しては、時間をかけて、じっくりと考えていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前・後期を通じて作品の講読を行うが、前期のはじめの数講において、作品の兼好法師や『徒然草』という作品についての概説を行う予定である。

履修上の留意点

履修にあたっては、各自必ずテキストを用意すること。関連資料等は随時配布する。

成績評価の方法

成績評価はレポートと出席状況で行う。レポートは原稿用紙（400字詰）5枚以上で、年度末に提出すること。なお、レポートの課題等の詳細については開講時に指示する。

教科書

テキストは以下のものを使用する。  
木藤才蔵校注 新潮日本古典集成『徒然草』（新潮社 昭和52年）2,500円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (2) 〔日本文学－近代－〕	おお いずみ まさ ひろ 大 泉 政 弘	二経・二法・二営	4

講義のねらい

本年度も、文学における「時代性」について考えていく予定である。明治から現代へ、時代の流れの中で、現在も我々のこの社会に影を落としている問題が存在する一方で、時代の波の中に埋没していった問題もある。それは、時代と言う奔流の中であって、今に生きる文学作品と埋没し姿を消して行った作品があることと無関係ではない。「戦後」が遠のきつつある中で、時代と文学の関わりを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期「文学」という概念の説明から入り、日本の文学思潮とその特殊な流れの背景や明治日本固有の近代概念についておおまかに講義する。  
概論の講義が終わったところで、明治20年代中期・後期・30年代の作家の作品を比較しながら読む。特に本年は、小説だけではなく、詩歌等韻文も読む予定である。  
後期 前期の展開にもよるが、宮本輝等現代作家を読む予定である。

成績評価の方法

前期のレポート・期末試験・講義への出席で総合的に評価する。

教科書

教科書は特に定めないが、講義の中で指示した作品は必ず講義の前に読んでほしい。参考書についても講義の中でその都度指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし 林 あきら 彰	二経・二法・二営	4

講義のねらい

19世紀後半から20世紀初頭にかけては、いわゆる近代日本の国民国家の形成成立期にあたっている。その国民国家は、内に対しては民権や地域思想・文化などを抑圧しつつ、外に向かっては国権を優先させた帝国主義的なあゆみを伸張していく。そこでは、天皇制思想を核とする体制側の思想と民権運動や初期社会主義の運動などを含めた反体制側の思想が、対立ないしは錯綜したもとなっている。そうした国民国家形成期における知識人や「国民」のあゆみはどのようなものであったのか、検討してみたい。今年度は知識人に重点をおくが、われわれは明治の精神の中に今日に通じる思想やこれまで気づかずにいた新しい問題を改めて発見できうるかもしれない。講義では、主に人物やジャーナリズムを通して明治期の思想をみていくつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、日本近代史を概観する。その後、数人の人物をとりあげ、時代背景を考慮しながら彼らの思想や行動をおってみる。さらに時間があれば、明治20年代の雑誌や明治30年代の知識人(初期社会主義者)にもふれて、国家や民衆との関係性などを検討してみたい。

成績評価の方法

レポートか期末試験のどちらかにする。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

参考文献は講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2) 〔中国古代史〕	も 茂 さわ 沢 みち 方 なお 尚	二経・二法・二営	4

講義のねらい

中国の古代史とは、秦の始皇帝、李斯等が活躍する以前の歴史を通観するとともに、その中国の西北方にいたとされる少数民族との関係を中心に、中国の文献学に基づく情報の稀少性に充分配慮しつつ、最近の青銅器の銘文の分析を再検討しながら、その西北方の異民族の実態に迫ろうとするものである。

それは解読困難を極める王国維、郭沫若等の研究が不可欠である。それには、古代中国の文字学(小学)的知識がどうしても必要である。

それは中国古代史をひもとくためにも、又日常我々が使う漢字について注がれた説文学の膨大な諸成果がある。多岐茫羊の感が深いのが、それらの研究を無視しては、研究が進展しない。そういう小学の知識、清朝考証学に敬意を表しつつ、この幻とも思われる西北方の民族の研究にけんめいの努力を捧げた王国維やプルセックの研究を紹介しつつ、この謎に迫ってみたいと思っている。又中国古代の諸子百家の思想の根源にさかのぼってみたい。

教科書

『韓非子の思想史的研究』(近代文芸社)



科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3) 〔中国古代思想史〕	茂 沢 方 尚 <small>も ざわ みち なお</small>	二経・二法・二営	4

講義のねらい

中国古代とは、私の場合、漢代以前を指す。その時代を含むが、私の関心は、中国の諸子百家の思想の源流を尋ねることにある。それは老子、孔子、孟子、荀子、荘子、列子、楊朱、慎到、申不害、商鞅、管子、韓非子、李悝等の活躍した春秋戦国時代に遡及して、それぞれの思想を歴史的に解明しようという願いに支えられている。果たして「道」とは何か、「常道」とは何か。「自然」とはと問題は複雑多岐にわたり、把えんとし把えきれない程深遠である。しかし私は私の関心に依って支えられている長年にわたる研究成果の一端を示して、諸君とともに、この四千年とも五千年とも言われる歴史をもつ中国の心臓部に立ち入ってみたいと思っている。

教科書

『韓非子の思想史的研究』（近代文芸社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (1) 〔西洋思想の源流〕	河 谷 淳 <small>かわ たに あつし</small>	二経・二法・二営	4

講義のねらい

この授業では、古代地中海世界において展開されたギリシア哲学と西ヨーロッパ全域を舞台とした中世のキリスト教哲学とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流（ヘレニズム・ヘブライズム）に対応するものであり、それぞれ知の優位と信の優位という対立のもとにさしあたっては理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続性と同時に連続性という側面も併せ持ち複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、これら両者がいかなる意味で現代の「源流」であるのかは改めて問われなければならない。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義では主に次のような内容を取り扱う。
- ① ギリシア哲学（ソクラテス以前、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）
  - ② キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
  - ③ 近代哲学（合理論、経験論）

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

授業においてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (2) 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理	二経・二法・二営	4

## 講義のねらい

例年、ひとつのテーマを決めてヨーロッパ近代哲学・思想の諸相を探っているが、今年度は「法と国家」について考えてみたい。

## 教科書

開講時に指定する。

## 参考書等

開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (3) 〔現代文明と人間〕	あさ 麻 先生 享 志	二経・二法・二営	4

## 講義のねらい

どういものが真理だろうか、認識はどのようになっているのだろうか、存在とは何であろうか。このような問いが、哲学の立てる問いである。普通、「哲学」という言葉は、経営哲学とか、趣味における哲学などと使われる。それは、人生論とか、自分独自のこだわりや目標のようなものであろう。そのような哲学は、学問的でもないし、哲学との内容的なつながりもない。そういったものではなく、本当の「哲学」、本物の哲学を、現代の視点から案内したい。講義では、いろいろな哲学関係の議論の中で、おもしろさをつたえられるようなものを選び、わかりやすく説明する。また、哲学の議論は、人間の諸問題とつながっている。だから過去に行われた議論を紹介するだけでは足りない。講義を聞く一人一人が、自分の問題として考えられるようになるために、私自身の考え方や批判も示す。

 講義の内容・  
授業スケジュール

主な話題として、プラグマティズム・分析哲学・ドイツ観念論・生の哲学などを考えているが、西洋近世に限らず、古代や東洋思想にも言及する予定である。

## 履修上の留意点

学問の場として、自分で考える態度を持つように努めること。そのためには、自分で読んだり、調べたり、書いたりしなければならない。その具体的なやり方は、講義において、場合に応じて説明する。

## 成績評価の方法

前期・後期試験・夏のレポートを中心とし、平常点として小テスト・出席点を加味する。

## 教科書

基本的には、なし。

## 参考書等

その都度、講義の中で丁寧に紹介する。

## その他

多少は指名して対話もするかもしれないが、基本的には講義。主体的な質問は大いに歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 (1) (2) 〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田理・山本敦之	二経・二法・二営	4

講義のねらい	論理学という学問のあつかう問題をわかりやすく解説し、同時に現代の記号論理学の基礎を習得することを目標とする。
教科書	開講時に指定する。
参考書等	開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) (2) 〔西洋倫理学〕	河谷敦・末木恭彦	二経・二法・二営	4

講義のねらい	人間がただ生きるのではなく、「よく」生きることを目的とする生物だということは、考えてみれば不思議なことだ。両者が具体的にどう違うかと問われれば答えに困るが、我々はこの二つのことが違うということは知っているし、「よく」生きるとは、「うまく」あるいは「快適に」生きるとか、「強く」あるいは「美しく」生きることとは何となく違うのではないかと思っている。倫理学は「よいこと」あるいは「悪いこと」の意味を分析し解明する学問である。そこでは大ざっぱにいて次の二つのことが問題になる。すなわち、何が「よい」（あるいは「悪い」）のか。そして「よい」（あるいは「悪い」）とは何なのか。例えば、人を殺すことや盗むことは「悪い」ことだろうが、それらにも様々な様態があり、それらを一概に「悪い」と一言で言ってしまうことにはためらいが残るし、もしかしたら「よい」殺人というものもあるのかもしれない。また様々な事柄がともに「よい」（あるいは「悪い」）と呼ばれるのだから、そこにはそれらに共通の統一的な「何か」が生起していると考えerことは自然である。とすればそれは何なのか。一体いつから我々はこんなふう考えるようになったのだろうか。西洋ではこの種の考えが登場した古代ギリシア以来、倫理学は、哲学や神学あるいは法学など諸学問の思想的基盤として大きな役割を果たしてきた。
講義の内容・授業スケジュール	東洋思想と対比しつつ西洋倫理想史上の考え方のうちいくつかをとりあげて解説する。
成績評価の方法	成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。
教科書	開講時に指示する。
参考書等	講義中に適宜に指示する。

## (2) 社会分野



科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 (1) 〔法と権利〕	みつだまさよし 光田督良	二経・二法・二営	4

講義のねらい

本講座は、「法学・憲法」と二つの標題を持ちますが、全体としては、「法と人権」というテーマのもとに講義をすすめます。人権を保障している憲法も「法」の一つです。そこで、まず、「法とは何か」ということを検討します。そのためには、できるだけ多くの「法現象」を見聞することが必要です。それは、これらについての個別分野の専門科目が多く存在する事からも理解できます。しかし、「法学」の講義が、それぞれの個別分野を概観するような内容であれば、中途半端は内容となってしまいます。したがって、講義では、これら個別分野の科目に共通する、法の一般的な、基礎的な考え方について検討します。

次に、憲法の内容に入ります。「憲法」の講義の目的は、日本国憲法の内容を、主として憲法解釈学の立場から理解することにあります。憲法の講座では、本来、日本国憲法全体を対象として検討しなければなりません。講義では、本講のテーマおよび時間的制約から、特に人権を中心に検討します。具体的には、人権の内容、限界、制限といった点が主たる内容となります。もともと、その際、国会、内閣、裁判所などの統治(政治)機構についても、人権との関連において、人権をよりよく確保するための制度という観点から、必要に応じて、採り上げます。

「法の一般的な、基礎的な考え方」、「人権の内容、限界、制限」の検討というと、どうしても抽象的で、難解であると考えられがちです。しかし、抽象的な検討に終始すれば、十分な理解もできませんし、また学修する意欲、興味を損なうこととなります。そこで、講義では、できるだけ、判例など実際に起きた具体的事柄に例を求め、分かりやすく説明するつもりです。

また、人権をめぐる法現象は社会現象の一つですので、現実の社会において現在生じている事柄についても、「今」の法を考えるという意味において、関連性、必要性に応じて採り上げるつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、具体的には以下のようなスケジュールで行います。

序 法学・憲法を学ぶに当たって

I 法とは何か

- 1 法とは何か — 法の定義
- 2 法と道徳 (関係の歴史・区別の基準)
- 3 法の構造
- 4 法における強制 (主体・方法・意味)
- 5 法の目的 (正義・秩序)
- 6 法の効力
- 7 法の適用
- 8 法の解釈

II 憲法における人権

- 1 日本国憲法の基本原理
- 2 基本的人権の視角
- 3 包括的人権
- 4 法の下での平等
- 5 内心の自由
- 6 信教の自由と政教分離
- 7 表現の自由
- 8 経済的自由
- 9 身体的自由
- 10 社会権
- 11 立法と国会
- 12 行政と内閣
- 13 裁判と司法

履修上の留意点

講義では、「検討する」という姿勢を重視します。したがって、受講者も、講義を聞き、板書を写し、それを覚えるということではなく、常に「考える」という態度で望んでほしく思います。そのためには、少なくとも、教科書の講義該当部分を読んでおくことが必要です。

成績評価の方法

成績は、学年末に行う試験を中心に評価します。受講者数にもよりますが、出席をとった場合、それを平常点として評価することもあります。

教科書

I の分野については、有沢知子・光田督良・山本悦夫著『法と社会生活』(尚学社) 2,060円

II の分野については、古野豊秋編『スタンダード憲法〔テキスト版〕』(尚学社) 1,000円

参考書等

六法(用途に応じた種類等については開講時に紹介します)。参考書等は講義の進行に応じその都度紹介します。

その他

主として講義の形式ですすめます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法(2) 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	二経・二法・二営	4

社会分野

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教 科 書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参 考 書 等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会 科学 論 (1) 〔社会 認 識 の 思 想 〕	こ すぎ しゅう じ 小 杉 修 二	二 経 ・ 二 法 ・ 二 営	4

講義のねらい

社会科学とはフランス革命や近代社会の成立を契機として生れたものと言われる。人と人との関係が生々しい形で衝突し合うのではなく、法や商品といった関係を通じて、いわば間接的に他者と係わり合うが如き社会が生れた時、物や法の向う側にある、人や人間集団の仕組みを知ろうとする努力が始まった。

本講義ではこのような社会科学の巨人たちの思想に時折ふれつつ、主として、現代世界が私たちに投げかけている問題について知るといことから始めてみたいと思っている。即ち、テレビや新聞を素材にして、さまざまな現象にとりあえずふれてみよう。しかるのち、社会化学的思考でそれらを見直してみると、それらはそもそもどんな問題だったのかを考えてみたいと思っている。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の進め方としてはその時々話題になったトピックスを取上げながら進めていきたいと思っはいるが、前期のテーマは「経済成長と人間」を、後期は「経済成長と環境問題」を柱にしていくことにする。

成績評価の方法

成績評価は、前後期の試験と若干のレポートで行う予定。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、テレビの情報系番組や新聞に目を光らせるように望む。



科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 (1) 〔現代経済と人間〕	みょう せ まさ はる 明 瀬 政 治	二経・二法	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
  - ② きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- ③ 結構おもしろい(じゃん)、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック(クイズ)を行い、平常点として考慮します。

教科書

教科書は、酒井泰弘 著『はじめての経済学』(有斐閣) 1,957円を使用しますが、基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参考書等

- 幸村千佳良 著『経済学事始』(多賀出版)  
 伊藤 元重 著『入門経済学』(日本評論社)  
 林 俊彦 著『需要と供給の世界』(日本評論社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (1) 〔現代社会を考える〕	はし つめ さとし 橋 爪 敏	二経・二法・二営	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題—大衆社会、高度情報化社会、高度消費社会等—を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

- 高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)  
 R.ニズベット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)  
 その他授業中に適宜指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (2) 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	二経・二法・二営	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参 考 書 等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)  
R ニスベット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)  
その他授業中に適宜指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統 計 学 (1) 〔社会現象の統計的決定〕	くさ か やす お夫 日 下 泰 夫	二経・二法・二営	4

講義のねらい

統計学は、観測値（バラツキをもったデータ）から観測値の源泉に関する結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定などに広範に使用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と方法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 統計的方法の本質、2. 記述統計、3. 標本空間と確率、4. 確率変数と確率分布、6. 母集団と標本、7. 推定、8. 検定、9. 相関、10. 回帰

履修上の留意点

統計学は数学の一分野であり、積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

後期末に行う試験を主に、出席状況、演習を加味して評価します。

教 科 書

P.G. ホーエル (浅井 晃、村上正康 共訳)『初等統計学』(培風館) 1,732円

参 考 書 等

開講時に紹介します。

そ の 他

授業の方法：重要な部分はその講義の終了の都度個別に演習を実施しますが、全講義の終了直前(12月頃)に3～4時間をかけて演習を行います。ここでは、これまでに学習した全内容に関する典型的な問題とその解答について解説し、自習のための便宜を図ります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 (1) 〔文化と人間〕	小 川 順 敬 <small>おがわ としゆき</small>	二経・二法・二営	4

講義のねらい

文化人類学とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする文化人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではありません。比較を通してその差異と共通性について考え、それらの作業を通じて文化とは何か、人間とは何かについて考えようとしているのです。

この講義では、私たちにとっては一見奇妙に思ってしまう異文化の慣行のなかにある考え方を探りたいと考えています。そしてまた同時に、日頃私たちが何気なく行っている生活慣行をふりかえり、異文化と比較しながら、その意味を考え直してみたいと思います。ふだんは気付かない私たちの文化の形が、異なる文化の調査者の目を通して現れてくるのではないのでしょうか。すなわち、この2つの目的は比較という作業を通してこそ可能となるものなのです。

講義では以上のような文化人類学の研究方法の特徴について具体的な事例をもとに述べていきたいと思っています。しかし、文化人類学という学問はまだ歴史も浅く、全体としてかならずしもまとまった体系をなしているとはいえないと考えられています。基本的な概念のいくつかや研究方法についても学問的な議論がつづいている場合があります。そこで、同時にその方法がはらむ問題点についても考えてみたいと思います。

なお、この講義は専門課程の前段として行なうものではありません。したがって、文化人類学の専門性の強い講義ではありません。あくまで文化人類学の基本的な考え方について受講のみなさんに理解を深めてもらうことを第1の目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

文化人類学の研究対象領域は広範にひろがり、また研究方法も多岐にわたっています。そこで、1年間の講義でそのすべてに触れることは不可能です。そのため講義では、下記に挙げる幾つかの研究領域をトピックとして選び、文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説することにしたいと思います。

前期では、「文化と分類」を大きなテーマとして、文化の概念の検討を考えてみたいと思います。

たとえば、私たちの社会では「虹は7色」といわれていますが、これは人類すべてにとって真実でしょうか。文化の違いによって虹の色数が異なるとしたらこの「異なるという事実」をどの様に考えればよいのでしょうか。人間をとりまく自然環境（あるいは社会環境）をどの様に秩序づける（分類する）かは、文化によって異なっているといえるでしょう。すなわち、人間は自然環境や社会環境をどの様に秩序づけ、分類し、そして「創り出して」いるのかという問題を考えてみたいと思います。そして、この問題を言語や象徴、また認識の問題として述べていくことにしたいと思います。また、親族関係（人間の分類）、社会関係などにも触れたいと考えています。

後期は、文化人類学の研究分野から、アニミズム、シャーマニズム、呪術と宗教、祖先崇拜、贈与交換、文化変容、などをトピックとして取り上げ、文化相対主義や調査方法論、フィールドワークなど人類学の研究方法の特徴と問題点を考えます。その際、人類学の幾つかの基本的な概念についても再考したいと考えています。

成績評価の方法

年に1回のレポート提出（夏期休暇あけ）と、年度末の筆記試験により評価します。年度末の試験は必須条件です。レポートは受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容・形式、出席その他に関しては最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男著『文化人類学入門』（中公新書560番）800円

参考書等

講義の内容に直接関連する参考書は適宜紹介します。

その他

年に2、3回は講義の内容に関連するビデオを見たいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学(2) 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ 杉 井 純 一	二経・二法・二営	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼・慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
  - 1. 文化人類学とは何か
  - 2. 文化とコミュニケーション
  - 3. 環境と人間
  - 4. ジェンダーとセクシュアリティ
  - 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
  - 1. 儀礼の構造
  - 2. 呪術と宗教
  - 3. 儀礼・神話・世界観
  - 4. 神聖王権
  - 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート、期末試験で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）  
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

その他

できるだけ、ビデオを利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 (1) 〔政治システムと政治参加〕	ほうり しょういち 宝 利 尚 一	二経・二法・二営	4

講義のねらい

冷戦終結からほぼ10年、国際政治に新たなパワーゲームが始まっている。国際関係の変化を分析する。その過程で各国の政治システムのあり方、非政府組織 (NGO)、市民団体などの政治参加の増大などについても検証する。

講義の内容・授業スケジュール

国際政治のアクター (主体) の変化を、具体的事例に基づいて解説する。  
国家、民放の対立、アジア・太平洋地域での4極パワーゲーム、宗教に関連する「文明の衝突」論など、現代世界の動向をみながら分析する。

履修上の留意点

授業をより活発化するため、一つのテーマについて複数の学生に意見を発表してもらう。新聞、時事雑誌などをよく読み、世界の動きと日本の動きについて関心をもってもらいたい。

成績評価の方法

不定期に国際政治に関する専門語などについての小テストを行う。定期試験は2-3のテーマから1テーマを選び、論文作成とする。

教科書

教科書は特定しない。国際政治システム、国際政治に関する論文、新聞解説などを参考資料としてプリントし、その都度配布する。

その他

プリント教材やビデオ教材をもとに、国際政治のあり方、政治システムについての問題意識を高めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 (2) 〔国際社会と日本〕	やまだ あつし 山 田 敦	二経・二法・二営	4

講義のねらい

政治学入門講座の1つとして、「政治を見る眼」を養うことを目的とする。副題にあるとおり、国際社会のなかで現代日本が直面するさまざまな問題点や課題を取り上げるが、いわゆる時事問題解説ではなく、出席者ひとりひとりが政治問題を考えていくための「分析の道具」を提供することがねらいである。政治学・国際政治学の理論や概念を手がかりに、今日の国際社会と日本について、各自が意見を形成していくことを望む。

講義の内容・授業スケジュール

- 主として以下の項目を取り上げる。詳しい授業のスケジュール表は、第1回目の講義で配布。
- 1 イントロダクション
  - 2 「ジャパン・プロブレム」とは何か
  - 3 日本異質論
  - 4 日本ただ乗り論
  - 5 貿易摩擦と日本
  - 6 国際組織と日本
  - 7 日本の国際貢献

履修上の留意点

出席者の希望も取り入れて講義内容を充実させたいので、講義初日にアンケートを実施する。日本政治あるいは国際政治で特に関心がある問題を2~3つ考えておくこと。

成績評価の方法

中間レポートと学期末試験による。どちらも、①論旨明快であるか (発想だけで裏付けがなければ不可)、②みずからの意見を述べているか (参考書の丸写しは不可) を評価基準とする。7月第1週目の講義で、中間レポートの課題を発表する。中間レポート未提出者は学年末試験を受けられないので留意されたい。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

さらに詳しく勉強したい出席者のために、講義中に参考文献を随時紹介する。

### (3) 自然分野



科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅん いち 鈴 木 順 一	二経・二法・二営	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。  
授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心悩む人の心理的成長を援助するかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円  
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』— 自己理解ワークブック —（ナカニシヤ出版）1,600円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	二経・二法・二営	4

#### 講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようであり、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

#### 履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

#### 成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

#### 教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円  
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』—自己理解ワークブック—（ナカニシヤ出版）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生態と進化〕	し 清 み 水 よ し 善 か ず 和	二経・二法・二営	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しているわけであり、進化を抜きにして生物を理解することはできない。一方でこの地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20m 超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。この生物の多様性が生物を理解するもう一つのカギである。さらに、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。本講義では生物の進化や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

自然分野

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化
  - (1) 遺伝子と生命現象
  - (2) 進化のメカニズム
  - (3) 集団遺伝学の基礎
- 第2章 40億年の生物進化
  - (1) 地質年代図
  - (2) マーグリスの共生説
  - (3) カンブリアの爆発
  - (4) 大量絶滅
  - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類
  - (1) リンネ式分類体系
  - (2) 生物五界説
  - (3) 種の定義と属性
  - (4) 相同と収斂
  - (5) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化
  - (1) 動物行動学の基礎
  - (2) 適応度とゲーム理論
  - (3) 利他的行動と血縁淘汰
  - (4) 性選択と性比
  - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学
  - (1) 生命表
  - (2) 個体数の変動
  - (3) r-K 戦略
- 第6章 共生と競争
  - (1) 花と昆虫のパートナーシップ
  - (2) 菌根の役割
  - (3) 擬態
  - (4) 共生と寄生
  - (5) 生物学的多体問題
- 第7章 人類の進化
  - (1) 霊長類の系統
  - (2) ヒトの発展段階
  - (3) ホミニゼーション (ヒト化)
  - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論
  - (1) ダーウィン以前
  - (2) ダーウィン進化論
  - (3) ネオ・ダーウィニズム
  - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系
  - (1) 生態系 (エコ・システム)
  - (2) 食物連鎖
  - (3) 物質生産とエネルギー流

- (4) 物質の循環
- (5) 地球環境の形成
- 第10章 植生遷移
  - (1) 遷移のモデル
  - (2) さまざまな遷移
  - (3) 森林の更新
  - (4) 植生の復元
- 第11章 生物多様性
  - (1) 3つの多様性
  - (2) 多様性の尺度
  - (3) 熱帯林とサンゴ礁
  - (4) 多様性の危機
- 第12章 人為と生物
  - (1) 里山の生物
  - (2) 都市と生物
  - (3) 帰化種の侵入
  - (4) 汚染と指標生物

成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔 生物と環境 〕 (2)	なかむらとしえ 中 村 敏 枝	二経・二法・二営	4

## 講義のねらい

人間の創りだした化学物質は、確かに私達の生活を快適で便利なものにしてきた。それが持つ負の側面について、最初に警告を発したのは、R.カーソンであり、「沈黙の春」の出版は1962年のことである。30年後の今、私達は**内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）**に脅かされている。生殖機能のみならず、免疫系、神経系をも損なう可能性があるという。

間違いなく、地球は将来人類絶滅の瞬間を用意している。人類にそれを避ける手段はない。できることは、その瞬間をどれだけ先に送るかだけなのだ。「病んだ地球」、「傷ついた地球」という言葉が、かつてあった。痛み、傷ついていたのは、地球ではなく実は人類自身なのである。

この1年間、生物と環境について考えていきたい。まず、生命の営みをいろいろな段階(個体・個体群・群集・生態系)で紹介する。次に、環境破壊の幾つかについて、その背後にある社会・経済問題も視野に入れて考察したい。地球史における人類の時間を少しでも長くするために、一体何ができるのか、何をしなくてはならないかを、一緒に考えましょう。

 講義の内容・  
授業スケジュール

1. 生物の生活：生命の維持・植物の物質生産・動物の個体群・社会・行動
2. 生態系：物質の循環・エネルギーの流れ
3. 人間による環境破壊：オゾン層の破壊・地球温暖化酸性雨・熱帯雨林の破壊・化学物質汚染・ゴミ問題など（これらのうちの幾つか）

## 教 科 書

未定

## 参 考 書 等

その都度紹介します。

## そ の 他

意見発表の場を設けるので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。期末試験と平常点とで総合評価をします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(1) 〔コンピュータと情報〕	たけだ よういち 竹 田 洋 一	二経・二法	4

#### 講義のねらい

今日の情報化時代、コンピュータが我々の社会において果たす役割はきわめて重要なものとなっており、この技能を少しなりとも有することは特にこれからの若い世代にとってはほとんど不可欠であるとみなして良いであろう。本授業の目的とするところは、未経験の初心者を対象にして、①コンピュータに関する最低限の基礎的知識、並びに②将来必ず必要になる代表的なビジネスソフトの操作経験、を身につけてもらうことにある。とはいえ堅苦しく考えるには及ばない。基本的な姿勢として、無味乾燥な学問的知識を強いて覚え込ませるという形はなるべく取りたくはない。むしろ「習うより慣れる」に重点を置いて、パーソナルコンピュータを実地に操作する演習を中心に据え、「コンピュータとはこんなことまで出来るんだ」といった感動を一人一人が自分自身の感覚で味わってもらいたいものと願う次第である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この基本的指針ののっとり、次のような実際上の目標を設定して授業を進めたいと思っている。まず最初は、現在もっともポピュラーになったパソコンのオペレーティングシステムの代表格であるウィンドウズ（教場のパソコンは富士通 FM-V+Windows NT）に親しみ、習熟することを目指す。タイピングや日本語入力などのキーボードの操作、マウスを用いたウィンドウズの基本的テクニックから初めて、ファイル並びにディレクトリの取り扱い、ディスクへのデータの読み書き、などをまず学習する。そしてワープロや描画ソフトなどを用いてデータの交換と貼り付けの手法を学び、絵入りの文書が作成できるまでの基礎を身につける。

しかる後にビジネスソフトパッケージの代表格であるマイクロソフト社の「OFFICE」に含まれる各ソフトを用いての実習に取り組む。前期は主に表計算ソフトの「EXCEL」を扱うことにする。基本的な帳簿計算やグラフの作成の手法を学習することで、如何にこの種のツールが実際のビジネスにおいて便利なものであるかを自分自身で体験してもらいたい。後期は「データベースの取り扱い」をメインテーマに据えたい。前期で慣れた EXCEL に加えて、高機能のデータベースソフト「ACCESS」を用いて大量のデータの取り扱いと整理の仕方を学ぶ。できれば最終的には、初歩的なレベルのプログラミングで独自のシステムやインターフェイスを作ることできる段階にまで到達してもらいたい。

#### 履修上の留意点

先にも述べたように初心者を対象とするので特に予備知識の必要性はないが、折に触れて課題や宿題を出すつもりであるので授業以外でもパソコンの使用が必ず必要となるであろう。そのためには情報教育センターの自習室のパソコン群があるので、センターにこの利用のための登録（登録料1,000円）をする事はほとんど必須であるものと理解されたい。

#### 成績評価の方法

各人の成績は、一年を通しての出席の様子、課したレポートや課題の提出状況と出来具合、おのおのの前期後期の終わりに行う計2回の試験の点数、などに基づき総合的に判断して決定する。

#### 教 科 書

本年の授業では決まった教科書は特に用いない。しかし毎回授業の際にプリントを配布する予定である。

#### そ の 他

実習室のパソコンの台数が限られているため、受講希望者が多い場合は選考をせざるを得ないので、その旨理解されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(2) 〔コンピュータと情報〕	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	二経・二法	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理を学ぶ。実習を交えながら現在のコンピュータネットワークの上で実現されているさまざまな機能を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータとはなにか、どのようなもので構成されているか、という金物的な話から、そのうえで実現され、実行されるソフトウェアとはどのようなものか、という話、さらにはコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネット上ではどのようなサービスが利用できるのか、という話まで、実習を交えて行う。ソフトウェアの背景となるプログラミング言語とプログラミングにも途中で簡単にふれる。インターネット上のサービスとして、電子メール、オンラインニュース、WWWなどのサービスを実際に利用する。その際にインターネット上のセキュリティに関する話にも簡単にふれる。最終的にはHTMLを用いたホームページの作成を通じて、構造を持った文とは何かを知る。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須になる場合がある。その場合は、実際の利用申請は、授業の中で適宜行う予定である。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験および演習（授業時間中に適宜行う）によって行う予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球科学 (1) (2) [変動帯としての日本列島]	ふじ 藤 井 すすむ 享	二経・二法・二営	4

#### 講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多く地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といっても過言ではない。

近年、九州の桜島火山、阿蘇中岳、雲仙普賢岳、伊豆諸島の三宅島、大島三原山、伊東沖海底火山、北海道の十勝岳、雌阿寒岳、有珠山、駒ヶ岳など火山活動が活発化し、多くの災害を引き起こしている。また、宮城県沖地震、浦河沖地震、日本海中部地震、釧路沖地震、北海道南西沖地震、北海道東方沖地震、三陸はるか沖地震、兵庫県南部地震等地震関連の災害も多発した。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

#### 履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

#### 成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977  
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

#### その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (1) 〔宇宙から見た地球環境〕	しの 篠原 正 雄	二経・二法・二営	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、[地球環境]とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に乗って地球の自然環境を眺めてみる。

講義の内容・  
授業スケジュール

太陽放射は地球環境の支配的な要因である。ところが人類は化石燃料の使用等により太陽放射と地球環境の関係を変えようとしている。前期は、まず太陽放射について学び、太陽系の他の惑星との比較をおりませつつオゾン層、地球温暖化について考える。

化石燃料を減らすには、原子力や太陽エネルギーなどの代替源が要る。後期は核エネルギーと放射能環境、太陽エネルギー利用の可能性について学ぶ。さらに、地球独特の自然が形成されてきた歴史をたどり、未来を考える。

成績評価の方法

学期末に行う筆記試験により、平常点を加味する。

教 科 書

バリエティ編集委員会編『地球・環境・惑星系』（丸善）1,500円

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (2) 〔環境と保全〕	うるし 漆原 和 子	二経・二法・二営	4

講義のねらい

前期は自然環境を理解するための基礎知識について講義する。後期には人間活動による自然環境の諸問題についてふれる。地球の温暖化、オゾン層の破壊、大気汚染、酸性雨、砂漠化、熱帯雨林の破壊、鉱山跡地の保全、観光洞内の人為による影響について、最新のデータをプリントで配布し、説明する。受講生には自然にどのように接するべきか、自然の保護保全のために何をすべきか考えてもらう。

履修上の留意点

各時間に使用する図表のプリントを配布する。但し、その時間以外では配布をしない。毎回出席すること。

成績評価の方法

出席と試験によって評価する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

テーマごとに授業中紹介する。

そ の 他

講義方式。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 数 学 (1) 〔 情 報 と 論 理 〕	みよししげあき 三好重明	二経・二法・二営	4

講義のねらい

この講義では、コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際の数学的部分の基礎についての解説を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

したがって、基本的な数学の言葉の説明から始めて、論理代数と論理回路、アルゴリズムとその存在、計算量の問題、等を解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は原則として前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教 科 書

講義の初めに指定する予定である。

自然分野

# 3 外国語科目



### 3 外国語科目

#### 《選択必修科目》

〔 英 語 〕

英語 I A	(杉 本 誠)	53
英語 I A	(岡 崎 寿一郎)	53
英語 I A	(町 田 成 男)	54
英語 I A	(久 保 ひさ子)	54
英語 I A	(丹 治 弘 昌)	55
英語 I A	(行 廣 泰 三)	55
英語 I A	(石 原 孝 哉)	56
英語 I A	(河 内 賢 隆)	56
英語 I A	(横 森 正 彦)	57
英語 I A	(本 間 俊 一)	57
英語 I A	(森 田 隆 光)	58
英語 I B	(上 杉 明)	59
英語 I B	(町 田 成 男)	59
英語 I B	(島 村 豊 博)	60
英語 I B	(林 明 人)	60
英語 I B	(岡 崎 寿一郎)	61
英語 I B	(村 石 恵 照)	61
英語 I B	(葉 島 千 歌)	62
英語 I B	(丹 治 弘 昌)	62
英語 I B	(神 戸 春 樹)	63
英語 I B	(杉 本 誠)	63
英語 I B	(行 廣 泰 三)	64
英語 I A・I B [再クラス]	(埴 美智子)	65
英語 I A・I B [再クラス]	(町 田 成 男)	65
英語 I A・I B [再クラス]	(島 村 豊 博)	66
英語 I A・I B [再クラス]	(林 明 人)	66
英語 I A・I B [再クラス]	(久 保 ひさ子)	67
英語 II A	(埴 美智子)	68
英語 II A	(中 尾 俊 光)	68
英語 II A	(八十木 裕 幸)	69
英語 II A	(河 内 賢 隆)	69
英語 II A	(横 森 正 彦)	70
英語 II A	(神 戸 春 樹)	70
英語 II A	(佐々木 隆)	71
英語 II A	(丸 小 哲 雄)	71
英語 II A	(高 見 陽 子)	72
英語 II B	(大 庭 直 樹)	73
英語 II B	(杉 村 初 枝)	73
英語 II B	(丸 小 哲 雄)	74
英語 II B	(森 田 隆 光)	74
英語 II B	(笹 倉 貞 夫)	75
英語 II B	(八十木 裕 幸)	75
英語 II B	(中 尾 俊 光)	76

英語ⅡB	(上 杉 明)	76
英語ⅡB	(村 石 恵 照)	77
英語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(高 橋 寛)	78
英語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(杉 村 初 枝)	78
英語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(八 十 木 裕 幸)	79
英語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(笹 倉 貞 夫)	79
〔 ド イ ツ 語 〕		
ドイツ語ⅠA	(新 倉 真 矢 子)	80
ドイツ語ⅠA	(清 水 修)	80
ドイツ語ⅠA	(杉 本 正 俊)	81
ドイツ語ⅠB	(新 倉 真 矢 子)	81
ドイツ語ⅠB	(柴 野 博 子)	82
ドイツ語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	(本 橋 右 京)	82
ドイツ語ⅡA	(橋 本 博)	83
ドイツ語ⅡA	(杉 本 正 俊)	83
ドイツ語ⅡA	(橋 本 博)	84
ドイツ語ⅡB	(清 水 修)	84
ドイツ語ⅡB	(篠 原 敏 昭)	85
ドイツ語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(本 橋 右 京)	85
〔 フ ラ ン ス 語 〕		
フランス語ⅠA	(小 玉 齊 夫)	86
フランス語ⅠA	(木 下 雄 介)	86
フランス語ⅠA	(八 木 明 美)	87
フランス語ⅠB	(前期：桑田 禮彰)	87
	(後期：野沢 協)	87
フランス語ⅠB	(小 玉 齊 夫)	88
フランス語ⅠB	(前期：桑田 禮彰)	88
	(後期：野沢 協)	88
フランス語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	(前 田 祝 一)	89
フランス語ⅡA	(今 関 ア ン)	89
フランス語ⅡA	(木 下 雄 介)	90
フランス語ⅡB	(八 木 明 美)	90
フランス語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(小 玉 齊 夫)	91
〔 中 国 語 〕		
中国語ⅠA	(秋 元 翼)	92
中国語ⅠB	(杉 山 静)	92
中国語ⅠA	(塩 旗 伸 一 郎)	93
中国語ⅠB	(天 野 節)	93
中国語ⅠA	(杉 山 静)	93
中国語ⅠB	(宮 本 厚 子)	93
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	(秋 元 翼)	94
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	(東 映 全)	94
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	(大 久 保 明 男)	95
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	(戸 張 嘉 勝)	95
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	(前 川 亨)	96
中国語ⅡA	(王 聡)	97
中国語ⅡA	(杉 山 静)	98
中国語ⅡA	(秋 元 翼)	98

中国語ⅡB	(東 映 全)	99
中国語ⅡB	(王 聡)	99
中国語ⅡB	(杉 山 静)	100
中国語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(秋 元 翼)	100
中国語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(大久保 明 男)	101
〔スペイン語〕		
スペイン語ⅠA	(亀 山 晃 一)	102
スペイン語ⅠA	(荻 野 雅 司)	102
スペイン語ⅠB	(中 山 直 次)	103
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	(栗 林 ゆき絵)	103
スペイン語ⅡA	(中 山 直 次)	104
スペイン語ⅡB	(亀 山 晃 一)	104
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(栗 林 ゆき絵)	105
〔ロシア語〕		
ロシア語ⅠA	(廣 田 英 靖)	106
ロシア語ⅠB	(廣 田 英 靖)	106
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	(廣 田 英 靖)	107
ロシア語ⅡA	(廣 田 英 靖)	107
ロシア語ⅡB	(廣 田 英 靖)	108
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	(廣 田 英 靖)	108

## 《 選 択 科 目 》

英 会 話	I (外 池 一 子)	109
英 会 話	II (外 池 一 子)	109
英 語 L L	I (小笠原 隆 元)	110
英 語 L L	II (外 池 一 子)	110



# 英 語 I A

英語による意思伝達 (Writing and / or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

担当者名	配当学科	単 位
すぎもと まこと 杉 本 誠	二 経 1 年	2

## 講義のねらい

イギリスの最近のファッション、デザイン、美術、建築などに焦点を当てたテキストを用いて、イギリスの伝統と新しい文化について学ぶ。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期はイギリスの流行の動向とデザインについて学び、後期はコンスタブルやターナーから現代のホックニー、ムーアなどの画家、彫刻家について学ぶ。中世の建築から最近の建築に至までの歩みについても知ることを目的とする。精読だけでなく、語法、リスニング、英作文などの練習問題を通じて総合的な英語力を身につけたい。

## 履修上の留意点

毎時間の予習が必要である。

## 成績評価の方法

前・後期の定期試験、レポート、小テスト、出席率などを総合して評価する。

## 教 科 書

ジョン・ランドル、正保富三『イギリスの伝統と新しい文化』(成美堂) 1,600円 (税別)

担当者名	配当学科	単 位
おか ぎま とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	二 経 1 年	2

## 講義のねらい

子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年生で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と習得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。

## 履修上の留意点

テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。

## 成績評価の方法

平常評価の出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価。

## 教 科 書

伊藤宏見他編『精説高等英文法』(文化書房博文社) 1,339円



担当者名	配当学科	単 位
まち だ しげ お 町 田 成 男	二 経 1 年	2

講義のねらい

人間の能力開発をめざす大学教育です。すでに国際語ともいえる英語の学習は必須であることは間違いのないところであります。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現では、センテンスからパラグラフへ、会話表現では、日常の基本表現からブラクティカルで多様な会話表現の理解と運用能力をめざす。

履修上の留意点

テキストの正確な理解と円滑な進行をはかるため予習をしてほしい。

成績評価の方法

演習授業なので年間の授業実数の3分の2以上の出席と、レポート・試験の総合評価とする。

教 科 書

テキストは授業で発表。

担当者名	配当学科	単 位
く ぼ ひ さ こ 久 保 ひ さ 子	二 経 1 年	2

講義のねらい

海外でトラブルに出会った時、どうするかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを見て、コンプリヘンション・エクセサイズをする。

履修上の留意点

短い会話文は、テキストなしで云えて、使えるように、できれば授業時間内に暗記してしまうこと。

成績評価の方法

前期50% 後期50%

教 科 書

*Surviving Troubles* (成美堂) 1990.1.10

そ の 他

ビデオ使用

担当者名	配当学科	単 位
たん じ ひろ まさ 丹 治 弘 昌	二 法 1 年	2

講義のねらい

日々のニュースから英語を学んでいく。多少の難しい単語に出会っても、全体のニュアンスを重視し、おおまかに意味をとらえる練習をする。新聞や雑誌の記事の内容は政治や国際的な事件を含む広範囲な話題を選んで読んでいきます。それと共に、情報に対する接し方について初歩的な訓練をし、内外の情報についての適切な判断力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは合計20章から成り立ち、20の記事がありますが読む順序はかならずしも一定せずに、時流に応じて変えて授業を行います。時には実際の記事のスクラップを使って読むこともあり、また過去のデータの集積のなかからニュースの分析といった方法を取ることもあります。

履修上の留意点

英語という語学と情報という分野に強くなるというのが、この講義の目的ですが、みなさんは日頃より社会の出来事やさまざまな現象に関心をもち、自国語ばかりでなく外国語によって情報を得ることに慣れていただきたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、前後期それぞれ二回ぐらいの小テストと期末テストによって行います。いずれも教場にて授業時間内に行いますので留意してください。

教 科 書

『英語ニュースのリスニングテスト』（金星堂）980円

英  
語  
I A

担当者名	配当学科	単 位
ゆき ひろ たい ぞう 行 廣 泰 三	二 法 1 年	2

講義のねらい

実際に役立つ英語を習得するためには、しっかりした基礎的な文法の知識が、必要である。本授業では、英作文に必要な不可欠な文法事項を練習問題を通して習得することを目的とする。

成績評価の方法

評価については、前・後期の試験だけではなく、授業参加、小テストなどの結果を総合して評定する。

教 科 書

杉山・浅野『大学基礎文法・作文』（弓プレス）1,480円

担当者名	配当学科	単 位
いし 石 はら 原 こう 孝 さい 哉	二 法 1 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

英語的な表現に慣れることを目標とする。できるだけ日本語を介さないで内容を理解するために、英英辞典が使えるよう訓練する。

履修上の留意点

演習方式で行うために十分予習をして出席すること。各章が終了するごとに英文のレポートを提出してもらう。

成績評価の方法

中間・期末試験のほか、レポートを重視する。

教 科 書

*The Whole Story* (南雲堂フェニックス) 1,600円

担当者名	配当学科	単 位
かわ 河 うち 内 けん 賢 りゅう 隆	二 営 1 年	2

講義のねらい

現代は英語が世界を駆け巡る時代である。本書はグローバル・コミュニケーションの今日的意義、国際語としての英語の役割、英語々彙の国際性、英文ライティングの重要性等をテーマにしている。国際コミュニケーション時代における英語学習の意義を強調し、具体的学習方法を提案する。出席点、発表点を重視するので真面目に取り組んでほしい。

教 科 書

『国際化とコミュニケーション』(成美堂)

担当者名	配当学科	単 位
よこ 横 もり 森 まさ 正 ひこ 彦	二 営 1 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

日常生活にみられることをテーマにした内容を読解する。全体は日米比較文化で、その差異を考える。

1. Dialogue
1. Grammar Check
1. Exercises
  - A. 英語力を高めながら、文化のちがいを理解する。
  - B. センテンス・レベルの英作文力を養い、日米の文化を考え、学習する。
  - C. センテンスからパラグラフへの過程をふまえ、自分の考えを英語で表現できるように努める。

履修上の留意点

語学は演習なので、自ら予習と復習し、授業のなかでは繰り返し発表してもらいます。

成績評価の方法

平常評価として出席、小テスト、平常試験、レポート提出による総合評価とします。

教 科 書

村松美映子著『異文化の理解に向けて』（旺史社）1,400円  
横森正彦編『シェイクスピア物語悲劇篇』（旺史社）

英  
語  
I A

担当者名	配当学科	単 位
ほん 本 ま 間 とし 俊 かず 一	二 営 1 年	2

講義のねらい

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに、年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教 科 書

- (1) 『会話表現のためのパスポート』（桐原書店）1,430円
- (2) *The Black Cat and other story*（南雲堂）880円

担当者名	配当学科	単 位
もり 森    た    たか 田    隆    光	二 営 1 年	2

講義のねらい

このクラスは、英語の基礎的段階から、中級・上級へと講義を進めていきます。授業は決して難しくはありません。全員出席が絶対条件です。授業では、読む・書く・聞く・話す(four skills)をマスターします。クラスは学生諸君にとっては、とても興味のあるものになると思います。

成績評価の方法

成績評価 試験60%、レポート20%、出席20%

教 科 書

森田隆光著 *NEW WRITING IN CURRENT ENGLISH* (駿河台出版社) 2,500円 (本体)  
(送390円)

# 英 語 I B

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
うえ すぎ あきら 上 杉 明	二 経 1 年	2

## 講義のねらい

英文を読んで分かることと聴いて分かることの間には大きな隔りがある。英語を聴くことの重要性を実感していただく。ネイティブのテープをできるだけ多く聴くが、聴こうとする態度を保持してもらいたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

アメリカの文化の諸相をテキストに沿って学んでいくが、読んで聴くというのが基本である。

## 履修上の留意点

当てられてはじめてテキストを見るような学生があまりにも多すぎる。予習は絶対に必要である。単語を調べるとき発音記号も記すことを習慣にするとよい。

## 成績評価の方法

試験の得点も大切であるが、平常時の成績も大きく評価を左右する。毎時限ベストを尽くすことである。

## 教 科 書

長谷川潔『アメリカの日常生活と文化』(成美堂) 1,300円

英  
語  
I B

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
まち だ しげ お 町 田 成 男	二 経 1 年	2

## 講義のねらい

人間の能力開発と達成をめざす大学教育で、すでに International Language ともいえる英語の学習は必要かつ不可欠といえます。

## 講義の内容・授業スケジュール

授業では、入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身につける。Reading Comprehension の場合、精読に加えて段落、章等の大意を把握する。Listening Comprehension の場合、聞きながら文章の大意を把握する。

## 履修上の留意点

テキストの予習をすること。

## 成績評価の方法

演習形式の授業なので出席・レポート・試験の総合評価とする。

## 教 科 書

テキストは第1回目の授業で発表する。

担当者名	配当学科	単 位
しまむらとよひろ 島村豊博	二 経 1 年	2

講義のねらい

比較的平易な英語で書かれた、内容のおもしろい英米の短編小説の中から珠玉の名品を選び、正確な読みを目指しつつも、できるだけスピードをつけて読み、2、3時間で一作を読み切るようにして、短編小説のもつ面白さを存分に味わいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

使用するテキストは、前半の4つの作品がアメリカ、後半の4つがイギリスの短編である。最初から順を追って読んでいく。

前期、後期の区別は次の通りである。

〈前期〉

1. Indian Camp
2. Romance
3. The Chrysanthemums
4. Rope

〈後期〉

5. Her First Ball
6. The Other Side of The Hedge
7. Ticket, Please
8. A Friend in Need

成績評価の方法

前期後期の定期試験に提出物など平常点を加えて、総合評価をください。

教 科 書

小栗隆、横山幸三編注 *British and American Masterpieces* (金星堂) 1,350円

担当者名	配当学科	単 位
はやしあきと 林 明 人	二 経 1 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

各課が短い読み物と練習問題で構成されています。内容は比較的簡単な英文で書かれていますので各課に入る前に練習問題をあらかじめ提出してもらいます。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、事前に提出する練習問題、小テスト、出席の総合評価。

教 科 書

『大学生の時事英語基礎チェック』(金星堂) 1,200円

担当者名	配当学科	単 位
おか ぎき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	二 経 1 年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教 科 書

丸小哲雄注解『こだわりのライフスタイルから観た日本の環境』(英宝社) 1,890円

担当者名	配当学科	単 位
むら いし え しょう 村 石 恵 照	二 法 1 年	2

講義のねらい

Reading と Listening の能力の基本を習得することを旨とする。それには英語の基本的構文を十分に反復して体得することが重要である。

英語にかかわる文化的背景など説明しながら英文和訳の読みぐせ、聞きぐせを是正して基本的な英文が英文のままに読解、聴解できるように努めたい。(授業は基本的に英語を使用しずめる)

成績評価の方法

平常の授業参加意欲、テスト、出席を総合的に判断して決定する。出席を重視する。

教 科 書

Headway - Student's Book Part A  
(Pre - Intermediate)  
OXFORD U. P. 1,650円



担当者名	配当学科	単位
は じま ち か 葉 島 千 歌	二 法 1 年	2

講義のねらい

国際語あるいは世界共通語といわれている英語を習得する為にまず英文を理解し自分自身の考えを発信できる表現力をつけること。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通して基本語彙3,000語を活用しテキストの英文読解をします。

履修上の留意点

テキストに注が多く記載されていますので自分で必ず予習をし内容を理解しておいて下さい。

成績評価の方法

出席が最も重要なポイントです。単語小テスト、前期・後期試験を行い総合評価とします。

教科書

久田正晴 *DISCUSSING ISSUES* (弓プレス) 1,600円

英語  
IB

担当者名	配当学科	単位
たん じ ひろ まさ 丹 治 弘 昌	二 営 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

シナリオを通して英語を学ぶというのがこの講義の目的です。数あるシナリオの中から男女のあいというテーマにそって選びだし、場面での会話・行動を学習します。

シナリオ紹介の順序

1. 「旅立ち」における冒頭のシーンの主人公と恋人とのあい
  2. 「エデンの東」における兄弟の葛藤と板ばさみになったその恋人の同情
  3. 「ブレードランナー」における未来社会の精巧なロボットと予期せぬ愛情
- その他については現在検討中です。

履修上の留意点

実際の会話から表現のパターンを選びだし、その応用表現を学習します。そして時に応じて文法事項について説明します。学生のみなさんは家ではシナリオを声を出して何回も読む練習をしてください。特にどの単語を強く発音したらよいかを考えて読んでください。

成績評価の方法

成績評価は、前後期それぞれ二回ずつの小テストと期末テストによって行います。いずれも教場にて、授業時間内に行いますので留意してください。

教科書

プリント使用

担当者名	配当学科	単 位
こう べ はる き 神 戸 春 樹	二 営 1 年	2

講義のねらい

これまでに修得してきた英語力を基礎とし、更に読解力を身につけられるように、内容的確かな把握、英語に対する一層の習熟を目標とする。また、優れた英文を精読することにより、英米の文化に触れられるものにした。

履修上の留意点

積極的に授業に参加してもらうので、必ず予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席率、授業中の発表、そして前・後期の定期試験によって評価する。出席率と授業中の平常点が50%、前・後期の定期試験が50%で、総合的に決める。

教科書

『現代アメリカショート・ショートストーリーズ』（金星堂）1,400円

担当者名	配当学科	単 位
すぎ もと まこと 杉 本 誠	二 営 1 年	2

講義のねらい

新聞という人間生活のあらゆる面を取り扱う媒体をわたしたちの日常生活の情報源として活用することに視点を置いて、時事英語、特に新聞英語やメディア英語への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めることを重視し、旅行、環境、健康、スポーツなどの日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、政治、経済、文化、社会生活などの記事をできるだけ多く読み、大意を把握し、読む速度をあげるようにする。内容把握、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

速読で進むので、かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、レポート、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

安田・福田編著『新聞の英語－演習と解説』（朝日出版）1999年度版 1,400円（税別）

担当者名	配当学科	単 位
ゆきひろたいぞう 行 廣 泰 三	二 営 1 年	2

講義のねらい

現代のアメリカの社会の出来事を平易な英語で書かれたテキストを使っての読解力を養うことを目的とする。

成績評価の方法

評価については、前・後期の試験だけではなく、授業参加、小テストなどの結果を総合して評定する。

教 科 書

黒澤一晃著『普段着のアメリカ』（南雲堂）1,500円

# 英語 I A・I B〔再クラス〕

担当者名	配当学科	単 位
はなわ 埜 美 智 子	二経・二法・二営2年	2

## 講義のねらい

英語による意志伝達、つまり書き、話す事を向上させる。英語の基礎学力を基にして更に運用能力を高める。文章表現の場合はセンテンスからパラグラフへと会話を進める場合は日常基本表現から多様な会話に対する知識と理解その運用能力をめざす。

## 講義の内容・授業スケジュール

聴解力と発活に力を入れる。英語を聞いて分かり、伝えたい事を口に出して言える英語の運用能力を身につける。英語音声聞きながら、同時に全文の意味を素早く理解する聴解、理解の基本の練習をする。

英語  
I A・I B  
(再)

## 履修上の留意点

毎回予習して授業に臨む。文章の慣用表現、新しい語句などを確認する。

## 成績評価の方法

出席重視、普段の授業態度。レポート提出。前、後期試験。

## 教科書

テキスト *Twenty Tales*  
Reading and exercises 『ストーリーから学ぶ総合英語』  
安藤賢一 *L. A. Hiee* (成美堂) 1,648円

## 参考書等

その都度、必要に応じて黒板に板書

## その他

講義中心、テープ使用。必要に応じてビデオ使用。会話練習も行う。

担当者名	配当学科	単 位
まち 町 田 成 男	二経・二法・二営2年	2

## 講義のねらい

人間の能力開発をめざす大学教育ですすでに国際語ともいえる英語の学習は必須であることはいうまでもないでしょう。

## 講義の内容・授業スケジュール

授業では、入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。また、高度な構文の理解と speed reading の基礎を身につける。会話表現では、日常の基本表現から practical で多様な会話表現の能力をめざす。

## 履修上の留意点

テキストの正確な理解と円滑な進行をはかるため、予習をしてほしい。

## 成績評価の方法

演習形式の授業なので、出席・レポート・試験の総合評価とする。

## 教科書

テキストは第1回目の授業で発表する。

担当者名	配当学科	単 位
しまむらとよひろ 島村豊博	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい

英文パラグラフの構成とその特徴を理解し、パラグラフ単位での直読直解を可能にし、長い英文を迅速に読めるようにするとともに、パラグラフ単位での英文が書けることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

英文パラグラフの構成についての詳しい説明と数多くの実例に触れてパラグラフの概念を確実なものにし、またさまざまなタイプのパラグラフを提示されることで表現の型を覚えることもでき、自分の考えを表現する際にこれを十分活用することができる。例文として挙げられたパラグラフにはすべて、内容を問う英問と構成の把握を確認する問題がついているし、扱われているトピックスも興味深いものが多い。

成績評価の方法

前期後期二度の定期試験に提出物など平常点を加えて、総合評価をください。

教 科 書

S. キャスリーン北尾・北尾賢治編著 *Basic English Paragraphs* (英潮社)

英語  
IA・IB  
(再)

担当者名	配当学科	単 位
はやしあきと 林明人	二経・二法・二営2年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

各課が1ページで終わるように構成されています。内容は比較的簡単な英文で書かれていますので各課に入る前に教員が作成した小テストを行います。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、出席の総合評価。

教 科 書

『日本人と欧米人』(マクミラン) 1,311円

担当者名	配当学科	単 位
く ぼ ひ さ こ 久 保 ひ さ 子	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい

新聞英語を読めるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講読後、コンプリヘンション・エクセサイズをする。

履修上の留意点

新聞英語の特徴を理解する。

成績評価の方法

前期50% 後期50%

教 科 書

*News Flash Round up '99* (マクラミン社) 1,900円

英語  
I・B  
(再)

# 英 語 II A

英語による意思伝達 (Writing and / or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
はなわ 埜 美智子	二 経 2 年	2

英  
語  
II A

## 講義のねらい

I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。文章の表現練習、自由作文の提出を年に2、3回出来るようにする。会話表現はテープを使用したり音声をしっかり出す。ダイアログからディスカッションへと進めていく。

## 講義の内容・授業スケジュール

アメリカの実話から成るテキストを使う。日本とアメリカの文化を比較する内容や会話は大いに役立つものと思う。

## 履修上の留意点

必ず予習しておく。文章の慣用表現、新しい語句などを確認しておくこと。

## 成績評価の方法

出席重視、普段の授業態度、レポート提出。前、後期の試験

## 教 科 書

*America at a glance* ジム・クヌースン・黒沢一晃『普段着のアメリカ』(南雲堂) 1,500円

## 参 考 書 等

その都度、必要に応じて黒板に板書。

## そ の 他

講義中心、テープ使用。必要に応じてビデオも使用。会話練習も行う。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
なか 中 尾 俊 光	二 経 2 年	2

## 講義のねらい

日常生活において伝達に必要な概念の型を、「意図・決意の表し方」「譲歩・様態の表し方」などの発想別に16に区分・解説し、長文の英作練習を付した教材を使用し、実践力の養成を目指します。

## 履修上の留意点

実授業回数の2/3以上の出席を原則とします。

## 成績評価の方法

前・後期試験 (50%)、授業内発表 (25%)、レポート、小テスト (25%) を総合評価します。

## 教 科 書

岸野英治『大学生のための表現英文法・英作文』(英宝社)

担当者名	配当学科	単 位
やそぎ ひろゆき 八十木 裕 幸	二 法 2 年	2

講義のねらい

オピニオンの分析と表現方法を学び、自分の意志を英語で表明する能力を養います。

講義の内容・  
授業スケジュール

各ユニットを1～2回で終わるようにします。演習方式で授業を進めます。

履修上の留意点

座席を固定します。毎回、辞書、レポート用紙を持参してください。時々、課題をだします。予習をして授業に臨んでください。

成績評価の方法

出席状況、発表状況、諸テストの結果を総合して評価します。

教 科 書

西本徹他編 *BOTH SIDES NOW* (成美堂) 1,700円 (税別)

担当者名	配当学科	単 位
かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	二 法 2 年	2

講義のねらい

現代のように世界が狭くなっている国際社会においては、英字新聞くらいは目にしたいものである。その意味で本授業では英字新聞の読み方の基礎力をつけることをねらう。適確な註のもとに新しい、比較的読み易い記事が配列されている。演習形式の授業なので出席と発表を重視する。

教 科 書

『英文ニュース入門1999/2000』(成美堂)



担当者名	配当学科	単 位
よこ 横 もり 森 まさ 正 ひこ 彦	二 法 2 年	2

講義のねらい

自分で英文を書き上げることはむずかしい。英会話を得意とする学生でも英訳することは苦手とする場合があります。この授業では英作を集中しておこないますが補助として多くの英語を読むことを試みます。

1章 日本語から英語への翻訳

2章 英語から日本語への翻訳

履修上の留意点

語学は演習なので、自ら予習と復習し、授業のなかでは繰り返し発表してもらいます。

成績評価の方法

平常評価として出席、小テスト、平常試験レポート提出による総合評価とします。

教 科 書

柴垣ひろ子著『翻訳技法入門』（旺史社）1,000円  
横森正彦他編『シェイクスピア物語悲劇篇』（旺史社）

担当者名	配当学科	単 位
こう 神 べ 戸 春 はる 樹 き	二 営 2 年	2

講義のねらい

日常会話で慣用的に用いられる表現や構文を学び、自然に自己表現出来る様に練習を重ねていく。先ず、基本的な口語表現を学習するが、テープなどを使用し、スピーキングやヒアリングの能力が同時に身につく様に進めていく。

履修上の留意点

積極的に授業に参加してもらうので、必ず予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席率、授業中の発表、そして前・後期の定期試験によって評価する。出席率と授業中の平常点が50%、前・後期の定期試験が50%で、総合的に決める。

教 科 書

『総合教材：今日の日本とアメリカ』（英宝社）1,700円

担当者名	配当学科	単 位
ささき 木 隆	二 営 2 年	2

講義のねらい

本講座は一年次の習得内容をさらに深めるものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

読解にのみとられることなく、幅広い学習を目指す。

教 科 書

使用する教材はコピーにて配布する。四月当初にまず配布し、その後の学生諸君の興味や関心も念頭に入れ教材を決定する。

そ の 他

授業のすすめ方は履習の人数にもよるが、発表の機会を設ける予定である。なお、英和辞典は必携。

担当者名	配当学科	単 位
まるこ 哲 雄	二 営 2 年	2

講義のねらい

英語の総理解として環境問題、健康に関する食事や運動の問題、ライフスタイルに関する文章を読み、それをモデルにして文章作法のエッセイを書くためのパラグラフの作成の仕方を研究する。文法力やリスニングを養成するよう努めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

20分間を教材（テキストとテープ）を利用してリスニング・タイムとして、70分をライティング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総理解を、ライティング・タイムはテキストの内容に関する練習問題を通して自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）10%、前期・後期の語学私権40%などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リーディング・テキスト：Your World : Nature, Health, and Lifestyles (英宝社) 1,800円  
リスニング・テキスト：800 English Words in Context (1) (朝日出版) 1,400円

参 考 書 等

随時指示し、適宜コピーも配布します。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
たか 高 見 陽 子	二 営 2 年	2

講義のねらい

IAで養ったライティングとスピーキングの能力を基礎として、英語による、より高度な意思伝達を目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では、文法や構文についての理解を深めながら、さまざまな英語表現に親しみ、英語で書く能力の向上を目標とします。また、グループ・ディスカッションを通して、英語での会話能力の育成を目指します。

履修上の留意点

英作文について出される課題は、必ず提出してください。

成績評価の方法

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席を必要とします。前期・後期試験のほか、小テストやプレゼンテーションなどの課題を重視します。

教 科 書

教科書については未定です。教場にて指示します。

# 英 語 II B

Speed Reading and Intensive : IB を基礎として、出来るだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
おお ば なお き 大 庭 直 樹	二 経 2 年	2

## 講義のねらい

受講生が自らの弱点を補強していく。したがって、到達目標は、各受講生が自らの英語力をレベル・アップする語学演習形式にある。

## 講義の内容・授業スケジュール

このクラスは、コンピューターを使って、英文の読解と速読の演習、更に英文聞き取り演習を行う。英文の読解では、動画を視聴したり、音声を聞きながらの英文の速読演習をする。インターネット（マルチメディア）の世界を体験する。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。

## 成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。成績は、各受講生の「一年間の努力による成果」を評価する。

## 教 科 書

使用ソフト—インターネット、語学教材 CD、Micro English for Windows。受講者はフロッピーデスクのみ用意する—詳細は、教場で指示する。

## そ の 他

上記のソフトは電算機事務室（4号館2F）に置いてあるので、受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補習すること。

英  
語  
II B

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
すぎ むら はつ え 杉 村 初 枝	二 経 2 年	2

## 講義のねらい

IB を基礎として、さらに多くの量を読めるよう、読むスピードをあげて授業を進めます。授業は発表を中心に行いますので、大意を把握することと、難解な英文を正確に解釈することに留意して、十分に予習をして授業に臨んで下さい。

## 履修上の留意点

欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合は、評価の対象となりません。また、原則として遅刻は認めませんので注意して下さい。

## 成績評価の方法

授業時の発表と前後期の試験を基に評価します。必要に応じて中間試験を行います。

## 教 科 書

テキストは開講時に指示します。

担当者名	配当学科	単 位
まるこ てつ お雄 丸 小 哲 雄	二 法 2 年	2

講義のねらい

英語の総理解として環境問題、健康に関する食事や運動の問題、ライフスタイルに関する文書を読み、速読を目指すための読み方を養成します。

講義の内容・授業スケジュール

20分間を教材（テキストとテープ）を利用してリスニング・タイムとして、70分をリーディング・タイムとします。リスニング・タイムは総理解として内容のポイントとその要約の仕方を、リーディング・タイムはテキストの内容に関する練習問題を通して総合能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）10%、前期・後期の語学試験40%などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リーディング・テキスト：Your World: Nature, Health, and Lifestyles（英宝社）1,800円  
リスニング・テキスト：Words to Remember（桐原書店）580円

参 考 書 等

随時指示し、適宜コピーも配布します。

担当者名	配当学科	単 位
もり た たか みつ 森 田 隆 光	二 法 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

国際間の交流が非常に早いペースで進んでいる現在、学生諸君も（各学部に通して言えることであるが）時事英語、経済英語に熟達し、社説程度の文章を自由に英訳できる程度の実力をつけておくべきである。

英文（特に時事文）を書くことは、英語力向上の最短コースである。

成績評価の方法

成績評価 試験60%、レポート20%、出席20%

教 科 書

森田隆光著 NEW WRITING IN CURRENT ENGLISH（駿河台出版社）2,500円（本体）  
（送390円）

担当者名	配当学科	単 位
ささ くら さだ お夫 笹 倉 貞 夫	二 法 2 年	2

講義のねらい

英文の正確な理解およびパラグラフ（段落）毎の大意の把握等に留意しながら、学生諸君の英文読解力の伸張をめざしたい。

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後期末のテストを中心に、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価をだす。

教 科 書

Jane Harrison *Ancient Art and Ritual* 『古代の芸術と祭祀』（鳳書房）

担当者名	配当学科	単 位
や そ き ひろ ゆき 八 十 木 裕 幸	二 営 2 年	2

講義のねらい

現代社会を取り巻く様々なトピックを読みながら、読解力の向上を目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

1回の授業で1ユニットを終わるようにします。演習方式で授業を進めます。

履修上の留意点

座席を固定します。毎回、辞書、レポート用紙を持参して下さい。時々、予習復習テストを行ないます。

成績評価の方法

出席状況、発表状況、諸テストの結果を総合して評価します。

教 科 書

千葉元信他編 *Reading Breakthrough on the World*（三修社）1,700円（税別）

担当者名	配当学科	単 位
なか お しのぶ こう 中 尾 俊 光	二 営 2 年	2

講義のねらい

時事英語を学ぶことを通じて、現実に着目した生きた英語表現を習得し、同時に、国際化の時代に対応できるグローバルな視点の養成を目指します。なお授業は、発表重視の演習形式です。

履修上の留意点

実授業回数の2/3以上の出席を原則とします。

成績評価の方法

前・後期試験（50%）、授業内発表（25%）、レポート・小テスト（25%）を総合評価します。

教 科 書

木塚晴夫 *NEWS WORLD '99* (マクミラン L. H.)

担当者名	配当学科	単 位
うえ すぎ あきら 上 杉 明	二 営 2 年	2

講義のねらい

英文を読むためには何より構文の理解が大切である。単語の意味は判っても構文が読み取れないと正しい文意はつかめない。構文の把握をねらいとしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに合わせて進行する。なるべくネイティブのテープを聴き発音を矯正していく。音読をしたとき意味が伝わらないと困る。学生ひとりひとりのレベルを少しでも上げたい。

履修上の留意点

当てられてはじめてテキストを見るようなことのないように、予習をしてきてほしい。

成績評価の方法

試験の得点も大切であるが平常時の成績を大きく評価する。

教 科 書

堀内克明『異文化を知る総合英語』（三修社）1,500円

参 考 書 等

なるべく新しい大きな英和辞書を用意することである。高校生用の学習辞典では用が足りない。

担当者名	配当学科	単 位
村 石 恵 照	二 営 2 年	2

講義のねらい

Reading の能力を高めることを目指す。英語・英文にかかわる文化的、語法的説明を加えながら、英文和訳の読みぐせを是正しつつ、英文を英文のままに読解する能力を増進することを目指す。(授業は基本的に英語を使用してすすめる)

成績評価の方法

平常の授業参加意欲、テスト、出席を総合的に判断して決定する。特に出席は重視する。

教科書

Headway - *Student's Book Part B* (OXFORD U. P.) 1,650円  
(Pre - Intermediate)



## 英語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
たか はし 高 橋	ひろし 二経・二法・二営3年	2

**講義のねらい**

リーディング演習、語彙・語法に関する演習問題、リスニング演習、英作文演習を通して総合的な英語の運用能力を養うことを目標にします。

**講義の内容・授業スケジュール**

授業の具体的な進め方については教場で指示します。

**履修上の留意点**

演習形式の授業ですので、授業への参加態度、出席を重視します。また必ず予習をして授業に臨むようにしてください。

**成績評価の方法**

前期、後期試験の得点及び出席率に基づいて成績評価を行います。ただし、欠席が8回を越えた時点で不可とし、遅刻（授業開始後30以内まで認める）は2回で1回の欠席とみなします。

**教 科 書**

James Vardaman *Silling America* (Macmillan Languagehouse) 1,800円

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
すぎ むら はつ え 杉 村 初 枝	二経・二法・二営3年	2

**講義のねらい**

テキストの速読と、内容に関するディスカッションを英語で行うことを目指します。授業は発表を中心に行いますので、大意を把握することと、難解な英文を正確に理解することに留意して、十分に予習をして臨んで下さい。

**履修上の留意点**

欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合は、評価の対象となりません。また、原則として遅刻は認めませんので注意して下さい。

**成績評価の方法**

授業時の発表と前後期の試験を基に評価します。必要に応じて中間試験を行います。

**教 科 書**

テキストは開講時に指示します。

担当者名	配当学科	単 位
やそぎ ひろゆき 八十木 裕 幸	二経・二法・二営3年	2

講義のねらい	日本人がおかしやすい英語の誤りを学び、英文の表現力の向上を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	文法解説、誤文訂正、英作文演習となります。各章を1回の割合で進みます。
履修上の留意点	座席を固定します。毎回、辞書、レポート用紙を持参してください。予習をして授業に臨んでください。
成績評価の方法	出席状況、発表状況、諸テストの結果を総合して評価します。
教科書	山崎真稔他編 <i>Learning By Your Mistakes</i> (英潮社) 1,400円

英語  
ⅡA・ⅡB  
(再)

担当者名	配当学科	単 位
ささくら さだお 笹 倉 貞 夫	二経・二法・二営3年	2

講義のねらい	英文の正確な理解及びパラグラフ（段落）毎の大意の把握等に留意しながら、学生諸君の英文読解力の伸張をめざしたい。
履修上の留意点	予習・出席重視。
成績評価の方法	前・後期末のテストを中心に、出席状況等も勘案しながら総合的に最終評価をだす。
教科書	Jane Herrison <i>Ancient Art and Ritual</i> 『古代の芸術と祭祀』（鳳書房）

## [ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	<sup>にい</sup> 新 <sup>くら</sup> 倉 <sup>ま</sup> 真 <sup>や</sup> 矢 <sup>こ</sup> 子	二経 1 年	2

### 講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を学ぶことに力点を置きますが、日常的に使用される文例をもとに対話練習を取り入れて、ドイツ語の基礎力をつけていくことを目標とします。その分文法事項は厳選する予定です。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法事項を比較的簡単に説明した後で、練習問題を多く取り入れて繰り返し練習します。声に出したり、書いたりする練習の中で、確実に身につけてほしいと思います。前の段階の学習項目が理解できてから次のステップに進めるように、努力を怠らないで下さい。

### 履修上の留意点

授業時に行うパートナー練習なども含め、積極的な参加を期待します。

### 成績評価の方法

前期・後期の試験の点数と出席率、その他宿題や小テストなどを総合した点数。

### 教科書

在問進『一歩一歩のドイツ語』（郁文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	<sup>し</sup> 清 <sup>みず</sup> 水 <sup>おさむ</sup> 修	二法 1 年	2

### 講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

### 講義の内容・授業スケジュール

この授業においては「読む・書く」に重点を置いて授業を進めます。語学の学習においては「聞く・話す」「読む・書く」という要素のバランスが重要であることはいままでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙を学ぶことが重要です。ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

### 履修上の留意点

常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進捗は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補っておいください。

### 成績評価の方法

年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断する。

### 教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

### 参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	すぎもと まさとし 杉 本 正 俊	二 営 1 年	2

講義のねらい	ドイツ語を全く知らない人に、発音構成からひとつひとつの文法構造までを教える。
履修上の留意点	やさしく楽しい授業を心掛ける。学生諸君は、予習は必ずしも必要ではないが、授業中は勉強に集中するよう心掛けてほしい。必要に応じて復習を繰返し、なるべく授業外での勉強の負担を減らし、どれほどの成果が得られるかを見てみたい。
成績評価の方法	前・後期2回のテストと、動詞3基本形のテストというものを予定しているが、最終的な評価はテストのみに依らず、総合的判断を行う。
教科書	杉本正俊著『ドイツ語文法・12課』（行人社）1,400円（本体） TEL 03-3208-1166
参考書等	授業中に指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B	にい くら まやこ 新 倉 真 矢 子	二 経 1 年	2

講義のねらい	日常的なコミュニケーションを行うためにドイツ語の表現や会話に親しみながら、読む、聞く、話す、書くの基礎的能力をバランスよく高めていくことを目標にする。ドイツでの生活の場面を通して、実用的な表現を身につけていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	12課+2テキストの教科書なので、後期中頃までに教科書が終わるようにする。毎回、各課のテキスト読解を行い、文法事項を確認し、テキストで扱われている場面での会話の型を確認する。練習問題にそって身近な話題が話せ、書けるように、またドイツ語で自己表現ができるようにする。その後のテキストは、受講者の興味、関心に合わせて決めていく。
履修上の留意点	授業時に行うパートナー練習なども含め、積極的な参加を期待する。
成績評価の方法	前期・後期の試験の点数と出席率、その他宿題や小テストなどを総合した点数。
教科書	新倉真矢子編『ガービとフランク』（郁文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	二法・二営1年	2

講義のねらい

この授業は、IAで習った文法事項を応用しながら、ドイツの日常生活を題材にしたやさしい文章を読んで行きます。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步の積み重ねが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に三回行います。この三回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教 科 書

常木・高木『新初級ドイツ語読本』（郁文堂）1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A・I B 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい

やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・  
授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。  
表現は短くて平易な会話文です。  
テーマは、日常の挨拶に始まり、家族紹介、外出、手紙による旅の報告などです。  
テーマを用いた、聞き取り訓練にも力を入れます。また、さまざまな状況や話題に応じて、パートナー練習をする予定です。

履修上の留意点

テキストには丁寧な文法問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

『佐藤恵子・ドイツ語に親しもう』（同学社）1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	はし橋 もと本 ひろし博	二経2年	2

講義のねらい

1年の文法の復習をしながら、やさしいドイツ文に慣れるようにする。

成績評価の方法

前後期試験結果と平常点を総合して判断する。

教科書

ローベルト・シンチンガー『ニーベルンゲン』（東洋出版）1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	すぎ杉 もと本 まさとし俊	二法2年	2

講義のねらい

簡単なドイツ文を読みながら文法知識をより確実なものにして行く。日本とは異なった外国の文化のかおりを少し味わってほしい。

履修上の留意点

やさしく楽しい授業を心掛ける。学生諸君は、予習は必ずしも必要ではないが、授業中は、勤勉であってほしい。授業外の勉強の負担を少なくする分、授業中は勉強に精神集中してほしい。

成績評価の方法

前・後期2回のテストをいちおう予定しているが、評価はテストのみに依らず総合判断で行う。とにかく授業に出席することが大切である。

教科書

河合節子・黒田廉著『ドイツを知って、ドイツを学ぼう』（三條社）2,200円

参考書等

なるべく「独和辞典」を用意の事

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	ほし 橋 <small>もと</small> ひろし 博	二 営 2 年	2

講義のねらい

一年の文法の復習をしながら、やさしいドイツ文に慣れるようにする。

成績評価の方法

前後期試験結果と平常点を総合して判断する。

教 科 書

ティッセン『ハーメルンのねずみ取り』（白水社）1,020円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	し 清 <small>みず</small> おさむ 修	二 経 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

前期 = 1年間ドイツ語の初歩を学んだばかりの学生にはどんなに易しいテキストでも難しく感じられるはずです。そこで思い切って始めからドイツ語のオリジナルに挑戦してみます。最初は翻訳を参照できるグリム童話（「赤ずきんちゃん」など）を読みます。またインターネット上の最初の情報をドイツ語で読むことに挑戦します。

後期 = 参加者の希望を考慮してテキストを選びます。

履修上の留意点

常に、参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進捗は予測ができません。したがって、やむを得ず欠席した時はそれを自分の責任で補ってお願いいたします。

成績評価の方法

年に2回実施する予定の試験と、出欠状況、活発な笑みある授業にするための貢献等を考慮に入れて総合的に判断します。

教 科 書

テキストは授業内で配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 Ⅱ B	しの 篠原 とし 敏 あき 昭	二法・二営2年	2

講義のねらい

ドイツ語 IA・IB で習った基礎的なことがらを復習しながら、簡単なドイツ文に取り組んでみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。各人の予習が必要です。ドイツの文化や歴史、ドイツ人の考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

予習をやってくること。できるだけ欠かさず出席すること。授業にドイツ語の辞書を必ずもってこること。

成績評価の方法

毎回の授業の予習や宿題の消化も評価に入れます。中間試験、学年末試験および出席なども含めて総合的に評価します。

教科書

西村・篠原・岡田『ドイツ語万華鏡』（三修社）

参考書等

授業のなかで指示します。

その他

テープをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 Ⅱ A ・ Ⅱ B 〔再クラス〕	もと 本 はし 橋 う きょう 京	二経・二法・二営3年	2

講義のねらい

これまで学んだ文法知識を確認しながら、やさしい文章を反復的に読み、読解力の向上を目指します。また、初級文法では時間の制約から、十分に練習できなかった項目を復習・補足します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、刑事もののジャンルに入ります。  
舞台は、とある港町。事件が起きないことには、始まりません。どのような犯罪か？登場人物は？主人公、ナウマン警部だけは名前をあげておきましょう。緊迫した筋を追いかけていくうちに、犯人だけでなく、いささかでもドイツ語の面白さを「捕え」てもらえればと思います。

履修上の留意点

各課には丁寧な文法上の柱が施されています。テキスト理解を深めるためにも、下調べをして参加して下さい。  
みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

M. Wick『黒い帆』（白水社）918円



## [フランス語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	こ だま なり お 夫 小 玉 齊 夫	二 経 1 年	2

### 講義のねらい

フランス語文法を、ていねいに習熟していきたいと思ひます。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

開講時に提示します。

### 履修上の留意点

欠席しないこと。

### 教 科 書

『新川村フランス語』（駿河台出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	きの した ゆう すけ 木 下 雄 介	二 法 1 年	2

### 講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進める。

### 履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもない。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりであるから、地道な努力をつづけるなら、かんたんにマスターできるであろう。学生諸君の努力に期待するゆえんである。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの学生は受講者とは認めない。

### 成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。

### 教 科 書

滑川・前川『四季のフランス語』（第三書房）1,200円。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	八木明美	二 営 1 年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生のための文法中心の講義。一年間で初級文法をひとつお習得し、次のステップへの準備を整えることを目指す。

履修上の留意点

出席を欠かさないこと。復習・宿題を必ず行うこと。

教科書

『ル・フランセ』（白水社）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	前期：桑田のり彰 後期：野沢さやう協	二 経 1 年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

滑川明彦、前川泰子著『ポケットにフランス語』（第三書房）

参考書等

担当者は前期と後期で異なります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	二 法 1 年	2

講義のねらい

やさしいフランス語の文を読んで、その表現のしかたに慣れてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

開講時に提示します。

教 科 書

プリントを配布して、これに基づいて授業を進めていきます。欠席（病欠以外は認めません）すると教材が手に入らない恐れがあります。毎回出席して、指定された課題を必ずこなし、提出することが要求されます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	前 期：くわ た のり あき 桑 田 禮 彰 後 期：のぞ り 協 野 沢 協	二 営 1 年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・  
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかり確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

滑川明彦、前川泰子著『ポケットにフランス語』（第三書房）

参 考 書 等

担当者は前期と後期で異なります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶものとして、簡単な発音の学習のあと、ゆっくりと基本の文法事項を習得してもらいます。

履修上の留意点

毎時間が新しい項目の勉強であり、その積み上げによって次の学習が可能となるので、欠席しないようにして下さい。

成績評価の方法

平常点を基本とし、人数によってはペーパー・テストも行ないます。

教 科 書

高井邦子『フランス語ポイント文法』（駿河台出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	いま ぜき 今 関 ア ン	二経・二法2年	2

講義のねらい

フランス語の基礎知識を完全なものにし、運用能力（話す・聴く・書く・読む）を高めることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年次に学んだ文法を復習しながら、実際に学生間で会話練習をします。

履修上の留意点

ヒアリングと会話の比重が高いため、欠席しないこと。また必ず予習・復習をしてくるように。積極的に授業に参加することを望みます。

成績評価の方法

平常点50%、定期試験50%

教 科 書

藤田裕二『えすかるご2』（朝日出版社）2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	きの した ゆう すけ 木 下 雄 介	二 営 2 年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながらふつうの文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

童話風の読み物をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語の品詞名・用法を確認して授業にのぞむこと。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの生徒は受講者とは認めない。かならずまともな仏和辞典を教室に持参すること（ポケット版の小辞典は不可）。

成績評価の方法

平常点を重視し（約6～7割）、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。

教 科 書

秋山・根岸編『ズームとその仲間たち』（白水社）1,325円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B	や き あけ み 八 木 明 美	二 経 ・ 二 法 ・ 二 営 2 年	2

講義のねらい

フランス語ⅠBの延長上で、文法にかたよらない能力の発展を目指す。

履修上の留意点

欠席をしないこと。予習・復習・宿題は必ず行うこと。自分自身で努力した結果が単位であることを忘れないこと。

教 科 書

『P.P.P.（ペー・ペー・ペー）』（第三書房）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	こ だ ま な り お 小 玉 齊 夫	二経・二法・二営3年	2

講義のねらい	フランス語の原文を、ていねいに読んでいきたいと思います。
講義の内容・ 授業スケジュール	開講時に提示します。
履修上の留意点	欠席しないこと。
教 科 書	プリントを配布して、これに基づいて授業を進めていきます。欠席（病欠以外は認めません）すると教材が手に入らない恐れがあります。毎回出席して、指定された課題を必ずこなし、提出することが要求されます。

## 中国語 I A ・ I B

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているのでほかの外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

I A - I B という週 2 コマの授業を通じて 1 冊の教科書を使用する。I A - I B の組み合わせは学部ごとに固定されており、それを二人の教員が共同で担当する。必ずその 2 コマを 1 セットで履修しなければならないので、登録の際、組み合わせを間違えぬようくれぐれも注意すること。

中国語の学習には、自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

I A - I B の段階では、辞書をひいて未知の語彙を解決するよりも、教科書で与えられた文例をそのまま口と耳で覚えこむことの方が重要である。したがってこの段階では、いたずらに大型の辞書を買ってもあますよりも、下記のような入門用の小型辞書を手もとに置いて、予習・復習の助けとするのがよいだろう。

『標準中国語辞典』[第 2 版] (白帝社) 2,300円

『簡明中日辞典』(東方書店) 2,400円

『簡約・現代中国語辞典』(光生館) 3,500円

『プログレッシブ中国語辞典』(小学館) 3,500円

いずれも語彙数をしぼり、その代わりに基本的な文法事項の説明を充実させており、各語の語釈の下に比較的わかりやすい例文も挙げられている。ほかにも同規模の小型辞典が数種出版されているが、そのような入門学習用の配慮はなされていないので、お勧めできない。なお、辞書をひいたら、日本語の訳語を写すのではなく、ぜひ例文を書き写したり音読したりしてみたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	あきもと たすく 秋 元 翼	二 経 1 年	2
中 国 語 I B	すぎやま やすし 杉 山 静	二 経 1 年	2

### 講義のねらい

初めて中国語を学ぶ人を対象に、1 年間で中国語の基礎が身につくようにすると同時に、言葉の勉強を通じて中国に対する関心が高まることを目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

中国語学習にとって難しいとされる発音の練習を重視しながら、やさしい例文を使って基本的な文法を学び、さらに基本的な語彙や会話表現を学びます。

### 履修上の留意点

4 分の 3 以上の出席と、授業中に声を出して練習する積極的な姿勢が必要です。

### 成績評価の方法

成績評価は、テストによりますが、出席率や日常的な学習態度も重視します。

### 教 科 書

上野恵司『楽しい中国語』(郁文堂) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	しお 塩 なた 旗 しん 伸 いち 一郎 ろう	二法1年	2
中国語 I B	あま 天 の 野 せつ 節	二法1年	2

講義の内容・授業スケジュール

最初の6回までを発音の基本の修得に充て、その後は1週1課を目安に進める。IBで文法をpushさえ、その上でIAの時間に練習を積む。

履修上の留意点

全員が1年間学び通せるよう、脱落者を出さないことを心がける。もちろん、そのためには本人の学び通す意欲が第一義的に重要である。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題、小テスト）および前・後期末テストで総合判断する。

教科書

牧田英二ほか『新訂・例文中心 初級中国語』（同学社）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	すげ 杉 やま 山 やすし 静	二営1年	2
中国語 I B	みや 宮 もと 本 あつ 厚 こ 子	二営1年	2

講義のねらい

中国語を初歩から学ぶ。発音記号（ピンイン）について、学んだ後、初歩的な構文をマスターしてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が、交互に教科書に沿ってすすめてゆく。

履修上の留意点

発音の習得に時間がかかるので、毎回出席し、授業に積極的に参加してもらいたい。

成績評価の方法

それぞれの教員が、学期末に1度ずつ、その他適宜テストを行う。

教科書

黒坂満輝・楊暁安著『ビッグバン中国語』（同学社）2,700円



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	あきもと たすく 秋 元 翼	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい	中国語学習で特に難しく感じるところを丁寧に説明し、挫折せずに基本が身につくようにします。同時に、その学習を通じて中国に対する関心が高まることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	中国語学習にとって難しいとされる発音の練習を重視しながら、やさしい例文を使って基礎的な文法を学び、さらに基本的な語彙や会話表現を学びます。
履修上の留意点	4分の3以上の出席と、授業中に声を出して練習する積極的な姿勢が必要です。
成績評価の方法	テストによりますが、出席率や日常的な学習態度も重視します。
教科書	渡辺晴夫等『(改訂版) フレッシュ中国語』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	あずま えい ぜん 東 映 全	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい	中国語を構成する諸要素(発音、語彙、語法等)を体系的に習得し、中国語の基礎を築くことがこの授業のねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音練習から一步一步着実に前進させながら基本的な語彙と語法を習わせる。中国の文化・社会・慣習などもできる限り紹介する。
履修上の留意点	口を覚えて読むこと、そして反復練習することが語学上達の秘訣である。辞書を用意すること。
成績評価の方法	試験・出席、授業態度等総合的に判断する。
教科書	斎藤道彦等共著『中国を知ろう』(神保出版) 2,500円+税
その他	1回目の授業から必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	おおくばあきお 大久保 明 男	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい	正確な発音と基礎文法の習得をめざす
履修上の留意点	予習、復習は必須である。
成績評価の方法	以下の三項目で評価する ① 出席率：全授業回数の四分の三以上出席すること。6回以上の欠席は単位放棄とみなす。 ② 小テスト：各課終了後に小テストを行う。必ず受けること。 ③ 学習態度：遅刻、早退、私語、指されて「わかりません」の即答など授業に対する消極的な姿勢はマイナス評価される。
教科書	尹景春・竹島毅『中国語はじめの一步』（白水社）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	とばりよしかつ 戸 張 嘉 勝	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい	中国語の発音と声調を正確に覚え、さらに基本文型の解析によって、文の構造と文法を理解し、基本的な会話力と作文力を身につけるのがねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	発音と声調とトレーニングを通して正確な発音を覚える。そして文法や文型の解析、練習問題、会話の応用などは教科書に従い展開する。
成績評価の方法	中間テスト、前期と後期の期末試験、出欠、授業態度などで評価する。
教科書	榎本英雄著『できる中国語』（同学社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	まえ かわ とおる 前 川 亨	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい

中国語の発音（ピンイン字母と声調）、初級文法をもう一度やり直そうとする科目である。到達目標は正規クラスと同一である。

履修上の留意点

昨年つまづいた原因をよく考えてから、しっかりした気持ちで授業に臨むこと。疑問点にぶつかった場合にはその都度解決する姿勢が重要である。文法事項の復習、発音の自主的な練習が不可欠なことは言うまでもない。欠席はとりわけつまづきの元となるから極力避けること。授業中に私語する者・授業に非協力的な者（発音練習を行わない者）の聴講は認めない。積極的にとり組めば、語学の授業も決して単なる苦痛ではなくなるだろう。

成績評価の方法

前期・後期それぞれの期末考査と小テストによる。欠席・遅刻はその数の多少に応じて減点する。三回連続して欠席した場合には履修の意志を失ったものとみなす。

教科書

荒川清秀『中国語ステップバイステップ』（白水社）2,000円

# 中国語ⅡA

IA-IBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解を養う。正確な読解は、読み書きだけではなく、話したり聴いたりするための基礎にもなるものである。

授業は各担当者によって多彩な内容が用意される。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報ではない、内面からの中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

授業には教科書のほかに、以下に挙げるような辞書が必要である。少々高価かもしれないが、これからより小さいもの、およびこれらより古いものは、特殊なものを除けばほとんど実用に堪えず、結局は無駄になってしまうだろう。

『中日辞典』(小学館) 1992年 7,000円

『現代中国語辞典』(光生館) 6,500円

『中日大辞典』(大修館書店) 8,850円 増訂第二版

なお、成績評価の原則は既述のIA-IBに準ずるものとする。

担当者名		配当学科	単 位
おう 王	そう 聡	二 経 2 年	2

## 講義のねらい

発音の復習や簡単な日常会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次学んでいく。中国語のヒアリングと会話の能力を高めることを目標とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期：発音の復習。コミュニケーションの中で実際に使う基本表現の習得。基礎文法の解説。  
後期：日常会話と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。

## 履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

## 成績評価の方法

授業態度・平常点30%、定期試験70%。

## 教科書

楊光俊他『スタート中国語』(CD付き)(三修社) 2,500円

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
すぎ やま やすし 杉 山 静	二 法 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 漢語拼音方案による発音を復習し、生徒に正確な発音方法を習得させる。
- (2) 中文の基本文型、常用語彙の学習を強化し、合せて文法の知識も習得させる。
- (3) 授業はゼミナールの形を取って行なうので、授業前の予習が必要である。

成績評価の方法

- (1) 平常時の授業に臨む態度、予習や準備のしかた等を確認し、重視する。
- (2) 発音テストやヒヤリングテスト及び中間試験、期末試験を実施して、総合的に評価する。

教 科 書

山下輝彦『中国生活便り』（白水社出版）1,900円

参 考 書 等

香坂順一『現代中国語辞典』他。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
あき もと たすく 秋 元 翼	二 営 2 年	2

講義のねらい

Iで学んだ中国語の基礎を復習しながら、さらに次へ進むステップとします。中国への関心もより深まることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

会話的表現を使って基礎的文法を整理し、膨らませることによって、読解力の基礎を養います。適宜、簡単な文章も読み、中国社会や文化に対する理解を深める予定です。

履修上の留意点

学習効果をあげるために、4分の3以上の出席と予習、復習が必要です。

成績評価の方法

成績評価は、テストによりますが、出席率や日常的な学習態度も重視します。

教 科 書

董燕『話す中国語 初級～中級篇』（朝日出版社）2,500円

# 中国語 II B

IA-IBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることができるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のIIAに対し、IIBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすように努めて欲しい。成績評価の原則はIA-IBに準ずる。

担当者名	配当学科	単 位
あずま 東 せい ぜん 映 全	二 経 2 年	2

## 講義のねらい

本講座では、学生諸君が大学一年生の時に学習した中国語A、またはBの音読を再確認し、それからテキストを通じて、読解力の向上にとどまらず、中国をより多く理解することを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

この講座のテキストは、中国の故事や民話、人民生活、新聞記事等から構成された文章を教材の内容とする。このテキストを用い、中国への関心を高めることを目指す。

## 履修上の留意点

出席重視、時間厳守また事前予習することが大切である。必ず辞書を用意すること。

## 成績評価の方法

試験、出席、授業態度等総合的に判断すること。

## 教科書

頼石傳等共著『現代中文課本』（神保出版）1,650円

## その他

1回目の授業から必ず出席すること。

担当者名	配当学科	単 位
おう 王 せい 聡	二 法 2 年	2

## 講義のねらい

発音の復習や簡単な日常会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次学んでいく。中国語のヒアリングと会話の能力を高めることを目標とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期：発音の復習。コミュニケーションの中で実験に使う基本表現の習得。基礎文法の解説。  
後期：日常会話と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。

## 履修上の留意点

予習を済ませてあること前提に授業をする。

## 成績評価の方法

授業態度、平常点30%、定期試験70%。

## 教科書

相原茂『北京上海リスニングツアー』（CD付き）（朝日出版社）2,200円

担当者名	配当学科	単 位
すぎ やま やすし 杉 山 静	二 営 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 先ず、拼音方法の知識を復習しながら、生徒の発音を厳しくチェックする。
- (2) ヒヤリングと会話能力の向上を目指し、この方面の授業に重点を置く。
- (3) 同時に、中国語の構造を文法的に解明し、読解力を増強する。

履修上の留意点

授業は生徒を中心に行なうので、一応ゼミナールの形で進める。従って、授業前の予習、準備はどうしても必要である。

成績評価の方法

- (1) 出席率に基づき、授業に臨む態度、予習の度合等を平常点数として認める。
- (2) 発音テストやヒヤリングテスト、その中間試験及び期末試験の結果により、総合的に判定する。

教 科 書

山下恒夫、石汝傑共著『ことばの旅』(好文出版社) 1,600円

参 考 書 等

香坂順一『現代中国語辞典』

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	あき もと たすく 秋 元 翼	二経・二法・二営3年	2

講義のねらい

Iで学んだ中国語の基礎を復習しながら、さらに次へ進むステップとします。中国への関心もより深まることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

会話的表現を使って、基礎的文法を整理し、膨らませることによって読解力の基礎を養います。適宜、簡単な文章も読み、中国社会や文化に対する理解を深める予定です。

履修上の留意点

学習効果をあげるために、4分の3以上の出席と予習、復習が必要です。

成績評価の方法

成績評価は、テストによりますが、出席率や日常的な学習態度も重視します。

教 科 書

董燕『話す中国語 初級～中級篇』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	おおくぼあきお 大久保明男	二経・二法・二営3年	2

講義のねらい

正確な発音と基本文型の習得をめざす。

履修上の留意点

予習、復習は必要。

成績評価の方法

出席率、小テスト、学習態度で総合評価。出席をもっとも重視する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,000円



## [スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	かめ 亀 やま 山 こう 晃 いち 一	二経・二法・二営1年	2

### 講義のねらい

初級文法から始め、発音・イントネーションを練習する。初級文法を終えた後、比較的簡単な会話の練習と文章講読により、スペイン語圏で生活したり、旅するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行ないます。テープ、ビデオを併用して、背景文化の歴史にも触れ、関心を育てる。

### 履修上の留意点

成績評価は、年間数回のテストと日頃の出席状況・受講態度を総合して行ないます。

### 教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	おぎ の 萩 の 野 まさ 雅 じ 司	二経・二法・二営1年	2

### 講義のねらい

スペイン文化の大きな部分を占める言語であるスペイン語を、本国の言葉（特にカステリャーノ）のみに限定せず、中南米で今日常用されているものをも含めて概観することを狙いとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習しますが、時間の許す限り、プリント、ビデオ等を併用してヒスパニック圏全体の人々の物の考え方や習慣を紹介しします。

### 履修上の留意点

適時、英語の語法との対比を行うことで理解を促進することを、本クラスの特徴としています。英語を得意とする、或は英語が好きな学生諸君の受講を特に歓迎します。

### 成績評価の方法

原則として中間と期末の2回の major なテストを行いますが、成績の評価に当ってはその結果のみに限定しません。むしろ日頃の出席状況と受講態度（受け答え）を重視して評価します。従って、年間を通じて欠席することが少ない学生の受講を希望します。

### 教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	なか やま なお じ 次 中山直次	二経・二法・二営1年	2

講義のねらい	スペイン語文法の概要を、体系的にかつ能率よく修得することをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、スペイン語文法の基本事項を説明した後、理解を深めるために練習問題を解く。ただし、最初の数回は、集中的に発音練習を行う。なお、文法の学習では、授業がやや単調になることが避けられないと思われるので、あらかじめ了解しておいて欲しい。
履修上の留意点	大学1年次で初めて学習する「初習」科目なので、なるべく欠席しないようにしてもらいたい。また、当然ながら、毎回予習をして授業に臨んで欲しい。
成績評価の方法	授業中の演習や応答の状況を記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする（いわゆる学期末定期試験は行わない）。
教科書	中山著『やさしいスペイン語』（白水社）
参考書等	辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社） 特に上掲書でなくともよいが、手頃な辞書と参考書を各一冊ずつ用意しておいて欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	くり ばやし え 絵 栗林ゆき絵	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい	基本的な文法事項の再確認をしましょう。
講義の内容・授業スケジュール	単語の数を増やすより基本的な動詞の活用をきちんとおさえておくことで、日常表現の幅を広げます。
履修上の留意点	特に重要な10程度の動詞を重点的に学習してみてください。それだけで十分普段の会話が出来たり、簡単な文章が読めるようになります。
成績評価の方法	試験と平常点を合わせた評価となります。
教科書	石崎優子・フェリサ レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）1,800円
参考書等	随時 web 上のスペイン語の記事など、短いテキストを用意する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	なか やま なお し 中 山 直 次	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい

1年次で学習したスペイン語文法の知識を復習しつつ、それを各種の表現に応用できるようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、おなじみの童話「赤ずきんちゃん」や「シンデレラ」を読み、そこから抽出した文法事項を説明し、関連した応用表現を演習する。

履修上の留意点

一度履修すると決めたら、意識を明確に持って出席を励行して欲しい（無遅刻・無欠席者に対しては、成績評価の際に特別な加点を考える予定）。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況を記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする（いわゆる学期末定期試験は行わない）。

教 科 書

中山著『スペイン語が面白いほど身につく本』（中経出版）

参 考 書 等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分まにあうと思う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい

スペイン語で書かれたテキストを読みながら、基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現形式を身につけ、スペイン語圏で生活したり、旅する時に困らない為のコミュニケーション能力の開発と養成を行ないます。テープを利用して、ネイティブ・スピーカーの発音に慣れる。又、ビデオにより、背景文化への理解と関心を育てる。

履修上の留意点

成績評価は、年間数回のテストと日頃の出席状況・受講態度を総合して行ないます。

成績評価の方法

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	<sup>くり</sup> 栗 <sup>ぼやし</sup> 林 <sup>え</sup> ゆき絵	二経・二法・二営3年	2

講義のねらい	文法事項を復習しながら、少しずつレベルアップしましょう。
講義の内容・ 授業スケジュール	文法事項にひとつお目を通して復習するほか、簡単な小説や短い新聞記事なども読んでみましょう。
履修上の留意点	スペイン語の表現が日本語のどんな表現にあたるか比較しながら勉強してみてください。
成績評価の方法	試験と平常点を合わせた評価となります。
教 科 書	石崎優子・パストール『続・スペイン語世界への窓』（芸林書房）2,000円
参 考 書 等	随時 web 上のスペイン語の記事など、短いテキストを用意する予定です。

## 〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	二経・二法・二営1年	2

### 講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

### 成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

### 教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』（白水社）1,400円

### 参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I B	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	二経・二法・二営1年	2

### 講義のねらい

ロシア語 I A で学んだアルファベットや言葉を、具体的に用いられる日常会話の形式で繰り返し練習し、簡単な挨拶から始まるやさしい表現を直接耳から聞き覚えます。ディクタント（書取）を行い、耳で聞き取り、筆記体でもしっかりと書けるようにします。

### 成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

### 教科書

米重文樹『話すロシア語入門』（白水社）1,300円

### 参考書等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	二経・二法・二営2年	2

ロシア語ⅠAの内容に準じる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows 95で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡB	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	二経・二法・二営2年	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	二経・二法・二営3年	2

ロシア語ⅡAの内容に準じる。

# 英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFLのスコア450点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	との いけ かず こ 外 池 一 子	二経1・2・3・4選 二法1・2・3・4選 二営1・2・3・4選	2

## 講義のねらい

旅行やホームステイといった状況で英語で意志疎通が出来るようになることを目指します。

## 講義の内容・授業スケジュール

ビデオとテープを使って様々な状況に応じた基本的な表現を練習しますが、speakingの力とlisteningの力は表裏の関係にありますから、listening comprehensionの訓練にも時間をかけます。

## 履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセット及びビデオテープを必ず持ってくること。

## 成績評価の方法

平常点30%、授業の進度に合わせて行う試験70%。

## 教 科 書

VIVA! SAN FRANCISCO (MACMILLAN LANGUAGE HOUSE) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	との いけ かず こ 外 池 一 子	二経1・2・3・4選 二法1・2・3・4選 二営1・2・3・4選	2

## 講義のねらい

旅行やホームステイといった状況で英語で意志疎通が出来るようになることを目指します。

## 講義の内容・授業スケジュール

ビデオとテープを使って様々な状況に応じた基本的な表現を練習しますが、speakingの力とlisteningの力は表裏の関係にありますから、listening comprehensionの訓練にも時間をかけます。

## 履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセット及びビデオテープを必ず持ってくること。

## 成績評価の方法

平常点30%、授業の進度に合わせて行う試験70%。

## 教 科 書

VIVA! SAN FRANCISCO (MACMILLAN LANGUAGE HOUSE) 2,000円



# 英語 L L I ・ II

ランゲージ・ラボ（1号館3・4階のLL教室）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIとも TOEFLで450点、英検2級合格程度を達成目標として目指す初級レベルのクラスです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	おがさわら りゅうげん 小笠原 隆元	二経1・2・3・4選 二法1・2・3・4選 二営1・2・3・4選	2

## 講義のねらい

英語も日本語も現実的には世界中の人口の内、20億人程と1億3千万人が日常、目、耳、鼻、口、体、心を使い、体全体で学習され、使われている。

故に語学は「体学」と心得て、このクラスでは、日本語を母国語とする我々が、英語と言う言語で自己表現、自己主張出来ることをめざして、目耳口体等の全てを使って生きている言葉になれることを目標としたい。

## 成績評価の方法

全て平常点と総合的評価

## 教科書

受講生の実力により教場で指示

## その他

毎日15分以上の音読、テープの聴取、自由英作文などを続ける心得、決意があり、英語の実力向上を積極的をめざす学生を期待します。耳と口と心と体（からだ）全体で英語に取り組む決意のある諸君が受講するよう期待しています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	とのいけ かずこ 外池 一子	二経1・2・3・4選 二法1・2・3・4選 二営1・2・3・4選	2

## 講義のねらい

リスニングの力をつけることを中心にし、最終的にはアメリカの三大ネットワークのニュース程度の速さの生の英語を聞いて理解できるようになることを目指します。

## 講義の内容・授業スケジュール

まずアメリカ英語の音声の区別を聞き分け、発音し分けられるように、その後英語のリズムや音の連結、脱落などの変化に習熟する訓練をします。

## 履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセット及びビデオテープを必ず持ってくること。

## 成績評価の方法

平常点30%、授業の進度に合わせて行う試験70%。

## 教科書

10-Minute Basic Listening (桐原書店) 950円 (前期用)

# 4 保健体育科目

# 保健体育科目時間割

(於：本校体育館)

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		
6 時 限	二経	大 石	トレーニング&ニュースポーツ			二経	高 橋	空手道	長 濱	健康・スポーツ論
	二営	川 村	バドミントン			二営	※三幣	バドミントン		
		宮 沢	卓球				村 松	卓球		
7 時 限	二経	※大石	トレーニング&ニュースポーツ	竹 田	健康・スポーツ論	二経	高 橋	空手道		
	二法	川 村	バドミントン			二法	三 幣	バドミントン		
	二営	※宮沢	卓球			二営	※村松	卓球		

※は、科目の主担当者

## 4 保健体育科目

健康・スポーツ論（前期）（長濱友雄）	115
健康・スポーツ論〔再クラス〕	
健康・スポーツ論（前期）（竹田幸夫）	116
健康・スポーツ論〔再クラス〕	
健康・スポーツ実習（卓球）（村松誠・宮沢栄作）	117
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（卓球）	
健康・スポーツ実習（トレーニング&ニュースポーツ）（大石武士）	118
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（トレーニング&ニュースポーツ）	
健康・スポーツ実習（バドミントン）（川村正義・三幣晴三）	119
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（バドミントン）	
健康・スポーツ実習（空手道）（高橋俊介）	120
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（空手道）	
生涯・スポーツ実習（集中前期・基礎）（休講）	
生涯・スポーツ実習（集中前期・応用）（休講）	
生涯・スポーツ実習（集中後期・基礎）（休講）	
生涯・スポーツ実習（集中後期・応用）（休講）	
生涯・スポーツ演習（シーズン前期・基礎）（三幣晴三他）	121
生涯・スポーツ演習（シーズン前期・応用）	
生涯・スポーツ演習（シーズン後期・基礎）（村松誠他）	123
生涯・スポーツ演習（シーズン後期・応用）	

# 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	二 経 1 選 必 二 法・二 営 1・2・3・4 選	2
健康・スポーツ論(前期) 〔再クラス〕		二 経	

講義のねらい

我々日本人は世界一の長寿を誇っているが、ほんとうに健康で活力に満ちた生活を送っているのだろうか。最近のデータによれば体格は非常によくなったけれども、それに反して体力は低下している。そこでどのような生活をし、体力の増強を計らなければならないかを中心に講義を進めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：現代生活の身体活動、余暇と運動
- 2 時限目：体力の定義、時代の変遷と体力
- 3 時限目：運動を起こす身体のしくみ
- 4 時限目：運動を持続する身体のしくみ
- 5 時限目：運動の継続体験に対応する身体の変化
- 6 時限目：体力の指標と運動の激しさの尺度
- 7 時限目：体力トレーニング理論
- 8 時限目：体力・運動能力の個人差と素質
- 9 時限目：運動と外気環境
- 10 時限目：運動と心理的要因
- 11 時限目：運動と食事・薬物
- 12 時限目：運動と疲労
- 13 時限目：ドーピング論
- 14 時限目：エイズ問題
- 15 時限目：オリンピック論

履修上の留意点

出席50%以下の者は採点の対象にしない。

成績評価の方法

出席30%、テスト70%で評価する。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

『保健体育理論』『体力論』『人間と健康』

そ の 他

主として講義で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	たけ だ ゆき お 竹 田 幸 夫	二 経 1 選 必 二法・二営1・2・3・4選	2
健康・スポーツ論(前期) 〔再クラス〕		二 経	

#### 講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりで考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義の内容から、自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限：人間と健康（心と体、現代病）
- 3 時限：〃（心と体、ストレス）
- 4 時限：〃（心と体、肥満とダイエット）
- 5 時限：体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6 時限：〃（体力要素の特徴）
- 7 時限：〃（トレーニング方法）
- 8 時限：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9 時限：〃（運動の上達、習熟とは）
- 10 時限：〃（運動の発達）
- 11 時限：〃（スポーツにおける右と左）
- 12 時限：〃（イメージトレーニング）
- 13 時限：〃
- 14 時限：まとめ
- 15 時限：試験

#### 履修上の留意点

授業において扱う内容を、知識として聞くだけでなく、自分の身近な、そして具体的な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

授業最後の試験と出席を加味して成績評価を行なう。

#### 教 科 書

駒沢大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円

#### 参 考 書 等

授業内容と関わりのある以下の書籍を参考図書として上げておきたい。

- 1) 芦原睦著『心でおきる身体の病』（講談社ブルーバックス）760円
- 2) D. チョブラ著『パーフェクトヘルス』（ダイヤモンド社）
- 3) 白石豊著『スポーツ上達の基礎理論』（自由現代社）1,200円

#### そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓 球)	むら まつ まこと みや ざわ えい さく 村 松 誠 ・ 宮 沢 栄 作	二 経 1 選 必 二 法 1・2・3・4 選 二 営 1 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓 球)		二 経 ・ 二 営	

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは益々減少しつつある。このような生活環境、特に二部学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて身体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時 限 目：ラケットの種類の特長、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時 限 目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時 限 目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時 限 目：サービス、バックハンド
- 6 時 限 目：サーブレシーブ、バックハンド
- 7 時 限 目：総合練習
- 8 時 限 目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時 限 目：シングルスゲーム
- 10 時 限 目： 〃
- 11 時 限 目： 〃
- 12 時 限 目：ダブルスゲーム
- 13 時 限 目： 〃
- 14 時 限 目： 〃
- 15 時 限 目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

そ の 他

服装は運動着、体育館用シューズ。  
用具は全て貸与する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング&ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	二 経 1 選 必 二 法 1・2・3・4 選 二 営 1 必	2
健康・スポーツ実習 (再クラス)(トレーニング&ニュースポーツ)		二 経 ・ 二 営	

#### 講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシンがなくてもできるメディシンボールやユニットダンベル等、簡単な器具で行う体力づくりを正しく行い、現在及び将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、ニュースポーツとして現在静かなブームをおこしている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラを余暇ゲーム感覚で行い、楽しみながら生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：審判規則・ゲーム
- 8 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 9 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 10 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 11 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 12 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 13 時 限 目：まとめ
- 14 時 限 目：まとめ
- 15 時 限 目：テスト

#### 履修上の留意点

- 1) 定員は40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：第二体育館2階

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	かわむらまさよし・みぬさはるみ 川村正義・三幣晴三	二 経 1 選 必 二 法 1・2・3・4 選 二 営 1 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(バドミントン)		二 経・二 営	

#### 講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習（バドミントンのシング技術・グリップ）
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックシングの基本技術  
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 3 時限目：スマッシュの基本技術／ネット際のプレー技術  
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明  
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

#### 履修上の留意点

服装：一般的な運動服装  
シューズ：運動靴（体育館用として中履きのシューズを使用すること）

#### 成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

#### そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	二 経 1 選 必 二 法 1・2・3・4 選 二 営 1 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(空手道)		二 経・二 営	

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に向かって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

- 1) 服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。
- 2) 教場：第2体育館2階

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎)	み ぬま はる み 他 三 幣 晴 三	二経・二法・二営 1・2・3・4選	2
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・応用)			

## ゴルフ

### 講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。本講義は、大学内で行われているゴルフ授業を一步進めて、自然の中での実際のゴルフを基本からラウンドまで体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに大学内の授業やその他で体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやラウンドにおけるエチケット、さらに同伴競技者（パートナー）とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。生涯スポーツ演習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフをとおして良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 事前講義：5月14日(金)12:10～12:50 2研101教場「オリエンテーション、ゴルフの基本的知識1」  
7月3日(土)14:30～16:00(4時限目)1-405教場「ゴルフの基本的知識2」  
7月10日(土)14:30～16:00(4時限目)1-405教場「ゴルフの基本的知識3」  
※上記の事前講義は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。なお、やむを得ない理由により、事前講義に参加できない場合は、事前に担当教員に相談すること。対応を考慮する。
- 実習内容  
1日目《9月6日(月)》14:00～17:00オリエンテーション・打撃練習(7番アイアン/グリップ・アドレス・スイングの基本練習)  
講義 19:00～21:00 《ゴルフスイングの基本》  
2日目《9月7日(火)》9:00～12:00/13:30～16:30打撃練習(7番アイアン・9番アイアン)、アプローチ練習、打撃練習(ウッド)、パッティング練習  
講義 19:00～21:00 《ゴルフのエチケット・マナー》  
3日目《9月8日(水)》9:00～12:00/13:30～16:30打撃練習(5、7、9番アイアン、ウッド)、アプローチ練習(PW、SW、7番アイアン)、パッティング練習  
講義 19:00～21:00 《ゴルフルール・ラウンドについて》  
4日目《9月9日(木)》9:00～12:00/13:30～16:30ラウンド(本コース・ショートコース)  
講義 19:00～21:00 《ラウンドの反省と総括》  
5日目《9月10日(金)》9:00～11:00/12:30～14:30ラウンド(本コース・ショートコース)

### 履修上の留意点

- 服装：一般的なゴルフ服装(セーター・ウィンドブレーカーも天候によって必要)  
シューズ/グローブ：練習は運動靴でもよいが、ラウンドはゴルフシューズが必要。特に経験者は、正式の本コースをラウンドするので、ゴルフシューズ及びグローブは、必ず各自で用意すること。  
※ゴルフクラブ・キャディーバッグ・ボール・ティーは大学で用意するが、自分のものを持参してもよい。
- 場所：宿 泊：軽井沢スケートセンターホテル ☎(0267) 46-1111  
練習場：軽井沢ゴルフ練習場(アプローチ練習場を含む) ☎(0267) 48-1211  
コース：馬越ゴルフコース/和美パー3コースその他
- 期日：平成11年9月6日(月)～10日(金)4泊5日
- 募集人員：15名(定員になり次第締め切る)
- 集合/解散：現地(軽井沢スケートセンターホテル) / 詳細(時間：道順など)は下記のオリエンテーションで説明するので必ず出席すること。
- 費用：49,000円(ラウンド費用を含む) ※交通費は含まれない。(現地集合・解散)
- 納入方法：上記49,000円を、経理部または第二学事課窓口で、平成11年5月17日(月)～5月28日(金)までに納入すること。
- オリエンテーション：上記の事前講義5月14日(金)、7月3日(土)、7月10日(土)で実習の説明を行うので必ず出席すること。
- 生涯スポーツ演習(基礎)(応用)の区分

生涯スポーツ演習（基礎）：初心者を対象とする。ゴルフの基本的知識を理解し、ゴルフスイングの基本的運動を実習してショートコースをラウンドする。  
生涯スポーツ演習（応用）：既にゴルフラウンドを2～3回経験した者を対象とする。ゴルフの全般的な知識を理解させ、さらにゴルフスイングの実際のラウンドでのさまざまな応用を実習し、ラウンドを主体にして体験させる。

(10) 申し込み・期日：第二学事課窓口／履修届受付期間

成績評価の方法

単位数は、事前講義と実習の参加で2単位。出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合には、早急に保健体育部（☎03-3709-0717）に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎)	むら まつ 村 松	二経・二法・二営 1・2・3・4選	2
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・応用)			

## ス キ ー

### 講義のねらい

現在、わが国においてスキーは国民のスポーツといわれるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできる種目として定着している。将来においても、スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、並びにゲレンデにおけるマナーについての理解を深めていきたい。

実習は、スキー技能レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けをして実施する。各班とも本学教員、および全日本スキー連盟指導員の指導によって行う。

コース内容は、基礎コースではシュテムターンの習得、応用コースではウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成を目指す。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 生涯スポーツ演習（基礎）（応用）の区分
  - 生涯スポーツ演習（基礎）：初心者・初級者を対象とする。  
歩行、直滑降、プルーク、プルーク・ボーゲン、斜滑降、横滑り、プルーク・ターン、シュテム・ターン
  - 生涯スポーツ演習（応用）：中級者・上級者を対象とする。  
斜滑降、横滑り、シュテム・ターン、パラレル・ターン、ウェーデルン、様々な斜面へ対応する総合滑降技術
- 事前講義：5月14日（金）12:10～12:50 2研-102教場「オリエンテーション・スキーの基本的知識1」  
12月4日（土）14:30～16:00（4時限目）1-405教場「スキーの基本的知識2」  
12月11日（土）14:30～16:00（4時限目）1-405教場「スキーの基本的知識3」  
※上記の事前講義は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。なお、やむを得ない理由により、事前講義に参加できない場合は、事前に担当教員に相談すること。対応を考慮する。

### 3. 実習内容

1日目〈2月21日（月）〉	10:30 14:00～17:00 19:00～21:00	軽井沢スケートセンターホテル集合 班別の実習 講義（スキー場におけるマナー）
2日目〈2月22日（火）〉	9:00～12:00 13:30～17:00 19:00～21:00	各班毎の実習 〃 講義（スキーの基本技術）
3日目〈2月23日（水）〉	9:00～12:00 13:30～17:00 19:00～21:00	各班毎の実習 〃 講義（スキーの応用技術）
4日目〈2月24日（木）〉	9:00～12:00 13:30～16:30 19:00～21:00	各班毎の実習 〃 講義（スキー実習の総括）
5日目〈2月25日（金）〉	9:00～12:00	各班毎の実習・評価 軽井沢プリンスホテルスキー場解散

### 履修上の留意点

シーズンコース・スキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 日程：平成12年2月21日（月）～2月25日（金）の4泊5日
- 場所：実習 軽井沢プリンスホテルスキー場  
宿泊・講義 軽井沢スケートセンターホテル ☎(0267)46-1111
- 受講料：49,000円 ※尚、現地集合・解散の為、交通費は含まれない。  
※受講者は、費用を納入期間の平成11年5月17日（月）から5月28日（金）までに経理部または第二学事課窓口で納入すること。
- 定員：30名  
履修希望者は、第二学事課窓口にて履修届け受付期間に手続きを済ませること。  
定員になり次第締め切る。

- 5) 『履修届』に関する注意：第二学事課に提出する『履修届』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限（後期）』で記入すること。
- 6) オリエンテーション：上記の事前講義（5月14日（金）・12月4日（土）・12月11日（土））で実習の説明を行うので、必ず出席すること。
- 7) スキー用具とウェア：スキー用具は、現地でレンタル可能（有料）。ウェアは、各自で事前に準備しておくこと。
- 8) 卒業年次生：成績発表及び再試験申込み受付・成績質疑応答期間と重なるので、卒業年次生は卒業取得単位を十分に考慮して履修すること。

#### 成績評価の方法

事前講義および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価方法は、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキーの基本技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

#### 教科書

DSK（大学スキー研究会）編 『スキー教本』1,155円

#### その他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（☎03-3709-0717）に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

## II 專門教育科目





# 1 經 濟 学 部

専門 教 育 科 目	經 濟 学 部
	法 学 部
	經 營 学 部



## II 専門教育科目

### 1 経済学部

経済学概説	(清水卓)	131
経済学概説	(徳永俊明)	132
経済学原論Ⅰ	(有井行夫)	133
経済学原論Ⅱ	(浅野克己)	135
会計学総論	(遠藤孝)	136
経済学史	(休講)	
経済数学	(水野勝之)	137
価格理論	(荒木勝啓)	138
国民所得論	(吉野紀)	139
計量経済学	(藁谷友紀)	140
統計原論	(稲葉敏夫)	140
景気循環論	(西村允克)	141
現代資本主義論	(北原勇)	142
社会思想史	(大川正彦)	143
経済史	(安元稔)	144
日本経済史	(渡辺新)	145
西洋経済史	(友松憲彦)	146
経済政策	(石井啓雄)	148
農業政策	(米田浩史)	149
工業政策	(福田敦)	150
経済地理	(休講)	
中小企業論	(三井逸友)	151
環境経済論	(山口由二)	153
財政学	(休講)	
財政政策	(休講)	
地方財政論	(篠原章)	154
金融論	(休講)	
国際金融論	(秋山誠一)	155
社会政策	(光岡博美)	156
人口論	(森岡仁)	157
教育経済論	(谷敷正光)	158
労働経済論	(休講)	
日本経済論	(工藤昌宏)	160
国際経済論	(休講)	
アジア経済論	(郭洋春)	161
中国経済論	(休講)	
アメリカ経済論	(瀬戸岡紘)	162
ヨーロッパ経済論	(休講)	
ロシア・東欧経済論	(休講)	
情報・経済ネットワーク論	(中濟光昭)	164
プログラミング論	(濱本和彦)	165
情報処理論	(黒部晃一)	166
商学総論	(大吹勝男)	167
商業政策	(休講)	

マ	一	ケ	テ	イ	ン	グ	(曾	我	信	孝)	.....	169
交			通			論	(塩	我	信	孝)	.....	170
商			業			史	(幸	見	英	治)	.....	171
消			経			論	(丸	野	保	典)	.....	172
経	費	管	学			論	(休	山	直	子)	.....	173
経	営	管	管			論	(百	(休	講	)	.....	174
財	営	務	理			理	(白	田	義	治)	.....	175
勞	務	管	管			論	(休	坂	亨)	.....	176	
経	営	略	略			論	(田	(休	講	)	.....	177
簿	管	学	学			史	(岩	淵	泰	男)	.....	178
財	務	計	計			論	(川	永	宏	治)	.....	179
会	計	監	計			論	(小	口	修)	.....	180	
管	理	査	算			論	(休	栗	崇	資)	.....	181
原	価	會	計			論	(休	(休	講	)	.....	182
税	務	計	分			論	(高	木	克	己)	.....	183
経	営	易	分			析	(小	栗	崇	資)	.....	184
貿	易	実	実			論	(古	沢	紘	造)	.....	185
貿	易	実	実			務	(休	(休	講	)	.....	186
銀	券	行	場			論	(佐	藤	昇)	.....	187	
証	保	市	場			論	(今	泉	敬	忠)	.....	188
保	民	法	法			法	(織	田	晃	子)	.....	189
民	商	法	法			法	(島	原	宏	明)	.....	190
経	勞	法	法			法	(岡	田	外	司博)	.....	191
原	書	講	講			法	(藤	本	茂)	.....	192	
原	書	講	講			(英)	(中	田	秋	男)	.....	193
原	書	講	講			(英)	(広	田	秀	樹)	.....	194
原	書	講	講			(独)	(濱	本	知	寿香)	.....	195
現	代	經	濟			(仏)	(中	田	秋	男)	.....	196
現	代	經	濟			I	(高	橋	乘	宣)	.....	197
現	代	經	濟			II	(平	石	裕	一)	.....	198
現	代	經	濟			III	(田	口	定	雄)	.....	199
現	代	經	濟			IV	(比	賀	江	克)	.....	200
現	代	産	業			I	(岩	下	弘)	.....	201	
現	代	産	業			II	(百	田	義	治)	.....	202
演		習	習			I・II	(岩	永	宏	治)	.....	203
演		習	習			I・II	(友	松	憲	彦)	.....	204

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	し 清 みず 水 たかし 卓 卓	二 経 1 必	4

#### 講義のねらい

経済学概説は、経済学部に入学者の1年生の皆さんが、経済学部の専門科目の履修(学習)を、無駄なく、目的意識的に進められるように、導入的な意味で設置された科目です。

皆さんの多くは、経済や社会の仕組みや動きを知ること、それほど強い関心をもっていないかもしれませんが。経済学部を選んだのも、経済は大事だから経済学を勉強しておけば、世の中の事を少しは知り、将来役立つかもしれない、と言ったような漠然とした期待からだったかもしれません。あるいはそうではなくて、入学当初から、大学卒業後の人生設計ができていて経済学部で学ぼうとする事柄も既に決まっている皆さんもいるでしょう。

ですから、理想的には、皆さん一人一人と話し合っ、何を、どのように学習したら良いのか、について意見を交換することでしょう。しかし、残念ながら、大学の教育制度は長い伝統を引きずっており、一人一人の学生の皆さんと1対1で話し合う場は制度化されていないのが実情です。しかしそうした中でも、皆さんが4年間を通じて目的意識的、系統的に学習できるように、経済に関する色々な出来事を解説したり、経済学の様々な分野を紹介する形で、この講義を進めて行くつもりです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は、いちおう、下に示す教科書に沿って進めます。いちおう、と言う意味は、「正しいことが書いてあるので、それを理解ないし消化すべき」高校までの教科書とは違って、ここでいう教科書というのは、「道しるべ」という程度の位置づけであるからです。「道しるべ」なしに闇雲に歩き回っても疲れるだけで得るものは少ないでしょう。ですから、「道しるべ」に沿って学習していきますが、日々変化する世の中の重要な出来事につづかれればその意味を考えたり、皆さんに研究発表してもらったり、退屈しない変化に富んだ講義にしていくつもりです。それにもかかわらず、なぜ、教科書を指定するかといえば、経済学という学問を学ぼうと、是非とも理解しておかなければならない基本的・初歩的な事柄、用語、概念については、「ある程度」頭に定着させることが必要であると考えたからです。いろはにほへとも知らないでは日本語は理解できませんね。正しい日本語を修得するには、長い時間かけて練習しなければならず、いろいろな場面で実際に使ってみて、次第に身につくものです。経済学に限らず、およそ学問という山に上るにはそうした努力が不可欠です。

#### 履修上の留意点

経済学を学ぼうとすの難しさは、経済という人間の営み・行為があまりにも日常にありふれているにもかかわらず、改めて考えると、実際には何も分かっていないことが多いことです。有名企業の名は知っている、その企業の株主や、事業所の場所や、そこで働く人の労働時間、賃金まで知っていることはまずありません。ために、皆さんの保護者の払う税金の種類と額、給与表の項目を知っていますか。そうした、経済にかかわる現実を知らないでは、非常に抽象度の高い経済理論を理解することは困難です。そこで日頃、私は、周囲の学生に「新聞」を読む習慣を大学生の間に身につけなさいとアドバイスしています。身の回りから世界各地の出来事まで、読めば読むほど興味深い世界が広がっていきます。新聞を読むことが楽しみになった時、皆さんの知識も教養(幅広い感受性や考え方)も驚くほど鍛えられているでしょう。将来どんな世界で生きることになっても、この習慣はきっと役立つに違いありません。そうした願いから、授業では新聞を積極的に取り入れていくつもりです。

#### 成績評価の方法

前期と後期それぞれペーパーテストを行います。授業の出席状況も成績評価に反映させます。

#### 教科書

鶴田満彦『入門経済学』(有斐閣新書) 900円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	徳永俊明	二経1必	4

#### 講義のねらい

この講義は、駒沢大学経済学部に入學した諸君に、〈経済学〉が、人生設計とその営みの基本にかかわる重要な学問領域であること、したがってまた、生き生きとしたおもしろいものであることを分かってもらうことを目標にします。一方的な話ではなく、諸君とともに“考える”という姿勢でとりくみたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

つぎのような柱を設けますが、順序・回数などは諸君の理解度や講義の進行状態によって変わることもあります。

- 〔前期〕
- ① 〈社会〉と〈歴史〉について
  - ② 〈立場〉の問題
  - ③ 経済学の位置と目的
  - ④ 経済学の対象
  - ⑤ 〈第三世界〉はいま……
  - ⑥ 〈アメリカ〉はいま……
  - ⑦ 〈日本〉はいま……
  - ⑧ 〈資本主義〉と〈社会主義〉
- ・ほかに独習文献1～2点

- 〔後期〕
- ① 〈企業〉とは？
  - ② 〈会社員〉について
  - ③ 〈仕事〉と〈人生〉
  - ④ 〈豊かさ〉と〈貧しさ〉
  - ⑤ 〈自由〉または〈幸福〉
  - ⑥ 〈生活〉とは？
  - ⑦ 〈人生〉と経済学
  - ⑧ 総括

・ほかに独習文献1～2点

\*毎回プリントを配布して講義します。

\*独習文献については「所感」を提出してもらいます。

#### 成績評価の方法

まず何よりも講義をしっかり聞き、ポイントを理解する努力を求めます。その上で、前期・後期各1回のレポート提出を課すこととします。したがって、追・再試験は行いません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論 I	ありい井ゆきお夫	経済学専修1・2 必 商学専修1・2 選	4

#### 講義のねらい

スーパーマーケットに行ってごらんください。実に多くの種類の商品が整然と積み上げられています。しかも、より多く使われるものは大量に、そうでないものは少量にという具合に、一定の量的構成で積み上げられています。

諸商品の堆積、こういう観点から見れば、私たちの暮らすこの社会全体が、すなわち日本という国全体が、ひとつの巨大なスーパーにほかなりません。また、諸商品の来し方をたずねれば、どこかの工場での生産であり、行く末を見れば、他のどこかの工場での生産的消費であり、あるいはどこかの家庭での個人的消費です。これらの観点から見れば、日本という国の全体が、ひとつの巨大な工場でもあり、ひとつの巨大な家庭でもあります。

それにもかかわらず、実際には、日本という国そのものは、ひとつのスーパーでも、ひとつの工場でも、ひとつの家庭でもありません。諸商品の、私的な、ばらばらの生産者たち、売り手たち、消費者たちが、競争を通じて複雑に入り組みもつれあって、さまざまなアンバランスの絶え間ない修正運動のなかで、結果的に、あるバランスをもった社会経済システムをつくりあげているのです。不思議ではありませんか。

かぎりない利潤追求を基本的な活動動機とする企業の商品生産にもついで、現代的商品経済は成りたっています。本講義の目的は、この基礎的な仕組みを明らかにすることです。その際、現代は純粋に私的な商品経済ではなく、さまざまな「公共的なものの総括」として経済的國家が、システムの安定に不可欠の要素として組み込まれています。この意義についても理解の射程にいられて論じます。

原論Ⅱでは、現代資本主義システムが成り立っていることを前提して、いかに、そのシステムの機能が作動しているかに主たる関心があるのにたいして、本講義、原論Ⅰでは、資本主義システムそのものがどうして成り立ち得ているかに主たる関心があります。そこで、原論Ⅰは、社会の成り立ちの根拠としての労働、および経済的費用の根源としての労働から話をはじめることになります。原論Ⅰは、カール・マルクスの確立した労働価値論を継承しながら現代をとらえる理論潮流に属します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第1章 経済学の対象と方法

人間性と社会形成の根源的な原因としての労働、必然的な社会関係としての生産関係、社会関係を生産関係に媒介することの認識論的意義、生産関係の物象化（＝非人格化）の仕組み。

#### 第2章 市場経済

財の根源的費用としての労働、商品生産社会における労働の特殊性、価値と使用価値、生きた貨幣の成り立ちの必然性、貨幣の諸機能。

#### 第3章 資本と増殖

貨幣を生む貨幣としての資本の概念、資本が社会的総生産をとらえることの可能性、剰余価値の一般的な可能性、労働力商品の意義、資本の価値増殖過程における諸範疇、賃金形態の意義。

#### 第4章 価格と利潤

剰余価値と利潤、諸資本の部門内競争による価格形成、諸資本の部門間競争による価格形成、独占的市場構造における価格形成。

#### 第5章 資本の再生産と蓄積

再生産運動として資本のシステムをとらえることの意義、私的所有原理と取得原理の対立、資本構成の高度化と産業予備軍効果、単純再生産と拡大再生産の表式、資本の過剰生産と景気循環運動。

#### 第6章 国民所得と分配

分配論の意義、商業資本と商業利潤、利子生み資本と信用制度、地代、転倒した経済的諸範疇の意義。

#### 第7章 國家と財政

「公共的なものの総括」としての國家、資本のシステムの媒介形態としての國家、ケインズ政策の含意と役割、公共性と私的営利性との矛盾する転換運動としての現代経済、資本は國家の壁を破るか。

#### 成績評価の方法

90分の講義、約25回で、以上の内容をひとつとおり論じきるのには、実は、時間的にかなり困難です。骨格的内容にできるだけ時間を集中します。使用するテキストはもっともコンパクトなものの中から1つを選んでいますが、できるだけこのテキストに忠実に解説し、重要箇所はアンダーラインを指示します。成績評価は、解説済みのテキスト箇所のみから出題して実力試験によっておこなわれます。つまり、ノート、テキスト持ち込みは不可ということです。



教科書

平井ほか『経済原論』（有斐閣） 1,300円

参考書等

経済学教育学会『経済学ガイドブック』（青木書店） 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論Ⅱ	あさの かつみ 浅野 克己	経済学専修1・2必 商学専修1・2選	4

#### 講義のねらい

世の中にはさまざまな経済的社会的問題が存在する（いままで経済的社会的な問題意識をもったことのない極楽な人には、新聞を毎日読む習慣を身につけることを勧める）。さまざまな経済的社会的問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

現実の経済はあまりに複雑すぎて、そのままでは物事の本質を見失いかねない。そこで複雑な現実の経済をある程度単純化し、実際の経済の模型（モデル）を構築し、それを対象に分析をおこなうことになる。もちろん、プラモデルのような物理的な模型を作るのではないが、現実を単純化、抽象化することによって、本質を取り出そうというのである。経済モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、経済学には、十分整理して議論しないと、とんだ理由づけをしかねない場合や、論点が未整理のため自ら混乱を招く例は少なくなく、このようなとき、数学的思考が役に立つのである。実際、数学における思考訓練は、無限の可能性の中から必要な論理をえぐり出すことにある。いわゆる抽象力である。それは単純化による論理の明確化と言ってもよいし、あるいは見通しをつける能力と言ってもよい。理論にとって、数学的思考による自己点検は忘ることはできない。だが、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

こうして現実を単純化、抽象化した経済モデルを用いて得られた結果は、分析の前提となっているさまざまな仮定に大きく依存している。得られた結論は、あくまでそこでの仮定、つまり採用したモデルに依存しており、仮定が変われば、結論も自ずと変わりうる。そのため、経済学（少なくともミクロ経済学とマクロ経済学）においては、導かれた結論だけを暗記したりしてもまったく意味はない。議論の前提となるさまざまな仮定や論理的な推論プロセスといっしょになってはじめて、結論が意味をもつのである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学とマクロ経済学それぞれの基礎理論を解説する。ミクロ経済学とマクロ経済学とはアプローチの仕方も、したがってモデルの構造も異なり、両者は必ずしも矛盾なく接合されているわけではないことに留意されたい。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

マクロとは巨視的ということであり、マクロ経済学は経済諸主体の活動を例えば一国全体の規模で集計した国民所得などの集計量を用いて分析し、さまざまな集計量相互の関係を考察する。考え方の基本的な枠組みとして、市場のすみやかな調整に信頼をおく「新古典派」と、市場のさまざまな不完全性を重視する「ケインズ派（ケインジアン）」とがあるとされてきた。

#### 履修上の留意点

授業に出席する人には、授業前の予習が必須要件として求められる。授業に出席していれば偉いというものではない。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問してほしい。

#### 成績評価の方法

期末試験などで評価する。

#### 教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計学総論	えん どう 遠 藤 孝	商学専修1・2 必 経済学専修1・2 選	4

講義のねらい

2年次以降の会計学関係の科目を理解するための会計学の基礎を総論的に講義  
将来、企業実務、会計実務、会計職業人(税理士、公認会計士などの職業)にたずさわるのに役立つことを主眼とし、複式簿記からはじまる会計学一般につき、その技術的、理論的講義をおこなう。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月～5月

第1週 会計とは何か、広義の会計、狭義の会計。企業会計とは何か。会計学の領域、複式簿記の役割－企業会計の認識、測定、財務会計－企業会計の開示、管理会計－企業活動の管理、監査、会計監査－企業会計の検証、財務諸表の監査。会計職業人について。

第2週 企業会計の計算構造。

企業会計の対象は企業活動。企業活動は資本の調達、その具体的財産への転換、その運用による利益追求。企業会計はこの資本運動を認識、測定、管理、伝達。財産計算、損益計算。

第3週 財務諸表とは何か。

企業が実際に作成した貸借対照表、損益計算書のコピーを配布。その内容の説明。

第4週 企業会計の規制。

商法による規制目的、税法による課税所得計算目的、証券取引法の規制目的。以上の規制内容について。日本の企業会計規制の特質。

6月～10月末まで。7月始め、中間試験。

複式簿記の基本構造、複式簿記による企業活動の記帳について講義

取引、取引要素、資産、負債、資本、収益、費用、勘定科目、仕訳、元帳転記、試算表、6けた精算表、帳簿の締め切り、決算整理、8けた精算表。貸借対照表、損益計算書の作成

11月～12月 企業会計、会計学をめぐる最近の論点。単独から連結へ、会計の国際化など。

履修上の留意点

途中欠席すると講義が理解できなくなるので必ず出席のこと。

成績評価の方法

中間試験。定期試験の総合による。

教科書

遠藤 孝ほか『会計学』（森山書店）1998年

参考書等

講義の中で紹介。

成績評価の方法

教科書による。ときにプリント配布、教場により OHP 使用。  
以上のスケジュールは学会出張などによって変更することがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済数学	みずの かつし 水野勝之	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

経済理論は数学を利用して説明される。しかしながら、初学者にとって、数学のうちどれが必要でどれが不必要かは判然としない。また、経済学の授業で突然数学が使われても、それを忘れてしまった諸君もいれば、はじめて目にする諸君もいるはずだ。本屋に行き、自分で勉強するために「経済数学」の入門書を手にとると、その難解な書き方がゆえに逆に嫌悪感を抱く人もいるはずだ。本講義では、諸君の経済学の勉強への数学の適用を念頭において、そこで利用されるであろう数学の基礎とその経済学への応用を行っていきたいと思う。経済学の例示は、マクロ、ミクロ経済学ととびとびになるが「経済学に利用される数学」という方針の下に体系化される。数学の苦手な諸君にも十分理解できるような授業の進め方をしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講義は、従来の「経済数学」という学問を、初等的にアレンジし、かつ一般学生により役立つ形で進めていきたい。授業スケジュールは以下の通りである。

1. 数学の用語・記号
  - ① 関数  
応用：効用関数と生産関数
  - ②  $\Sigma$  (シグマ)  
応用：予算式の表示
  - ③ その他
2. 行列
  - ① ベクトルと行列
  - ② 行列の加減と積
  - ③ 行列式
  - ④ 余因子と余因子行列
  - ⑤ 逆行列
  - ⑥ 連立方程式
    - (1) 応用
      - ・マクロ経済モデル
      - ・価格の決定
    - (2) クラームルの公式
3. 微分と偏微分
  - ① 微分の意味と最大・最小  
応用：弾力性
  - ② 微分いろいろ
    - ・積・商の法則
    - ・合成関数の微分
    - ・その他
  - ③ 偏微分
    - ・偏微分の意味
    - 応用：効用関数と限界効用  
生産関数と限界生産力
  - ④ その他
    - ・全微分
    - ・オイラーの定理
    - ・ラグランジュ未定乗数法

#### 履修上の留意点

前述のように数学が全く苦手がかまわない。しかし、苦手にもかかわらず出席をおこたることは避けてほしい（もちろん数学が得意な人も）。

#### 成績評価の方法

総合的に評価する。

#### 教科書

水野勝之著『テキスト経済数学』（中央経済社）  
水野勝之著『マクロ経済分析入門』（創成社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導き出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかなりの部分はそのための準備と練習に当てられると期待したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) 共謀解

#### 成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。

#### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成溪堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	よしの 吉 野 紀	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回  
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わせられる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

経済学部

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』第6版(多賀出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
計 量 経 済 学	わら がい とも き 薬 谷 友 紀	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済・経営の実際を数量データを通して分析し、把握することを学ぶ。数量分析により、分析対象の量的検討のみならず、質的検討が可能であることを示す。計量分析とは何か、そこで用いられるデータはいかなるものかを明らかにし、自身で分析用具を動かしてみることにより、分析能力を身に付けるとともに、計量分析の結果を評価する能力の獲得をめざす。具体的には、計量分析を行なう上で必要な統計の基礎知識を習得し、計量分析の手法を学ぶとともに、経済・経営データを用いた実証分析を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容構成は次の通り。

1) 統計知識の基礎、2) 統計的推計と仮設検定、3) 経済・経営データの種類とその構造・性質、4) 回帰分析、5) 計量モデル分析、6) 時系列分析、7) 産業連関分析、8) 企業行動の計量分析

履修上の留意点

受講の条件としてあらかじめ特別な知識を求めることはなく、また、これまで数字の扱いを不得意とする学生の受講も可能である。講義は基礎から応用へと、段階的に積み上げる形で進める。講じられた講義内容の理解は、次に続く講義へ進むための前提となることから、講義への毎回の出席が強く求められる。

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点に基づく。

教科書

参考書・文献は適宜指示する。

その他

コンピュータを用いた実習を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統 計 原 論	いな ば とし お 稲 葉 敏 夫	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済現象を統計的に分析する際、基本となる概念および手法を出来る限り数式を使用することなく説明したい。たとえば、消費支出と国民所得、投資と利子率などの経済変数間の関係に着目する。このような経済変数間の関係を調べる、典型的な方法である回帰分析を取り扱う。それとともに消費支出、投資など実際にどのデータを使用するのが妥当であるかについても議論する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。

後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

原則として、成績はテストによって評価する。

教科書

開講時に指示する。

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
景気循環論	にしむらみつよし 西村允克	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

全体としての経済は、景気回復→好況→景気後退→不況→景気回復→……という循環を繰り返しながら発展してきた。この発展が景気変動論の対象であるから、この景気変動を繰り返しながら発展する経済過程をいかに理解・把握するかが、この講義の中心目的となる。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下のように進められる。

I 国民所得決定理論

対象が全体としての経済であるから、全体としての経済の成果を示す経済数量である国内総生産（GDP）を動かす要因とそれらの要因の変化がGDPにどのような影響を与えるか、という問題をここで取り上げ、景気循環を理解するための理論的基礎を与える。

II テキストの批判的説明。

景気変動は経済数量の変化によって説明されるから、テキストに示された数値や因を用いながら、戦後日本の景気変動の具体的な姿を解明する。

在庫投資循環（キッチン・サイクル）  
設備投資循環（ジュグラール・サイクル）  
コンドラチェフ・サイクル

の3つのサイクルがまず取り上げられ、それぞれをテキストの因・数値によって説明し、3つのサイクルの関係について説明する。

次に金融や輸出がサイクルといかなる関係があるかを説明する。

講義はテキストの順序に必ずしも従うものではない。

履修上の留意点

景気変動は現実の経済と密接な関係をもっているから、受講者は毎日の新聞記事に注意して出席すること。

成績評価の方法

期末試験

教科書

森一夫著『日本の景気サイクル』（東洋経済新報社）3,150円

参考書等

篠原三代平著『戦後50年の景気循環』（日本経済新聞社）  
嶋中雄二著『メジャー・サイクル』（東洋経済新報社）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 資 本 主 義 論	きた はら いさむ 北 原 勇	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代は「大失業時代」であり、また「金融システム危機の時代」である。そしてこの事態に対し、確固たる打開策も将来の展望も見いだせない状況にある。なぜ資本主義経済はこのような事態に立ち至ったのか、この正確な分析なしに今後の展望は語れない。本講義は、第2次大戦後の半世紀の歴史を概観しながらこの問題に迫ろうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代資本主義分析の方法を巡って正統派・宇野学派・レギュレーション学派のそれぞれの特徴・有効性・限界を比較検討したうえで、①アメリカ主導の「冷戦下・国家独占資本主義体制」の成立・展開・解体の過程を、他方における「冷戦下・社会主義体制」の成立・崩壊の過程との関連で把握する。

なお、毎回、講義の冒頭に最新のトピックスについて解説する時間をおく。学生諸君が新聞をよく読み現代の様々な問題について考える習慣を身につけてもらいたいからである。

成績評価の方法

学年末試験。随時小テストを加味。

教 科 書

北原勇・伊藤誠・山田鋭夫『現代資本主義をどう視るか』（青木書店）2,500円

参 考 書 等

北原勇『独占資本主義の理論』（有斐閣）、および北原勇『現代資本主義における所有と決定』（岩波書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会思想史	おお かわ まさ ひこ 大 川 正 彦	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

わたしたちはいま民主シーの時代を生きている。しかし、そもそも民主シーとは何なのか。民主シーを支える基本的な理念、それを具体化する制度、その制度が対処する問題、等々は、時代により国により異なっている。他方、21世紀をむかえるわたしたちの目の前には、旧来の民主シーの枠組みでは対処できないような問題が山積みしている。経済のグローバル化、環境問題、マイノリティの権利保護など。――以上を念頭において、民主シーの意味を考え直してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 民主シーの古典的諸類型
  - (1) 古代民主政
  - (2) 共和主義――自由・自治・能動的市民
  - (3) 自由民主政――自由主義と民主政
  - (4) 直接民主政
2. 20世紀の諸相
  - (1) 競争型エリート主義とテクノクラート型ヴィジョン
  - (2) 多元主義・組織資本主義・国家
  - (3) 国家の正当性の危機
  - (4) ソ連共産主義の激変後の民主政
3. 今日における民主シーの課題
  - (1) 民主的自律性
  - (2) 民主政・国民国家・世界システム

成績評価の方法

出席はとらない。年間2回のレポート及び試験(前期・後期)によって評価する。それぞれ50%で換算する。

教科書

教科書は使用しない。ただし、藤原保信『自由主義の再検討』(岩波新書)630円、デヴィッド・ヘルド(中谷義和訳)『民主政の諸類型』(御茶の水書房)7,800円+税は随時参照する。その他の文献については適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済史	やすもと みのる 安元 稔	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義の目的の一つは、社会科学のものの見方がある程度つけた諸君に「歴史社会」科学としての「経済史」の特色を知ってもらうことである。「経済学」と「歴史学」の双方の学問的特色を体現した「経済史」という学問領域は一体人間のどのような営みを対象にするのか、どのような切り口でその対象に迫るのか。そして、「経済史」という学問分野が現在までどのような発展を示して来たのか。今「経済史」では何が問題となっているのか、こうした点を講義の前半で見て行くことにしたい。

講義の後半では、具体的にヨーロッパの中世以降の経済発展をとりあげる。人々は物質的要求の充足をどのような形で行って来たのか、そのためにどのような制度・組織を作り上げて来たのかを考えてみる。1000～1500年のヨーロッパは農業中心の社会であった。そこでは農業生産はどのような形で組織され、人々はどのような形で参加していたのか。中世社会が崩壊し、近代ヨーロッパの誕生を告げた1500～1750年のヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。そして最後に現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化の実態とはどのようなものであったのか。こうした点を具体的に説明して行くつもりである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第1編『経済史』とは何か

- |                 |   |
|-----------------|---|
| I. 経済史の対象       | 1. 「経済的営為」の特色<br>2. 経済史の課題                |
| II. 経済史の性格      | 1. 社会科学・経験科学としての経済史<br>2. 経済学と経済史、歴史学と経済史 |
| III. 市場経済と非市場経済 | 1. ヒックスの『経済史の理論』<br>2. 市場経済の特質（長所と欠陥）     |

#### 第2編 ヨーロッパ経済の歴史的発展

- |              |  |
|--------------|--|
| I. 中世の経済と社会  | 1. 中世農村と農業の発展<br>2. 中世都市と商工業の発達<br>3. 中世末期の経済と社会   |
| II. 近代化への道   | 1. 近世ヨーロッパ世界と重商主義国家<br>2. 人口・都市化・物価<br>3. 農業と農村社会<br>4. 大航海時代の商工業<br>5. 不況の17世紀<br>6. 工業の再編とプロト工業化 |
| III. 最初の工業国家 | 1. 「産業革命」をどうとらえるべきか<br>2. 人口の動向と農業発展<br>3. 18・19世紀イギリスの経済変動<br>4. 都市化と工業化                          |
| IV. 大陸の工業化   | 1. フランスの工業化<br>2. ドイツの工業化<br>3. ベルギーの工業化   |

#### 履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパの中世以降の経済発展を概観し、経済史的なものの見方を身につけることを目的にしている。聞きなれない用語や事実が多く出て来るので、参考文献を指示されたら、おっくうがらずに調べ、理解して行くことが必要である。受講者は、教科書・授業スケジュール・講義資料（講義中に配布）を常時持参しなければならない。

#### 成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みにレポート（200字詰原稿用紙10枚程度＝30点配点）を提出してもらい、後期試験（70点配点）・出席状況と総合して成績を評価する。

#### 教科書

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）

#### その他

講義方式。但し、OHP・ビデオ・資料を使って説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済史	わた <sup>なべ</sup> 渡 <sup>あらた</sup> 辺 新	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の歴史的分析を通じ、第1に日本経済の通史的理解を深め、第2に経済史的な考え方および経済史の基礎的知識を学び、広い意味での歴史認識を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

主な講義内容は以下の通りであるが、近年の歴史学の研究動向を反映させ、できる限り隣接諸科学（たとえば国家論、地域社会論、女性論など）との接点を探っていききたい。

- ① 日本経済史の課題
- ② 前近代の経済構造
- ③ 日本における原始的蓄積
- ④ 日本における産業革命
- ⑤ 日本帝国主義の構造
- ⑥ 昭和恐慌と戦時統制経済
- ⑦ 戦後改革と高度経済成長

成績評価の方法

筆記試験ないしはレポートによって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋経済史	とも 友 松 まつ よし 憲 ひこ 彦	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

「西洋経済史」という科目名を聞いて、20世紀の日本に生活している自分に18世紀や19世紀の西洋の経済を学ぶ意味があるのか、という疑問をもつ人もあろう。あるいは、これまでの経験から人名や年号の丸暗記を強いられる科目ではないかと思ひ、それだけでウンザリの人もいるのではないか。

いうまでもなく、われわれは数百年まえの西洋社会に生活してはならず、21世紀の日本社会に向かって生きているのである。また、正確な事実認識はどんな科目でも大切とはいえ、たしかに歴史系の科目は他に比べれば覚えるべき事実は多いかもしれず、憂鬱な気持ちが理解できないわけではない。

しかしこの講義は、歴史的事実を解説し、それを暗記することを少なくとも主題にはしていない。講義が目指すことは、現代経済の特徴や問題がどのように生まれてきたのか、またそれが今後どう変化していくのかを、「過去の経済」=経済史の研究によって探ることである。具体的にいえば、近代ヨーロッパやアメリカの経済の歴史を、資本主義といわれる経済システムの成長、確立、波及、変質の歴史的歩みを中心に分析し、上記の課題に接近することである。

また、「西洋経済史」は経済学を学ぶうえでの基礎となる科目でもあることも指摘しておきたい。例えばこの講義からは、経済学の発達の歴史的背景を知るうえでの不可欠の知識を得ることが期待できよう。あるいは、資本主義発展の流れを理解し、そこに日本経済の歴史を位置づければ、現在の日本経済の特徴や問題にもより深い理解が可能になるように思われる。そうした意味で、「西洋経済史」は経済学の広範な諸科目と密接な関係を持ち、経済学の学習にとり土台となる科目であることも付言しておきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 資本主義とはなにか
  - (1) 商品経済と市場経済
  - (2) 近代と前近代の経済
2. 前資本主義の経済（ヨーロッパ中世の経済）
  - (1) 村落「共同体」と農業
  - (2) 荘園制度
  - (3) 中世都市と商工業
  - (4) ギルド制度
3. 資本主義の成長
  - (1) 「封建制の危機」と資本主義の生成
  - (2) 農村工業の成長
  - (3) 海外市場の発達
  - (4) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立（イギリス産業革命）
  - (1) 産業革命の原因
  - (2) 産業革命の過程
  - (3) 産業革命の結果
5. 資本主義の波及
  - (1) イギリス経済と世界経済
  - (2) 後発国の産業革命
  - (3) 植民地の形成
6. 資本主義の変質
  - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
  - (2) 植民地支配とその結果
7. 現代資本主義

履修上の留意点

講義は低学年でも十分理解できる内容であるが、教科書を使用しないので講義ノートをかみながら取ることが必要である。

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）1996年

そ の 他

長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』（ミネルヴァ書房）1992年  
石坂・船山・宮野・諸田著『新版西洋経済史』（有斐閣）1994年

質問等で研究室を訪問することを歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	いし い ひろ お 石 井 啓 雄	二経1・2・3・4選 二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

「政治政策」の講義のありかたとしては、土台としての経済構造と政策主体としての国家の関係の問題を軸に経済政策とはどういうものなのかを専ら理論的に詳細に論ずる方法とか、現代資本主義国家の政策手法についてだけ細かく述べる方法とか、特定の領域、たとえば産業政策など教師の専門的研究領域にそくしてだけ講義する、などの方法もある。しかし私は、基礎的な専門科目のひとつであることを考えて、この講義が、土台としての資本主義の発展段階、すなわち、重商主義、自由主義、独占資本主義、国家独占資本主義という発展段階ごとに、この資本主義の構造的発展を背景に変化していく国家の経済政策の内容の基本的な点について講義することとする。ただ学生の関心を考慮し、なるべく現代の問題に多く時間を充当するよに努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

試験その他を除いて、講義の回数は以外に少なく、1年間におおむね25回である。そこでこの講義回数をおおむね次のように充当する。

- (1) 土台としての経済構造と政策主体としての国家の関係および政策とはどういうことかなどについて、2回。
- (2) 重商主義段階の経済構造と経済政策について、おおむね3回。前期重商主義、市民革命、後期重商主義、この段階での保護貿易政策その他主要な経済政策について。
- (3) 自由主義段階の経済構造と経済政策について、おおむね4回。イギリスにおける産業革命の意味、穀物条例の廃止に象徴される自由貿易の意義と産業資本の自立化による自由主義的経済政策の主な内容。イギリスに対しては後進的なフランス・ドイツ・アメリカなどの経済政策について。
- (4) 独占資本主義段階の経済構造とその経済政策について、おおむね4回。自由競争が必然的にもたらす独占資本の成立とそれによる国家の政策の変化、資本の輸出と植民地支配の発展、第一次世界大戦の意味などについて。
- (5) 国家独占資本主義の成立とこの段階での経済政策について、おおむね6回。1929年恐慌以後の経済政策の変化と第一次大戦とは異なる第二次世界大戦の複雑な性格をふまえた上で、第二次世界大戦後のアメリカ主導のI. M. F=GATT体制の成立、アメリカの「援助」と覇権、各国の国家独占資本主義とその経済政策、経済成長政策と1970年代以降、さらに1985年以降のその変化、1990年代の不況、WTOの成立などの今日の問題などについて。

以上のほか、①いわゆる社会主義の成立とその崩壊をめぐる問題、②植民地の独立と新植民地主義的経済政策、③最近の規制緩和問題と新自由主義的経済、④明治維新と戦後改革を経た日本の経済構造と政策の特殊性、などについてもあわせて5～6回を充て、全体として25回の講義とする。

履修上の留意点

高校時代に学習した歴史（日本史および世界史）を含む社会科の知識および経済学部の学生にあっては経済学概説の履修をきちんと行うことを当然の前提とする。

学会との重複、やむえない病欠など以外、休暇の前後でも休講はしないので、学生諸君もそのつもりで受講されたい。

成績評価の方法

成績評価は、自覚的な勉強を期待して、期末試験の成績を基本とするが、時々出欠をとり、試験の成績が振るわない学生の成績評価についてはこの出欠を考慮することとする。学生の受講態度によっては、途中で試験あるいはレポートを課することもありうる。試験については基本的に書物、コピーなどの持ち込みは認めず、自筆ノートについてのみ考慮することがありうることとする。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の過程で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	よお だ ひろ し 米 田 浩 史	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

2000年に予定されているWTOのウルグアイラウンド農業合意最交渉を目前に、日本の農業と農業政策は重大な岐路に立たされている。農業基本法は1961年制定以来、我が国の農業政策の原点とされてきたが、その見直しのために検討を続けてきた食糧・農業・農村基本問題調査会は、昨年9月報告書を取りまとめた。現在、新しい農業基本法制定を中心に、農業政策の全分野にわたって見直しが進められている。戦後半世紀を経た今日、農地改革に始まる戦後農政の経験を総括して新しい日本農業発展の方向を探求することは差し迫った国民的課題と言えよう。そのためには、単に戦後農政の展開の後を辿るにとどまらず、日本農業の置かれている歴史的、構造的な条件を広く世界的な視野から把握しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

我が国は欧米先進諸国より遅れて、かつ欧米列強の開国への強い圧力の下で、強力な国家主導の産業発展の道を歩むことになった。そのため農業における近代的生産関係の成長は著しく立ち遅れ、明治維新以後支配的となった寄生地主制の重圧のもとでその発展は歪められた。農業における近代的生産関係の未成熟が、戦前の我が国の経済社会の発展に欧米諸国に比べて特異な性格を与えたことはよく知られている。

とりわけ、国内市場の未成熟を背景に強行された対外進出の一環を成す植民地産米移入が国内農業を著しい苦境に追い込み、太平洋戦争下の食糧危機の一因となった歴史的事実を忘れることは出来ない。

戦後、占領軍の主導の下に行われた農地改革は、寄生地主制を基本的に一掃して我が国農業に近代的発展の道を開いたが、経営の零細性は未解決に止まった。また、戦後世界農産物市場におけるアメリカとECの対抗を軸とする市場競争の激化を背景に、我が国もまた二国間、多国間の圧力のもとに次第に農産物の輸入自由化を余儀なくされ、我が国の農業発展は厳しい市場条件に直面することになった。その中で、農家の所得確保の役割が専ら米価に求められたことなどから米の生産過剰が生じ、生産調整が進められた。

同時に、急激な工業製品の輸出拡大を伴う高度経済成長の下で、農村労働力の流出、兼業化の進展、生活コストの上昇などが生じ、小型農業機械や農業による省力技術の普及と相まって農家の専業下限が大きく上昇した。農業基本法の掲げる「自立経営」育成を目指して様々な構造政策が展開されたが、現実には圧倒的な「総兼業化」が進行することとなった。

1993年のウルグアイラウンド合意は、ECのCAP（共通農業政策）改革における直接補助とアメリカの不足払いには手を触れないこととする一方、日本に対しては、2000年までの猶予付きながら、我が国農業に残された最後の支柱である米の市場開放を求め、同時に国内の農業支持措置についても切下げを要求している。

米の市場開放と農業支持の切下げは、工業製品輸出の急増に伴う対外収支の不均衡と貿易摩擦の解決に資するものとして、あるいは国内に新たな投資機会を生み出すものとして、国内の一部にも根強い期待がある。

しかし、我が国の今後の経済社会の発展の中で農業の果たすべき役割を過小評価することは出来ない。世界の農産物市場の将来は、深刻な食糧危機の可能性も含めて多くの不安定要素を孕んでいる。また、世界市場における今後の収支構造の中で、我が国が永遠に現在の地位を維持できると考えるのは楽観的に過ぎるとの見方もある。

更に、地球環境保全のための持続可能な経済発展の見地から、食糧の過度の輸入依存は問題ありとする論議も強まっている。

21世紀に向けて、我が国経済社会の安定した発展を保障する日本農業を構築するために、我が国の農業政策はどのように展開されるべきか、

学生の皆さんと共に考えて行きたい。

前期は農業問題の理解の前提となる地代論、農産物価格論、農産物市場論など農業理論を中心に、後期は我が国の農業問題、農業政策の歴史的展開過程を中心に講義を進める。

履修上の留意点

「経済政策（石井啓雄教授）」と併せ受講されることをお勧めする。

成績評価の方法

期末試験の成績および出席状況を考慮する。

教科書

特になし。

参考書等

授業の中でその都度紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
工 業 政 策	かく だ あつし 福 田 敦	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

21世紀を目前に社会経済システムが大きな転換期にある今日、企業は先行き不透明な経営環境下で事業戦略の再構築に向けて懸命な取り組みを行っている。これまで競争の秩序が維持されてきた業界においても、有力企業同士の業務提携や合併、広域あるいはグローバルな規模での資本移動に伴う市場勢力の再編など、複雑系の経済学で説明される収獲逡増を象徴するかのようダイナミックな展開が見られる。産業の空洞化や雇用問題を中心にこうした動きが地域経済に及ぼす影響は大きく、各自治体では地域産業の主要な担い手である中小企業の創意を啓発するための対応が喫緊の課題となっている。

この講義では首都東京産業活動の実態と中小企業の経営動向を分析するなかで、21世紀に向けた中小企業の展望と戦略的課題について検討するとともに、彼らを支援する行政施策のあり方を学際的な領域まで含めて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. 東京の産業活動と中小企業の動向
  1. 東京の産業活動と集積の特色
  2. 産業別の動向（製造業、卸売業、小売業、サービス業）
  3. 中小企業の景気動向
- II. 東京の製造業の構造変化と経営活動
  1. 製造業の構造変化
  2. 中小製造業の企業活動と経営成果
  3. 東京の中小製造業の展望と課題
- III. 東京の卸売業の構造変化と経営活動
  1. 流通経路の構造変化
  2. 中小卸売業の企業活動と経営成果
  3. 東京の中小卸売業の展望と課題
- IV. 東京の小売業の構造変化と経営活動
  1. 小売業の構造変化
  2. 中小小売業の企業活動と経営成果
  3. 東京の中小小売業の展望と課題
- V. 地域産業政策の現状と課題
  1. 国の産業政策の動向
  2. 自治体の重点施策の状況
  3. 自治体における取り組み課題

履修上の留意点

単に講義を聞くだけでなく積極的に授業に参加する意欲的な学生の受講を歓迎したい。各種資料の説明は OHP で、具体的な事例紹介はビデオを活用する予定である。

成績評価の方法

期末のレポート試験（80点）と授業への貢献度（20点）により総合的に評価する。原則としては出席はとらない。

教 科 書

平成10年版 東京都中小企業経営白書（製造業編）東京都  
9 年版 東京都中小企業経営白書（小売業編）東京都  
8 年版 東京都中小企業経営白書（卸売業編）東京都

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	三井逸友	二経1・2・3・4選	4

### 講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な（critical）構成要素である」（クリントン米大統領）と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業員数の80%を占め、製造業中小企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』（森清著、ダイヤモンド社刊）のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用収縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかしこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と直面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

#### 第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーディズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

#### 第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的関係」

ここでは、うへの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小工業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業「国際化」のもとでの、日本的企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的関係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的な視角となる。

#### 第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を収めてきた我が国の「中小企業近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとでの、近年の「収斂傾向」を検討し、特にEU欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国についても、近年の「構造転換」対応策、創業促進策、ベンチャー企業支援策なども検討する。

### 履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日の現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

### 成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。

### 教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』（青木書店）2,800円（税抜）、同編『日本の生産システムの評価と展望』ミネルヴァ書房（予定）

### 参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）2,330円、巽・佐藤編『新中小企業論を学

ぶ 新版』(有斐閣) 2,200円、中小企業庁編『中小企業白書』[各年次]、中小企業総合研究機構  
訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』(同友館) 3,500円、佐藤編『21世紀、中小企業はどうな  
るか』(慶大出版会) 2,300円

そ の 他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上  
映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、  
企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用  
していく。また、諸方面のWEBサイトの提供する情報は(担当者自身のものを含めて)、必須  
の材料である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 経 済 論	やまぐち ゆうじ 山 口 由 二	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、指定した教科書に沿って、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、農業の環境問題など様々な実例を取り扱う。

#### 履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地のあり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

#### 成績評価の方法

前期・後期それぞれ、テストを行う。また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。

#### 教科書

未定、最初の授業時に指定する。

#### 参考書等

- ・K. W. カップ著、篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』（岩波書店）  
環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1950年に原著は刊行されている。
- ・宇沢弘文著、『自動車の社会的費用』岩波新書（岩波書店）  
若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？ 宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていましたが…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・宮本憲一著、『環境経済学』（岩波書店） 3,600円ぐらい  
筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の“容器”としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。
- ・環境庁編『環境白書平成10年度版 総説・各論』（大蔵省印刷局）  
白書という堅苦しいイメージがあるが、『環境白書』は、現在の環境問題についてかかっている良書。総説は毎年サブタイトルがかわり10年度版は「21世紀に向けた循環社会の構築のために」である。一昨年の地球温暖化京都会議の成果から現代のゴミ問題を取り挙げている。私も毎年買うようにしているが総論・各論併せて厚さ5センチで本棚の少ない我が家では置く場所に窮してきたのが悩み。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地方財政論	しの ほん あきら 篠 原 章	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化社会と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末に筆記試験またはレポート提出を義務づける。また、少なくとも前後期各1回は課題を示し、簡単なレポートも作成してもらう。

教科書

斎藤慎・林宜嗣・中井英雄共著『地方財政論』（新世社）2,400円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（[akirashi@ic.daito.ac.jp](mailto:akirashi@ic.daito.ac.jp)）でも受け付けるので、ぜひ活用してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際金融論	あき 秋 やま 山 せい 誠 いち 一	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日の国際取引は、經常取引（商品・サービスの輸出入）と資本取引の両面において、自由化が進んでいる。このなかで国際間の経済取引が拡大するとともに、国際間の決済とファイナンスが重要な問題となってきた。決済は外国為替を用いて行われるので、經常取引と資本取引にもとづく外国為替の需給関係が外国為替相場を決定するが、逆にその変動が經常取引と資本取引に影響を与え、ひいては各国の経済活動全体に影響を及ぼす。このため、為替相場・通貨危機が各国の経済危機の発端となり、また経済危機は為替相場・通貨危機として現れる。このような今日の経済のグローバル化のもとでは、外国為替の仕組みや国際金融市場の一定の知識がなければ、各国および世界の経済状況を正確に理解することはできない。そこで、外国為替や国際金融問題を理解するために必要な基礎的知識を得ることをねらいとして主に以下の内容で講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

第一に国際経済取引の全体とそれの通貨金融との関係を知るための国際収支概念の説明とその決定要因とファイナンスについて見ていく。第二に国際決済や資金移動に使われる外国為替の原理と国際通貨を問題とする。第三に所在国通貨以外の通貨を用いて国際金融取引を実行するユーロ市場を問題とする。第四に国際通貨制度の歴史的発展と為替相場変動を見ることで、一見無秩序に思われる今日の変動相場制の下における為替相場変動の要因を問題とする。

履修上の留意点

講義の理解を助けるため経済理論、国際経済・貿易論、貨幣・金融論等を並行して履修していることが望ましい。

教科書

小野朝男、西村閑也編『国際金融論入門第三版』（有斐閣）2,200円

参考書等

吉田真広『今日の国際収支と国際通貨』（梓出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光 おか 岡 はく 博 み 美	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する社会改良思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、当時ヨーロッパの後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から、社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提として、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は、政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題研究へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すことになった。戦後の日本においても、欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、日本の労働問題や労使関係の実態を分析し、労使関係をその実態に即して理解しようとする研究が大きな影響を及ぼしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

そこで、このような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うことにしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策の歴史
- (4) 日本における労使関係の歴史
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本的労使関係の現実とその未来

上に述べた(1)～(7)の項目について、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の紹介、最近注目されている外国人労働者問題や女性問題などの持論、私が専門的に研究してきた問題などもできるだけ分かりやすく解説してみたいと考えている。

成績評価の方法

履修条件は特になし。成績の評価基準は、授業で説明する。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げつつある経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を服務世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる低出生力と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていくことは周知の事実である。

一方発展途上諸国に生じている急激な人口増加の問題は、貧困からの脱却のためには緊急に解決しなければならない困難な課題になっていることも周知のとおりである。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養ってみたい。

何はともあれ、この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、千人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら人口問題はとは、国民一人一人の問題だからである。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経済人口学の生成と発展 II. 日本の人口と経済発展 III. 人口高齢化の経済的諸問題  
IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得手おくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参 考 書 等

大淵・水野・森岡・吉田訳『マルサス人口の原理』（中央大学出版部）1985年  
大淵寛・黒田俊夫編『現代人口問題』（大明堂）1990年  
国際人口学会編（日本人口学会訳）『人口学用語辞典』（厚生統計協会）1994年

そ の 他

授業の方法：講義。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 経 済 論	や 谷 しき 敷 ただ みつ 光	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝つ残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

#### 1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化と教育
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) 日本の産業高度化と教育
- (4) 日本の「新高度成長」と教育
- (5) 日本の人的開発政策
- (6) レーガン大統領の経済政策と教育（一部ビデオ）
- (7) ブッシュ大統領の経済政策と教育（一部ビデオ）
- (8) クリントン大統領の経済政策と教育（一部ビデオ）
- (9) サッチャー首相の経済政策と教育（一部ビデオ）
- (10) メージャ首相の経済政策と教育（一部ビデオ）
- (11) プレア首相の経済政策と教育（一部ビデオ）

#### 2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における実業教育政策 1 富国強兵・殖産興業（映画）
- (13) 学制時代における実業教育政策 2 学制公布と実業教育
- (14) 教育令時代における実業教育政策 1 工場払下
- (15) 教育令時代における実業教育政策 2 教育令公布と実業教育
- (16) 学校令時代における実業教育政策 1 産業革命
- (17) 学校令時代における実業教育政策 2 学校令公布と実業教育
- (18) 実業学校令時代における実業教育政策 実業学校令、専門学校令公布と実務教育

#### 3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (19) 復興期の経済発展と教育 1（一部ビデオ）
- (20) 復興期の経済発展と教育 2 産業教育振興法公布（一部ビデオ）
- (21) 高度成長第1期の経済発展と教育（一部ビデオ）
- (22) 高度成長第2期の経済発展と教育（一部ビデオ）
- (23) 高度成長第3期の経済発展と教育（一部ビデオ）
- (24) 高度成長終焉後の産業教育

#### 履修上の留意点

- ① 年間5回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

#### 成績評価の方法

授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する

#### 教科書

毎時間、講義の教材として年間30～40枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参 考 書 等

- 沼口 博『学校教育と経済発展』(学文社)  
天野郁夫『教育と近代化』(玉川大学出版部)  
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)  
原田和男『ブッシュの米国経済』(日本経済新聞社)  
宮崎正宏『クリントンの日米経済』(銀河出版)  
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』(岩波新書)  
その他、講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 経 済 論	く 工 藤 昌 宏 どう まさ ひろ	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

第二次大戦後の日本経済と、そこに貫かれる資本主義経済システムの論理を探ることをねらいにします。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は大きく前期と後期に分け、前期は主に50年代後半以降今日までの世界経済の動向とそれの中の日本経済の位置を確認し、それを通じて日本経済の特殊性と問題点を検出します。具体的には、IMF や世界銀行を重要な装置にしたバクス・アメリカナ体制とその動揺、50年代後半から70年代初頭にかけての高度経済成長過程、石油危機と日本経済、日米経済摩擦の展開、バブル経済とその崩壊などを中心に講義します。

後期は前期の内容を踏まえて、敗戦後の日本経済の基本的枠組みとそれを形成した経済再建過程、朝鮮戦争とその影響、高度経済成長に至る過程を分析します。その中ではとくに経済主体としての個別企業に焦点を当て、その発展とそれを支えた条件を明らかにします。

履修上の留意点

講義は1回ごとに独立したテーマを設定しているので、講義時間に遅れないこと。ノートは確実にとること。

成績評価の方法

前期、後期1回ずつの試験によって評価します。

教科書

サブ・テキストを含めて、開講時以降、随時紹介します。

講義の進め方

1回ごとにテーマを設定しますが、全体として連続性をもたせません。また具体例、数値を用いて、日本経済の在り方とそれを担う経済主体の行動に焦点を当てて考察します。

講義の到達目標

戦後日本経済の推移、基本構造、問題点を捉えることができるように認識を高めるようにします。また新聞などの経済記事の内容についてある程度理解できるようにし、今日の様々な経済現象とその根底にある論理を大筋で捉えることができるようにします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	かく 郭 よう 洋 しゅん 春	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

「世界経済の成長のセンター」「発展途上国の優等生」、これらは1980年代に入り急速に成長してきたアジア諸国（特に東・東南アジア）を指して使われた言葉である。

植民地支配解放後、長く低開発に喘いでいた発展途上国の中から登場したこれらアジア諸国は、今や先進国の仲間入り寸前のところまで来ている。しかし、1997年7月以降、アジア各地に波及した通貨・金融危機は、世界経済そのものの根幹を揺るがしている。

一方で、インドネシアの「東チモール問題」、ミャンマーの「民主化問題」、中国の「山峡ダム問題」「南沙諸島、尖閣列島問題」など民族紛争、人権問題、環境破壊、領土問題など冷戦後特に、賦の遺産が噴出しているのもアジア地域なのである。

従って、本講義では急成長を遂げたアジア諸国の経済メカニズムの解明と、その陰に隠れて見落とされがちな負の要因の分析の両面から、アジア経済の実態を明らかにしていく。その際、我々の身の回りから見たアジア、という視点についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りであるが、状況に応じて多少の変更はあり得る。

I アジアの台頭

①NICsの登場、②NIEsへの転換、③ASEANとは何か、④変貌するASEAN、⑤日本に来るアジア人旅行者

II ダイナミック・アジア

①アジアの経済政策、②経済開発に果たした国家の役割、③外資導入とアジアの工業化、④日本のODAとアジアの工業化、⑤経済開発の推進母体としての財閥、ビッグ・ビジネス

III 迷走するアジア

①アジアの環境破壊、②飢餓と飽食のアジア、③軍事大国化するアジア、④アジアの開発独裁、⑤アジアに広がる日本文化

IV 21世紀のアジア

①地域経済圏とアジア、②継続するか「成長のセンター」、③アジアは先進国の仲間入りをするのか

履修上の留意点

教員による一方通行的な授業ではなく、応答的授業体系を模索するので、積極的・主体的姿勢で参加すること。授業中は私語・携帯電話類は厳禁。

成績評価の方法

授業中に行う小テストと前期末レポート、学年末試験を合わせた総合評価

教 科 書

郭 洋春『アジア経済論』（中央経済社）3,360円

参 考 書 等

横山正樹・涌井秀行編著『ポスト冷戦とアジア』（中央経済社）3,045円。他は授業中に随時紹介する。

そ の 他

授業方法は講義中心であるが、学生との討論も考えている。また、ビデオを多用し視覚からも授業を理解してもらうつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	瀬 戸 岡 紘	二 経 1・2・3・4 選	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅広く、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界的情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発をしてみようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探求をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し、資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

《導入の話題》

- ◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

- ◇アメリカの建国の理念と現代の経済
- ◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

- ◇アメリカの農業
- ◇アメリカの工業
- ◇アメリカの企業家とベンチャービジネス
- ◇アメリカの雇用と労働者
- ◇アメリカの商業とサービス
- ◇アメリカの交通・通信・情報
- ◇アメリカの金融
- ◇アメリカの教育と経済
- ◇アメリカの科学技術
- ◇アメリカの先端産業
- ◇アメリカ経済と環境問題
- ◇アメリカ社会とヴォランティア
- ◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

- ◇国際通貨ドルの地位と IMF
- ◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)
- ◇アメリカ軍の世界的ネットワークと経済的意義
- ◇アメリカの海外援助
- ◇アメリカの多国籍企業
- ◇多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ

- ◇アメリカと EU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋
- 《むすびの話題》
- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

## 授業方法

### 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

### あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話します。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらないうで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

### アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

## 成績評価の方法

### 熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を何回か提出してもらうことを考えていますし、受講者の希望により、この講義のなかでいただくようになった問題意識をもとにアメリカ経済にかんする自由論題で小論文を年度末に提出してもらい試験に替えることも考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を考慮にいれつつ小論文を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

## 教科書

### 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報・経済ネットワーク論	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義は、

- 1) 情報リテラシーを身につける
- 2) パソコンを駆使して情報ネットワーク上の経済システムを探索することを目的としている。

パソコンの実習および課題を通じて、電子メール、WWW等のインターネットの利用、さらには、ワープロソフト (Word)、表計算ソフト (Excel) を使って、レポート作成を行えることが1のゴールであり、インターネットでの電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレードリングなどについて理解することが2のゴールである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：

- 1) Windowsの基本操作
- 2) インターネットとは？
- 3) インターネットから情報を得るには？
- 4) WWWを楽しむ
- 5) 電子メールを使ってみよう
- 6) 電子メールを使いこなす
- 7) ワード (ワープロ) を使ってみよう
- 8) ワードで図や表を描いてみよう
- 9) エクセル (表計算ソフト) の基本操作
- 10) エクセルで計算してみよう
- 11) エクセルでグラフをつくろう
- 12) レイアウトを考えたレポートをつくろう
- 13) 総合課題の説明

後期：

- 1) 電子商取引
- 2) デジタルマネー
- 3) オンライントレード
- 4) オンラインバンキング
- 5) インターネット広告
- 6) インターネット放送局
- 7) テーマを決めてグループワーク、レポート作成

#### 履修上の留意点

コンピュータの初心者进行想定した講義を行う。単位取得には出席と予習・復習が必須である。時間が合えば、他大学との遠隔講義など情報ネットワークを活用した試みも行う。

#### 成績評価の方法

レポート、出席による

#### 教科書

初回の講義で指示

#### 参考書等

初回の講義で指示

#### その他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがある。初回の講義に「必ず」出席すること。
- ・メールアドレスを持っている前提で講義を進めるので、本講義を選択する学生は、早急にメールアドレスを取得すること。
- ・講義に関する質問などは、事前予約の上、第2研究館 4F 2437研究室 (tel: 03-3418-9352) に来室するか、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
プログラミング論	はま もと かず ひこ 濱 本 和 彦	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンドアロンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は第2種情報処理技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

成績評価の方法

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および定期試験により評価する。

教 科 書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

講義中に指定する。

そ の 他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクトで見せながら行う。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 論	くろ べ こう いち 黒 部 晃 一	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

CG (コンピュータ・グラフィックス) が包括する主要アイテムを、市販ツールの操作を通して学習し、その上で自らプログラミングを試行することで、CG アルゴリズムがビジュアライズされるプロセスについて学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・ 3DCG ソフトウェアのオペレーションと 2D グラフィックスの 3D グラフィックスへの適用。
- ・ プログラミング言語 C++ の習得。クラス概念とオブジェクト志向型への理解。
- ・ Windows プログラミング。Dos プログラムと比較しながら、Windows システムが発するメッセージとそれを処理するハンドラのメカニズムの生成。リソースの作成とそのソースプログラムへの導入。
- ・ フラクタル画像生成。樹木/オートマトン/コッホ曲線/中点変位法/非整数次元とマンデルブロ集合
- ・ 光線追跡法 (レイトレーシング) アルゴリズムとプログラミング。モデリングとレンダリング/オブジェクトアフィン変換/内部論理演算と外部論理演算/鏡面反射モデルと屈折モデル
- ・ 自ら書くプログラムによる画像生成。

成績評価の方法

出席状況と提出課題について評価。

教 科 書

プリント配布

参 考 書 等

山岡祥『3D グラフィックス』(森北出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背を向け、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり。また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するものであります。また、商学専修の学生は、あわせて経済原論Ⅰを履修すれば、本講義の理解の助けとなるでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粹流通過程論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

#### 成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式ですが、テキストの参照を認めます。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備をして試験に臨んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。

#### 教科書

- 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社）
- 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
- 3 『経済学論集』第20巻第4号
- 4 『経済学論集』第22巻第1号
- 5 『経済学論集』第22巻第4号
- 6 『経済学論集』第26巻第1号

7 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	そ が のお たか 曾 我 信 孝	二経1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を、現状をふまえながら講義をする。その概略は次のとおりである。
  - 製品政策…マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
  - 価格政策…現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格の設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
  - チャネル政策…自己の製品にかかわる流通経路の選定の政策について説明する。企業は、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それだけに流通コストの問題だけではなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
  - 促進政策…上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は、次のとおりである。
  - 国際経済環境の変化と日本企業の対応…NAFTA、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人化で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合社との役割などである。
  - 国内市場の変化と国際化…とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合社との関係などである。
  - 日本企業の多国籍化と財務…日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
  - 総合社と国際マーケティング…日本の多国籍企業の典型である総合社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合社の子会社戦略、②総合社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験、小テスト、出席等によって評価する。定期試験に大きなウエイトをおいていることはいうまでもないが、そこでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。

教科書

曾我信孝『総合社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
交通論	しお み えい じ 塩 見 英 治	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

交通経済の基本的概念を把握し、現代交通をめぐる諸問題の性格と本質の理解に努め、その解決の方向をさぐるうえで必要とされる理論および政策を検討していく。併せて、交通システムの推移と現状についても考察をすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 交通経済と交通経済論の性格と特質
2. 交通の発展と交通政策の展開
3. 交通需要の性質と市場対応
4. 国民経済と交通－機能と連関
5. 交通のサービスと交通システム
6. 規制の理論と市場の変化
7. 交通インフラの整備とファイナンス
8. 運賃・料金の理論と制度
9. 国際交通システムと政策
10. 総合政策と交通補助

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

成績は前期のレポート（夏季休暇前に出題、後期授業開始時に提出）と後期の筆記試験によって評価する。

教科書

廣岡 治哉編『現代交通経済論』（産図テキスト）2,000円を使用する。その他、適宜プリントを配布。

参考書等

塩見英治編著『改訂版 交通産業論』（白桃書房）ほか

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	こうの やす のり 幸 野 保 典	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

商業史とは、各時代の人間の経済生活のなかでとくに商業活動を取りあげて、その具体的役割や歴史的な変遷を明らかにする学問だといってよいであろう。この場合の経済生活とは、人間が生存のために必要な生活必需品などさまざまな財貨（商品）を獲得し、それらを消費しながら日常生活を繰り返すことである。広義の商業とは、財貨がどこで生産され、どのような経路で生産者から消費者へ運ばれ売られるかに関わることである。

経済の発達した現在では、消費者は必要な消費財をみずから生産せず、第三者が生産した財貨を商品として市場から購入しなければならない。人間の経済生活は市場における商品の売買という取引行為を通して営まれている。そして、商品売買という取引行為が生産活動から独立した場合、商品を購入して再び販売するこの取引行為は生産とは別の独立した職業として専門的に営まれることになる。これが本来の意味での商業で、それを専門に営む者が商人である。

このように、本来の商業は市場における商品の購入と再販売という連続した二つの取引からなっている。しかし、現実商品取引が行なわれる場合には、金融業（信用業務）、通信業（発注・受注業務）、保険業（商品の保全）、運輸業（商品運送業務）、倉庫業（商品の保管）などが商品の売買に付随して行なわれることから、これらも商業の範疇として考えられ、商業史の対象となりうる。外国との商取引である貿易も商業史の重要な一部門である。

このように商業史の対象は多岐にわたるが、本講義では、日本における小売商問題、とくに大正・昭和期の小売商問題に重点をおきたいと思う。それは、今日の小売商問題の源流を探るうえで重要であると考えからである。経済史とのかかわりのなかで商業史をみることは当然のことではあるが、小売商問題に限っては社会史や文化史からのアプローチも重要な要素となる。経済的効率のみから小売商問題を理解したり、外国との経済摩擦の解消策としての規則緩和問題に重点を置き解決を計ろうとすれば、地域文化の崩壊や個性の喪失はまぬがれないと考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 商業史の課題と方法（1回）。2. 近代以前の商業（2回）。3. 明治期の商業、①近代商業の経済的環境（1回）、②近代商業経営の成立（1回）。4. 大正・昭和期の小売商問題、①小売商の社会経済環境（1回）、②商業人口の過剰現象とその定着度、（1回）、③中小小売業者の零細性（1回）、④各種小売形態の発展、a. 百貨店の発展（2回）、b. チェーンストアなどの発展（1回）、c. 小売市場の設置（1回）、d. 商店街の形成（1回）。⑤中小小売商の経営実態、a. 小売商経営の実態（1回）、b. 小売商問題の発生と社会的認識（1回）。⑥中小小売商の社会運動、a. 営業税反対運動（1回）、b. 政党運動の展開（1回）、c. 反百貨店運動（1回）、d. 反産運動・その他の社会運動（1回）。5. 戦時下の商業、①商業の再編成（1回）、②転廃業問題（1回）。6. 戦後の小売商問題、①中小小売商の保護政策（1回）、②流通革命とスーパー・マーケット（1回）、③コンビニエンス・ストアの発展（1回）を予定している。このほか、5～7回特色ある各地商店街の発展史を取りあげる。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に試験を実施する。

教科書

とくに指定しない。毎回講義にはレジュメを用意する予定である。

参考書等

竹林庄太郎『日本中小商業の構造』（有斐閣）1941年  
糸園辰雄『日本中小商業の構造』（ミネルヴァ書房）1975年  
藤田貞一郎、宮本又郎、長谷川彰『日本商業史』（有斐閣）1978年  
石坂昭雄、壽永欣三郎、諸田實、山下幸夫『商業史』（有斐閣）1995年  
白澤恵一『地域経済と小売商業』（溪水社）1982年  
鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年など。

その他

授業の方法－講義を中心に行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
消 費 経 済 論	まる やま なお こ 丸 山 直 子	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会では、人々は実社会から収入を得る一方、必要な財やサービスのほとんどを市場を通して購入し生活している。つまり個々ばらばらに見える生活の営みも、それをとりまく経済社会と密接に関わり、その動きに大きく影響されると同時に、人々の消費生活のあり方が経済全体に大きく影響する関係にある。

経済の発展とともに、たしかに生活は豊かになった。だが、その過程で消費者はどれだけ主体的立場を持ちえただろうか。実際には多くの消費者問題が発生し、各方面で消費者保護が推進されてきた。

そして現在、経済のグローバル化や地球環境問題など、社会全体が新たな課題に直面する中で、消費者にも自己責任が求められ、生活の再検討を迫られている。

本講座では、消費生活を社会の変化と関連づけて広くとらえ、消費者・生活者重視の視点から、消費経済に関する知識とともに生活をよりよく構築するために何が必要かを考えていくことをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年間の授業を4分野に分け、以下の内容について各回のテーマを設定して構成する。

- ① 産業社会の発展と生活の変化  
近代生活の始まりとしての産業革命、アメリカの高度大衆消費社会、日本の近代化から高度経済成長、国際化と規制緩和
- ② 消費者問題の発生と国の消費者政策  
消費者保護基本法、商品の安全性問題、消費者取引に関する法律と制度
- ③ 現在の消費生活の実態とは  
家計調査、消費動向調査、その他各種統計調査に基づく消費生活の分析
- ④ 消費生活の今後の課題  
高齢化と生活設計、環境問題と消費生活

成績評価の方法

レポートと試験により成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用せず、作成資料を毎回配布する予定。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	ひやく た よし はる 百 田 義 治	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代企業の経営管理（組織と管理）について、大学生に必要な基礎知識を提供することと、その現代的諸課題の現状と問題点を明らかにすることが一年間の講義を通しての課題です。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数の人々の協働体である組織が、さまざまに変化する環境の中で、目的・目標の設定から達成までのプロセスを効率的に運営する活動が経営管理です。したがって、経営管理は、学校や病院や政府諸機関など非営利組織（NPO）、あるいはボランティア活動の組織（NGO）にも必要不可欠な活動です。しかし、現代社会において組織という場合に、企業を除いて組織を語ることはできません。一年間の講義の中では、NPO や NGO の組織の特性や管理の課題についても up-to-date な話題にふれて言及しますが、講義の中心は現代企業の経営管理問題です。

一年間の授業スケジュールは以下の通りです。

前期（4月－7月）は経営管理論の流れを「個人と組織」の問題を中心にフォローし、その現代的意義について考えます。前期の授業の内容は次のような問題です。

- ① 授業ガイダンス（経営管理論では何を学ぶのか？）
- ② 現代の組織と経営管理（企業の経営管理と NPO・NGO の経営管理は異なるか？）
- ③ 経営管理論の源流 1：科学的管理法（唯一最善の管理法は存在するか？）
- ④ 経営管理論の源流 2：管理過程と管理原則（経営管理は学校教育で学べるか？）
- ⑤ 組織の人間関係（人間の非論理的・非合理的行動とは何か？）
- ⑥ 現代組織論 1：個人と組織の統合理論（個人の欲求充足と組織目標の達成は両立するか？）
- ⑦ 現代組織論 2：意思決定論（経営者の意思決定は科学の対象になるか？）
- ⑧モチベーション論（自己実現とは？勤労意欲は何かから生みだされるか？）
- ⑨ 人的資源管理論（行動科学とは？「労働力」と「人的資源」で何が異なるか？）  
（夏休みの課題）前期の授業についてレポートの提出を求めます。

後期（9月－1月）は現代企業の経営管理の実際（当面する諸問題）を具体的に検討します。

- ⑩ 企業戦略論（現代企業のもっとも重要な経営管理問題とは何か？）
- ⑪ 日本企業の国際競争力（トヨタ・システムはフォード・システムを超えたか？）
- ⑫ グローバリゼーションとジャパナイゼーション（日本の経営は国際的に通用するか？）
- ⑬ 日本企業の国際化（グローバル化とローカル化の両立は可能か？）
- ⑭ 経営管理と情報化 1（企業内・企業間ネットワーク化は経営管理を根本的に変革するか？）
- ⑮ 経営管理と情報化 2（情報化は中間管理職を無用化するか？）
- ⑯ 地球環境問題と経営管理（共生の時代の経営管理に求められるものは何か？）
- ⑰ コーポレート・ガバナンスと企業倫理（経営者の社会的責任とは何か？）
- ⑱ 労働の未来と経営管理の課題（一年間のまとめ）  
（学年末試験）

履修上の留意点

新聞・雑誌・ニュースなどを通して現代の企業と経営に関心を持つことが大事です。「なぜ」という疑問がなければ勉学意欲は持続しません。現実の経営管理問題にマークシート方式の解答はありません。すべてが応用問題です。洞察力と問題解決能力も90%は経験と学習です。

成績評価の方法

出席（10%）、小レポート（20%）、学年末試験（60%）で総合的に評価します。

教 科 書

笹川・山下・仲田・渡辺編著『現代の企業経営を学ぶ』（ミネルヴァ書房）1996年  
片岡・篠崎・高橋編著『新しい時代と経営学』（ミネルヴァ書房）1998年

参 考 書 等

授業や夏期レポートに関連して随時紹介する。

そ の 他

授業に関する質問などがあれば研究室（第2研究館4階2436：電話03-3418-9345）を気楽に訪ねるか、E-mail（授業で説明）で問い合わせして下さい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務管理	しら <small>し</small> 坂 <small>さ</small> 亨 <small>とある</small>	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

財務管理は企業の資本についての諸問題を研究対象とする学問です。しかも、企業側からすれば、この財務管理はその企業の形態や業種、規模によっても変化します。したがって、学問領域も広く、商法および税法、証券取引法、独占禁止法といった法制度とも密接に関連しています。またその奥も深いものとなっています。

このような状況のもと、財務管理は利益管理（費用管理と収益管理）と資本管理（調達管理と運用管理）の両側面において発生する問題の背景や、要因を解明すべく、企業を取り巻く金融・証券市場の構造解明と役割の認識を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、本講義においては次にしめす項目を2・3回に分けて検討します。

1. 財務管理論の枠組み
2. 会社制度
3. 財務管理の役割り
4. 資金調達の実態－株式資本－
5. 資金調達の実態－借入れ資本－
6. 資金調達の実態－社債資本－
7. 資金調達の実態－自己金融－
8. 配当政策
9. コーポレート・ガバナンス

履修上の留意点

履修するにあたり、学生諸君に望むことはただ一つ、積極的な授業参加です。

成績評価の方法

成績評価は出席、小テスト、レポート等により総合的に評価します。

教科書

教科書・参考書は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営戦略論	た ぶち やす お 田 淵 泰 男	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している今日、経営戦略の優劣いかに、企業の盛衰に大きく影響するようになってきました。そうした環境に、いかにしてうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つです。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、基礎的かつ重要な論点にかんする知識を提供し、その考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・  
授業スケジュール

経営戦略論の歴史・概念・体系などにはじまり、その企業の事業とは何かを定義して事業領域を選択する全社的な企業戦略、新しい製品・市場をめざして複数の事業へ経営資源を展開する多角化戦略、多角化企業の経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点分配するかを考えるポートフォリオ戦略、競合企業に対し競争上の優位な地位を確立するための競争戦略などについて、それらの理論を事例をまじえて説明していきます。

履修上の留意点

実際の企業動向の論理を探究しようとする意欲をもって、その機会を常日頃からさまざまなメディアを通じてとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

前期試験と後期試験の平均値によって評価することを原則とします。ただし、出席、およびレポートを課した場合には、それらを含めて総合的に評価することもあります。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

必要の都度、プリントを配布し、また OHP を利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営学史	岩 <sup>いわ</sup> 永 <sup>なが</sup> 宏 <sup>こう</sup> 治 <sup>し</sup>	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業・経営における実践の理論的体系化として生成・発展してきた経営学の歴史的展開を中心に講義していく予定です。その際、アメリカを代表する学説に焦点を当て、それらの学説がいかなる歴史的、経済的、思想的背景のなかで成立し、企業・経営あるいは組織・人間のいかなる側面を問題にし、どのような理解を示してきたのかを解明していきます。そのなかで、アメリカにおける経営学の基本的性格とその歴史的・客観的な意義と役割を明らかにしていくつもりです。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① アメリカ経営学の基本的性格
- ② アメリカ資本主義と管理問題
- ③ 独占形成と管理問題
- ④ アメリカ経営学の思想的背景
- ⑤ テイラリズム
- ⑥ 科学的管理と精神革命
- ⑦ フォーデズム
- ⑧ 合理化運動と労働問題
- ⑨ 人間関係論とホーソン実験
- ⑩ 人間関係論の基本思考
- ⑪ フォレット学説の特徴
- ⑫ 行動科学的管理学説の展開

履修上の留意点

疑問などを積極的に提示して下さい。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況により評価します。

教科書

高木・丸木編著『経営管理の理論と歴史』（中央経済社）

参考書等

必要に応じて随時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 論	かわぐち おさむ 川 口 修	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

現在、簿記といえは技術的には、複式簿記を意味している。その簿記を商企業に適用したものが、商業簿記である。商業簿記は簿記を理解するうえで、最も基本になるものである。この講義では、簿記の基礎から仕訳・転記、試算表・精算表の作成、帳簿の締切、損益計算書・貸借対照表の作成までの一巡について講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、簿記の基礎概念、仕訳と仕訳帳記入、元帳転記、簡単な決算手続きまでの一巡について講義する。ここまでは、いわば、簿記の骨格であるから、正確な理解をして欲しい。後期には、勘定科目の内容と具体的な事例の処理、決算整理事項を含む決算手続きについて講義を行う予定である。

履修上の留意点

簿記は、基礎の理解とそれに基づく積み重ねであり、不断の努力が必要とされるものである。講義は、テキストを中心に進めていくので、予習・復習が内容理解の上で大いに役立つと考えている。休まないで受講して欲しい。

成績評価の方法

試験は、前期と後期の2回を考えている。比重は、前期4・後期6程度とし、出席を考慮した総合評価を行う。詳しくは、最初の講義の時に説明する。

教 科 書

『簿記の基礎構造』（創成社）

参 考 書 等

必要に応じてプリント等を配布する。  
『簿記の基礎構造』ワークブック（創成社）

そ の 他

計算を必要とするので指示をした時には、計算用具を持参して欲しい。簿記は実用性の高いものであり、会計関連科目の基礎となるものであるから、しっかりと学習・理解して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	おぐり たかし 小 栗 崇 資	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

会計といえば無味乾燥な数字と規則の羅列のように考えられがちであるが、実は今日の経済社会の実態を読み解くうえで1つの重要な技術である。経済の構成単位である企業や市場の動向を知る手がかりは企業が公表する財務諸表にあるが、それを理解するには財務会計の知識が必要となる。講義では、財務会計の基礎知識の理解・修得を目標とするが、できるかぎり現代会計の動向や最新事例なども紹介しながら会計について多面的に考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1～2週 会計の意義
- 3～4週 日本の企業会計制度
- 5～6週 有価証券報告書の具体例
- 7～8週 企業会計原則
- 9～10週 貸借対照表の構造
- 11～13週 資産
- 14～15週 負債
- 16～17週 資本
- 18～19週 損益計算書の構造
- 20～21週 収益・費用の測定と表示
- 22～23週 ディスクロージャー
- 24～25週 リース会計
- 26～27週 外貨換算会計
- 28～30週 連結会計

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果を総合して評価を行う。

教科書

平松一夫編著『財務諸表論の基礎知識』（東京経済情報出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	かわぐち おさむ 川 口 修	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

原価計算は、原価計算基準にあるようにその目的が多様である。この講義では、原価計算の基礎にある考え方を述べ、その中心のねらいとして、財務諸表目的の原価計算について講義する。すなわち、製品の製造過程を前提として、そこで消費される価値が、どの様に製品へ移転・計算されていくのかを論ずる。基本と考えるその領域を理解し、他の目的にも適合するような原価計算を前提として考えている。管理会計目的の原価計算は、その技術的展開が多様である。それらを講義することは、時間的制約もありやや困難であると思われるが、可能な限り述べてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、原価計算目的、原価概念、原価計算制度等の基礎的事項を述べ、製品原価計算の基礎である材料費・労務費・経費の計算、直接費・間接費の計算を講義する。後期には、製品・製造形態の相違を前提として、個別原価計算・総合原価計算とその応用計算の講義を行う予定である。時間がある時には、標準原価計算・直接原価計算などについても論じる予定である。

履修上の留意点

製品原価の計算は、製造を行っている現場と密接な連携を必要とする。それゆえ、難解な部分もあろうかとも考えられるが、出来る限り講義で詳しく述べる予定である。学生諸君も努力を惜しまないで欲しい。

成績評価の方法

試験は、後期のみである。そして、出席を考慮して総合評価を行う予定である。詳しくは、最初の講義の時に説明する。

教 科 書

小林健吾著『原価計算総論』（創成社）3,000円

参 考 書 等

必要に応じてプリント等を配布する。

そ の 他

計算を必要とするので指示をした時には、計算用具を持参して欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たか き かつ み 高 木 克 己	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格説制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

#### 履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

#### 教科書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

#### その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営分析	小栗 崇 資	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

経営分析は、企業の公表財務データにもとづき、比率分析や趨勢分析を通じて企業の経営能力や実態を明らかにしようとする実践的な学問である。経営分析は歴史的には企業の支配能力を計る信用分析から始まったが、今日では個別企業をめぐる収益性や安全性、生産性などの比率分析や資金分析、損益分岐点分析などの応用分析が行われるようになった。また個別企業にとどまらず、連結財務諸表を使用しての企業グループの分析や企業間比較による産業分析も行われてきている。いずれも会計学の基礎知識とともに現代の企業や産業に関する総合的な知識と判断力が求められる。講義では、経営分析の基本を身につけるとともに、可能なかぎりケーススタディを使って分析方法に習熟し、分析のセンスを養うことができるようにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容と授業スケジュールは次の通りである。

- 第1回～第2回 経営分析の基本
- 第3回～第4回 財務諸表の見方
- 第5回～第6回 有価証券報告書の見方
- 第7回～第8回 収益性の分析
- 第9回～第10回 安全性の分析
- 第11回～第14回 資金の分析
- 第15回～第16回 内部留保の分析
- 第17回～第18回 企業グループの分析
- 第19回～第20回 損益分岐点分析
- 第21回～第22回 生産性の分析
- 第23回～第24回 中小企業の分析
- 第25回～第30回 総合事例分析

#### 履修上の留意点

有価証券報告書や企業のデータのプリントを適時、配布するので欠席しないようにすること。また配布プリントは事例分析の材料として講義期間中、使用するので保管すること。

#### 成績評価の方法

前期と後期の試験結果により成績を評価する。

#### 教科書

谷江武士『基本経営分析』（中央経済社）2,500円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふるさわこうぞう 古 沢 紘 造	二経1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生態との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
  1. 農産物と貿易
  2. 水産物と貿易
  3. 林産物と貿易
  4. 鉱物資源と貿易
  5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
  1. 開発援助と貿易
  2. 環境と貿易
  3. 公正と貿易
  4. グローバリゼーションと貿易
  5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

#### 成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは評価の対象とはならないでしょう。

#### 教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、その都度説明しますので、授業にでもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参考書等

講義の中で特に興味をもち、もし少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談に来て下さい。参考になる本など教えます（研究室第2研究館4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
証券市場論	佐藤 昇 <small>さとう のぼる</small>	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

資金の調達・運用手段として、有価証券の役割が近年ますます重要性を高め、間接金融を中心とする企業金融は大きく変貌しようとしている。講義では証券市場の機能、市場構成など基礎的な分野の現状解説に止めず、市場の歴史・現状・将来展望を検討し、市場変化の方向性や必然性を見極める事に留意する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義するが、とくに近年における有価証券範囲拡大傾向について注目したい。

つぎに伝統的な有価証券である債券や株式の種類と機能、およびこれらの発行・流通市場の歴史と現状さらには将来像などについて講義する。また、債券と株式への投資を決定する際の尺度についても、計算方式と利用上の留意点を解説する。

1980年代後半にわが国の株式市場で発生した「バブル」とその崩壊は、現時点においても株式市場はもちろんわが国経済全般にわたって大きな傷跡を残しているが、バブルの歴史や発生・崩壊および後遺症伝播のメカニズムを検討する。

わが国は2001年までと期間を設定して、金融・証券市場全般の大改革「日本版ビッグバン」を実行しつつある。ビッグバン計画に盛られた施策が完成した段階では市場の様相は大きく変貌する筈である。

一方、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、地球規模でマネーの動きが極めて早くなっており、市場の変化は従来になく激しくなっている。

このように、内外共に激変が予想されるため、ことに証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景、影響などを解説する。

履修上の留意点

証券・金融市場関連のニュースに関心をもって欲しい。その上で疑問点や不明な用語があれば、積極的に質問をしてもらいたい。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教科書

佐藤 昇ほか著『入門現代の証券市場』（東洋経済新報社）3,100円

参考書等

佐藤 昇ほか著『現代経済と証券市場』（有斐閣）2,266円  
日興リサーチセンター編『全詳解 金融大改革のすべて』2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 険 論	いま いずみ たか ただ 今 泉 敬 忠	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

近年、個人であると企業であるとを問わず、多様化しかつ巨大化した危険（リスク）をどのように処理するかは、経済生活上大きな問題となっている。そうした危険の処理に当たって大きな役割を果たすのが保険制度である。本講義では、まず保険の基本的原理を理解し、その上で個別の保険を取り上げてその実際がどのようになっているかが理解できるようにすることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険の研究方法には種々あるが、本講義では、前期には、保険の基本的原理（すなわち、保険の生成、保険の概念、保険の機能、保険料、責任準備金、資産の運用とその規制、保険者の組織、保険の分類等）を取り上げ、後期には、個別の保険（例えば、その代表として、歴史的に一番古く、その後生成したその他の保険に大なり小なり影響を与えた海上保険）を取り上げ、経済生活上危険の発生が予測される場合、その危険が現実が発生し、それによって生じる経済的不利益（すなわち損害）が保険によりどのように補償されるかを、どの保険にも応用できる形で講義する。

履修上の留意点

保険は、必要があつて生成し、長い年月を経て発展してきた経済制度であるから、それなりの独自の機構や組織をもち、更に用いられる用語にも特殊性がある。したがって、講義に出席してノートをとるだけでなく、下記参考書等を熟読することには大いに意義のあることであり、そうすることを希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業時間中の態度および学年末試験の結果を総合して評価する。

教 科 書

特に指定せず、ノートによる。ただし、下記参考書を利用することが望ましい。  
なお、必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

鈴木辰紀編著『保険論』（第9版）（成文堂）  
石名坂邦昭著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）  
前川寛著『現代保険論入門』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民 法	お 織 だ て る こ 織 田 晃 子	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典は、財産法領域を物権と債権に分け、それに家族法領域の親族と相続に関する規定を加え、それらの通則として最初に総則規定を置いている。本講義は「民法」であるからこれらすべてが対象となるが、一年間で講義するにはあまりにも膨大である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題点をとりあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 売買の交渉から契約の成立、その履行
  - ① 契約の成立
  - ② 契約の履行過程
  - ③ 契約の履行終了
  - ④ 登記の移転
  - ⑤ 債権譲渡
2. 契約不履行の場合の法的処理
  - ① 債務不履行
  - ② 契約の解除
  - ③ 他人の物の売買
  - ④ 瑕疵担保責任
  - ⑤ 債権者代位権
  - ⑥ 詐害行為取消権

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数により評価。

教 科 書

河野弘矩著『債権総論講義』（ぎょうせい）3,500円

参 考 書 等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 法	しま はら ひろ あき 島 原 宏 明	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

実質的な商法の領域の中から主に会社法を対象として講義を進めて行く。商法は民法と共に私法と言われる領域を構成しており、民法の特別法という地位に立つ。したがって本来は商法を学習する以前に民法の基礎知識があることが望ましいが、実情を考慮して、個々の論点の中で民法あるいは法学の領域にまで遡って説明することで補って行くつもりである。

会社法という領域は、商法典の中の第二編会社を中心として、有限会社法、商法特例法等によって構成されている。また、商法上の会社には、商法典に規定されている合名会社、合資会社および株式会社と、有限会社法に規定されている有限会社の四つがある。本講ではこの中から、現代資本主義社会において最も典型的な企業形態であり、かつ最も複雑な法規則を受けている株式会社の制度を中心として解説していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には、①商法上の四つの会社の特徴、②株式会社の設立、③株式と株券、④株式会社の機関、⑤新株発行、⑥株式会社の計算、⑦社債、の順に講義を進めて行く。また、企業活動との係わりの薄い学生諸君にいくつかでも現実感を持ってもらうために適宜、コピーした判例を配布し、解説して行くつもりである。

成績評価の方法

期末試験による。

教 科 書

宮島 司『会社法概説（補正版）』（弘文堂）3,811円

参 考 書 等

倉澤康一郎『商法の基礎〔三訂版〕』（税務経理協会）2,900円  
なお、小型の物でよいが必ず六法全書を携行すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	<small>おか だ と し ひろ</small> 岡 田 外 司 博	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえつつできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

参 考 書 等

初回の講義の時に紹介する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじ 藤 もと 本 しげる 茂	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しながざれています。現在は、第三の激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではありません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に果たす組合の役割は、一見地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の見直しなども見られます。

解釈においては、何が変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきではないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公——労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定—労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等——同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント
- ⑤ 労働条件を決定しているもの——就業規則、労働契約、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備——不当労働行為
- ⑦ 雇用の入り口—採用、採用内定、試用期間
- ⑧ 人事異動——配転、出向、転籍
- ⑨ 雇用の出口——解雇、定年、退職
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金
- ⑪ 労働時間、時間外労働
- ⑫ 休憩、休日、休暇
- ⑬ 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

教 科 書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

そ の 他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めることを心掛けます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 (英)	なかだ あきお 中 田 秋 男	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

書物には読んで直ぐわかる(情報として読む)ものと、何度読んでも理解できない(古典として読む)ものがある。特に古典と呼ばれているものは、何度でも読み返されて行く運命にあるものかも知れない。古典は歴史的に限られた一時期の産物にもかかわらず、常にその時代を超えて現代に語りかけてくる。授業では経済学の古典といわれているものを読んでいくことにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

経済学の歴史の中で大きな山脈としてそびえ立っている、三人の経済学者の著書を中心に読んでいきます。すなわち、経済学誕生の書と言われているアダム・スミスの『諸国民の富』(1776)、資本主義社会の経済的な運動法則を明かにしたカール・マルクスの『資本論』(1867)、大恐慌のあと政府の役割を重要視するジョン・メナード・ケインズの『雇用・利子および貨幣の一般理論』(1936)。以上、三人の著書の中から、それぞれ重要と思われる箇所を抜粋して原書で読んでいきます。

成績評価の方法

出席点及び平常点の総合で評価します。

教 科 書

テキストはコピーして配布します。

参 考 書 等

以下の日本語訳は参考までに、さらにフランス語とドイツ語訳も紹介します。  
アダム・スミス『諸国民の富』(岩波書店)  
カール・マルクス『資本論』(岩波書店)  
ジョン・メナード・ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』(東洋経済新報社)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 (英)	ひろ た ひで き 広 田 秀 樹	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

今、最も大切なことは若者の成長です！若者が新世紀を開く為に力をつけることです！21世紀の大舞台上で活躍する大切な若者の英語力を絶対に伸長させる為に全力で講義します！！

講義の内容・授業スケジュール

今まで英語ができなかった人も、絶対にこの授業で英語ができるようになります！！授業に参加しただけで英語力が上昇し、経済関連の専門知識が確実に身につくような授業形態を採用する。即ち、指定テキストの講読と同時に、絶対に英語力を飛躍させるパワーベース読解法を導入し、パワーベース読解法を用いてのペーパーワークに毎回取り組んでもらう中で、学生諸君の英語力を確実に伸長させる。パワーベース読解法をマスターすれば、原書を講読する速度もかなり増すと考える。

(授業スケジュール)

基本的にパワーベース読解法のトレーニングと経済関連の原書講読の2つを軸に授業を展開する。

講義の概要は以下の通りである。

1 パワーベースメソッド (Power Base Method) の紹介 (4月)

パワーベースメソッドは、私がカリフォルニア大学バークレー校に留学した際に独自に開発した最も効果的な英語力伸長法である。それは、英語のリーディング・リスニング・スピーキングに特に必要な、不定詞・分詞・関係詞の語用法や重要構文等を「記号化」し、英語の構造、英語で表現される言葉の流れを一瞬にしてキャッチする方法である。パワーベースは、英語をマスターする為の最強の「24の公式」です。この「24の公式」をマスターすればそれは生涯の財産になります。「24の公式」だけで英語の力は飛躍的に伸びます！パワーベースメソッドは短時間でマスターできるので最初に紹介したい。

2 原書講読

経済関連の興味深い、又世界的にも有名となった次の原書を講読する。定期的に読解をする部分を印刷して配布する。

(1) "Economics" by Paul. A. Samuelson (1973, Ninth Edition, McGRAW-HILL BOOK COMPANY) (5・6月)

世界的に有名な伝統的な近代経済学のテキストであるこの本の、財政政策・金融政策関連のパートを読む中で、現代資本主義経済の主要経済政策のメカニズムを理解してもらう。

(2) "MITI and the Japanese Miracle" by Johnson, Chalmers (1982, Stanford University Press) (7・9月)

この著作も近年世界的に読まれてきた本で、日本の通商産業省 (Ministry of International Trade and Industry - MITI -) の産業政策と日本の経済発展について述べたものである。この著作の講読から、近年世界中に論争を引き起こしている MITI の産業政策について、また、日本経済の特殊性に関しての知識を吸収してもらう。

(3) "The Decline of the British Economy" by Best, Michael H. and Jane Humphries (1986, Oxford University Press) (10・11・12月)

この本も世界に反響を読んだもので、何故かつての超経済大国イギリスが衰退してきたのかというテーマで、経済大国の長期的な衰退のメカニズムを分析している。この本の政策関連の部分を読み、いかに経済政策の方向性が一国の経済の長期的動向に影響を与えるのかということを理解してもらう。

成績評価の方法

前期・後期の筆記試験及びレポートによって総合的に評価する。

教 科 書

前述した原書の主要部分を印刷して配布する。

参 考 書 等

サムエルソン『経済学』(上・下) (岩波書店)  
ダニエル・沖本『通産省とハイテク産業』(サイマル出版会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 (独)	はまもと ちずか 濱 本 知 寿 香	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、ドイツ語の原書を読むことで語学能力を高めるとともに、生活経済に関心をもつことを目的としています。

講義の内容・  
授業スケジュール

われわれの日常生活に関わる税制、社会保障制度を扱った原書を読んでいます。また、日本の制度についてもふれていきます。

履修上の留意点

テキストを輪読する形式をとります。

成績評価の方法

発表点、受講態度、理解度などから総合的に評価します。

教 科 書

テキストはコピーして配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 (仏)	<small>なか</small> 中 <small>だ</small> 田 <small>あき</small> 秋 <small>お</small> 男	二経1・2・3・4選	4

講義のねらい

「フランス語の原書講読」と聞くと、もうそれだけで嫌になってしまう学生諸君もいるかと思うが、是非私の授業をききに来てください。内容はとても興味深いものになっています。もし興味がわかなければ、話し合って興味のあるものにするつもりです。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初は詩、シャンソン、雑誌、新聞記事など短いものを教材に用いてフランス語の基礎的な能力を養いたいと思います。初めての学生には音声学の基礎である発音のテクニックも伝授します。少しずつ慣れてきたら、今度は最近フランスで話題になっている経済関係の論文をとりあげて輪読していくつもりです。なるべく学生諸君の希望を取り入れながら、テキストを決めていくつもりですので、恐れず是非参加してください。

成績評価の方法

出席点及び平常点の総合で評価します。

教 科 書

テキストはコピーして配布します。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅰ(前期) 〔日本経済の再建策〕	たか はし しょう せん 高 橋 乗 宣	二経1・2・3・4選	2

講義のねらい

昭和恐慌いらいの混迷を続けている日本経済の現状を認識し、その歴史的背景と構造的要因について理解を深める。そのうえで、日本経済の閉塞を打破し、その活力を再生するための方途について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1講. 日本経済の現状(経済成長、企業業績、雇用・家計・財政収支・公的債務、対外収支)。第2講. デフレ・スパイラル下の日本経済(実物経済、金融、物価、資産価格)。第3講. デフレ経済の特性とその恐怖(貨幣価値の上昇、債務負担の増大、スパイラル化のベクトル)。第4講. 日本の財政デフレと信用デフレ(財政構造改革への流れ、金融制度改革法への流れ)。第5講. 日本経済のデフレ化と世界経済へのインパクト(債権大国の意義、米国経済のファイナンス構図、新興諸国の成長資金)。第6講. 戦間期国際金融と現代の異同(1920年代の世界経済、国際マネーフローの構図、NYの株価暴落と世界恐慌、ポスト・バックスアメリカーナの時代、グローバル化と市場主義化の時代潮流とその限界)。第7講. バブル崩壊から改革テーマの浮上へ(不況の深化と政策的手詰まり感、社会的閉塞感の充満)。第8講. 金融制度改革(6大改革の提起、金融制度改革)。第9講. 日本経済システムの改革(ビッグバンと経済社会改革、メインバンク制の終焉、自己責任時代へ)。第10講. 国際金融の混乱と新スキームの模索(市場主義への傾斜とIMFの限界、新国際金融フレームの模索。円国際化の課題)。第11講. 欧州統一通貨(ユーロ)の意義とインパクト(統一欧州通貨への道程、ユーロ登場の歴史的意義)。第12講. 日本経済再建への道(21世紀に当面する諸困難、経済戦略会議が提起しているもの)。

履修上の留意点

新聞等の経済記事には目を通すこと。講義中は私語厳禁。

成績評価の方法

小論文テストにより評価。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

高橋乗宣著『日本版ビックバンはこうなる』(徳間書店) 97年6月刊。R ブートル著、高橋乗宣監訳『デフレの恐怖』(東洋経済新報社) 98年1月刊。高橋乗宣著『どうなる平成恐慌』(PHP研究所) 98年9月刊。佐美光彦著『「大恐慌型」不況』(講談社) 1998年7月刊。R ハイブルローナー著、中村達也・吉田利子訳『二十一世紀の資本主義』(ダイヤモンド社) 94年2月刊。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅱ(後 期) 〔金融危機〕	ひら いし ゆう いち 平 石 裕 一	二経1・2・3・4選	2

講義のねらい

1998年は、金融システムの破局的状況がつぎつぎと惹起し、その沈静と再生を意図した政府の制度作りと公的資金の大量投入が2度にわたってなされた。しかし、この一連の処置によっても、金融システムの急速な正常化が図られるという見通しはないようである。金融危機をもたらした広汎な影響とその背景にある原因は、必ずしも分りやすく解明されているとは言えない。私は市場経済の至上主義が必然的にゆきつかせた結果と位置づけ、その実態、原因、克服の方向を、わが国経済社会を底辺で支える中小企業と市民の立場から解説する予定である。その際、できるだけ私の体験した実業世界との関連で講義を展開したいと思っている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1、金融危機の実態、A) 経営破綻の実情…金融資産の悪化状況。不良資産の激増など。B) 金融システム瓦解の具体例…北海道拓殖銀行、日本長期信用銀行など。C) 銀行のリストラとその影響…金融利便性の低下、雇用の不安定化。中小企業などへの信用収縮。国際金融資本の買収増加など。2、金融危機の原因、A) バブル経済の崩壊、B) アジア通貨危機による焦げ付き、C) 国際的な資金投機運用の失敗、D) 金融システム改革の誤算。3、金融危機の克服方向。A) 制度改革と信用保証拡充、B) 地域共生の金融制度確立

履修上の留意点

金融問題は難しいといわれるが、金融問題のポイントが常識的に判断できるように解説したい。質問歓迎。積極的に講義に参加してくれることを望みます。

成績評価の方法

レポート(感想文)、筆記試験、出席加点(欠席は減点せず)

教 科 書

講師などの論文(コピー配布)が中心。

参 考 書 等

『市場経済下の協同金融』(絶版)『現代日本の金融』(新日本出版社)

そ の 他

授業の前に時事放談でアйдリングする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅲ(前期) 〔経済のグローバル化と企業再編〕	たぐち さいお 田 口 定 雄	二経1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講では、激動する世界経済の姿を、主として企業のグローバルな展開と再編動向を通じて具体的に把握し、21世紀の産業や企業の変化の方向を具体的に検証することを目標とする。方法としては、素材から最終加工組み立て、販売・消費、廃棄・再利用といった生産・流通・消費の連鎖の基本的な理解を深めるため、エネルギー、素材、組み立て加工の各段階におけるキー・インダストリーを取り上げ、その世界市場における競争要因、再編状況を主要企業のケーススタディをまじえて概観、既存の産業・企業の転換期の現状把握の一助とし、また今後の変化の方向や新産業の芽生えを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 限られた時間内に上記の目標に近づくため、次の数項目を各1、2時間かけて講義する。
- ① 世界の大手企業 ランキング上位100社程度の業種・国籍・収益・従業員数などを材料として現代経済のグローバル・プレーヤーについて大まかな知識を得る。
  - ② 世界経済の概況 GDP、人口、成長率、貿易と資本移動などからみた世界経済の概観と人口爆発、南北問題、資源エネルギー問題、地球環境問題などの理解
  - ③ 石油・エネルギー国際需給動向と大競争時代の到来-メジャー再編の背景
  - ④ 石油化学、プラスチック、合成繊維などの主要合成素材産業の発展過程と再編動向
  - ⑤ 自動車産業のグローバル競争の現況と再編方向
  - ⑥ ヘルスケア・食糧問題とライフサイエンス産業（医療・農薬・育種など）の新展開

履修上の留意点

現実の企業再編と同時進行の話が多いので、新聞・雑誌の経済欄などを日常注意深く読む習慣をつけること。英文紙記事なども時々目を通し、大要把握の練習をしたい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として期末試験の成績による。試験は上記講義テーマのいずれかに関する記述式問題およびマークシート形式数題の出題を予定。

教科書

教科書は使用せず、各論題について参考書をその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅳ(後期) 〔アジアの経済危機〕	ひが え かつ ゆき 比 賀 江 克 之	二経1・2・3・4選	2

講義のねらい

「アジアの経済危機」を国際政治・外交、国際経済・貿易、国際金融など多角的な視点から分析し、講義する。アジアでの駐在経験を通じ体得した東南「アジア政治経済論」を織り込み、生きた「現代経済事情」を講義することにより、学生諸君にアジアへの興味、関心を持って貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

後日提出します。

履修上の留意点

- ・「私語、居眠りのない充実した授業」をモットーとしたい。
- ・講義では出席をとることとし、出席者は教室入り口に置いてある出席者リストに氏名を記入して入室する。1回出席する毎に評価に1点を加算する事も検討したい。
- ・講義は最初に講師がプレゼンテーションを行い、それに対して受講者が質問、コメントを出して理解を深めるようにしたいので、受講者は積極的に発言すること。

成績評価の方法

全講義終了後に、受講者にレポートを提出して貰い、レポートで学業成績の評価を行います。

教科書

教科書はありませんが、講義のテキスト（レジュメ）をその都度配布します。

参考書等

後日提出します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代産業事情Ⅰ(前期)	いわ した ひろし 岩 下 弘	二経1・2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

前期 2部にわけ、1部は、地方から世界に発信しているケースの現代産業事情である。情報産業については、コンピュータのハードにかかわっての地方における起業論である。

地場産業論は、従来の地場産業概念を超えた地域産業と世界との結びつきのあり方論である。

2部は現在注目を集めている産業について講義を行う。消費者金融は、トップ企業は株式を上場して社会的存在となり現在では一大産業になっている。

テニス・クラブは1970年代からのテニス・ブームを背景に増加を続けたが、現在は業界再編期に入っている。しかし健康志向を背景に今なお根強い人気に支えられている。

第1部 地方からの発想

◇情報産業

小林英一 NKテクノ取締役社長

◇地場産業

森山 亨 (財)桐生地域地場産業振興センター専務理事

第2部 個別産業事情

◇消費者金融業

木下恭輔 アコム(株)取締役社長

◇レジャー産業(テニス)

岩瀬啓市 相模原グリーンテニスクラブ取締役支配人・元全日本プレーヤー

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代産業事情Ⅱ(後期)	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	二経1・2・3・4選	2

講義のねらい

現代日本の金融機関は、バブル崩壊後の不良債権処理や激しい国際競争に対応した「日本版ビッグバン」への取り組みなど、厳しい経営環境に直面している。本講義では、このような日本の金融機関、とくに都市銀行、信託銀行、生命保険会社について、その経営の現状と課題をそれぞれの企業の第一線で活躍している人たちに自由に語ってもらい、日本の金融機関の経営戦略、経営管理の実態をリアルに把握することに努める。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎時間、外部講師の人たちに60分程度講義(講演)してもらい、その後で、私の質問やコメントに加え、受講している学生の質疑を受ける、という方法ですすめる。

詳しい授業スケジュールは開講時に配布する。しかし、それぞれ第一線で活躍している方々に講師をお願いしている都合もあり、基本的には、毎時間次週の講義内容を予告し、受講する学生に予習をして参加してもらうことになる。

成績評価の方法

レポート(3回予定)で成績評価を行う。

参考書等

教科書は使用しない。必要な場合にはレジメを配布する。授業に関連する文献は講義中に指示する。

そ の 他

金融機関の企業経営に関心のある人の受講を希望します。外部講師の講義(講演)が中心の授業であること理解して受講して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I・II	岩永宏治	二経3・4選	4

講義のねらい

当演習では、企業、経営実践の理論化・体系化である経営学説の基礎研究を課題とし、その体系的理解を目指します。今年度は、アメリカを代表する学説に焦点を当て、それらの学説がいかなる歴史的、経済的、思想的背景のなかで成立し、企業・経営あるいは組織・人間のいかなる側面を問題にし、どのような理解を示してきたのかを解明します。そのなかで、アメリカにおける経営学説の歴史的展開の同一性と差異性を抽出し、その基本的性格や歴史的、客観的な意義と役割などを究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

演習テーマにそった文献講読を基本的課題として、年間を通して実施します。

- ① 全員予習（テキストの進行にそって要旨をまとめたサブノートの作成）
- ② 報告者はレジュメ（報告要旨）を作成し、全員にコピー配布
  - a レジュメのレベル
    - ・テキストの要約
    - ・不明、疑問点の調査
    - ・報告内容に関連した資料（肯定、否定見解を含む）の収集
    - ・自分の見解（感想を含む）
  - b コメンテータによる疑問点等の提示
  - c 全体のまとめ

成績評価の方法

平常点で評価します。

参考書等

開講時に指示します。

その他

コンパ・ゼミ合宿などの行事を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I・II	友松憲彦	二経3・4選	4

講義のねらい

この演習は西洋社会経済史の研究を課題としている。本年度は「イギリス産業革命と民衆生活」をテーマに研究する。18世紀末から19世紀にイギリスにおこった最初の産業革命は、科学技術を生産過程に適用し、生産力を手工業生産の制約から解放することで近代工業社会形成の歴史的分水嶺となり、今日の「豊かな」社会の出发点となった。しかしこの革命によって歩みを開始した大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済は、資源・エネルギー問題や環境破壊を深刻化させ、今日ではその存在を根底から揺さぶられるようになった。イギリス産業革命は現在社会の光と陰を生み出した歴史的起点として、重要な世界史的意義をもっている。この演習ではイギリス産業革命の「光」と「陰」が民衆生活にどのような影響を及ぼし、民衆はそれに対していかに行動したかをテーマにする。とりわけ、従来あまり注目されてこなかった民衆の消費生活を中心に研究したい。

履修上の留意点

ゼミはたんなる勉学の間ではなく、学問を通じて教員と学生が人間関係を取り結び、学生相互が友情をはぐくむ場でもある。コンパや合宿といった行事も交えながら、学生諸君の自主性を重視した「楽しい」ゼミ運営をしたいが、ゼミの中心はあくまで勉学の「楽しさ」の追求であることは忘れてはならない。講義のような受身の勉強だけでは満足できない、大学生らしい主体的、能動的な勉学がしたい意欲的な諸君に受講してもらいたい。

教科書

友松憲彦『近代イギリス労働者と食品流通』（晃洋書房）1997年





# 2 法 学 部

専 門 教 育 科 目	経済学部
	法学部
	経営学部



## Ⅱ 専門教育科目

### 2 法学部

法学概論	(藤本茂)	203
憲法	(西修)	204
比較憲法	(齊藤寿)	205
民法総論	(河野弘矩)	206
親族法	(竹中智香)	207
刑事政策	(齊藤静敬)	207
刑法総論	(松村格)	208
法思想史	(高橋洋城)	209
日本法制史	(休講)	
西洋法制史	(北野かほる)	210
英米法	(北野かほる)	211
社会学	(岡崎修)	212
労働法	(藤本茂)	213
経済法	(岡田外司博)	214
社会保障法	(一戸真子)	215
政治学原論	(大塚桂)	216
政経史	(楠精一郎)	217
経済原論	(藤原碩宣)	217
マス・コミュニケーション論	(相田敏彦)	218
行政学	(外山公美)	219
国際関係論	(首藤素子)	220
法律時事英語	(牧野和夫)	221
英書講読	(岡田外司博)	222
財政学	(速水昇)	222
経済政策	(石井啓雄)	223
国際法	(王志安)	224
物権法	(鶴井俊吉)	225
債権総論	(青野博之)	226
会社法	(荒木正孝)	227
商法総則・商行為法	(関口雅夫)	227
刑法各論	(山口邦夫)	228
行政法総論	(金子昇平)	229
裁判法	(雨宮眞也)	230
環境法	(松村弓彦)	232
知的財産権法	(盛岡一夫)	233
税法	(岸田貞夫)	234
法哲学	(高橋洋城)	235
国際私法	(笠原俊宏)	236
地方自治法	(富井幸雄)	237
金融法	(川田悦男)	238
国際紛争解決法	(王志安)	239
担保物権法	(鶴井俊吉)	240
債権各論	(林幸司)	241
相続法	(竹中智香)	242

有保民	價險事	証·訴	券商訟	法(島山杉)	(原田浦)	宏泰智	明彦紹)	.....	242
民	事	行·	全	法(梅)	(馬越)	善道	夫)	.....	243
倒	產	処	理	法(馬越)	(小林弘)	道夫	人)	.....	244
行	政	法	各	論(小)	(小曾)	綾	之)	.....	246
刑	事	訴	訟	法(小)	(青野)	博	之)	.....	247
演	習	I	·	II(大)	(小曾)	綾	之)	.....	248
演	習	I	·	II(金)	(金子)	昇	平)	.....	249
演	習	I	·	II(佐)	(藤多)	美	夫)	.....	249
演	習	I	·	II(杉)	(浦智)	紹	之)	.....	250
演	習	I	·	II(西)	(修)	之)	.....	250	
演	習	I	·	II(林)	(幸)	司)	.....	251	
演	習	I	·	II(山)	(田泰)	彦)	.....	251	
演	習	I	·	II(山)	(田泰)	彦)	.....	252	
演	習	I	·	II(山)	(田泰)	彦)	.....	253	
演	習	I	·	II(山)	(田泰)	彦)	.....	254	

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 概 論	<small>ふじ</small> 藤 <small>もと</small> 本 <small>しげる</small> 茂	二 法 1 必	4

講義のねらい

これから、法を学んでいこうとしている諸君にとって必要であると思われる基礎的概念や考え方を概観します。法は社会のいろんな出来事に関わっていますが、その出来事に法というフィルターを当てると、自分の感じとは異なる様相になることに気づくことと思います。その違和感を感じてもらいたいと思います。そして、どうしてなのか、学んで欲しいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初は、導入部分として、身近に感じられるテーマを取り上げて、話をします。  
次に、実際に勉強するのは諸君たちですので、最初に取り上げたテーマに絡んで、自分自身で法的文献を調べることが必要です。したがって、法的文献の調べかた、法的文献の検索の仕方をお話します。  
その上で、法とはなにか、法と強制、法の目的、裁判の基準となる法源、法の適用、法の解釈、法の体系といった総論的部分－抽象的概念の世界－を概観します。  
その後、国家と法、犯罪と法、家族と法、財産と法、労働関係と法といった各論的部分をテーマとし、民法、刑法などの考え方の一端を学ぼうと思います。その意図は、二年次以降の専門分野にあなたの知的好奇心がかきたてられることを願ってのことです。

履修上の留意点

授業には、毎回出席してください。そして授業で疑問点など質問してください。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、学年末試験などで評価します。

教 科 書

大久保治男『改訂 法学概説』（芦書房）

参 考 書 等

伊藤正己・加藤一郎『新版現代法学入門』（有斐閣双書）など。

そ の 他

なお、授業開始時に、より詳しく説明しようとおもいます。したがって、最初の授業は必ず出席してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	にし 西 修 <small>おさむ</small>	二 法 1 選	4

#### 講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があります。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。なお今年度は短期国外留学が予定されていますので、その埋め合わせ方法は授業中に伝えます。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独白で作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切に授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。  
前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%。  
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ① 日本国憲法の制定過程  | ⑨ 憲法の改正と限界    |
| ② 国民主権と象徴天皇制  | ⑩ 基本的人権の歴史と意義 |
| ③ 日本国憲法と平和主義  | ⑪ 法の下での平等     |
| ④ 政治改革と憲法問題   | ⑫ 精神的自由権      |
| ⑤ 国会の組織と機能    | ⑬ 経済的自由権      |
| ⑥ 内閣の機能、議院内閣制 | ⑭ 社会権         |
| ⑦ 司法の構造と権限    | ⑮ 身体的自由       |
| ⑧ 憲法の保障       | ⑯ 財政・地方自治     |

#### 教 科 書

- (1) 西 修編著『日本憲法25講』（八千代出版）1996年版 2,700円
- (2) 西 修著『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年

#### 参 考 書 等

別に配布するシラバスを参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	さいとう ひさし 斉 藤 寿	二 法 1 選	4

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
- 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）は、どのように歩んできたか。
- 第8回 世界各国の憲法は、どのように類型化が可能か。また、その特質は何か。
- 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第13回 これまで（第1回～第12回）の review。
- 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
- 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
- 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。
- 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
- 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
- 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
- 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
- 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
- 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
- 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
- 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
- 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
- 第28回 これまで（第14回～第27回）の review。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) — との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送らしましょう。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 総 則	こ う の 野 ひ ろ の り 矩	二 法 1 選	4

講義のねらい

民法とは、実質的意義においては、私法関係を規律する原則的・一般的な法を指し形式的意義においては民法典を指している。民法典は、財産法領域を物権と債権に分け、それに家族法領域の親族と相続に関する規定を加え、それらの通則として最初に「総則」規定を置くといった五編から構成されている（「総則」規定は、財産法領域の総則であり、家族法領域にはそのまま適用されない）。民法典の編纂にあたり最初に抽象的命題を置き、次に具体的な法命題へと下降するといった手法を採用したため、最初の編である民法総則は、抽象的で、理解しにくい規定が多く、民法典の中では比較的難解な編であると言われている。本講義では、可能な限り具体的事例を通して、抽象的理論の理解をより容易にし、受講者の知的好奇心・学問的興味を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

民法総則は、その全体が「権利」を中心に、先ず「権利の主体」、「権利の客体」、続いて「権利の変動」といった順序による体系的な構成を採用している。本講義もその体系にしたがい進行する。一年間の前半で「権利の客体」までを終了し、「権利の変動」については夏休み以降に行う予定である。講義の中で、民法の条文は当然のこと、それ以外の特別法の条文をも参照する機会が多いため、必ず六法を持参して受講されたい。

- 一 序論（民法の意義、基本原則、信義則と権利濫用）
- 二 権利の主体
  - 1 自然人（権利能力、意思能力、行為能力、無能力者の相手方の保護、住所、不在者）
  - 2 法人
- 三 権利の客体（物の概念、不動産と動産、主物と従物、元物と果実）
- 四 民法総則前半についての質疑応答
- 五 権利の変動
  - 1 法律行為（法律行為の意義、種類、法律行為の解釈）
  - 2 意思表示
    - (1) 意思と表示の不一致
    - (2) 瑕疵ある意思表示
    - (3) 意思表示の効力発生時期
  - 3 法律行為の代理（代理の概念、代理権、代理行為、復代理、無権代理）
  - 4 法律行為の効力（無効、取消）
  - 5 法律行為の効力の制限（条件、期限）
- 六 時効（序論、取得時効、消滅時効）
- 七 民法総則全体についての質疑応答  
毎回の講義終了後の教場か研究室においても質問を受ける。

履修上の留意点

毎週必ず出席をすること。継続しての受講が、理解の早道です。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

河野弘矩『民法総則講義』（八千代出版）3,200円

参 考 書 等

基本コンメンタール『民法総則』（日本評論社）

そ の 他

六法全書は、本講義に関する限り、ポケットサイズの六法全書でも、また年度の古いものでも良いです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	二 法 1 選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も重視する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』(有斐閣双書) 1,648円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 政 策	さい とう よし ゆき 斎 藤 静 敬	二 法 1 選	4

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この社会の中から犯罪を防止することができるのであろうか？たしかに、犯罪のない社会を実現させることは非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとして、何の努力もせずには、何の解決策にもならない。少しでも犯罪のない社会の実現にむけて努力すべきである。刑事政策を学ぶということは、まさにこの犯罪のない社会の実現にむけて貢献することにある。

講義の内容・授業スケジュール

刑事政策は犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探求するものである。そこで、  
1. 犯罪現象の類型的考察(例えば、少年犯罪、女性犯罪、性犯罪、暴力団犯罪、公務員犯罪、公害犯罪、精神障害者の犯罪、薬物乱用犯罪、交通犯罪、外国人犯罪。) 2. 犯罪者の処遇(例えば、受刑者の法的地位、刑務作業、拘禁の形態、仮釈放。) 3. 犯罪者に対する制裁(例えば、死刑、自由刑、財産刑、保安処分) 4. 犯罪の司法的処理(例えば、起訴猶予、執行猶予)……などについて概説する。

履修上の留意点

1. 講義には、毎回かかさず出席して欲しい。
2. 毎日、新聞の犯罪記事に目を通しておく。

成績評価の方法

筆記試験

教 科 書

開講時指示

そ の 他

講義方式

科目名	担当者名	配当学科	単 位
刑 法 総 論	まつ 村 格 松 村 格	二 法 1 選	4

#### 講義のねらい

刑法（刑罰法規）は、歴史的には支配者が市民を抑圧する最強の手段として長い間悪用されてきたし、近年に入ってからファシストたちから悪用された。今日、刑法は、市民の自由と権利を保障する機能をもつものとして把握されなければならない。そのためにも、刑罰権の発動と処罰の範囲をできる限り制限する理論操作が必要である。市民と行為者と被害者のそれぞれの人権保障を考えながら刑法理論を構築しなければならない。刑法総論はそのための基本的な視座にかかわる理論である。そういう視点から、学説、判例の動向を検討していくが、もちろん、刑法各論とのかかわりの中でできる限り具体的な事例を参考にしながら刑法総論を学び、刑法学の全体像を理解していきたい。さらに、刑法教義学とその隣接科目との相互作用、刑法システムと他の法システムとの相互関係、法システムと経済・政治・文化のシステムとの交互作用も概観する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 前 期

- 第1回（刑法システムとその余のシステムとの関係）（刑法システムと隣接領域システムとの関係）
- 第2回（刑法および刑法学システムとその部分システムとの関係）（刑法総論とその部分システム）
- 第3回（刑法の意義と機能および犯罪の意義）
- 第4回（刑罰論と罪数論＝刑罰の本質と機能および目的／罪数論の意義）
- 第5回～6回（刑法の原理・原則論＝罪刑法定主義／責任主義／謙抑主義）
- 第7回～9回（行為と構成要件の理論＝行為論／犯罪の主体と客体／故意と錯誤の理論／不作為犯論／因果関係論）
- 第10回～最終回（違法性の理論＝違法性の本質と実質／正当防衛と緊急避難／自救行為／正当業務行為とくに治療行為／臓器移植／安楽死・尊厳死）

##### 後 期

- 第1回～3回（責任論＝責任の本質／責任能力／故意と違法性の意識／期待可能性）
- 第4回～5回（未遂論＝未遂の意義と処罰根拠／中止未遂／実行の着手／不能未遂）
- 第6回～9回（共犯論＝共犯の意義と形態／処罰根拠／正犯と共犯の区別と関係／共同正犯／共犯と身分／共犯の諸問題）
- 第10回～最終回（補足）

#### 履修上の留意点

刑法総論は、きわめて体系的な学問なので、継続的に出席して講義を受けないと理解できなくなる。できる限り具体的な事例を利用して説明するが、それでも概念的思考が入りこむので、考える力を必要とする。教科書以外のことを沢山話するので講義をよく聴き、必ずノートをとることが大切である。ただし、黒板に書くことは最小限度必要な事項だけであるから、それを筆記するだけでは意味がない。六法全書・教科書・ノートを毎回持参することが必要条件である。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、学年末の定期試験とその他の小テストの成績を総合して判断する。

#### 教 科 書

松村格『刑法学への誘い』（八千代出版）  
松村・都築・神田・野崎『刑法総論』（ミネルヴァ書房）

#### 参 考 書 等

別冊ジュリスト『刑法判例百選I総論（第4版）』（有斐閣）  
齊藤誠二編『演習ノート刑法総論』（法学書院）  
『刑法基本講座（全6巻）』のうち1～4巻（法学書院）

#### そ の 他

授業の方法は、すべて講義方式で行なう。必要に応じてプリントを配布することがある。その場合には、そのプリントに沿って講義をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 思 想 史	たか 高 はし 橋 ひろ 洋 き 城	二法1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

西欧の様々な法思想を跡づけ再吟味する営みを通じて、近代法の環境の中で自明のものと考えられている思考のワクを相対化し、批判する視点を持つためのきっかけとしたい。こうした作業は、揺れ動く現代の法状況へ対峙してゆくのに必要であると思われる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ここでは大まかなアウトラインしか述べることができないが、重点をおくトピックおよび思想家として、以下を予定している。

- (前期) ヨーロッパ法思想の核となったギリシャの法思想（プラトン、アリストテレス）、キリスト教思想（アウグスティヌス）、中世自然法論（トマス・アクィナス）
- (後期) 前近代から近代への世界像の転換、近代法の基礎理論とも言える自然権論や社会契約思想（ホブズ、ロック、ルソー）、これを批判的に受け継ぐドイツ啓蒙期の法思想（カント）、ドイツ観念論の法思想（ヘーゲル）

基本的には、時代を順に追い、代表的な思想家と思索を共にする形で述べていくことになるが、断片的な紹介ではなく、影響関係や重要な概念枠組の変遷などを重視し、明らかにできればと思う。また狭い意味での法学理論史の枠にとらわれず、各々の法思想を、その時代の間人観やコスモロジーの中に法理解を位置づけて検討し、そうした作業を通じて最終的には、近代という時代が獲得したものと忘却してしまったものについて考えてみたい。なお、時間の都合上、最大限順調に講義が進んだとしても、19世紀前半の法思想までをカバーするのが精一杯だと思う。19、20世紀以降の法思想ないし法学理論の諸潮流については、法哲学講義の一環として取り扱うつもりである。

#### 成績評価の方法

定期的記述試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他に任意提出課題として、講義で紹介した思想家の著作を読んでレポートを提出してもらえば、一定範囲内で評価に加える。

#### 参考書等

ここでは、三島淑臣『法思想史』[新版]（青林書院）4,854円を挙げておくが、講義の補完、通常の学習には自分にあった概説書を選んでもらってかまわない。詳細については講義のはじめに紹介する。

#### そ の 他

講義の概要、参考資料を必要に応じて配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 か ほ る	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 I 中世ヨーロッパの封建制
    - 第3節 社会構造 II イングランドの封建制
    - 第4節 統治構造 封建制の解体
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 米 法	<sup>きた</sup> の 北 野 かほる	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形式における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1編 概論
  - 第1章 法系論
    - 第1節 西洋近代法の法系
    - 第2節 英米法系の特色
  - 第2章 英米法の特徴
    - 第1節 法内容の歴史性
    - 第2節 法観念の社会性
    - 第3節 法思考の実務性
  - 第3章 判例法の理論
    - 第1節 総論：「判例法主義」
    - 第2節 先例拘束性の原理
    - 第3節 判決における「法」
    - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
  - 第1章 裁判所制度
    - 第1節 イギリス
    - 第2節 アメリカ合衆国
  - 第2章 訴訟過程
    - 第1節 英米訴訟制度の特徴
    - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 社 会 学	おか ざき おさむ 岡 寄 修	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

憲法、民法、刑法などいわゆる基本六法においては、法の文言がどのような意味を有するかを見極める作業を通じ、法がいかなるものか、それをどのように適用すべきかを探究することが研究の中心となる。それに対し、基礎法学の一分野をなす法社会学は、解釈法学とは別に、経験科学としての法律学をめざし、近代科学の興隆を背景に誕生した経緯もあり、法はさまざまな社会の中でどのような機能を果たすのか、また法の解釈という作業そのものがどのような営みであるのかといった問題を含め、研究領域は多方面に及んでいる。本講義では、こうした法社会学がどのような経緯で誕生するに到ったのか、そして、法解釈という作業がどのような性格の営みであるのか、さらに、日本とアメリカとは法律をめぐる諸問題についてどのような意識の違いが見られるか、という点に焦点を当てて講義する予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. 経験科学としての法社会学  
ヨーロッパ啓蒙主義思想と経験科学の成長  
19世紀における法典化の動きと法律学  
法解釈学と法社会学  
メイン、エールリッヒ：法社会学の誕生
- II. 日本とアメリカとの比較社会論  
労働観の日米比較  
パターナリズムと個人主義  
契約と責任  
自由競争と秩序
- III. 法解釈のプロセス：司法過程論  
ジョン・デューイ『法学の方法』  
オリバー・ウェンデル・ホームズ『コモン・ロー』  
ジェローム・フランクの司法過程論

履修上の留意点

履修者は、実定法解釈について若干知識のある方がよい。

成績評価の方法

評価は学年末の論述試験による予定。

教 科 書

六本佳平『法社会学入門』チュートリアル18講（有斐閣）1991

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

そ の 他

必要に応じて補助プリント配布。労働法

科目名	担当者名	配当学科	単 位
労働法	藤本茂 <small>ふじもと しげる</small>	二法1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではありません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の見直しなども見られます。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に果たす組合の役割は、一見地味ではありますが、無視できません。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公——労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定——労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等——同——労働同——賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント
- ⑤ 労働条件を決定しているもの——就業規則、労働契約、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備——不当労働行為
- ⑦ 雇用の入り口——採用、採用内定、試用期間
- ⑧ 人事異動——配転、出向、転籍
- ⑨ 雇用の出口——解雇、定年、退職
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金
- ⑪ 労働時間、時間外労働
- ⑫ 休憩、休日、休暇
- ⑬ 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

#### 成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

#### 教科書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めることを心掛けます。



科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	あかだとしひろ 岡田外司博	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

参考書等

初回の講義の時に紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会 保 障 法	いちのへしんこ 一 戸 真 子	二法1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

21世紀を目前にして現在、社会保障法制度の見直しが求められてきている。経済不況、少子・高齢社会、人々の生活水準の上昇とニーズの多様化・複雑化など、戦後50年が経過し大きく変容した現代社会にふさわしい社会保障への修正が迫られている。

本講義では、社会保障の歴史的発展や原理の理解と、人間が社会で安心して生活していく為に必要な医療、所得、福祉それぞれの法制度の仕組みを理解し把握することを第一のねらいとする。さらに、会社の保障法の基本的視点をとらえた上で、海外の社会保障法制度の比較を通して、今後の法制度のあるべき姿を探る。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の内容に沿って行う。

- ① 少子・高齢社会と社会保障
- ② 社会保障の歴史的発展
- ③ 社会保障法の基本原理
- ④ 各論
  - a) 医療保障制度（健康保険法、国民健康保険法、老人保健法、診療報酬制度）
  - b) 年金保険（年金保険制度改革と沿革、国民年金法、厚生年金保険法）
  - c) 労働保険（労働災害と法、雇用保険法）
  - d) 社会福祉制度（介護保険制度、児童・家族福祉、高齢者福祉、障害者福祉）
  - e) 生活保護
- ⑤ 海外の社会保障法制度

#### 履修上の留意点

積極的な参加により自分なりの理解、吸収を心がけて欲しい。

#### 成績評価の方法

前期はレポート、後期は試験を実施し、出席状況と合わせて総合評価する。

#### 教科書

教科書は特に指定しない。資料は必要に応じて講義ごとに配布する。

#### 参考書等

久塚純一他著『社会保障法』（日本評論社）、山田省三編著『ブリエール社会保障法』（八千代出版）

#### その他

各単元終了毎に、ディスカッションを実施し、理解を更に深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	二法1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

##### ○自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず、ひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

##### ○講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、実際の政治の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を習得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目の研究上必要な基本的な知識を提供することです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

##### ○講義のすすめかた

現代政治学のおおよそのアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

##### ○講義内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、および方法

B 政治の原理的究明

① 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

② 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③ イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（レティズンシップ）

C 国家の実体論的究明

① 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

② 機能論的究明

～政党、圧力団体

#### 成績評価の方法

本年度もまた、受講者との相談のうえ A・B 両方式のうちのいずれかに決定します。

A方式（レポートによる単位認定）

複数回（前期・後期）のレポートを提出してもらい成績を評価します。課題報告（レポート）の作成をとおして、文献の読解力と書く能力を涵養します。

B方式（試験による単位認定）

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。

※A方式の場合には、追・再試験は実施しません。B方式は、実施します。

#### 教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

#### 参 考 書 等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治史	楠 <small>くすのき</small> 精一郎 <small>せい いちろう</small>	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

近代日本の政治権力に関する歴史的分析。幕末から昭和戦前期まで、人物を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 幕藩体制の動揺と崩壊 | 7. 対華21カ条とシベリア出兵 |
| 2. 明治国家の形成    | 8. ワシントン体制の成立と崩壊 |
| 3. 政府批判と宥和策   | 9. 軍部の台頭         |
| 4. 明治憲法と初期議会  | 10. 満洲事変と連盟脱退    |
| 5. 日清戦争と日露戦争  | 11. 日中戦争と総動員     |
| 6. 政党政治の発展    | 12. 日米戦争と戦時議会    |

履修上の留意点

履修にあたっては、とくに日本史の知識を必要としないが、歴史に関心を持つ学生の受講を希望する。

成績評価の方法

成績は筆記試験によって行なう。

教科書

富田信男・楠精一郎他『日本政治の変遷』（北樹出版）2,600円

参考書等

猪木正道『軍国日本の興亡』（中公新書）760円  
その他随時授業のなかで指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済原論	藤 <small>ふじ</small> 原 <small>わら</small> 碩 <small>ひろ</small> 宣 <small>のり</small>	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済学の基本的要件の理解  
日本経済の直面する課題  
理論と現実の乖離とその説明  
といった点を主眼として行います。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、経済学の性格、他分野との関係、成立要件といった基礎と、マクロ経済学国民経済循環、産業連関分析、国民所得概念および国民所得決定論など。  
後期では、ミクロ経済学および応用経済学——個別経済主体の行動分析、寡占経済理論、バブルの発生とその崩壊、財政・金融問題など。

履修上の留意点

授業に出席し、ノートをよくとる事が大切です。

成績評価の方法

ペーパーテスト。但し、自発的なレポートやテーマを決めたスクラップ作りなどを試験前に提出すれば、評価に加えます。

教科書

藤原碩宣編著『経済と経済学』（実教出版）  
その他は適宜授業中に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	あい だ とし ひこ 相 田 敏 彦	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

マス・コミュニケーションの機能、影響について、広い視野から検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の主たる内容は次のとおりである。

- (1) 報道の「客観性」  
テレビニュースの「カメラはウソをつかない」かどうか、報道対象と報道内容、「現実」と記号との区別如何。
- (2) 意識培養分析  
テレビが人びとの心に植えつける（「培養」する）「シンボリック現実」、そして「主観的現実」とは何か。
- (3) 意味構築の理論  
メディアによる、また、視聴者・読者による意味付与、意味解釈とは何か。
- (4) ヤコブソンのコミュニケーション・モデル  
コミュニケーションとは単純に記号による一つの意味の受け渡しだろうか。通常、あまり意識されずに、いくつかの次元で意味の読みとりがなされている。ヤコブソンのモデルは、この問題を系統だてて考えるのに役立つ。
- (5) フェミニズムとメディア  
メディアに関するフェミニズム的視点を検討する。

履修上の留意点

マスコミについて授業をききながら、自ら積極的に考える姿勢を強く望みたい。そのため、授業中にこちらから質問を發し、挙手または指名によって回答を求める。

成績評価の方法

前期：レポート  
後期：試験

参 考 書 等

リップマン『世論』（主として上巻）（岩波書店）  
田崎馬郎・児島和人（編著）『マス・コミュニケーション効果研究の展開』（北樹出版）  
カラン・グレヴィッチ（編著）『マスメディアと社会』（勁草書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 学	と やま きみ よし 外 山 公 美	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義が対象とする現代行政学は行政国家化の進展にともなって誕生し発展してきた、比較的新しい学問である。広く行政と呼ばれる事象を研究する社会科学であり、政治学の一分野として位置付けられるのが一般的であったが、今日では行政の複雑化、多様化によってそれにとどまるものではなくなってきている。このような状況をふまえて、本講義は、下に掲げる内容を中心とし、現代行政を見る眼を養うことを主目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義は、大きく前半部（約30分）と後半部（約60分）に分けられ、まず前半部では、その時々  
の行政に関する諸問題を毎週一つずつ取り上げ解説を加え、受講者全員でこの問題について考  
えていきたい。次いで後半部では、次に掲げるような行政学の基礎的項目について講義して  
いく。

①行政学の起源 ②アメリカ行政学の系譜 ③行政管理の理論 ④行政組織の理論 ⑤官僚制  
と公務員制度 ⑥意思決定方式と政策形成過程 ⑦行政責任と行政統制 ⑧中央-地方関係 ⑨  
地方行政の展開

履修上の留意点

履修上の留意点、成績評価の方法、教科書、参考書等については、初回の講義の際詳しく説明  
する。

そ の 他

国家・地方公務員試験受験希望者またはすでに公務員の職にあって昇進試験等を受験する者  
には、過去にこれらの試験で出題された行政学に関する択一・論述問題のプリントを配布して学習  
方法をアドバイスして行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	しゅう とう もと こ 首 藤 素 子	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代の国際関係の課題について、知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような項目をほぼ3週分の授業を割当てながら進める予定。

1. 国際政治理論の展開  
国際政治の冷戦後の新たな視座
2. 冷戦後の大地域主義の生成
3. 地域紛争と安全保障の課題  
国連の安全保障分野の機能  
地域紛争と地域組織の機能
4. 国連の開発戦略と南北格差の問題  
近代化理論の変遷と従属論の影響  
世銀・IMFの機能と問題
5. 国際政治と人権保障の制度化  
人権保障の法的枠組みの展開と課題  
人権と人権 NGO と国際社会
6. 1970年代以降の経済のグローバル化  
政策協調と国際交渉の多様化  
Global Governance の課題
7. 経済発展と途上国の政治体制  
権威主義的政治体制と民主化の課題
8. 地球環境と国際関係の課題  
地球環境問題の現状と政策的対応  
「発展の権利」と「持続可能な発展」

成績評価の方法

定期試験および課題提出物により評価する。

教 科 書

とくに毎時間使用するというわけではないが、次の文献を入手し、授業に関連する項目を各人で勉強しつつ、授業に出席することを勧める。  
細谷千博監修、横山・野林編『国際政治の21世紀像』(有信堂) 1997年(第2版) 2,987円

参 考 書 等

講義の内容ごとに参考文献等を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 律 時 事 英 語	まきの 牧 野 和 夫	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

国際取引やビジネスで実際に使用されているキーワードを分り易く解説することにより「法律英語」の実際を学習することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

下記の順序で進める予定です。

- ① 英米法の考え方
- ② 英文契約の基礎
- ③ 国際ビジネスにおける法律英語キーワード
- ④ インターネット上の取引におけるキーワード

履修上の留意点

講義を中心に進めますので、出来る限り講義へ出席することを要望します。

成績評価の方法

学年末筆記試験1回（論文式。但し、教科書など持込み可とする）

教 科 書

- ① 外井一仁監修『国際ビジネス法キーワード事典』（プロスパー企画）2,200円
  - ② 平野晋・牧野和夫共著『判例国際インターネット法』（プロスパー企画）3,400円
- その他適宜授業で指定する図書・文献など。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 書 講 読	岡 田 外 司 博 <small>おか だ と し ひろ</small>	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカの判例を精読することを通して、論理的な英文の読解力を身につけ、同時に、日本と異なる法制度と裁判制度を有するアメリカについて理解を得ることを目標とする。

履修上の留意点

予め予習することが不可欠であり、授業では順番にあてて和訳を求めるので、その時に答えられないことのないようにお願いしたい。

成績評価の方法

人数が多い場合には出席と試験によって判定し、人数が少ない場合は出席と平常点のみによって判定する。

教 科 書

コピーして配布する（無料）。ただし、部数に限りがあるので、受け取らなかった人は自分でコピーして頂きたい。

参 考 書 等

『英米法辞典』（東京大学出版会）

そ の 他

出席率の悪い者は単位を取得できないので留意されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財 政 学	速 水 昇 <small>はや み のぼる</small>	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵をうけている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、的確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化社会、規制緩和など政府が解決しなければならぬ問題が非常に多くある。

その反面、わが国財政は、平成10年度末で国債の発行残高が約300兆円、地方公共団体の債務残高が約160兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約550兆円になる。この数字はわが国のGDPにほぼ匹敵する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

教 科 書

西村紀一郎監修・速水昇編著『財政学』（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	いし 井 ひろ お 啓 雄	二法1・2・3・4選	4

講義のねらい

「経済政策」の講義のありかたとしては、土台としての経済構造と政策主体としての国家の関係の問題を軸に経済政策とはどういうものなのかを専ら理論的に詳細に論ずる方法とか、現代資本主義国家の政策手法についてだけ細かく述べる方法とか、特定の領域、たとえば産業政策など教師の専門的研究領域にそくしてだけ講義する、などの方法もある。しかし私は、基礎的な専門選択科目のひとつとしてこの「経済政策」が位置づけられていることを考えて、この講義では、土台としての資本主義の発展段階、すなわち、重商主義、自由主義、独占資本主義、国家独占資本主義という発展段階ごとに、この資本主義構造的発展を背景に変化していく国家の経済政策の内容の基本的な点について講義することとする。ただ学生の関心を考慮し、なるべく現代の問題に多く時間を充当するよに努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

試験その他を除いて、講義の回数は意外に少なく、1年間におおむね25回である。そこでこの講義回数をおおむね次のように充当する。

- (1) 土台としての経済構造と政策主体としての国家の関係および政策とはどういうことかなどについて、2回。
- (2) 重商主義段階の経済構造と経済政策について、おおむね3回。前期重商主義、市民革命、後期重商主義、この段階での保護貿易政策その他主要な経済政策について。
- (3) 自由主義段階の経済構造と経済政策について、おおむね4回。イギリスにおける産業革命の意味、穀物条令の廃止に象徴される自由貿易の意義と産業資本の自立化による自由主義的経済政策の主な内容。イギリスに対しては後進的なフランス・ドイツ・アメリカなどの経済政策について。
- (4) 独占資本主義段階の経済構造とその経済政策について、おおむね4回。自由競争が必然的にもたらす独占資本の成立とそれによる国家の政策の変化、資本の輸出と植民地支配の発展、第一次世界大戦の意味などについて。
- (5) 国家独占資本主義の成立とこの段階での経済政策について、おおむね6回。1929年恐慌以後の経済政策の変化と第一次大戦とは異なる第二次世界大戦の複雑な性格をふまえた上で、第二次世界大戦後のアメリカ手動のI.M.F=GATT体制の成立、アメリカの「援助」と覇権、各国の国家独占主義とその経済政策、経済成長政策と1970年代以降、さらに1985年以降のその変化、1990年代の不況、WTOの成立などの今日的問題などについて。

以上のほか、①いわゆる社会主義の成立とその崩壊をめぐる問題、②植民地の独立と新植民地主義的経済政策、③最近の規制緩和問題と新自由主義的な考察、④明治維新と戦後改革を経た日本の経済構造と政策の特殊性、などについてもあわせて5～6回を充て、全体として25回の講義とする。

履修上の留意点

高校時代に学習した歴史（日本史および世界史）を含む社会科の知識、および経済原論の履修をきちんと行うことを当然の前提とする。

学会との重複、やむえない病欠など以外、休暇の前後でも休講はしないので、学生諸君もそのつもりで受講されたい。

成績評価の方法

成績評価は、自覚的な勉強を期待して、期末試験の成績を基本とするが、時々出欠をとり、試験の成績が振るわない学生の成績評価についてはこの出欠を考慮することとする。学生の受講態度によっては、途中で試験あるいはレポートを課することもありうる。試験については基本的に書物、コピーなどの持ち込みは認めず、自筆ノートについてのみ考慮することがありうることにする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の過程で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 法	おう し あん 王 志 安	二 法 2 選	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を習得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家及び国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の習得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論及び外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論及び実行、国際地域、国際海域及び宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式及び効力に関する法規制、外交関係及び領事関係における特権及び免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのぼすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと習得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）2,700円 1997年

参 考 書 等

市販されている国際条約集

そ の 他

授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配付し、板書する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物 権 法	つる 鶴 井 俊 吉 しゅん きち	二 法 2 選	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうち総則、占有権、所有権、地上権、永小作権、地役権を対象とする。所有権を中核とする物権法は、今日の社会構造の法的土台をなしており、憲法上の私有財産制度の骨組を定めたものである。その意味で、物権法は民法の中で最も基礎的な重要な部分であるといえる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の主な内容は、不動産売買をめぐるトラブルがどのように解決されているのかなど、物権変動を中心に、不動産利用権、物権的支配の秩序維持についての制度を解説する。  
講義では、物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例を入れ、図式してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

物権法は、解釈学上においても体系的理解が困難な分野であるといわれている。それは立法の沿革に基づいている。現行民法がドイツ民法を継受してできあがっているにもかかわらず、物権法の主要な部分については、フランス民法の影響を強く受けているからである。それゆえに講義に出席しないとなかなか興味を持たないし、理解しづらい分野であるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

教 科 書

遠藤・川井他編『民法(2) 物権』(有斐閣双書)を予定している。

参 考 書 等

講義の最初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 総 論	あおのひろゆきの 青野博之	二 法 2 選	4

講義のねらい

債権総論とは、民法典のうち第3編「債権」の第1章「総則」をいう。  
 売買契約によって代金支払債権が発生し、賃貸借契約によって賃料支払債権が発生するが、両方とも金銭債権であるということでは共通する。売主が買主に代金を支払えというのも、貸貸人が賃借人に賃料を支払えというのも金銭を払えということでは同じである。また、買主が売主に品物を引き渡せという引渡債権も、債権という点では、金銭債権と共通する。つまり、債権者が債務者に何かをせよと（またはしてはイケないと）請求するという点では共通する。  
 このように、債権の共通点を中心にして、債権の性質、その効力などを考察するのが、債権総論である。

講義の内容・授業スケジュール

序 論  
 債権の目的（債権の内容）  
 特定物債権・種類債権  
 金銭債権  
 債権の効力  
 履行の強制  
 債務不履行（契約責任の要件）  
 損害賠償（契約責任の効果）  
 受領遅滞  
 責任財産の保全  
 債権者代位権  
 債権者取消権  
 多数当事者の債権関係  
 連帯債務  
 保証債務  
 債権譲渡  
 債権の消滅  
 弁 済  
 相 殺

履修上の留意点

質問は大歓迎である。出席者がそれほど多くなければ、私から受講者に質問しつつ、受講者に民法の条文を読み上げていただくことになると思われる。

成績評価の方法

出席して質問をした回数、およびその質問の内容を重視する。出席者に対して私の方から質問をするので、これに答えてくだされば、これもカウントに入れる。正しい答えでなくともよく、自分で考えた答えであればよい。自分で考えることに意味がある。答えられなかったとしても不利には扱わないので、安心して質問に答えてほしい。

なお、受講生がそれほど多くなければ、質問および応答の平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験も行う予定。なお、試験を行う場合には、いっさいの持込みを不可とする。

教 科 書

野村豊弘・栗田哲男・池田真朗・永田真三郎著  
 『民法Ⅲ — 債権総論 [第2版]』(有斐閣) 1,680円  
 教科書は、上記のものを使うが、ほかに自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会社法	あらきまさたか 荒木正孝	二法2選	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービス、そして労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を取り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原則を理解してもらうつもりである。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。ところで、商法は、民法を一般法とする特別法であるから、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層分かりやすい。もっともここでは、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

成績評価の方法

年度末のペーパーテストの点数で評価します。

教科書

荒木正孝著『現代企業法』（成文堂）

参考書等

鴻・落合・江頭・岩原編『会社判例百選』第6版（有斐閣）  
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第2版』（成文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法総則・商行為法	せきぐちまさお 関口雅夫	二法2選	4

講義のねらい

専門科目としての商法学は、商法全体についての概念的な知識、商法に対する基本的な考え方、および個々の法律問題への取りくみ方など、商法についての最も基礎的であると考えられる問題の理論的そして体系的な解明を目的とする学問である。この講義は、商法学の内、商法総論、商法総則および商行為法を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

商法総論においては、商法の意義、商法の特徴、商法の体系、商法の適用の四つのテーマを論考する。次に、商法総則においては、営業の主体、営業行為、営業の人的組織、営業の物的組織、営業の譲渡、商業登記の六つのテーマを論ずる。そして商行為法においては、商行為の概念、商行為法の総則、商事売買、交互計算、匿名組合、仲立営業、運送取扱営業、運送営業、寄託の十の主要な問題を考察する。一年間で25回の講義を予定する。

履修上の留意点

ここに選ばれた20のテーマは、商法の特定分野に関するものではあるけれども、これから商法を体系的に学んで行こうとする諸君にとって、欠かすことの出来ないと思われる問題を取りあつかっている。もっとも、この講義は、全ての学生のニーズを満すものではない。この講義が特に必要であると考えられる学生は、将来自営業を志したいと考えている学生、会社員になりたいと考えている学生、および司法試験を受験したいと考えている学生である。この意味で、学生諸君は、自分で自分の将来計画を明確にし、受講すべきか否かを決定することが肝要である。

成績評価の方法

平常点と期末試験を重視する。

教科書

関口雅夫編著『現代商法Ⅰ〔総則・商行為〕』（八千代出版）2,800円を使用する。六法全書は、毎回持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑法各論	やまぐちくに お 山 口 邦 夫	二法2選	4

講義のねらい

この科目を履修する以前に、刑法総論の単位を修得済みであることを希望する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年間を次の4期に分けて講義する。  
 1期(4・5月)、Ⅱ期(6・7月)、Ⅲ期(9・10月)、Ⅳ期(11・12月)、1月の1回は、質問日とする。  
 Ⅰ期. 犯罪の分類について。犯罪の分類は、何のためにするのか、何を基準にして分類するのか、などいろいろな犯罪についての一般論を検討する。犯罪の分類は、犯罪学や刑事政策にとっては有用であっても、解釈学にとっては直接の影響はないと思われる。それよりも各犯罪類型を厳格に解釈することの方が重要であることを指摘する。  
 Ⅱ期. 通説ともいえる3分類の意義についてふれたあと、いわゆる個人法益に対する罪について検討する。  
 Ⅲ期. いわゆる社会法益に対する罪について。  
 Ⅳ期. いわゆる国家法益に対する罪について。  
 なお、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期と順次検討する予定であるが、場合によっては、Ⅱ期の対象を中心に1年間が終り、Ⅱ・Ⅲ期の対象は、そのつど関連する箇所、加味してやることになるかもしれない。

履修上の留意点

履修者が30名以内であれば、年間を通じて出席をとりたい。出席カードをもとに、毎回数名の人の問答を中心としたコロキウム方式で授業を進めたい。

成績評価の方法

少人数の時は、平常点を重視して、期末試験を省略して単位を認定する。

教科書

特に指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 総 論	かね こ しょう へい 金 子 昇 平	二 法 2 選	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、今後、立法化が予想される、情報公開法、プライバシー保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
  - ①法律による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
  - ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織 ④行政機関・公務員 ⑤行政情報と法
- 3) 行政手段法
  - ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査 ⑧行政強制 ⑨行政罰
- 4) 行政手続の法
- 5) 行政救済法
  - ①国家賠償法 ②行政上の苦情処理 ③オンブズマン ④行政上の不服申立 ⑤行政訴訟

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

成田朝明他『現代行政法』（有斐閣）

そ の 他

塩野宏他編『行政判例百選』（第三版 有斐閣）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
裁 判 法	あま みや まさ や 雨 宮 眞 也	二法2・3・4選	4

#### 講義のねらい

主として、わが国の裁判制度について、その組織と運用の実情を理解させることをもって、この講義の目的とします。

裁判とは、社会関係における利害の衝突、紛争を解決し調整する規律を定めるための、法的な権威を有する第三者の判定です。

社会関係の複雑化と国民の権利意識の高まりとに従がい、現代社会において裁判の果たすべき役割は、年々その比重を増してきています。

裁判制度の現にある姿を明らかにするとともに、そのあるべき姿を求めるため、特に、裁判の本質、裁判の構造、裁判の論理、裁判と法律の解釈、裁判と事実認定、裁判の機能、判例の成立と意義等の諸論点について、重点を置いて講義します。

裁判における裁判官の思考プロセスにも触れ、法的思考の何たるかをも明らかにしたいと考えています。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、後掲の教科書に従って次のように進めて行きます。

#### 第1章 法と裁判の役割

##### 1 民事法の実現と民事手続

- ① 紛争
- ② 法規範
- ③ 訴訟

##### 2 刑事法の実現と刑事手続

- ① 刑事手続の目的
- ② 適切な手続の保証
- ③ 刑事裁判

##### 3 司法権と違憲審査権

- ① 司法権と裁判所
- ② 違憲審査権と司法権の独立

#### 第2章 裁判所制度

- 1 最高裁判所
- 2 高等裁判所
- 3 地方裁判所
- 4 家庭裁判所
- 5 簡易裁判所

#### 第3章 法律家の役割

- 1 裁判官
- 2 検察官
- 3 弁護士
- 4 準法律家
- 5 法曹養成

#### 第4章 裁判の仕組み

##### 1 民事裁判

- ① 民事訴訟の基本構造
- ② 訴えの提起
- ③ 審理の展開
- ④ 証拠調べ
- ⑤ 判決
- ⑥ 上訴（不服申立て）

##### 2 家事裁判

##### 3 行政裁判

- ① 行政訴訟の類型
- ② 行政訴訟の特色

##### 4 刑事裁判

- ① 刑事手続きの流れ
- ② 捜査手続

- ③ 公訴の提起と検察官の役割
- ④ 公判手続の基本原則とその運用
- ⑤ 刑事裁判の課題
- 5 憲法裁判
  - ① 違憲審査制と憲法裁判
  - ② 違憲審査権の運用状況

#### 第5章 裁判をめぐる現代的課題

- 1 市民の裁判を受ける権利
- 2 市民の司法参加
- 3 国際化と裁判

#### 履修上の留意点

教科書を予め読んで、疑問点を把握しておいて下さい。

#### 成績評価の方法

期末試験における論文式テストにより評価します。

#### 教科書

市川正人外著『現代の裁判』（有斐閣アルマ）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
環 境 法	まつ 松 村 弓 彦	二法2・3・4選	4

講義のねらい

環境問題を事実と法律論の両面から理解する。私法からのアプローチを中心とするが、現在我が国が当面している環境法上の重要課題については、公法・国際法の分野の問題を含めて勉強する。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書と判例（必要に応じて配布する）を中心とし、概ね以下の項目にわたる。

- (1) 環境法の背景・歴史・理念等
- (2) 環境保全法制
- (3) 環境責任
- (4) 費用負担
- (5) 特殊問題——我が国が当面する諸問題

履修上の留意点

事実を踏まえた法理論の理解を深めること。

成績評価の方法

論文式試験（年1回）および授業中の報告の評価による。

教 科 書

拙著『環境法』（仮題・成文堂）

参 考 書 等

森島昭夫ほか編『公害・環境判例百選（別冊ジュリスト126号）』（有斐閣）2,300円

そ の 他

授業の方法：テーマに応じて講義形式とゼミ形式を併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
知 的 財 産 権 法	もり盛 おか岡 かず一 お夫	二法2・3・4選	4

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）および著作権法等が含まれる。知的財産権法は、知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：特許法・実用新案法  
後期：意匠法・商標法・著作権法・不正競争防止法

履修上の留意点

前期・後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教 科 書

盛岡一夫『工業所有権法概説－知的財産権法の基礎－〔第3版〕』（法学書院）

参 考 書 等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会）、中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）  
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣）、斉藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 法	ま し だ き だ お 夫 岸 田 貞 夫	二法2・3・4選	4

講義のねらい

税法の体系を法律見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

税法の意義、機能、体系、租税法律関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入及び必要経費の範囲等について、順次講義する。

履修上の留意点

予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。

成績評価の方法

前期及び後期の試験の結果により評価する。

教 科 書

岸田貞夫他著『現代税法の基礎知識』（ぎょうせい）2,100円、又は、岸田貞夫著『税法条文解釈の基礎知識』（税務経理協会）1,800円

参 考 書 等

金子宏著『租税法』（弘文堂）

そ の 他

授業は講義方式で行う。なお、レジュメを配付する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 哲 学	たか 高 橋 洋 城	二法2・3・4選	4

#### 講義のねらい

- ・法哲学は、「法学」の基礎的一分野であると同時に、「哲学」でもある。法制度や法的思考をめぐる基礎理論や根本的諸問題を考察しながら、法と関わりつつ生きる人間という存在者をどのように把握していけばよいのかという視点を常に持って、一緒に考えてゆきたい。
- ・出来上がった知識の体系を伝えることが講義の目標ではない。極論すれば、「わかっているつもりのこと」をわからなくする、一度根底から疑ってみる、ということが講義のねらいといってもよい。とはいえ、一人で内省しているだけでは必ずからその思考の広がりにも限界がある。法と人間、社会の関わりにおいて、どのような問題があり、どのような考え方が提起されているのか、さまざまな議論に触れることで、各自の思考の自由度を広げてもらい、参加者各人が自分自身で考える、その手がかりを本講義でつかんでもらえるならば講義としては成功である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

昨年度（平成10年度）までの講義内容からかなり変更を行ない、本年度は、法と現代思想の動向とのかかわりを大きなテーマとして設定する予定である。これまで自明の前提とされてきた人間像は今日大きな懐疑・批判にさらされており、法や法律学と言えども、それと無縁ではない。また逆に法律学的な問題とされてきた諸事象が、実は人間観、世界観の問題と密接に絡み合っているということもある。人文諸科学や社会科学のなかで展開されてきた様々な考え方が示唆するものに対して、法を学ぶものとしても、その問題提起を真剣に受け止めなければならない状況に至っている。こうした基本的関心から、法をめぐる議論を哲学・思想一般の領域での議論、論争史の文脈に位置づけながら考察していきたい。したがって、講義の中では、実定法の議論の参照はもちろんだが、他の人文・社会科学、とりわけ哲学、倫理学、社会学などの知見にしばしば言及することになる。狭い意味での法律学を超えた問題関心が求められる。

個別の項目としては、たとえば以下のようなものを考えているが、現段階ではあくまで予定であり、詳細は講義開講時に伝える。

- ・近代法原理への懐疑、批判と擁護
- ・リベラリズム正義論とそれに対する批判
- ・解釈的存在としての人間と法的判断の問題
- ・法実証主義と自然法論
- ・生命倫理・環境倫理的問題状況からのインパクト

また講義の進め方としては、できるだけ現象として現われている具体的な諸問題の紹介・検討から入り、その根底にある根源的な思考や原理を洗い出していく、という方式をとりたいと考えているが、ある程度は抽象度の高い議論にもチャレンジし、自分自身でそれを具体的・日常的問題と関連づけていく、という姿勢も参加者に求めることになるだろう。

#### 成績評価の方法

前期終了後のレポート、後期終了後の定期試験、この二つを主たる評価対象とする。その他たとえば授業時間内に小論を書いてもらうことなどもあるかもしれないが、その場合は平常点として一定範囲内で評価する。

#### 教科書

田中成明『法理学講義』（有斐閣）2,900円を挙げておく。ただし、講義はこのテキストの叙述にとらわれず進めていくので、あくまで講義を補完する意味で推薦するものと考えてもらいたい。また、法思想史の背景的知識を前提に話さなければならないことも多いので、できれば法思想史関係の概説書も手許に置き自学自習に役立ててほしい。

#### 参考書等

その他の参考文献については、講義の進行過程でテーマに応じてそのつど紹介する。

#### その他

上で述べた通り、法哲学という学においては知識の獲得・整理が目標ではないのだから、講義ならびに概説書だけでなく、こちらから指示する参考文献を含め、様々な著作、思考、問題に自ら直接あたり、自分なりの思索を行なうつもりでのぞんでほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 私 法	かさ 原 俊 宏 か ばら とし ひろ	二法2・3・4選	4

#### 講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のこのような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限りわかりやすいものとなるよう工夫したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論（4月、5月）
2. 国際家族法（6月、7月、9月、10月）
3. 国際財産法（11月、12月）
4. 国際民事訴訟法（1月）

#### 履修上の留意点

基礎となる他の科目、就中、家族法について、基礎知識を有することが好ましく、民法についても併せて学習することを期待する。

#### 成績評価の方法

学年末の筆記試験によって行なう予定である。

#### 教科書

笠原俊宏著『国際家族法（新版）』（高文堂出版社）を使用する。

#### 参考書等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

#### その他

授業は普段講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	二法2・3・4選	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。その際、現在進行している地方分権推進のシナリオは参考になる。

講義の内容・  
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位、自治立法権について議論を行う。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

南博方他『行政法(3)（第3版）』（有斐閣双書）1,800円

参考書等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）、『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方自治』（岩波書房）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金 融 法	かわ た えつ お 川 田 悦 男	二法2・3・4選	4

講義のねらい

わが国の金融界は、今かつて経験のない変革激動のなかにある。バブル後遺症として不良債権問題が経営の根幹を揺るがしており、その早期脱却を迫られる一方、急激に押し寄せる金融のグローバル化、自由化という大きな流れにそって進められる金融ビッグバンのもとで、21世紀に向けて生き残りをかけた業務戦略の構築に迫られるという、いわば相反する二つの重要な経営課題に直面している。毎日がまさに生きた教材を提供する渦中にあるといえよう。

これを利用者の側からみると、現代社会は企業も個人も金融機関と極めて密接な関わりあいをもっており、経済社会はもちろん個人の生活に至るまで銀行取引なしには成り立たないといっても過言ではない。

本講義は、このような認識のもとで、われわれ一般市民として、また将来の金融人・企業人として必要な銀行取引に関する基礎的な法律知識と諸問題について、できるだけ実社会の生きものとして学ぶことを狙いとしており、さらには実学の楽しさについても学びとっていただければと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

金融法はまだ新しい科目分野であるが、その対象領域はかなり広く関係する法律も多い。本講義では、これらを主に具体的な取引法の観点から学ぶこととし、制定法の規定が現実にはどのように修正されて実際取引に適用されているのか、また、金融環境の変化がどのような新しい法律問題を生じさせているのかなど生きた学問として学習する。

講義内容は次を予定している。詳しくは初回講義の際に資料配布する。

- I 金融法の特質、わが国の金融制度、金融機関の業務内容
- II 預金取引、為替取引、付随業務
- III 手形交換と取引停止処分制度、相続、差押
- IV 貸出取引、消費者取引、担保・保証、倒産・回収

成績評価の方法

学年末試験を基本に評価する。

教 科 書

最初の講義のときに話します。

そ の 他

講義形式による。毎回プリントを配布（サブテキスト配布）、一部ビデオ利用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう し あん 王 志 安	二法3・4選	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。要点を板書するので、聴講ノートをしっかりと取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。

教 科 書

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）2,700円 1997年

参 考 書 等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
担 保 物 権 法	つるいしゅんきち 鶴井俊吉	二法3・4選	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・  
授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

学期の初めに、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像が把握できるであろう。それゆえに、最初から講義に出席しないとなかなか興味を持てなく、理解できなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する

教 科 書

遠藤・川井他編『民法(3) 担保物権』(有斐閣双書)を予定している。

参 考 書 等

講義の最初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
債権各論	はやし 林  こう 幸  じ 司	二法3・4選	4

講義のねらい

- 1：民法、特に債権各論について、受講生に「基礎的な理解」が身につくよう目指すこと
- 2：この分野の諸テーマにつき、「具体的な事例問題を通して理解を深める方法」を修得してもらい、それによって受講生の「民法に対する興味」を触発すること

講義の内容・授業スケジュール

債権各論は、債権の「発生原因」を扱う分野であり、①契約、②事務管理、③不当利得、④不法行為がその主要な原因である。これらは全て、諸君が日常生活で無意識のうちに触れているものばかりであり、具体的な問題がほとんどである。これらについて研究し理解を深めることは、民法の「具体的なイメージを把握するための突破口」となるはずである。  
(講義の方法)

- 1：板書中心の講義であること  
私独自の観点からポイントを整理するため板書中心の講義を行い、途中で適宜、教科書・参考書の該当箇所を指示・解説するという方法を探る。その際、かなり多くの図や表を必要とするが、それも主に板書によってカバーする。
- 2：意義・要件・効果の整理に重点をおくこと  
私も学生の頃は、ただ闇雲に教科書や判例解説集に書いてあることをダラダラと覚えようとしたものである。しかし、それは、山の中を、地図も磁石盤もなく、ただ地面を見て石ころを数えている姿に似ていると感じ、むなしい気持ちに苛まれる結果となった。本講義で整理の中心に位置付ける「意義・要件・効果」は、講義中、諸君が立っている位置を知るための『座標軸』だと思ってほしい。そのことの意味はとてもここでは書き切れない。詳しくは、講義で聴いていただきたい。
- 3：具体的な「事例問題」(または判例)を素材とすること  
事例問題集をプリントして配布し、あるいは、指定した参考書の中から判例を指示し、意義・要件・効果と結び付けて解説する。具体的な事例を想定しての理解以外に、真に納得のいく理解はないと信ずるからである。
- 4：受講生からの質問を講義に反映するよう努力すること  
毎回講義前に用紙を全員に配布し、質問・意見・感想・要望などを書いてもらい、その中で、「これは！」と思うものを次回の講義に反映することを心掛けるつもりである(質問への解答が中心となる)。

成績評価の方法

後期試験による評価が中心となるが、講義後に回収する質問や意見などにも受講生の理解度や積極的な姿勢が現れていることが多い。これらに対しても若干のプラス評価を行うつもりである。

履修上の留意点

- 1：私語の厳禁  
あまりにも当然過ぎて、ここで触れることすら情けないのだが、大学生にもなって、講義中の私語が許されると思っている者がいるようである。強く注意して、やっとな静かになるといのが現状であるが、不思議にも、本人に全く反省の色がなかったり、何か悪いことをしたのか(又は「なぜ俺だけが」と言わんばかりに睨み返してくるということもある。このテの者にはその場で『登録抹消』を通告するという強い態度で臨むので覚悟してもらいたい。
- 2：他の履修科目について  
できれば債権総論も受講してほしい。この分野は、各原因によって発生した様々な債権に「共通する事項や性質」などを扱う領域で、債権各論を理解する上でも重要な分野だからである。もちろん、発生原因を扱う債権各論から先に手をつけようという人がいても一向に構わないし、理論上何の問題もないが、いずれは債権総論も修得してほしいものである。

教科書

内田 貴著『民法Ⅱ 債権各論』(東京大学出版会) 3,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
相続法	たけなかち香 竹中智香	二法3・4選	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も重視する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続(第4版)』(有斐閣双書) 1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版)』(有斐閣) 2,200円  
六法

科目名	担当者名	配当学科	単 位
有価証券法	しまはらひろあき 島原宏明	二法3・4選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編為替手形と第二編約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心にして説明を行い、適宜為替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

倉沢康一郎『手形判例の基礎』(日本評論社) 2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 ・ 海 商 法	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	二法3・4選	4

#### 講義のねらい

私たちの生活は、いろいろな危険に満ちている。私たちは、それにあまり気が付かず生活していたりするが、時には、不幸な事故に巻き込まれたり、あるいは逆に事故を引き起こしたりもする。こうした不幸への危険性は、この社会に生き、活動しているすべての人々（すなわち法主体、当然、会社も人である）に程度の差こそあれ、無縁ではない。危険が現実のものとなったとき、そこに通常、損害が発生する。この損害は、どのように処理すれば良いのだろうか。事故を引き起こした者がいるのであれば、この者が損害を負担すべきである。しかし、この者に資力がなかったならば、被害者の受けた損害は回復されずに酷いことになる。さらに、加害者も存在していないような場合には、どうすれば良いのだろうか。こうしたことへの不安は、人が生き活動して行く上での不安であり、今に始まったことではない。人類は、古くから、このための種々の方策を考えてきたが、複雑・高度化した現代社会は、かつてないほどの、不安と危険のジャングルとなっているのである。保険は、そのための方策の中で、最も高度に洗練された仕組みである。私の講義では保険という仕組みが法的にどのように制度化されているかを見る。

ところで、保険は、他面において賭博に似ている（どちらも偶然の出来事により、多額の金銭を取得できるではないか）。そして、海の危険に満ち満ちた海上企業活動は、かつては、冒険企業の典型であった。保険が考案され発展したのは、中世地中海世界が育んだ海上企業活動においてであったということは、保険と海商との賭博的な共通の色彩の賜といえるのかもしれない（やがて保険制度は、海から陸にも上がり、今日見られるような隆盛を迎える）。当時の海上企業は、現在の海上企業とはかなり異なっていたし（法的制度としての株式会社に先駆していたのであるが、株式会社の登場は後年のことである）、その企業活動も海賊が立派な企業活動として認知されていたことから明らかなように、現在と大部隔っている面があった。しかし、近代的国家が形成される前から活発に行なわれていたイタリアの海港都市等に端を発する海事慣習は、その後一定の地域的広がりを得ながら、ヨーロッパのその他の港にもそれぞれの海事慣習の形成を促がし、それらがようやく確立する国家の法典に、取捨選択されつつ、結実し、その過程において、民商事法の源流の一つを形成したのである。

さて、そこで海商法である。海商法は、船舶を手段とする海上企業活動に関する法である。当然のことながら、船舶の活動する舞台ともいべき海は、世界へとつながっている。経済活動が、狭い一国の地域的空間にのみ終止するのであれば格別、現在のように、世界的規模での市場が形成され、経済活動も世界的拡がりを持つにいたると、原料やその加工品である商品の流通は、血管を流れる血液のように確保されなければならない。船舶による海上運送は、いわば、血液の中の血晶板のようなもの——または、血液そのものである。船舶を利用して遂行される海上運送は、その国々の経済体制を支えるものであり、世界経済に重要な貢献を果すものである。私の講義では、この海上企業活動を、商法の視点から捉え、そこに働く基本的な法原則を見ることにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険法を中心にする。①保険制度と保険法、②保険契約の当事者・関係者、③保険契約の成立と終了、④保険契約の内容と効果、⑤損害保険契約の意義・内容、⑥損害保険に特有の効果、⑦保険担保、⑧火災保険と地震保険、⑨責任保険と自動車保険、を中心項目とする。

後期は、海商法を取り上げる。①海商法の意義と発展、②海上企業の物的組織、③海上企業の主体、④海上企業の責任と制限、⑤海上物品運送契約の意義と種類、⑥海上物品運送契約の履行（海上物品運送人の義務と権利）、⑦海上物品運送人の責任、⑧船荷証券の意義および種類、⑨船荷証券の効力、⑩海上売買、を中心とする。

保険法および海商法も1項目につき1時間ないし2時間を予定する。

#### 履修上の留意点

講義には六法を持参して下さい。

#### 成績評価の方法

出席は、毎時限、取ります。これは期末試験での成績評価の際に考慮します。

#### 教科書

山野嘉郎・山田泰彦編著『現代保険・海商法30講』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
民事訴訟法	すぎ 杉 浦 智 とも づく 紹	二法3・4選	4

講義のねらい

民事訴訟は、その対象が日常生活をめぐる法的紛争（民事紛争）である事から、その法的紛争を解決する方法としての民事訴訟法学の理論的考察には、取り分け実体法との関連性を重要視し、訴訟法理に実体法理を包摂するとの基本的構想を採る必要があると考えている。また、講義では判決手続を中心に、憲法との関連性をも重視しつつ、適正且つ迅速な裁判をするには、裁判所と当事者との協働作業が不可欠であることを充分認識した上で、民事訴訟法の基礎理論からはじめて、訴訟構造論、訴訟主体論、訴訟客体論、訴訟過程論、裁判論等について論及する。具体的には、訴提起の段階、口頭弁論・証拠調べの段階、訴訟終了の段階に対応した、民事訴訟法上の主要な論点について、「問題の所在」を示し、学説・判例の動向を整理・紹介し、どういう角度から問題にアプローチし、また結論を導くべきかに重点をおいて、考察・検討するという方法をとる。特に訴訟過程において、訴訟主体が主体的役割を果たしたか、また果たせたかが、裁判の効力に影響することを、大きな課題として、講義を進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- I 民事訴訟の基礎理論
  - ① 民事訴訟と民事紛争
  - ② 民事訴訟の基本原則——(1)処分権主義、(2)弁論主義 (3)必要的口頭弁論の原則 (4)民事訴訟の憲法的保障
  - ③ 訴訟の構造理論
  - ④ 現代型訴訟と問題の所在
- II 民事訴訟の主体論
  - ① 裁判所 (1)構成と管轄 (2)裁判所の除斥・忌避
  - ② 当事者 (1)当事者概念 (2)当事者をめぐる諸問題 (3)当事者能力 (4)訴訟能力 (5)当事者の確定 (6)当事者適格 (7)訴訟における代理・代表
- III 訴訟客体論
  - ① 訴と請求
  - ② 訴訟における審判対象 (1)審判対象の特定 (2)訴訟要件の調査と審理順序 (3)訴訟物の構成 (4)訴訟物論争問題 (5)訴提起の効果
- IV 訴訟過程論
  - ① 口頭弁論およびその準備 (1)口頭弁論の準備と争点整理 (2)裁判資料の収集 (3)口頭弁論の経過 (4)当事者の訴訟行為
    - a) 意義と種類 b) 訴訟契約＝訴訟上の合意 c) 訴訟行為と私法規定
    - d) 訴訟行為の瑕疵と治癒 e) 形成権の訴訟上の行使
  - ② 証拠
    - (1) 事実認定と証拠 a) 証拠の必要性 b) 要証事実・不要証事実 c) 証拠の意義
    - (2) 証拠調べの実施 a) 証拠調べ通則 b) 各種の証拠調べ c) 自由心証主義
  - ③ 訴訟における主張と証明
    - (1)主張責任と証明責任 (2)弁論主義による証明責任の機能の拡大 (3)証明責任の分配基準
    - (4)証明困難軽減の諸方法 (5)証明責任における当事者の対等性の原則
- V 訴訟の終了
  - ① 訴の取り下げ、請求の放棄・認諾、訴訟上の和解
  - ② 判決 (1)裁判の種類及び判決の種類 a) 中間判決 b) 終局判決 c) 訴訟判決と本案判決 d) 判決の成立
  - ③ 判決の効力と瑕疵
  - ④ 既判力 (1)意義 (2)既判力理論 (3)既判力を有する裁判 (4)既判力の作用 (5)既判力の範囲
    - a) 時的範囲 b) 客観的範囲 c) 主観的範囲 d) 争点効および反射効
  - ⑤ 執行力・形成力・附随的效果
- VI 訴訟における訴訟参加
  - ①補助参加 ②独立当事者参加 ③共同訴訟参加・共同訴訟的補助参加
- VII 訴訟における複数請求審理
  - ① 複数請求訴訟 (1)訴の客観的併合 (2)訴の変更 (3)中間確認の訴 (4)反訴
  - ② 訴の主観的併合＝共同訴訟 (1)通常共同訴訟 (2)必要的共同訴訟 a) 固有必要的共同訴訟 b) 類似必要的共同訴訟 (3)共同所有関係と必要共同訴訟
- VIII 訴訟における不服申立て制度
  - ①裁判と不服申立て ②控訴 ③上告 ④抗告 ⑤再審

## IX 略式訴訟手続 — 少訴訟法手続を中心に —

### 履修上の留意点

手続法は実体法の理解とは異なり、体系的に連続しているので、講義には必ず出席し、また講義が楽しくなるかは、予め問題意識をもっているか、または関心があるかにかかっているため、講義対象は前週に指示しておくので、参考書等に目を通して受講されることが望ましい。また法律の勉強は理解することにあるので、それには先づ以て条文を読むことが大切である。従って、六法全書に親しむ習慣を是非つけてほしい。

### 成績評価の方法

民事訴訟法の試験は、(1)期末の定期試験でペーパーテストを行い、これを成績評価の重点項目とするが、(2)前期段階で小テストを行う。どの程度の理解が出来ているかを確認するため、講義をした主要な事項について、設問形式で結論と理由づけを三行以内で書かせる方式を採り、テスト終了後、設問に対する解答及び理由づけを開示し、答案は、採点の上各人に返還する。(3)学生との信頼関係下、年間使用できる受講カードを配布し、毎時間の授業項目を記載させ、単位を必要とする者には、これを自己管理させ、期末に提出させる。以上の三点を総合判断して成績の評価を行う。

### 教科書

特に指定はしない。

### 参考書等

1. 伊藤真『民事訴訟法』(有斐閣)
  2. 中野／松浦／鈴木編『新民事訴訟法講義』(有斐閣)
  3. 新堂幸司著『新民事訴訟法』(弘文堂)
  4. 三ヶ月章著『民事訴訟法』(弘文堂)
  5. 松本博之・上野泰男著『民事訴訟法』(弘文堂)
  6. 上田徹一郎著『民事訴訟法』(法学書院)
  7. 『民事訴訟法の争点(新版)』ジュリスト(有斐閣)
  8. 『民事訴訟法判例百選Ⅰ、Ⅱ』ジュリスト(有斐閣)
- その他、講義の進行に応じて適宜、詳しい文献の紹介は行う。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 事 執 行 ・ 保 全 法	とが 梅 善 夫	二 法 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

社会において重要な役割を果たしている民事執行法と民事保全法について講義します。  
民事執行法は、権利の事実上の実現手続きです。民事保全法は、将来の権利実現を保全する手続きです。民事執行法、民事保全法の解釈と両法律の基本原則、重要判例についての理解を目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、以下のような順序と内容で行います。なお、より詳しい年間の子定表は、第1回目の講義のときに配布します。

- ① 私法上の権利の実現方法
- ② 強制執行法の改正と民事執行法の成立
- ③ 仮差押え・仮処分法の改正と民事保全法の成立
- ④ 民事保全法
- ⑤ 民事執行法総則
- ⑥ 強制執行法総論
- ⑦ 強制執行法各論
- ⑧ 担保権の実行としての競売

履修上の留意点

民事訴訟法を履修済みか、並行して履修する人の履修を希望しています。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末の筆記試験のみによって評価します。

教 科 書

内田武吉編著『民事執行・保全法要説』（成文堂）1995年

参 考 書 等

竹下守夫・伊藤真編『民事執行法判例百選』（有斐閣）1994年  
中野貞一郎『民事執行法（新訂三版）』（青林書院）1998年  
なお、参考書については、授業の際に、必要に応じてその都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	馬越道夫	二法3・4選	4

講義のねらい

倒産処理法とは破産法・和議法・商法上の会社整理・清算に関する規定、会社更生法など倒産に関する諸法規の総称である。倒産処理法という名称の法典が六法全書に存在するわけではない。なお、倒産とは債務者が経済的に破綻し債務の弁済が極めて困難になった状況をさす。倒産処理法には目的の異なる二種の法規が存在する。一つは債務者の財産を清算し、債権者への平等弁済を図る制度である（例・破産法）。他の一つは債務者の財産を全面的に清算することなく、取引関係を整理し企業の再建を図る制度である（例・会社更生法）。上記二種の法規について判例を挙げ具体的に講述したい。

また、今日国際的取引の拡大や多国籍企業の多発に伴い、一企業の破産もその影響は国内に止まらず破産的処理も国際的規模が要求される。かかる涉外破産の問題点についても平易に講述したい。

講義の内容・授業スケジュール

4月・5月 倒産処理法の概説  
6月・7月・9月 破産法  
10月・11月・12月・1月 会社更生法

\*授業時間ごとに、その時間の講義の要旨を記載したプリント（レジュメ）を渡します。受講者は民法・民事訴訟法の基礎知識を習得していることが望ましい。

履修上の留意点

成績評価の方法

定期試験の結果及び出席状況を参考にします。

教科書

桜井孝一編 馬越道夫著『演習ノート破産法』（法学書院出版）1,800円

参考書等

石川明『破産法』（日本評論社発行）2,800円  
馬越道夫編著『論点国際民事訴訟法』（不磨書房出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	小林弘人	二法3・4選	4

講義のねらい

行政と国民との関係を規律する民主的統制のシステムの骨組みを「行政法総論」とするならば、行政が法に背き違法または不当な行為を行った場合に国民にはどのような救済手段があるのかといった「行政救済」に関する法領域をここでは「行政各論」と位置づける。

行政法秩序は無数の法令によって成り立っているが、行政活動によって、国民の権利・利益が違法・不当に侵害された場合の救済に関する基本的な事項について、具体的事例をとりあげて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

次下のような項目の解説を予定している。

①行政救済法の体系と内容、②国家補償法（国家賠償、損失補償、結果責任）、③国家賠償法総説、④国家賠償法と特別法、民法との関係、⑤公務員の不法行為による賠償責任、⑥公の営造物の瑕疵による賠償責任、⑦損失補償法、⑧結果責任法、⑨行政苦情処理制度、⑩行政不服審査制度、⑪行政審判制度、⑫行政事件訴訟法総説、⑬行政事件訴訟法と民事訴訟法、⑭行政事件訴訟の種類、⑮抗告訴訟、⑯当事者訴訟、⑰民衆訴訟、⑱機関訴訟

成績評価の方法

学年末の筆記試験および平常点による。

教科書

桜井昭平編『現代行政法』（八千代出版）

参考書等

今村成和著『行政法入門』（有斐閣）1996、塩野宏著『行政法Ⅱ』第2版（有斐閣）1994

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 訴 訟 法	お ぎ ぞ 小 木 曾 綾	二 法 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

刑事手続の基本について理解することが目的である。

犯罪の予防、摘発と、国家機関の権限の適正な行使によって個人の自由や市民社会の安全は維持されている。外国法にも目を向けながら、前期は捜査について、個人の自由を保障しつつかに効果的な法執行を実現するかを考え、後期は公判の諸原則を学びながら、最も厳しい制裁である刑罰を科すための手続的な公正さ・手続的正義について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 任意捜査と強制捜査
2. 逮捕
3. 搜索・押収
4. 検証・鑑定
5. 明文の定めのない捜査方法とその規律
6. 身柄拘束下の取調べ
7. 被疑者の弁護権
8. 職務質問、所持品検査
9. 訴追裁量
10. 公判構造
11. 起訴の方式と訴因
12. 証拠開示
13. 排除法則
14. 自白の証拠能力
15. 伝聞法則
16. 無罪推定
17. 裁判とその効果
18. 上訴

履修上の留意点

社会に生起する事件や法律問題に常に関心をもってほしい。六法は必携である。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。

教 科 書

渥美東洋編青林法学双書『刑事訴訟法』青林書院

参 考 書 等

渥美東洋編著『刑事訴訟法基本判例解説』（第3版）（三嶺書房）  
 渥美東洋『刑事訴訟法』（有斐閣）  
 田宮 裕『刑事訴訟法』（有斐閣）  
 松尾浩也『刑事訴訟法（上）（下）』（弘文堂）

科目名		担当者名	配当学科	単位
演習	I	あおのひろゆきの 青野博之	二法3選	4
演習	II		二法4選	

講義のねらい

民法上の問題を自分で見つけ出し、相手も納得できるような解決を考える。

講義の内容・授業スケジュール

民法上のさまざまな問題の中から、ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出してくる。このテーマがゼミの内容になる。たとえば、授業を聞いていたときに疑問に思ったこと。新聞を読んでいて他の人がどのように思うか聞いてみたくなったことなどであるが、民法上の問題であれば、なんでもよい。

履修上の留意点

ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出し、報告し、全員で質疑応答してほしい。ゼミ生が主役である。主役たちの活発な討論を期待する。ゼミ生の意欲と関心でゼミが進んでいく。そんなゼミになることを希望する。

毎回、担当者が作成し、少なくとも1週間前に配布されたレジュメ(要旨)にそって討論する。1回でテーマが終わってもよいし、2回以上続いてもよい。

ゼミ参加希望者は、現在のゼミ生(つまり、先輩)に、ゼミの内容・雰囲気や十分に関心することを忘れないように。

科目名		担当者名	配当学科	単位
演習	I	おおみやたかしの 大宮隆	二法3選	4
演習	II		二法4選	

講義のねらい

受講者が、各自のテーマについて深い知識を修得するとともに、集団的学習を通して学問の方法や文献、資料の検索、発表の仕方を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

家族法の分野から各自がテーマを選択し、順次研究内容や結果を報告してもらい、それに基づいて質問と討論をおこなう。関連する施設の見学やビデオの活用を考えています。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
演 習	I	お ぎ そ 曾 綾 小 木 曾 綾	二 法 3 選	4
演 習	II		二 法 4 選	

講義のねらい

刑事手続は人の自由や社会のあり方に関する哲学をその基礎としながら、実は犯罪というきわめて人間臭い事象を扱う分野である。本演習では、アメリカの著名な O. J. シンプソン事件を題材とし、刑事裁判について考える。

講義の内容・授業スケジュール

シンプソン事件の弁護士の書いた英語の原典を毎回参加者に訳してもらい内容について議論する。

履修上の留意点

何事によらず真摯に学ぶ姿勢は一生の財産となる。刑事手続に関心を持ち、自ら学ぶ姿勢のある学生の参加を期待する。

※なお、平成12年度は在外研究のため、ゼミは行わない。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
演 習	I	かお こ しょう へい 金 子 昇 平	二 法 3 選	4
演 習	II		二 法 4 選	

講義のねらい

本演習においては、行政法上の諸制度、行政法規の仕組及び複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代の行政法理論について理解を深めていきたい。

とりあえず、諸君の関心のあるテーマについての判例研究および学術論文の書評を行い、参加者全員とともに議論をつくしたいと思っている。例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題などを挙げておく。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
演 習	I	さ とう た み お 佐 藤 多 美 夫	二 法 3 選	4
演 習	II		二 法 4 選	

講義のねらい

- 本演習のねらいとしては、
1. 問題点を理解して対立点を明確にすること。
  2. 自分の態度決定が出来ること。
  3. そして、それを表現出来ること。

上記のねらいを念頭にして、刑法上の諸問題を扱うことにする。具体的には、判例等を材料にして検討することになる。なお、演習であるので発表し討論することになるが、最後に論文としてまとめてみよう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	すま とうら とも つく 杉 浦 智 紹	二法3選	4
演習Ⅱ		二法4選	

#### 講義のねらい

民事の判決手続に関する主要問題を中心に支配的見解の依って立つ基盤の検討を通して、基本的原理の徹底的理解をはかる事、及び具体的問題をいかに訴訟法学的見地から評価し、解決すべきかを主眼として演習を行う。

民事訴訟やADRを含めて総合的な民事紛争の処理制度を考察対象とし、特に裁判制度の社会的・経済的意義や機能の解明にも努めるようにしたい。

ところで、ゼミナール志望の学生の大半が法律実務家志望の学生であるところから、法解釈学的能力を高めることに力点をおく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本学では民事訴訟法の講義が、3年次生からの履修科目であるため、民事訴訟法の課題について、直ちに報告をさせることには無理があり、また個別的に参考書を読ませても、体系的把握と重点の把握が難しい事もあるので、4月から7月までの前期期間は、講義への積極的参加は当然のこと、ゼミでは、手続の全体像について充分理解させた上で、重要な基本的問題について、intensiveに講義をし、質問を受ける形で、これを行い、1日に主要問題を2~3問題、消化する方式で演習を進める。

指定参考書として、伊藤真著「民事訴訟法」(有斐閣)を必読させた上で、ゼミに参加させる。

具体的には、民事訴訟の主要問題の中、司法試験に出題された過去問を分析した上で、近い時期に出題されると予想される問題及び最高裁判所の中で、重要だと思われる事例、並びに最近5年以内に学会でテーマになった事項について、主として訴提起の段階、口頭弁論・証拠調べの段階、訴訟終了の段階の三段階に分けて整理し、解決基準を明確にした上で説明をし、夏休み直前に問題設定をし、三年次生には、所与の問題の中から任意に選んだ課題について、4年次生の協力を受けながら三人一組で班構成をして、問題に挑戦する形で、夏休み明け直前に二泊三日のゼミ合宿を行い、その研究成果を発表させ、全員で討議し、結論を導き出すという方式のゼミを行う。合宿での残余の課題及び問題については、二学期以後の平常時間で、これを継続して行う。

ゼミ生は、3名で1班×4=12名構成を原則とし、各班の内部役割は、総合的な立場で報告責任者としての報告者1名と学説について調査し、検討をする役割を分担する者、判例を整理し、その動向と分析結果を分担する者の三人で、一つの課題を確り合議し、その結果に基づいて、レジュメを作成の上、全員に配付し、報告を終え、それについて検討するという方式をとる。

この方式での演習は、平常時には、1カ月4問題を処理するので、かなりの主要問題について、一年間で基礎的理論については十分な理解力を持てるように指導する。

また4年次生は、三年で修得した理解(法物的考え方及び法的処理の仕方)を前提に具体的、個別的な問題を、予め提出し、報告担当者に、それぞれの研究成果を発表させ、それに基づいて討議を行い、論評を加えるという方式をとる。本人の選択したテーマを、一年間にわたって、深く研究し、最終的には、一つの論文にまとまるよう積極的示唆を行う。

#### 履修上の留意点

法律を理解するには、まづ、条文を確り読んで理解すること。

ゼミは学生時代で最も厳しいと同時に楽しいものでなければ勉強した事が身につかない。

多くの友人も出来、将来の展望が拓けてくる。また自分の言いたい事が積極的に人前で意思表示できるようになる。

また、自分でまとめたものが、客観性があるか、自分の発言と、その結論を導いた理由づけが確り出来ているか等をポイントに、指導者 Adviser があるので、誤りに臆せず、積極的主張を試みることである。

合宿やゼミの親睦会には是非出席されるように、また諸君の希望する職域で働くOB達の出席も多いので、その機会を逃さないようにされたい。

#### 成績評価の方法

ゼミでの報告、討論によって判断をし、ペーパーテストによる評価はしない。

#### 参考書等

1. 中野/松浦/鈴木編『新民事訴訟法講義』(有斐閣)
1. 『民事訴訟法の争点』(有斐閣)
1. 『民事訴訟法判例百選Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣)
1. その他は演習中に、適時紹介する。

科 目 名			担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	I	にし 西	おきむ 修	二 法 3 選	4
演 習	II			二 法 4 選	

講義のねらい

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけだす場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) 人数をあまり多くしない。その上限を私の研究室に入れるくらいにする(16-18人くらい)。
- (2) とくに小人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本として、拙著『日本国憲法を考える』(文春新書)1999年を予定しています。またディスカッションの内容としては、①日本国憲法の成立過程とその法的問題点、②憲法第9条をめぐる諸問題、③世界の憲法トレンド、④人権の現代的意味などを考えています。その他、年2回の合宿を行いますが、従来例では、レジャーとしてテニス、スキーをとりいれています。本演習は、明るく、アット・ホームな感じが特色であるといわれています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	はやし 林  こう 幸  じ 司	二法3選	4
演習 II		二法4選	

講義のねらい

- 1：民法の中でも、特にゼミ生が興味をもてるテーマを選択し、じっくり時間をかけて理解を深めてもらうこと
- 2：「具体的な事例問題や判例を素材に『討論』すること」の重要性を修得してもらうこと
- 3：討論において、ゼミ生自身納得のいく結論（見解）が出せるよう努力してもらうとともに、それを根拠づける「法的理論構成」の重要性を理解してもらうこと

講義の内容・授業スケジュール

民法全領域（家族法も含む）の中から、ゼミ生の希望により、いわゆる「争点」となっているテーマを選択するが、できるだけ体系的な視点から「つながり」のあるテーマ設定を行っていきたいと考えている。

〈方法〉

- 1：具体的な「事例問題」及び「判例」を素材とすること  
私が個人的に作成した事例問題、及び適当と思われる具体的な判決例を提示し、それを素材として討論を行う。
- 2：様々な討論の方式を試みること  
討論といっても、その方式・方法は様々である。①各分担につき報告者を決め、レジュメを作成してもらって、その進行の過程で討論を進めるという通常の方法もあれば、②模擬裁判の方式を取り、裁判官・原告・被告の立場に分かれて弁論をシミュレートしてもらい、その後、それぞれの立場を越えて討論を戦わせるという方法もある。本演習では、受講生諸君が興味を掻き立てられる討論の方式を試みて行きたいと考えている。
- 3：各テーマにつき全員が担当者となること  
どのような討論方式を採ったとしても、あるテーマでは報告者だが、別のテーマでは「お客さん」という者が出てくると、どうしても「活気ある討論」の実現は難しくなる。全員が同じ資格で討論に参加できるようにするという意味で、各テーマでゼミ生全員が担当者となってもらうよう配慮するつもりである。
- 4：常にゼミ生全員の発言が義務づけられること  
当然のことであるが、毎回、ゼミ生全員からの発言が望まれる。「沈黙は『禁』」である。

履修上の留意点

思いつきり討論できる人間関係をつくるということは、実は大変に難しいことである。ゼミ生の関係がギスギスしていて皆バラバラというのでは、討論はケンカの種になるか、又はそれを恐れるあまりに沈黙が永続する、ということになりかねない。それぞれ異なる意見・対立する見解かもしれないが、互いに協力して討論を成功させるという姿勢で臨んでほしいし、そのための親睦交流も配慮するつもりである。

成績評価の方法

①いつも積極的に討論に参加しているか、②自分自身の見解を提示できたか、③その際、法的な理論構成はなされているか、などが評価対象となる。結論や理論構成が私と違っているかどうかなどは全く問題とならない。評価の対象外である。自分自身で納得できる見解を発見してほしいし、それによって、自分に『自信』をもってもらいたいからである。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	二 法 3 選	4
演 習 II		二 法 4 選	

講義のねらい

株式会社法の基本的な内容理解を中心に、現代の経済社会において必要不可欠の組織となっている株式会社を法的側面から、研究する。前期に会社法総論を見て、株式会社の特徴を確実に理解した後、株式会社の運営をめぐる問題を検討する。後期は、これに、さらに株式をめぐる問題を加える。

講義の内容・  
授業スケジュール

ゼミであるから、上述の基本的な予定に沿って、小テーマを選び、これを各ゼミ生に順次レポーターになってもらい、その報告をたたき台として、全員で討論する。小テーマは、株式会社法の各種制度・原則から、これらに関連する判例研究を取りまぜつつ、私の方で予め提示し、ゼミ生に割り振ることとする。

成績評価の方法

成績評価は、レポーターとしてのレジュメ作成内容、報告内容、発言等を総合して行なう。出席は、必ずとる。理由のない欠席、遅刻に対しては、厳しく対応する。

教 科 書

教材として、『会社法判例百選（第6版）』（有斐閣）1,800円を指定する。その他、必ず、会社法についての概説書は購入しておくこと。

そ の 他

ゼミは、ゼミ生自身が主体的に参加してつくり上げるものである。自から、積極的に発言する、明るい学生を希望する。

# 3 經 營 学 部

專 門 教 育 科 目	經 濟 学 部
	法 学 部
	經 營 学 部



## Ⅱ 專 門 教 育 科 目

### 3 經 營 学 部

經	營	学	(長	瀬	勝	彦)	.....	259					
簿	記	学	(床	井	睦	子)	.....	261					
簿	記	学	(小	田	幹	雄)	.....	262					
簿	記	学	(阿	部	一	人)	.....	263					
簿	記	学	(大	野	満	奈)	.....	264					
經	濟	学	概	説	(羽	鳥	茂)	.....	265				
情	報	処	理	基	礎	(青	木	武	典)	.....	266		
情	報	処	理	基	礎	(橋	場	利	幸)	.....	267		
情	報	処	理	基	礎	(加	藤	武	信)	.....	268		
情	報	処	理	基	礎	(森	博	彦)	.....	269			
情	報	処	理	基	礎	(洪	谷	綾	子)	.....	270		
会	計	学	(渡	邊	惠	一	郎)	.....	271				
經	濟	原	論	(明	石	博	行)	.....	271				
近	代	經	濟	学	(滝	田	公	一)	.....	272			
經	營	科	学	概	論	(高	井	徹	雄)	.....	272		
經	營	史	(前	田	和	利)	.....	273					
經	營	管	理	論	(鈴	木	幸	毅)	.....	274			
企	業	形	態	論	(各	務	洋	子)	.....	275			
經	營	学	史	(休	講	)	.....						
ア	メ	リ	カ	經	營	学	(宮	城	徹)	.....	276		
經	營	財	務	論	(高	田	光	明)	.....	277			
經	營	勞	務	論	(鹿	嶋	秀	晃)	.....	278			
經	營	組	織	論	(休	講	)	.....					
經	營	技	術	論	(休	講	)	.....					
国	際	經	營	論	(茂	垣	広	志)	.....	279			
日	本	經	營	史	(内	田	金	生)	.....	280			
マ	ー	ケ	テ	ィ	ン	グ	論	(兼	村	栄	哲)	.....	281
商	業	史	(山	田	勝	子)	.....	282					
商	業	經	營	論	(森	官	勝	子)	.....	282			
保	險	經	營	論	(石	名	坂	邦	昭)	.....	283		
銀	行	經	營	論	(服	部	昌	久)	.....	284			
公	益	企	業	論	(園	田	哲	男)	.....	285			
原	価	計	算	論	(近	藤	禎	夫)	.....	286			
上	級	簿	記	(阿	部	一	人)	.....	287				
財	務	会	計	論	(渡	邊	惠	一	郎)	.....	288		
管	理	会	計	論	(猿	山	義	広)	.....	289			
經	營	分	析	論	(片	桐	伸	夫)	.....	290			
税	務	会	計	論	(高	木	克	己)	.....	291			
会	計	監	査	論	(中	平	榮	一)	.....	292			
日	本	經	濟	史	(北	島	万	次)	.....	293			
經	濟	政	策	(西	山	司)	.....	294					
財	政	学	(速	水	昇)	.....	295						
金	融	論	(服	部	敬	道)	.....	295					
国	際	經	濟	論	(永	田	智	則)	.....	296			

經營学部

日 本 經 濟 論 ( 休 講 )			
証 券 市 場 論 (佐 藤 昇)	.....	297	
国 際 金 融 論 (秋 山 誠 一)	.....	298	
統 計 原 理 論 (山 内 慎 二)	.....	299	
經 営 情 報 論 (高 井 徹 雄)	.....	300	
情 報 理 論 ( 休 講 )			
經 営 統 計 (長 国 強)	.....	301	
經 営 科 学 (小 沢 利 久)	.....	302	
生 産 管 理 論 (藤 原 篤 志)	.....	303	
人 事 管 理 論 ( 休 講 )			
ド イ ツ 經 営 学 (高 橋 成 夫)	.....	304	
行 動 科 学 ( 休 講 )			
国 際 会 計 論 ( 休 講 )			
情 報 会 計 論 ( 休 講 )			
貿 易 政 策 ( 休 講 )			
シ ス テ ム 論 (高 津 信 三)	.....	305	
民 法 (織 田 晃 子)	.....	306	
商 法 (島 原 宏 明)	.....	307	
勞 働 法 (藤 本 茂)	.....	308	
税 法 ( 休 講 )			
經 済 法 ( 休 講 )			
ビ ジ ネ ス 英 語 (町 井 靖)	.....	309	
外 書 講 読 (藤 原 篤 志)	.....	309	
外 書 講 読 (鹿 嶋 秀 晃)	.....	310	
外 書 講 読 (速 水 昇)	.....	311	

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営学	ながせ かつ ひこ 長瀬 勝彦	二 営 1 必	4

#### 講義のねらい

経営学部に入學したとはいっても、経営学を学んだことのある学生はほとんど皆無であろう。この講義では、学生諸君に経営学の基礎を学んでもらうと同時に、2年次以降に専門科目を学ぶ前のイントロダクションとして、経営関係の話題を幅広く取り上げていきたい。経営学の楽しさと奥深さを少しでも感じとってもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

予定している主な項目は以下の通りである。ただし、都合により変更される場合がある。また講義の回数と項目番号は一致しない。

- 経営学はどんな学問か  
社会科学の中の経営学／経営学はどの程度役立つのか／アメリカのMBA（経済学修士）はエリートへのパスポートか
- アメリカン・ビッグ・ビジネスの成立  
ロックフェラーの野望／牛肉は大陸横断鉄道に乗って／革命的な石炭／T型フォードはなぜ売れた？そしてなぜ売れなくなった？／晴れた日にはGMが見える
- 江戸と明治の経営  
大店（おおだな）の番頭はんと丁稚どん／世界初の先物市場・大阪堂島米会所物語／財閥を凌いだ商社・鈴木商店の栄光と挫折
- 戦中期から安定成長期の日本の経営  
日本式経営の「三種の神器」／1940年代システム
- 三井三池闘争・戦後日本の労使関係の転換点  
中労委の裁定は是非か、今君たちはどう考えるか
- 企業とは、そして企業者精神とは何か  
ジャパニーズ・ドリームとしてのソニーとホンダ
- 映画『タッカー』に学ぶ企業者精神
- 経営学の源流  
テイラーの科学的管理／ホーソン実験と人間関係論
- 近代経営学史（バーナード革命からサイモンの組織均衡論へ）  
組織の三要素／誘因の方法と説得の方法／権限受容説  
意志決定の概念／誘因貢献分析／満足化基準／
- 企業の資金調達と資金運用  
ポートフォリオ理論／直接金融と間接金融
- ビジネスゲーム『ポートフォリオ・マネジメント』  
君は効率的な資金運用ができるか？
- 企業はなぜ存在するのか？  
アダム・スミスのピン工場／取引コストの理論／市場・ヒエラルキー・ネットワーク
- 人はなぜ働くのか  
欲求理論／期待理論／内発的モチベーション
- 企業で働くとはどういうことか  
部下はなぜ上司の命令に従うのか  
君たちの勤労観・就職観を問う  
大企業と中小企業、就職するならどっち？
- マクドナルド対モスバーガー
- ソニー対松下
- ビジネス・ゲーム『生き残り』
- デファクト・スタンダードを巡る攻防  
ベータ陣営対VHS陣営
- ビジネス・ゲーム『交渉』
- 寡占市場と経済効率
- グローバル企業  
グローバル企業と世界経済／異文化コミュニケーション
- 英語で経営学(1)
- 英語で経営学(2)
- 総合ビジネス・ゲーム(1)
- 総合ビジネス・ゲーム(2)
- 日本の経営(2)「バブル経済～平成不況」

通常の講義のほかに、ビデオを使ったりゲーム形式をとることもある。時間内にレポートの作

成と提出を求めることもある。なか講義中に適宜受講生の発言を求めるが、高いレベルは求めていないので、素朴な意見を積極的に提示して欲しい。

履修上の留意点

私語や携帯電話など、講義の妨げになる行為に対しては厳罰をもって臨む。一度であってもそれだけで成績が「不可」になることもあるので覚悟しておくこと。私語をするくらいなら講義に出席しない方が、単位取得者に関してははるかに安全である。また時間内にレポート作成を課するときは、理由の如何を問わず遅刻者の入室は認めない。

成績評価の方法

定期試験の点数が主体となる。それにレポート点が加算される。

教科書

なし。

参考書等

『うさぎにもわかる経済学（仮題）』（PHP文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	とこ い むつ こ 床 井 睦 子	二 営 1 必	4

#### 講義のねらい

簿記学において主にその対象とされるのは企業の複式簿記です。経済の具体的担い手である企業は、人・モノ・カネそしてサービス（情報）からなります。そうした企業を資金という統一概念で捉え、その源泉と運用の二側面に着目し、勘定という特殊な様式でこれを記録・計算・表示するシステムが複式簿記と呼ばれ、かのゲーテが“複式簿記は人間の精神が発明したもっともすばらしいものの一つである”と賞賛したものでもあります。本講義では、この複式簿記原理の理解を目的に、(1)仕訳、(2)転記、(3)決算の基本部分を学習します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は以下の通りです。

- ① 簿記学の内容
- ② 簿記の目的
- ③ 取引の認識
- ④ 認識の記録
- ⑤ 簿記の一巡（ビデオ併用）
- ⑥ 勘定各論
- ⑦ 決算手続
- ⑧ 財務諸表の作成

#### 履修上の留意点

“継続は力なり”簿記学はその典型かも知れません。頑張って出席されることを期待しています。

#### 成績評価の方法

前記と後期の2回の試験に平常点を加味し、総合評価で行います。

#### 教科書

新井清光・渡部裕亘編著『新検定簿記ワークブック』3級／商業簿記（中央経済社）600円  
およびその他開講時に指示します。

#### 参考書等

必要に応じ紹介していきます。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	お だ みき お 小 田 幹 雄	二 営 1 必	4

講義のねらい

簿記の学習が初めてである学生のために、簿記の基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための非常に大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念や収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、いろいろな勘定科目の意味を理解し、簿記の一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形など
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度・コンピュータ簿記

履修上の留意点

簿記の学習は、自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にないとの私の教育方針から、練習問題を数多く解かせテストや宿題を出すこともある。テスト用紙等は必ず提出すること。出席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義の際のテストの点数及び宿題の点数を合計し平均点を出し、定期試験の点を加算し再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がる事になるから注意する事。

教 科 書

鶴飼哲夫・中村義彦編著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円  
中村義彦編著『基本簿記演習』（マルゲン出版）1,625円

参 考 書 等

新井益太郎監修『日商簿記検定試験演習』3級（実教出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	あ べ が ず ひ と 阿 部 一 人	二 営 1 必	4

講義のねらい

簿記についての基礎的な知識と技術の習得を目的とする。本講義は、複式簿記の基礎から仕訳・転記、試算表ならびに精算表の作成、帳簿の締切、損益計算書および貸借対照表作成までの一巡の手続の説明と記帳練習を重ねながら進められる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 企業の経営と簿記
- (2) 簿記の目的と種類
- (3) 簿記の基本要素
- (4) 取引と勘定
- (5) 仕訳と仕訳帳
- (6) 転記と総勘定元帳
- (7) 試算表
- (8) 精算表
- (9) 簡単な決算
- (10) 現金・預金の記帳
- (11) 商品売買の記帳
- (12) 売掛金・買掛金の記帳
- (13) その他の債権・債務の記帳
- (14) 手形の記帳
- (15) 有価証券の記帳
- (16) 固定資産の記帳
- (17) 資本金の記帳
- (18) 決算整理と棚卸表
- (19) 期末商品棚卸高と商品売買益の算定
- (20) 損益整理
- (21) 精算表
- (22) 元帳の締切
- (23) 損益計算書と貸借対照表の作成
- (24) 帳簿・伝票

履修上の留意点

簿記学の実践的な側面を考慮すると、実践的能力を高めることも必要です。そこで、記帳練習を随時行って、簿記の知識と技術の習得をはかります。“継続は力なり”まさにその典型が簿記学です。簿記学は、積み重ねの学問でありますから、特に出席することが肝要です。(途中で欠席すると、その後の講義の理解が困難になります。)

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、練習問題の解答結果および出席状況を考慮して総合的に判定する。なお、第一回目の講義において、本講義の内容とその進め方、試験の方法および評価方法等の詳細について説明するので、受講者は必ず出席すること。

教 科 書

中原章吉編著『簿記テキスト』（創成社）

参 考 書 等

講義において指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	おおのまんな 大野満奈	二 営 1 必	4

講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前 期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態-貸借対照表
3. 企業の経営成績-損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成(1)
8. 精算表の作成(1)
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

後 期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成(2)
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成(2)
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成(2)
13. 総合復習

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教 科 書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級 (一橋出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	は 羽 <small>とり</small> 鳥 <small>しげる</small> 茂	二 営 1 選	4

講義のねらい

経済学の基礎知識を学び、2年次以降の経済学や経営学のより深い研究への橋渡しをすることが本講義の目的である。現実の経済問題を自分の頭で考えるときの枠組みを提供できればと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期においてミクロ経済学、後期においてマクロ経済学を解説する。両分野とも最近大きく発展し、新しい理論が生み出されつつある状況なので、それらについても紹介する予定である。

履修上の留意点

特にない。

成績評価の方法

後期授業終了後の定期試験の結果によって成績評価を行う。

教 科 書

幸村千佳良『経済学事始<sup>ことはじめ</sup>』第3版（多賀出版）1994年 2,700円

参 考 書 等

適時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 基 礎	あおき たけのり 青 木 武 典	二 営・1・2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

パソコンの初心者を対象に、パソコンの操作方法、キーボード入力の習熟方法、ワープロ、表計算ソフト等の代表的なアプリケーションソフトの操作方法等、パソコンを道具として使いこなすための基礎を習得する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1) イントロダクション パソコンの基本的な操作方法を説明する。
- 2) キーボード入力の習熟方法 ブラインドタッチ（キーボードの盤面を見ないでキー入力すること）ができるようになるための練習方法を説明する。
- 3) ワープロソフトの利用 ワープロソフト“一太郎”を用いてワープロ文書の作成、編集方法を習得する。
- 4) 表計算ソフトの利用 表計算ソフト“Excel”を用いて、データの作表、集計、グラフ化、データベース検索等の方法を習得する。
- 5) グラフィックソフトの利用 グラフィックソフト“ペイントブラシ”を用いて、画像データの作成、編集方法を習得する。

この授業は実習を中心にして進めていくが、通常の授業時間内ではすべての実習をこなすことは到底不可能なので、残りの部分は課題として次回までに自分で行うことを前提とする。授業時間よりもはるかに多くの自習時間が必要になることを覚悟してもらいたい。

#### 履修上の留意点

パソコンの初心者を対象としている。受講希望者が多いと思われるので、ある程度の経験者は遠慮していただきたい。また、授業時間以上の自習時間が必要となるので、その時間が取れない者、単位取得だけが目的の者は遠慮していただきたい。

#### 成績評価の方法

この授業の主旨はパソコンの操作技能を身につけてもらうことであり、その判定はどの程度課題をこなしたかで判断する。従って、課題の出来映えを最重要視する。通常の授業時に出席は取るが、いわゆる出席点とはしないので、授業に出席していれば単位がもらえるわけではないことを注意されたい。期末試験は行わない。

#### 教 科 書

特定の教科書は使用しない。授業時に配布するプリントをもとに授業をすすめる予定である。

#### 参 考 書 等

参考書については、授業の時に適宜指示する。

#### そ の 他

〔クラス定員〕60名  
 〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論  
 ※この科目は4月初旬に第二学事課で受講票を受け取らなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 基 礎	はし ば とし ゆき 橋 場 利 幸	二 営 1・2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

インターネットの急速な普及に象徴されるように、私たちを取り巻く環境は急速に情報化されつつある。もはやコンピュータの利用技術は、社会人として生きていくための必須条件となった感さえあるが、私たちはこれに対してどう対応すべきなのだろうか。いずれにせよ、まずはその情報化の現場をひとまず体得してみる必要がある。そうして、受講者各人が情報化社会において健全な判断力をもって生きてゆくためにはどうすればよいかを考えていただきたい。少なくとも、最近の風潮である技術への盲目的な服従・半断停止という事態（意味も分からずコンピュータに「使われてしまう」ということ）だけは回避できるよう、この講義では講師・受講者双方がともに努力してゆく姿勢でゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

代表的なパソコン用の OS である Windows 上で稼働するワードプロセッサ Word、表計算ソフト Excel などのソフトウェアを取り上げ、これらを実習形式で学んでゆく。同時に、随時コンピュータの仕組みについての講義もはさんでゆく。さらにインターネット上の情報資源の検索についても取り上げる。時間が許せば簡単なプログラミングも行う予定。実習用の課題は、今後の就職活動、将来の仕事、ゼミ発表などに役立つものを念頭においたものを取り上げるようにしたい。

#### 履修上の留意点

集合形式で実習を行いますので、遅刻や欠席がないようにしていただきたい。講義開始前に情報教育センターで準備できていることが望ましい。講義時間中に課題が終了しなかった場合には各自が課題を完成し提出していただくことになるので、時間外の作業が必要になる場合もあることも念頭におかれたい。ただし自分で自宅用にコンピュータを購入しなければならないわけではない。4号館には自習室があるので、これを空き時間などに利用すればよい。コンピュータに対しては、何よりも「慣れ」が大切ゆえ、好奇心、興味、熱意をもって受講されることを求める。講師も受講者の皆さんの熱意に応えられるよう努力は惜しまないつもりである。

#### 成績評価の方法

課題の提出状況と内容、および出席状況などによって総合的に評価させていただく。

#### 教科書

太田忠一編／植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ [Windows 版] -Microsoft Office による-』(サイエンス社) 2,200円

#### 参考書等

全く初心者の方は、できるだけ前もって図書館や書店に足を運び、数冊の文献を比較参照しながら、もっとも自分に相性が合う書籍を選択して勉強されておくことをお勧めする。具体的には、文献末の索引で同じ項目の記述に関して何冊かを比較対照し、皆さん自身が「わかりやすい」と感じたものを選択されるのがよいと思う。書籍などの選択に迷われた際にはアドバイスさせていただきたいので、初回の講義などに顔を出されるか、hashiba@komazawa-u.ac.jp までどうか遠慮なくご連絡されたい。なお、コンピュータ用語辞典としては「高橋三雄監修『わかりやすいコンピュータ用語辞典』(ナツメ社) 1,270円」は説明も丁寧でしかも安価なのでよいと思う。

#### その他

講義、実習ともすべて情報教育センター（4号館）でコンピュータを使いながら行う。  
 【クラス定員】60名  
 【関連科目】経営科学概論、経営科学、経営情報論  
 ※この科目は4月初旬に第二学事課で受講票を受け取らなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 基 礎	かとう たけ のぶ 加 藤 武 信	二 営 1・2・3・4 選	4

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンを自在に使用して、文書の作成、プログラミング言語や表計算によるデータ加工の技法を修得する。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・  
授業スケジュール

〈前 期〉

- ① ワードプロ「MS-Word」による文書作成  
レポート形式文書、納品書、履歴書などの文書例を参考にして文書作成技法を修得する（6コマ程度）。
- ② 統合型表計算ソフト「MS-Excel」による作表・作図（基本レベル）  
多くの例題・演習課題による作表・作図訓練を行う。

〈後 期〉

- ③ 統合型表計算ソフト「MS-Excel」による作表・作図（応用レベル）  
マクロコマンドによる自動処理の設定や経営管理に使う実務的な図表の作成までレベルを高めることを目指す。
- ④ 「Power Point」によるデータの視覚化  
スライドの作成やパソコンから OHP への投影のためのデータの視覚化を行う。
- ⑤ 複数ソフトで作成した文書の統合  
上記ソフトおよび他のソフトで作成した文書の結合操作を行う。

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。また習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教 科 書

開講時に指示します。

そ の 他

〔クラス定員〕 60名  
〔関連科目〕 経営科学概論、経営科学、経営情報論  
※この科目は4月初旬に第二学事課で受講票を受け取らなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 基 礎	もり 森                    ひろ 博                    ひこ 彦	二 営 1・2・3・4 選	4

講義のねらい

コンピュータは企業経営にとってすでに欠かすことの出来ないものとなっており、最近のインターネットの普及により、いち早く情報を集めるための道具として、ますますその必要性は増えていく。  
本講義では、コンピュータの基本的な使用方法から始めて、コンピュータを使っていかに情報を処理し、それを表現し、書類やプレゼンテーションの形として作成していくかを解説していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. コンピュータの基本的な使用方法  
電源の入れ方からはじめ、タイピングの練習をおこなう。また、基本的なコンピュータ用語について解説する。
2. ワードプロセッサによる文書の作成法  
日本語ワードプロセッサを用い、文書の作成技法について学ぶ。
3. 表計算ソフトによるデータの処理と視覚化  
いろいろなデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探るため、表計算ソフトを用いて、どのように処理をすればいいか、また、その結果をどのように表現すればいいかについて学ぶ。
4. プレゼンテーションソフトによる発表方法  
プレゼンテーションソフトを使い、3. で作成した表やグラフを使って効率よく、美しく、わかりやすく発表するかについてまなぶ。マルチメディアによるプレゼンテーションについてもふれていく。
5. インターネットについて  
インターネットとは何か、どのようなことが出来るのかなど、インターネットの現状と将来について、電子メール、ワールドワイドウェブ (WWW) を中心に解説をしていく。
6. その他  
時間が許す範囲で、これらのソフトをどのように作成するかについて、いくつかのプログラミングの手法について解説していく。

教 科 書

授業時に指示する。

そ の 他

実習を中心に行うので、欠席は極力避けてください。  
〔クラス定員〕60名  
※この科目は4月初旬に第二学事課で受講票を受け取らなければ履修できません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 基 礎	しほ 谷 あや 綾 子	二 営 1・2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

情報化社会においては、コンピュータを使用しての情報処理能力は、当然備えているべき能力と認識されるようになってきている。社会科学系の学生としては、最低限、レポートや論文作成のためのワードプロセッサの利用技術、数値データの解析のための表・グラフ作成ソフトウェアの利用技術を習得しておく必要がある。

本講義では、パーソナル・コンピュータを使用して、実技形式の授業で、ワードプロセッサソフトウェアと表・グラフ作成ソフトウェアの習得を内容とする。また、プログラミング言語の初歩についても学習する。

基礎となる学問的傾向・問題意識としては、自らがパーソナル・コンピュータの利用技術を習得すると同時に、社会において「情報」がどのような役割を演じているかについての認識を持つようになることを希望する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

パーソナル・コンピュータを初めて利用する学生を対象に、

- ・タッチ・タイピング（キーボードを見ずに、リズムカルにキーを打つ技術）の習得
- ・ワードプロセッサソフトウェア
- ・表・グラフ作成ソフトウェア
- ・プログラミング言語

の順で講義を進めていきたい。

授業スケジュールとしては、最初のタッチ・タイピングについては専用の練習用ソフトウェアを使って各自で時間をかけて練習することが重要なので、授業では練習用ソフトウェアの使用方法について説明するにとどめる。各自の自覚に期待する。

なお、プログラミング言語については時間的余裕がない場合は割愛される可能性がある。

#### 履修上の留意点

電算室での実技科目であるから、出席することが最低要件である。また、タッチ・タイピングの習得や課題の提出など、授業時間以外でも積極的にコンピュータに接する心構えが必要である。毎回授業に出席し、課題やデータ作成の期限を守らないと授業についていけなくなるので、真剣に取り組むことを希望する。遅刻は厳禁である。

#### 成績評価の方法

出席状況、課題の提出状況、定期試験の結果、授業への参加意識を考慮する。

#### 教科書

前田功雄、松山恵美子、渋谷綾子、和高慶夫、高柳敏子、石田則道共著『情報処理と Windows』（共立出版株式会社）2,800円＋税

#### その他

授業はコンピュータの設置された教室における実技形式とする。

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に第二学事課で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会 計 学	わた なべ え いち ろう 渡 邊 恵 一 郎	二営2・3・4選	4

講義のねらい

会計学を体系的に学修するためのオリエンテーションとして講義する。  
 会計に興味ある人は、履修要項にある会計学系列の専門選択科目を履修するに当たっての準備のつもりで学習したほうがよい。しかし、この講義では、他の系列を履修したい人、経営・管理のプロフェッショナルになりたい人、あるいは他の職業に従事したい人にも、会計学の基本知識が得られるよう概説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、下記の教科書により、その授業スケジュールは次のとおり。

- ① 4～5月 会計学とは何か、会計と社会との関係
- ② 6～7月 財務会計の基礎
- ③ 9～10月 管理会計の基礎
- ④ 11～1月 会計原則と会計法規、財務分析、会計監査、税務会計、国際会計、会計学史、最近の会計上の課題

履修上の留意点

宿題（年2回）を提出しなければ、期末試験を受けられない。

教 科 書

柴谷恭次郎著『会計学（第3版）』（中央経済社）

参 考 書 等

寫村剛雄責任編集『体系会計諸則集』（白桃書房）

そ の 他

授業の方法は、講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 原 論	あか し ひろ ゆき 明 石 博 行	二営2・3・4選	4

〔開講時に指示します〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代経済学	滝田公一	二営2・3・4選	4

講義のねらい

本年度は、産業組織論の入門的講義を行います。講義内容は、以下のとおりです。

1. 産業組織論とは？
2. 企業の理論
3. 生産費用
4. 完全競争と独占
5. 支配的企業と競争的周縁
6. カルテル
7. 非協力的な寡占
8. 製品差別化と独占的競争
9. 産業構造と成果
10. 価格差別
11. 垂直的統合
12. 品質と情報と広告

教科書

特に指定しません。

参考書等

ロジャー・クラーク著『現代産業組織論』（多賀出版）1989  
 Carlton, D. W. and J. M. Perloff, *Modern Industrial Organization*, Scott, Foresman 1990  
 新庄浩二編『産業組織論』（有斐閣）1995

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営科学概論	高井徹雄	二営2・3・4選	4

講義のねらい

生産活動には、本来の物作りの技術の他に、高能率、高品質、低コスト、短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界は、いち早くQC（品質管理）、IE（経営工学）・OR（運用研究）をはじめとする経営管理技術の導入を図り、実践することによって生産、品質、コスト面で飛躍的發展を成し遂げた。この講義ではQC、IE、ORを中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション（1回）：経営工学の概略と歴史
2. 生産管理とIE技法（2回）：(1)生産方式 (2)生産計画
3. ORによる計画と決定（3回）：(1)数理計画法 (2)待ち行列理論 (3)シミュレーション
4. 工程管理と作業の平準化（3回）：(1)工程管理と工程分析 (2)日程計画 (3)ラインバランス
5. 在庫管理と品質管理（2回）：在庫管理の必要性 (2)QCとTQC
6. 統計的手法（2回）：(1)需要予測 (2)回帰分析
7. FAとCIM（3回）：(1)FAとCIM (2)計測と自動制御 (3)CAD/CAMとFMS
8. システムの信頼性と性能評価（2回）：(1)信頼性と稼働率 (2)システムの構成と性能評価
9. 経済性工学と生産性（3回）：(1)原価管理 (2)経済性分析 (3)生産性分析

履修上の留意点

履修に際して予備的な知識は特に必要ないが、適宜演習を行うので毎回出席すること。

成績評価の方法

前期、後期に実施する筆記試験により評価する。授業中の演習課題を平常点として加味する。

教科書

法雲俊巳著『経営工学』（オーム社）2,900円。その他、適宜プリントを配って補う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 史	まえ だ かず とし 前 田 和 利	二営2・3・4選	4

講義のねらい

経営史の課題は「企業経営とは何か」について史的に答えていくことにあり、そのことによって現在の企業経営の理解がより容易になる。本講義では、一般化された経営発達史を、できるだけ個々の産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義は三部から構成される。第一部では経営史を学ぶ視角を養い、そのうえで第二部において企業経営の一般的発達史を学ぶ。第三部は日本の企業経営をケースを通して理解する。

I. 経営史研究の課題と方法

経営史（狭義）論、企業者史論、組織総合理論

II. 企業経営発達史

1. 企業経営の生成（イギリスを中心に）  
商人資本、マニュファクチュア経営
2. 企業経営の確立（イギリスを中心に）  
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相（企業経営者、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織）
3. 企業経営の発展（アメリカを中心に）  
市場の拡大・変容、アメリカ的大量生産体制、big business の形成、giant enterpriseの成立

III. 日本の企業経営

日本の流通経営史（戦前・戦後）

以上のうち、前期において企業経営の確立の一部までを終え、それ以後を後期に講義する予定である。

なお、日本の企業経営に関しては進行速度によって変更がありえる。

履修上の留意点

テキストは使用しないので、下記の参考文献をテキストのつもりで参照し、必ずノートを整理してください。4、5回出欠をとり、また適宜資料を配布する。

成績評価の方法

学年末テストによって評価する。

参 考 書 等

- ① 榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）
  - ② 中川敬一郎『比較経営史序説』（東京大学出版会）
  - ③ 大河内暁男『経営史講義』（東京大学出版会）
  - ④ 土屋守章編『経営史－西洋と日本－』（有斐閣）
  - ⑤ 宮本又郎ほか『日本経営史』（有斐閣）
- その他随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	すずき こうき 鈴 木 幸 毅	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の1、2を前期にとりあげ、それとの関連において後期に3、4を講義する。

- 1 古典的理論
  - (1) テイラーの科学的管理論
  - (2) 管理過程論（職能論）
  - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
  - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
  - (2) 行動科学的管理論
  - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
  - (1) バーナード革命
  - (2) 組織論的管理論
  - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代理論
  - (1) 環境適応的管理論
  - (2) 戦略的管理論
  - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

自主的学習を期待するので、特に出欠をとることはしないが、中間試験に代わるレポート提出を求め、その成績を期末テスト結果に加味して評価する。

教 科 書

鈴木幸毅著『経営管理論－学説研究－』（中央経済社）1996年4月

参 考 書 等

鈴木幸毅著『現代組織理論』（税務経理協会）1994年  
鈴木幸毅編『バーナード理論と労働の人間化』1997年4月

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
企 業 形 態 論	か 各 務 洋 子 がみ よう こ	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

企業形態論は、経営学において早くから成立した学問領域の一つである。企業形態を単に企業規模の区分として捉えるのではなく、企業制度の歴史的発展の過程、進化の段階として動的に捉える。資本主義経済の支配的な企業形態である株式会社を中心に据え、株式会社制度の基本、所有と経営との関係、現代株式会社の特質、株式会社支配論等の理論的特質、歴史的発展過程を述べ、現代社会における企業行動の理解を深め、現代経営の諸現象を考察するための基本的知識の修得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1回目の授業に、シラバスを配布し、1年間の講義の流れを説明する。取り上げるテーマは、以下の予定。

1. 企業概念 (企業理論への道程)
2. 企業形態の展開 (企業形態の本質的意味、企業の資本調達メカニズム)
3. 法制上の企業形態 (企業形態の種類、会社法による会社の種類)
4. 日本の企業制度史 (原点としての明治期初頭、官営事業、株式会社制度)
5. 株式会社の現実 (株式の公開と上場制度、株式会社の日本的特質、株式会社を巡る諸問題の検討ーコーポレート・ガバナンス論争、株式会社支配論の展開、株式相互持合いに関する諸理論等)
6. 企業競争と独占 (競争のダイナミズム、構造的独占)
7. 企業の統合とグループ化 (統合による企業の巨大化、統合の法的形式、経済形態、巨大企業のグループ化)
8. 企業格差の構造 (企業規模、企業格差の実態、中小企業施策と今後の課題)
9. 企業の国際化 (国際化の意味、国際化の実態、海外新種に伴う企業経営上の課題)
10. 日本の公企業 (公企業の経緯と種類、政府公企業、地方公企業、経営の課題)
11. 日本の協同組合 (協同組合の歴史、経営原則、種類、現実)

成績評価の方法

年二回の定期試験と、講義の終わりに小レポート (複数回) を実施する。小レポートの合計点 (30%)、前期試験 (30%)、後期試験 (40%) によって総合評価する。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

その他参考文献は、授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 営 学	みやぎ てつ 徹	二 営 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必須科目である「経営学概説」や「経営学」などの授業を通じて、無意識のうち、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の8つの要目について検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

#### 1999年度『アメリカ経営学』授業計画

- I 1年間の授業の概要(1)
- II 経営学の対象と方法(2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論(4)
- VI 取引コスト理論(6)
- VII プロパティ・ライツ理論(2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論(2)

#### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

#### 教 科 書

指定しない。

#### 参 考 書 等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1983、1997
  - 2 宮城「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
  - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
  - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1989、1998
  - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 財 務 論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	二 営 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

#### 〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

#### 〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項について次の順番で講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 流動・固定分類法的重要性
6. 資金

#### 履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

#### 教 科 書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

#### 参 考 書 等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	二営2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、経営労務学説史、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、日本の生産システム、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、90年代の労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には講義を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか?」といったように問題点を掲げ、その解説をおこなう。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をするので、初回は重要。出席は取らないので、出席点はなし。私語は他の学生に迷惑になるので遠慮してもらいたい。

成績評価の方法

評価は学期末の試験のみによる。内容はA方式：①空欄補充問題（約50点分）②論述問題1問（約50点分）の計100点、またはB方式：論述問題1問（100点）のいずれかを選択のこと。詳細は初回の講義で説明する。

教 科 書

テキストは津田真激『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993 3,000円程度を使用。

参 考 書 等

参考図書としては、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995 2,600円程度、経済労務をより体系的に深く学習するのに白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992 3,500円程度をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	二営2・3・4選	4

#### 講義のねらい

国際経営論とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点間の諸活動をどのようにマネジメントするのか?」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存の経営諸理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論(アプローチ)、データ、ケースを援用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の観点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

海外に拠点を高度に分散化している MNC にとっての大きな課題は、それら拠点の現地化(適応性)の要請とグローバルな統合化(効率性)の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本的マネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系 MNC と異なる様相を示している。授業では、その日系 MNC の戦略及びマネジメントの特徴を理論、欧米系 MNC との比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点を理解することに主眼を置くことにする。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク(隣接領域との異同と関連性)
  - II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討(IPLC 仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説等)
  - III. 国際経営/企業多国籍化の発展段階モデル(ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、ルートの海外市場参入段階モデル、EPRG モデル等)
  - IV. 国際経営の戦略選択モデル(国際競争戦略)
    1. 国際競争優位性(規模の経済・範囲の経済・連結の経済、比較優位・国家特殊優位性)
    2. 国際競争戦略の類型(ポーター・モデル、ドズ=ブラハラード・モデル、バートレット=ゴシヤール・モデル等)
  - V. 国際戦略と国際経営管理
    1. マクロ構造(国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造)とミクロ構造および内部ネットワーク
    2. 欧州系 MNC とアメリカ系 MNC の戦略およびマネジメント上の特徴(経営伝統と現状)
    3. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴(その現状と課題)
  - VI. 国際マーケティング戦略
    1. 海外市場参入と現地マーケティング戦略の展開(現地マーケティングミクス)
    2. 国際マーケティング戦略における現地適応化とグローバル標準化
  - VII. 日本企業の国際化と人的資源管理
    1. 異文化マネジメント
    2. 海外派遣社員の人事管理
    3. 国際人的資源管理(能力開発、処遇、キャリアデベロップメント)
  - VIII. 国際研究開発戦略
    1. R&D の集中化と分散化
    2. 規格競争と戦略提携(R&D コンソーシアの形成)
- 以上が講義内容の要目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。

#### 履修上の留意点

経営学、経営戦略論の知識があった方が理解しやすいので、そのような関連科目を既に履修しているか、現在している方が望ましい。ただ、授業中にも概説する。

#### 成績評価の方法

成績は、出席状況および期末試験の結果により判断します。

#### 教科書

茂垣広志・池田芳彦『国際経営論』(学文社) 2800円+税

#### 参考書等

根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』(学文社)

#### その他

講義が中心であるが、その際 OHP ないしプロジェクターを用いてビジュアル的な授業を行う。その際使用資料については配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経営史	うちだかねお生	二営2・3・4選	4

講義のねらい

1920年代から現代に至るまでの日本企業の経営発展の諸側面について概観する。講義を通じて、多くの課題をかかえた現在の日本企業を、「歴史」という視点から、改めてとらえ直す作業に受講者とともに取り組み、「企業経営」ならびに学問としての「経営学」についての理解を一層深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に指定した日本経営史の通史的なテキストの配列に準じて、前期は〈戦前期の企業経営〉、後期は〈戦後の企業経営〉について講義する。とくに今年度は、以下のテーマについて順次取り上げてみたい。

それぞれの講義では、教場で配布する基礎的な資料や統計の吟味・検討を行ない、各時期の経営環境の変化と企業経営における革新的行動に注目しながら、経営発展の歴史とそれに関連する経営学の基礎的な理論について論じていく。

前期〈戦前期の企業経営〉

(1)「経営史」の課題と方法／(2)現代の経済・経営を論じる上でのフレーム・ワーク／(3)戦前期日本の経済発展と産業構造・企業成長／(4)日本における「現代企業」の成立／(5)成長企業の組織と戦略／(6)財閥の構造と成長力／(7)二重構造の出現／(8)戦前期の日本企業の国際競争力／(9)新興産業の勃興と成長企業／(10)トップ・マネジメントと専門経営者／(11)経営合理化と「科学的管理法」／(12)戦時統制経済期の企業経営／(13)戦時下での技術開発

後期〈戦後の企業経営〉

(1)戦後の経済統制と復興過程／(2)財閥解体と新たな経営者層の台頭／(3)傾斜生産方式と復興金融／(4)戦後日本の経済発展と産業構造・企業成長／(5)技術導入と大規模投資の進展／(6)アメリカ的経営管理の導入／(7)企業集団の形成／(8)戦後の産業政策とその機能／(9)マーケティングと流通革新／(10)産業構造の変化と企業のリストラチャリング／(11)安定成長期の企業経営と国際競争力／(12)日本企業の海外進出／(13)負の遺産からの脱却——バブル経済からアフター・バブルの不況へ

履修上の留意点

選択科目であるため、受講者に対しては熱心、かつ真摯な態度での聴講を強く期待している。また、講義のなかで紹介したり、各人が関心をもっている企業の社史や経営者の自伝等を用いて、講義内容の確認と補習を行うことが望ましい。

成績評価の方法

単位は、定期試験・レポート及び平常点をもって、総合的に評価する。

教科書

宮本又郎他『日本経営史』(有斐閣)1995年 本体3,200円、第3～5章。

参考書等

履修に際しては、とくに必要はない。ただし、各自で進んで独習するものに対しては、相談の上、別途に文献リストを配布するので、参考にしてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング論	兼 <small>か</small> 村 <small>むら</small> 栄 <small>えい</small> 哲 <small>てつ</small>	二営2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会的な分業制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、さまざまな隔たりが発生しており、そのために、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。生産と消費の間の隔たりは、一般に経済的懸隔（経済的隔離）と呼称されている。マーケティング論とは、この経済的懸隔を架橋する仕組みを研究する学問であり、マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論の2つに大別される。前者は社会経済の観点に立脚し、経済的懸隔がどのように架橋されるのかを主に研究するものである。他方、後者は、企業のマネジメントの観点に立脚し、経済的懸隔をどのように架橋するのかを主に研究するものである。本講義では、以上の2つのマーケティング論を、実例を示しつつ、わかりやすく説明していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は、以下の順序で進めていく予定です。

##### 《ミクロ・マーケティング論》

- ① 生産と消費の間の経済的懸隔および流通の社会的役割
- ② 流通機能（総論）および流通フロー
- ③ 流通機能（各論）－商流にかかわる交換機能－
- ④ 流通機能（各論）－情報流にかかわる情報伝達機能－
- ⑤ 流通機能（各論）－物流にかかわる輸送機能・保管機能－
- ⑥ 流通機構の意義および流通機関
- ⑦ 商業者の分類
- ⑧ 仲介商業者の分類
- ⑨ 流通の客体
- ⑩ 流通機構を取り巻く環境
- ⑪ 流通経路
- ⑫ 流通における商業者の地位の後退

##### 《マクロ・マーケティング論》

- ⑬ マーケティング・マネジメントの意義およびその過程
- ⑭ 消費者行動
- ⑮ マーケティング・リサーチ
- ⑯ 製品政策
- ⑰ 価格政策
- ⑱ 販売経路政策
- ⑲ プロモーション政策

#### 履修上の留意点

受講生には、以下の3点を要望する。

- ① 出席すること
- ② 私語を慎むこと
- ③ 質問は、各講義終了後におこなうこと

#### 成績評価の方法

試験その他を総合的にみて、成績を評価する。

#### 教科書

開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商業史	やま だ 勝 山 田 勝	二営2・3・4選	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- ① 商業史の観点
- ② 歴史研究とパラダイス論
- ③ 利潤
- ④ 商品
- ⑤ 市場
- ⑥ 継続性
- ⑦ 流通量
- ⑧ 大衆消費社会の特質
- ⑨ 価格革命
- ⑩ 情報社会と商業

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益である。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人に迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業史』（創成社）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商業経営論	もり みや かつ こ 森 宮 勝 子	二営2・3・4選	4

講義のねらい

商業経営論とは、生産者と最終消費者との中間にあつて、商品・サービス・アイデアを購入・販売することを業とする中間商業者の活動をその研究対象とする。中間商業者とは、卸売業者と小売業者を意味するが、講義では、小売業者を中心にその商業経営を検討することとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

総論として、商業の意義と機能を論じた後、小売業の形態と動向について考察する。小売業の形態については、有店舗小売業と無店舗小売業の2つに分けて検討する。有店舗小売業には、百貨店、スーパーマーケット、専門店、コンビニエンスストア、ディスカウントストア等があり、無店舗小売業には、訪問販売業、通信販売業、自動販売業がある。これらの小売業について、その沿革、内容、動向について詳細に講ずる。各論として、多様な小売業の業態で展開されている商業経営の手法について説明する。その内容としては、市場調査と立地分析、店舗管理、商品政策、仕入管理、商品管理、価格政策、販売管理等があげられる。

履修上の留意点

毎時間、資料を配布するが、試験問題の解答に必要となるかもしれないので保管しておくこと。

成績評価の方法

学年末試験の結果により成績評価する。

教科書

出牛正芳・他『商業経営論』（税務経理協会）3,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いし な ざが くに あき 石 名 坂 邦 昭	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危険管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 経 営 論	はつ どり よし ひさ 服 部 昌 久	二営2・3・4選	4

講義のねらい

金融の自由化・国際化が進展する中で、「フリー」「フェア」「グローバル」を基本理念とする金融制度改革構想（金融ビッグバン）が1996年11月に発表された。金融制度は基本的には一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに合う銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- ① 産業構造の変化と金融
- ② 金融ビッグバンの目指すもの
- ③ わが国の金融制度の沿革と特徴
- ④ 銀行の機能
- ⑤ 銀行の業務
- ⑥ 信用秩序の維持と諸規制
- ⑦ 欧米金融事情
- ⑧ これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験（レポート試験）で評価するが、授業への出席も加味して総合評価する。

教 科 書

使用しないが、適宜プリント資料を配布する。

参 考 書 等

- ・日本銀行金融研究所『新版 わが国の金融制度』（ときわ総合サービス株式会社）1995年 2,621円
- ・全国銀行協会連合会調査部編『図説 わが国の銀行』（財経詳報社）1996年 1,900円
- ・田丸 努『新版 現代の銀行』（財経詳報社）1998年 2,500円
- ・福井和夫他『ネットワーク時代の銀行経営』（富士通経営研修所）1997年 2,500円
- ・淵田康之『証券ビッグバン』（日本経済新聞社）1997年 1,700円
- ・相沢幸悦『新しい金融システムの創造』（中央経済社）1998年 2,200円
- ・ロバート・ライタン、ジョナサン・ロウチ 小西龍治訳『21世紀の金融業』（東洋経済新報社）1998年 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	そのだてつお 園 田 哲 男	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規則に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規則と区別される意味における公益企業規則である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規則が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討（規制と競争）を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意志決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意志のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価においては、単元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行うつもりである。

教科書・  
参考書等

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行うつもりである。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	こん どう さだ お 近 藤 禎 夫	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

《科目の位置づけ》

原価計算論は、たんに製造原価の算定方法を取扱うというのではなく、日常の国民生活と直接に結びついた重要な役割を果たすものであるから、その対象領域はきわめて広いといえる。たとえば価格形成問題、原価管理、予算統制、利益計画および公表会計などに関連する。このような会計と経営の両分野を包摂した科学である。

《科目の概要》

原価計算は会計領域の全般にかわり機能している。とりわけ経営管理活動と有機的に関連づけられ測定・情報伝達・利用がなされている。企業の経営管理活動とは通常大きく二つに分けて認識される。一つは社会的存在としての企業が、それをとりまく利害関係者（株主、債権者、投資家、徴税当局、労働組合、および広くは国民大衆）に対し社会的責任を遂行する分野である。いま一つは、企業活動について意思決定と業績評価を行い、企業を活性化させ利益の獲得機会を拡大させるための活動分野である。

原価計算の役割は、前者においては公表財務諸表作成のための原価情報の提供にある。また後者についてはきわめて幅が広く、経営管理の全領域にわたって原価情報が提供される。いずれにせよ、企業経営の要となる会計情報を提供される。

本講義では、「授業の内容」等でもふれるように、「企業会計原則」を補完する「原価計算基準」の示す範囲に力点をおいて取り組むことになる。したがって、まず原価計算の基本概念および基本的計算構造をしっかりと身につけるよう講義することになる。講義のはじめに際しては、商業簿記から工業会計への橋渡しを平易に展開したい。

前期においては、原価計算が制度会計の枠組みのなかで重要な役割を担っている売上原価の算定、たな卸資産（原材料、製品、仕掛品、貯蔵品など）の評価といった技術的側面を取扱う。具体的には、製造原価計算の算定プロセスを理解しやすいように説明していきたい。順序としては原価の費目別計算、部門別計算、製品別計算の算定手続きを展開することになる。この場合、当初は実際原価計算制度を前提として述べるが、後期には管理手段としての原価計算にもふれるので標準原価計算にも及ぶ。なお、さらに一歩立ち入って、原価計算の管理会計分野での適用問題にもふれる。

原価計算論は製造工業を中心とした計算体系ではあるが、サービス業（電力、ガス、鉄道などの公益事業の運賃、料金問題）など適用範囲は多様にわたる。現実の事例などを紹介しながら講義をすすめていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

原価計算論を学習するにあたっては、制度会計の側面と管理会計の側面との両者に関連を有するので、会計法規集を常に携帯していただきたい。

とりわけ講義は、「原価計算基準」（大蔵省・企業会計審議会中間報告、昭和37年）を中心に行なう予定である（テキストを補うプリント類は随時配布する）。さきの《講義のねらい》で述べた方針とともに、モットーは「高度な内容をやさしく」である。

1999年度においては、下掲のテキストにより以下に示す内容を講義する。

1. 資本制的原価計算の役割とその考え方
2. 原価計算の概要
3. 原価の費目別計算
4. 原価の部門別計算
5. 個別原価計算の方法
6. 総合原価計算の方法
7. 標準原価計算
8. 経営計画と原価計算
9. 社会主義の原価計算方法
10. 原価計算の歴史

教 科 書

遠藤・近藤他著『会計学』（森山書店）1998 3,300円

参 考 書 等

敷田礼二・近藤禎夫著『原価公開』（新日本出版社）1976年  
中央経済社編『会計法規集』（1998年7月頃新版発売）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 簿 記	あ べ か ず ひ と 阿 部 一 人	二 営 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

“簿記を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”たとえすぐれた設計プランが立案されていても、大工さんが実際に鋸（のこぎり）や鉋（かんな）や金槌（かなずち）などを使って建物を完成させるように、事務的・機械的・技術的な簿記の作業を通じて作成された資料なしに、経営者は企業を効果的に運営することができないし、まして投資家や債権者のような人達が適切な判断と意志決定を行うことができないことを理解されたい。

本講義では、一年次に簿記学を履修した者およびそれと同等の人達（日商簿記検定3旧程度の知識を有している者）を前提に、より高度な簿記の知識と応用的な技術を習得することにある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 簿記の意義と目的
- (2) 勘定科目の設定と分類
- (3) 現金・預金の勘定処理
- (4) 手形の勘定処理
- (5) #有価証券の勘定処理
- (6) 外貨と外貨建金銭債権の勘定処理
- (7) 商品の勘定処理
- (8) 固定資産の勘定処理
- (9) 繰延資産の勘定処理
- (10) 負債の勘定処理
- (11) 資本の勘定処理
- (12) 決算
- (13) 財務諸表
- (14) 本支店会計
- (15) 連結会計
- (16) 帳簿組織
- (17) 伝票合計

#### 履修上の留意点

一年次の「簿記学」で学習した知識を前提に講義を行うので、履修済みもしくは日商簿記3旧程度の知識を有していることが好ましい。

#### 成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、練習問題の解答結果および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、第一回目の講義において、本講義の内容とその進め方、試験の方法および評価方法の詳細について説明するので、受講者は必ず出席すること。

#### 教科書

藤永弘・坂下紀彦編著『精鋭企業簿記』（中央経済社）3,500円  
 なお、プリント（練習問題）を逐次配布する。

#### 参考書等

講義において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ え いち ろう 渡 邊 恵 一 郎	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者、その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は、おおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造（損益原則など）。
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開）。
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と開示、外貨換算、財務分析、財務諸表の国際比較など）。

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年2回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び期末試験点数の総合による。

教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計（改訂増補4版）』（中央経済社）

参 考 書 等

梶井剛雄著『体系会計諸則集（最新版）』（白桃書房）  
日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

授業の方法は、講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管 理 会 計 論	まる やま よし ひろ 猿 山 義 広	二営2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思考と計算体系を学びます。なお、講義における重点項目は、次の3つです。

- ① 近年の日商簿記検定における「工業簿記」「原価計算」の出題傾向として、管理会計的な問題が増加しつつあり、この傾向は今後も続くと思われるので、その対策。
- ② 従来の管理会計論ではあまり深く検討されてこなかったマーケティング管理会計やゼロベース予算についての解説。
- ③ 最近の管理会計手法の解説。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I 管理会計の体系
- II 管理会計における原価概念と利益概念
  1. 原価態様
  2. 全部原価計算と直接原価計算
  3. 分権管理のための原価概念と利益概念
- III 利益計画
  1. 利益計画の手續
  2. 損益分岐点分析と CVP 分析
  3. 短期利益計画のための価格分析
  4. 短期利益計画のための営業費分析
- IV 原価管理
  1. 標準原価計算
  2. 製造間接費管理
  3. 営業費管理
- V ブランド管理会計
  1. ブランド資産の意義
  2. ブランド資産の測定法
  3. 企業経営とブランド資産
- VI. 予算管理
  1. 予算管理の基礎
  2. 参加型予算とゼロベース予算
  3. 資本予算

#### 履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので、かならず電卓を持参すること。

#### 成績評価の方法

以下のような課題による夏休み中のレポートと期末試験によって評価します。

- ① レポートの課題  
「短期利益計画の枠組みを用いて、価格プロモーションと広告プロモーションそれぞれの限界を指摘しなさい。」
- ② 期末試験  
問題1 「変動予算による製造間接費の差異分析」「EOQ 分析」(計算問題)  
問題2 「ブランド資産について」「参加型予算について」(論述問題)

#### 教 科 書

適宜、プリント配布します。

#### 参 考 書 等

より体系的に勉強したいという人のためには、  
櫻井通晴著『管理会計』(同文館)。  
計算問題については、  
日商簿記検定の「工業簿記」「原価計算」のテキスト。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かた ぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	二営2・3・4選	4

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は、生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと学年末試験で行います。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配付するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいで下さい。

#### 教 科 書

渋谷武夫著『経営分析の考え方・すすめ方』（中央経済社）3,568円

#### 参 考 書 等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
税 務 会 計 論	たかぎ かつみ 高 木 克 己	二営2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正がおこなわれている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

#### 履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

#### 教科書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

#### その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	なか ひら えい いち 中 平 榮 一	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

独立監査人による財務諸表監査の基礎知識について解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

会計監査論では、つぎの題目の順で体系的に講義をすすめる。

- (1) 会計監査論の対象と方法
- (2) 会計監査の意義
- (3) 監査の種類
- (4) 監査の基準
- (5) 監査の主体
- (6) 監査証拠と監査技術
- (7) 監査計画と監査手続
- (8) 監査調書
- (9) 監査報告
- (10) 内部監査及び監査役監査
- (11) 国際監査

上記を通じて財務諸表監査の基礎知識を十分に講述したい。

履修上の留意点

継続して受講することが要請される。

成績評価の方法

定期試験のほか、小ペーパー・テストも評価の対象にする。

教 科 書

開講時にくわしく紹介する。

参 考 書 等

同上。

そ の 他

授業の方法 講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	きた しま まん じ 北 島 万 次	二営2・3・4選	4

講義のねらい

第Ⅰ部 日本経済史総論

日本における無階級社会（原始社会）から階級社会（奴隷制社会・封建制社会・資本制社会）にいたるまでの経済史発展の移り変わりについて、そのあらしを述べる。

第Ⅱ部 幕藩体制社会の経済のしくみとその発展

1. 幕藩体制社会における経済構造とその特質について述べる。
2. その前提として、幕藩体制社会（封建社会の経済）のもとで、近代へ向けての経済発展がどのように展開したかについて述べる。その事例としてつぎのことについてふれる。

- ① 江戸時代後期、畿内における棉作経営の展開とその実態
- ② 開港直前における信州諏訪製糸業の展開
- ③ 江戸時代後期、上州における地主制とその経営

第Ⅲ部 幕末維新期の経済変動

1. 明治維新と外圧についてのあらし
2. 幕末貿易の展開とその実態
3. 日本における資本の形成
  - ① 秩禄処分過程
  - ② 銀行資本の創出
4. 資本の投資
5. 地租改正の実態とからくり

\*教材はその都度配布する。

成績評価の方法

出席点とテスト。(注) 出席の著しく悪い受講者には単位を認定しない場合がある。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	にし やま つかさ 西 山 司	二営2・3・4選	4

講義のねらい

従来、経済学の学問体系は、理論、政策、歴史、財政・金融、経営・会計の諸分野から構成されており、特に第二次世界大戦後の現代資本主義経済においては、経済政策を応用経済学の一環として重視する傾向が深まってきているといわれています。

このような動向に対応して、本年度の経済政策の講義は、経済政策の方法論や政策理論の究明および経済政策の史的展開過程の解明を中心に、各国で実施されている現代の経済政策についても論述する予定です。

特に経済政策の実践性と関連した「価値判断」論争をめぐる諸問題点や、従来の経済政策論の主要な学説を検討するとともに、経済学体系における経済政策論の理論的位置を論究し、その果すべき課題を究明して、経済政策論の体系的な解明をおこなうように努めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールとしては、大きく前期と後期とに大別して、前期には、主として、経済政策の方法論や政策理論について論究し、後期には、資本主義発展と関連した経済政策の史的展開過程と、その特質について論述する予定です。

履修上の留意点

講義の重要箇所や問題点など主要な内容については、出来るかぎり板書して詳説する予定です。受講される諸君は出席してノートされるように希望します。

成績評価の方法

学年末試験が中心になるのは当然ですが、出席も重視します。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

清水・松原論『経済政策論を学ぶ』〔新版〕(有斐閣)  
なお、講義に関する文献は、その都度紹介するようにします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財 政 学	はや <small>のぼる</small> 速 水 昇	二営2・3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵をうけている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国財政は、平成10年度末で国債の発行残高が約300兆円、地方公共団体の債務残高が約160兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約550兆円になる。この数字はわが国のGDPにほぼ匹敵する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

教科書

西村紀三郎監修・速水昇編著『財政学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
金 融 論	はつ <small>のぼる</small> 服 部 敬 道	二営2・3・4選	4

講義のねらい

金融の基礎的な理論と、金融の実際的な動きの理解を2本柱とし、理論的な裏付けとともに、現実の金融の動きが理解できる内容とする。また、最近のきわめて激しい金融の世界（金融エンジニアリング、ヘッジファンド、リスク管理、市場予測論 e. t. c.）についても、これまでの実学の経験をもとに平易に講義する。主要項目以下のとおり。

1. 金融の機能と役割
2. 金融の担い手と金融制度
3. 金融市場と金利の変動要因
4. 金融エンジニアリング（デリバティブほか）
5. 金融の新潮流
6. 金融指標の見方と分析

履修上の留意点

流れで講義するので出席重視、成績評価も出席状況を加味する。  
特定の教科書は使用しない。講義のつど必要な資料を配布の予定。

参考書等

『金融経済入門』（経済法令研究会）、呉文二・島村高嘉『金融読本』（東洋経済）  
島村高嘉『金融入門』（東洋経済）、『わが国の金融制度』（日本銀行金融研究所）ほか

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	なが た とも のり 永 田 智 則	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

各国経済の急速なグローバル化の進展にともなって国際経済はダイナミックに変動しています。このなかで各国経済は緊密な相互依存関係を構築すると同時に相互対立を生みだし、さまざまな国際経済現象を引き起こしています。どの国の経済も国際経済の動向と無縁いることはできません。

本講義の目的は国際経済現象の解明に役立つ基礎理論を簡潔に提示することです。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」までを題材にして講義する予定です。分析道具を理解することができれば、それを利用することによって、現実の国際経済の動きを自ら解明するのに役立つはずで

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度の講義内容は以下の6つのテーマを予定しています。

1. 国際分業論
2. 貿易政策
3. 経済成長と貿易
4. 国際マクロ経済学
5. 外国為替と国際収支
6. 資本の国際移動

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証 券 市 場 論	佐 藤 昇 <sup>のぼる</sup>	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

資金の調達・運用手段として、有価証券の役割が近年ますます重要性を高め、間接金融を中心とする企業金融は大きく変貌しようとしている。講義では証券市場の機能、市場構成など基礎的な分野の現状解説に止めず、市場の歴史・現状・将来展望を検討し、市場変化の方向性や必然性を見極める事に留意する。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義するが、とくに近年における有価証券範囲の拡大傾向に注目したい。

つぎに、伝統的な有価証券である債券や株式の種類と機能、およびこれらの発行・流通市場の歴史と現状さらには将来像などについて講義する。また、債権と株式への投資を決定する際の尺度についても、計算方式と利用上の留意点を解説する。

1980年代後半にわが国の株式市場で発生した「バブル」とその崩壊は、現時点においても株式市場はもちろんわが国経済全般にわたって大きな傷痕を残しているが、バブルの歴史や発生・崩壊および後遺症伝播のメカニズムを検討する。

わが国は2001年までと期間を設定して、金融・証券市場全般の大変革「日本版ビッグバン」を実行しつつある。ビッグバン計画に盛られた施策が完成した段階では市場の様相は大きく変貌する筈である。

一方、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、地球規模でマネーの動きが極めて早くなっており、市場の変化は従来になく激しくなっている。

このように、内外共に激変が予想されるため、ことに証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景、影響などを解説する。

履修上の留意点

証券・金融市場関連のニュースに関心をもって欲しい。その上で疑問点があれば、積極的に質問をしてもらいたい。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教 科 書

佐藤 昇ほか著『入門現代の証券市場』（東洋経済新報社）3,200円

参 考 書 等

佐藤 昇ほか著『現代経済と証券市場』（有斐閣）2,266円  
日興リサーチセンター編『全詳解 金融大改革のすべて』（東洋経済新報社）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 金 融 論	あき 秋 やま 山 せい 誠 いち 一	二 営 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

今日の国際取引は、経常取引（商品・サービスの輸出入）と資本取引の両面において、自由化が進んでいる。このなかで国際間の経済取引が拡大するとともに、国際間の決済とファイナンスが重要な問題となってきた。決済は外国為替を用いて行われるので、経常取引と資本取引にもとづく外国為替の需給関係が外国為替相場を決定するが、逆にその変動が経常取引と資本取引に影響を与え、ひいては各国の経済活動全体に影響を及ぼす。このため、為替相場・通貨危機が各国の経済危機の発端となり、また経済危機は為替相場・通貨危機として現れる。このような今日の経済のグローバル化のもとでは、外国為替の仕組みや国際金融市場の一定の知識がなければ、各国および世界の経済状況を正確に理解することはできない。そこで、外国為替や国際金融問題を理解するために必要な基礎的知識を得ることをねらいとして主に以下の内容で講義を進めたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

第一に国際経済取引の全体とそれの通貨金融との関係を知るための国際収支概念の説明とその決定要因とファイナンスについて見ていく。第二に国際決済や資金移動に使われる外国為替の原理と国際通貨を問題とする。第三に所在国通貨以外の通貨を用いて国際金融取引を実行するユーロ市場を問題とする。第四に国際通貨制度の歴史的発展と為替相場変動を見ることで、一見無秩序に思われる今日の変動相場制の下における為替相場変動の要因を問題とする。

#### 履修上の留意点

講義の理解を助けるため経済理論、国際経済・貿易論、貨幣・金融論等を並行して履修していることが望ましい。

#### 教 科 書

小野朝男、西村閑也編『国際金融論入門第三版』（有斐閣）2,200円

#### 参 考 書 等

吉田真広『今日の国際収支と国際通貨』（梓出版社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統 計 原 論	やまの 山 うち しん し 慎 二	二 営 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確立と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの“親子関係”の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。

本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

序説	生活のなかの統計学、量的データと質的データ	1 回
基礎的概念	階乗と総和、順列と組合せ	2 回
記述統計	度数分布表、平均と分散、相関係数	3 回
確率論の基礎	集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布	6 回
前期復習と中間試験 (7月中旬)		2 回
標本分布	$\chi^2$ 分布、t分布、F分布	2 回
統計的推定	点推定 (不偏推定、モーメント法、最尤法)	4 回
仮説検定	片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定	4 回
回帰と相関	線形回帰モデル、相関係数の標本分布	2 回
後期復習と定期試験		2 回

#### 履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解けば、中間試験と定期試験はまず大丈夫でしょう。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

#### 教 科 書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』(新曜社) 1997 1,500円 (税別)

#### 参 考 書 等

数値表としての参考書：森口繁一編『新編 日科技連数値表』(日科技連出版社) 1990 510円 (税別)

#### そ の 他

授業の方法—講義 (OHP を使用する場合があります。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか い てつ お 高 井 徹 雄	二 営 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供するとに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### I. 経営情報と体系的観点（前期）

###### (1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法と体系的なものの方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

###### (2) 情報学の基礎と周辺領域（5～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

###### (3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

##### II. 情報の利用技術（後期）

###### (1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化理論について、その原理と適用方法を学ぶ。

###### (2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

###### (3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※なお、適宜（前期3、後期5回程度）、情報教育センターのコンピュータールームを利用して実習形式で授業を行う。

#### 成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。

その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

#### 教科書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円

上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

#### その他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営統計	ちよう 長 こっ 国 まよう 強	二営2・3・4選	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：	経営統計の役割、基礎概念	1回
統計特性値：	平均、分散、正規分布	2回
市場調査と統計整理：	調査の諸段階、標本設計、データ整理	6回
統計推測：	標本分布、区間推定、仮説検定	2回
前期復習と中間試験：	(7月中旬)	2回
経営時系列：	季節指数、時系列予測	4回
経営指数：	物価指数、数量指数	2回
分散・回帰分析：	一元配置法、相関係数、最小2乗法	3回
統計的意志決定理論：	意思決定基準、期待効用理論	2回
後期復習と定期試験：	(翌年1月中旬)	2回

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

参考書等

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)1992  
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』(日本理工出版社)1992

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 科 学	お ざ わ と し ひ さ 小 沢 利 久	二営2・3・4選	4

講義のねらい

企業経営等においては、組織の大規模化や業務の多様化、取り巻く環境の複雑化や状況の不確実性、さらには新技術の導入など様々な要因を考慮しながら運営方法の策定および意志決定を行なわなければならない。経営科学 (Management Science) とは、そのような運営方法の策定および意志決定をサポートするための合理的かつ効率的な方法論や手法を提示するものである。本講義では、経営科学的な問題のとらえ方とその分野における代表的な手法を用いた問題解決方法を学ぶことで、将来各自がそれらを実際の経営に応用していくための基礎を身に付けていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

代表的な手法をベースに題材を決め、それら題材毎に、応用事例の提示、問題の定式化、問題解決のプロセス、利用する手法、実行結果の順に解説を行っていく。また、手法を理解するための簡単な演習を適宜行う。授業内容は以下を計画している。

- ① 線形計画法  
与えられた条件の下で利益を最大にする資源配分などについて
- ② ネットワーク計画法  
コストを最小にする商品輸送方法などについて
- ③ スケジューリング  
納期を最短にする作業順序などについて
- ④ 時系列予測  
過去の売り上げデータによる来年の売り上げ予測などについて
- ⑤ 在庫管理  
コストを最小にする商品の注文方法などについて
- ⑥ 待ち行列  
受け付け窓口の数と待ち時間の関係などについて
- ⑦ シミュレーション  
コンピュータ上で模擬して結果を出す方法などについて

履修上の留意点

経営科学の手法を用いるために必要となる初歩的な数学知識 (線形代数、微分・積分、確率・統計) については、これら知識に自信のない学生でも理解できるように講義の中で説明していく。また、講義で分からない点や疑問な点があったら必ず質問すること。

成績評価の方法

演習課題と試験 (前期末、後期末) により総合評価。

教 科 書

開講時、必要に応じて指定する。

参 考 書 等

森村英典『おはなし OR』(日本規格協会) 1983  
森雅夫他『オペレーションズリサーチ I、II』(朝倉書店) 1991、1989

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 産 管 理 論	ふじ 藤 原 わら あつ 篤 志	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

財務管理、販売管理、労務管理とならぶ現代企業における経営管理の部門管理の1つである生産管理について講義を行なう。それは文字通り、企業の経営活動における生産の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の実効性を最大化することを目的としている。しかも資本主義社会において企業は利潤の獲得を目的としてその活動を行なうので、全般的な管理における利益計画に基づいて生産の管理が展開されなければならない。本講義では以上のような視点で体系的に生産管理について解説したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、生産管理について全般的体系的に解説する。まず最初に企業経営における生産管理の位置づけについて、次に企業の全般的な管理と生産管理との関連、すなわち利益計画と生産管理との関連について解説した後、生産管理の構成とその内容(具体的には、生産計画、設備管理、資材管理、作業研究、工程管理、品質管理、原価管理)について具体的な資料を用いながら解説したい。

後期では、生産管理の近代的な実際の展開形態である、テイラー・システム(科学的管理法)、フォード・システム、トヨタ生産方式、について講義を行ないたい。またその他、オートメーションやQCサークルについても解説する予定である。

履修上の留意点

講義はできるだけわかりやすくゆっくりと解説し、かつ極力板書するが、前期の内容は少々複雑なものを含むので、講義に対する受講者の熱心な姿勢が不可欠である。そのため講義中の私語は厳禁である。

成績評価の方法

成績の評価は主として定期試験で行なう。

教科書

指定しない。

参考書等

山下高之著『体系生産管理論』(中央経済社) 1990年  
その他の参考書は講義の中で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 経 営 学	たか 高 橋 成 夫	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、その学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を説明することにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
  - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
  - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
  - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の現状
  - (1) 意志決定志向的経営経済学
  - (2) システム志向的経営経済学
  - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教 科 書

未定

参 考 書 等

北野利信編『経営学説入門』（有斐閣新書）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
シ ス テ ム 論	たか っ しん ぞう 高 津 信 三	二営2・3・4選	4

講義のねらい

経営学および関連領域で用いられるシステム関連の概念、用語を体系的に教育する。多少の数学力を前提とするが、高校1、2年程度の数学で十分なように配慮している。

講義の内容・  
授業スケジュール

- |           |            |
|-----------|------------|
| 0. ガイダンス  | 4. 意思決定の科学 |
| 1. 情報科学   | 5. システム    |
| 2. 情報     | 6. 情報システム  |
| 3. コンピュータ |            |

前期は1～3、後期は4～6について講義する。

履修上の留意点

他の授業と異なり、今まで習ったことのない概念、図式が出てくるが、慣れてしまえば大きな問題ではない。ある程度の辛抱が必要である。

成績評価の方法

履修者が少ない場合にはレポートの評価に重点を置くが、履修者数が過大な場合は試験のみで評価する。

教 科 書

斉藤ほか『情報管理概論』（共立出版）

参 考 書 等

高原・中野編『経営システム』（日刊工業新聞社）  
 高原・高津編『経営情報システム』（日刊工業新聞社）  
 浅井編『現代情報学概論』（オーム社）

そ の 他

主として講義（板書による）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	お 織 だ てる こ 織 田 晃 子	二 営 2・3・4 選	4

講義のねらい

民法典は、財産法領域を物権と債権に分け、それに家族法領域の親族と相続に関する規定を加え、それらの通則として最初に総則規定を置いている。本講義は「民法」であるからこれらすべてが対象となるが、一年間で講義するにはあまりにも膨大である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題点をとりあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 売買の交渉から契約の成立、その履行
  - ① 契約の成立
  - ② 契約の履行過程
  - ③ 契約の履行終了
  - ④ 登記の移転
  - ⑤ 債権譲渡
2. 契約不履行の場合の法的処理
  - ① 債務不履行
  - ② 契約の解除
  - ③ 他人物売買
  - ④ 瑕疵担保責任
  - ⑤ 債権者代位権
  - ⑥ 詐害行為取消権

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数により評価。

教 科 書

河野弘矩著『債権総論講義』（ぎょうせい）3,500円

参 考 書 等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商 法	しま 島 原 宏 明	二営2・3・4選	4

講義のねらい

実質的な商法の領域の中から主に会社法を対象として講義を進めて行く。商法は民法と共に私法と言われる領域を構成しており、民法の特別法という地位に立つ。したがって本来は商法を学習する以前に民法の基礎知識があることが望ましいが、実情を考慮して、個々の論点の中で民法あるいは法学の領域にまで遡って説明することで補って行くつもりである。

会社法という領域は、商法典の中の第二編会社を中心として、有限会社法、商法特例法等によって構成されている。また、商法上の会社には、商法典に規定されている合名会社、合資会社および株式会社と、有限会社法に規定されている有限会社の四つがある。本講ではこの中から、現代資本主義社会において最も典型的な企業形態であり、かつ最も複雑な法規則を受けている株式会社の制度を中心として解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、①商法上の四つの会社の特徴、②株式会社の設立、③株式と株券、④株式会社の機関、⑤新株発行、⑥株式会社の計算、⑦社債、の順に講義を進めて行く。また、企業活動との係わりの薄い学生諸君にいくらかでも現実感を持ってもらうために適宜、コピーした判例を配布し、解説して行くつもりである。

成績評価の方法

期末試験による。

教科書

宮島 司『会社法概説（補正版）』（弘文堂）3,811円

参考書等

倉澤康一郎『商法の基礎〔三訂版〕』（税務経理協会）2,900円  
なお、小型の物でよいが必ず六法全書を携行すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	二営2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではありません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に果たす組合の役割は、一見地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の見直しなども見られます。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中であっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。
- (2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。
  - ① 労働法の基礎的考え方
  - ② 労働関係の主人公-労働者、使用者、労働組合
  - ③ 労働条件の最低基準の法定 — 労働基準法の特徴
  - ④ 雇用における平等 — 同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント
  - ⑤ 労働条件を決定しているもの — 就業規則、労働契約、労働協約
  - ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備-不当労働行為
  - ⑦ 雇用の入り口 — 採用、採用内定、試用期間
  - ⑧ 人事異動-配転、出向、転籍
  - ⑨ 雇用の出口-解雇、定年、退職
  - ⑩ 賃金、諸手当、退職金
  - ⑪ 労働時間、時間外労働
  - ⑫ 休憩、休日、休暇
  - ⑬ 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

教 科 書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

そ の 他

皆さんが、各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めることを心掛けます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビ ジ ネ ス 英 語	まち い やすし 町 井 靖	二 営 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト「ビジネス英語」に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファー、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教 科 書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参 考 書 等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読	ふじ わら あつ し 藤 原 篤 志	二 営 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

本講義では、企業の経営活動における生産の管理とそれに伴う労働についての英書の講義を行なう。専門書の外書講読であるから、単なる英訳では意味がない。英訳をすることはもちろんのことであるが、それよりも記述されている内容の理解・把握に力点をおきたいと考えている。よって大量の英文を急いで読んでいくのではなく、腰をすえて精読し、テクニカル・タームに慣れ、専門書の内容について理解を深めることを目的とした。

履修上の留意点

日本語の文献を読むにしても、途中をとばせば内容がわからなくなるくらいであるから、外国語の文献ではなおさらである。また日本語訳をいれた者のみが予習してくるという状況では意味がない。以上のことから、出席と予習は前提である。その他、英書の内容が専門的な内容を含むので、講読の前にその内容についてまとめてもらい、簡易な報告を行ってもらうことも考えている。

成績評価の方法

出席と期末試験

教 科 書

講読する文献は、受講人数を考慮し、受講生と相談したうえで決定したいと考えている。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読	か 嶋 秀 晃 鹿 嶋 秀 晃	二 営 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

この「外書講読」では、日本の雇用システムについて書かれた英文を読む。「終身雇用」といわれる日本の雇用システムは、実業界・学界において常に注目的となり、現在までずっと議論がなされてきた。しかし、そのとらえ方は論者によって多用であり、議論がわかれるところである。そこで、今回の講義においてはそれらの議論の中から1冊の本を取り上げて読んでいくことにする。講義ではただの英文解釈だけに終わってしまうことのないよう、必要に応じて他の議論にもふれていく。最終的な目標は、①戦後の日本型雇用システムの特徴と現在抱えている問題点の把握、②経済英語力アップの2つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストの章立てに添って講義を進める。理解の補助のために各章ごとにまとめの時間を設ける。

履修上の留意点

この講義の内容の基礎にあたる部分については「経営労務論」で講義するので、あわせて履修するとより理解がしやすくなる。

成績評価の方法

評価の基準は①出席点②筆記試験の予定。詳細は受講人数などを見て講義の中で決めていく。

教 科 書

テキストは John C. Beck & Marha N. Beck, *The Change of a Lifetime : Employment Patterns among Japan's Managerial Elite*, University of Hawaii Press, 1994 を読んでいく。日本企業の雇用管理と労働者の行動について書かれた本であり、英語の方も比較的わかりやすい。

参 考 書 等

英文を読むときには高等学校レベル以上の英和辞典（中学生・初学者用のものや携帯用のものは不可）を用意しておくこと。経済用語の英和・和英辞典があるとよい。例えば英和英経済用語辞典（富士書房）、最新英和経済ビジネス用語辞典（春秋社）などがある。

そ の 他

最初は高校英文法の復習もかねながらゆっくりと全訳しながら進んでいく。学生に和訳してもらいながら解説をしていくことを考えているので、予習が必要である。英語力に多少不安があっても丁寧に説明しながら進めていくので、受講者の積極的な参加を期待する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読	はや 速 水 のぼる	二 営 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

「外書講読」は1字1句言葉を確認しながら自分の力で訳すため、スピードは遅いが内容を把握する点では最適といえる。そして、経済・経営のテクニカル・タームを把握し、この大学を卒業するころには英字新聞の経済・経営の記事が読めるようにして欲しいというのが私の希望であり、講義のねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初は辞書がなくても訳せるような易しい文献を選んで「外書講読」に慣れ親しんでもらう。そして、徐々に専門的な知識が身に付くような文献を講読し、専門的な知識を深めることにする。1年間で4つのテーマ、たとえば貿易摩擦 (Trade Friction)、財政赤字 (Deficit Finance) などについての講読を予定しているが、「外書講読」は休むと身に付かないので出席に自信のある学生を希望する。

教 科 書

授業中にプリントを配布



# Ⅲ 他学部履修科目



### Ⅲ 他学部履修科目

商学	総論	(大吹勝男)	.....	317
国際経済	論	(休講)		
社会政策	策	(光岡博美)	.....	319
価値格	理論	(荒木勝啓)	.....	320
国民所得	論	(吉野紀)	.....	321
銀行	論	(休講)		
中小企業	論	(三井逸友)	.....	322
人口	論	(森岡仁)	.....	324
中国経済	論	(休講)		
アメリカ経済	論	(瀬戸岡紘)	.....	325
ヨーロッパ	論	(休講)		
貿易	論	(古沢紘造)	.....	327
会計監査	論	(休講)		
管理会計	論	(休講)		
憲法	法	(西修)	.....	328
比較憲法	法	(斉藤寿)	.....	329
法思想	史	(高橋洋城)	.....	330
日本法制	史	(休講)		
西洋法制	史	(北野かほる)	.....	331
英米法	法	(北野かほる)	.....	332
経済法	法	(岡田外司博)	.....	333
国際関係	論	(首藤素子)	.....	334
行政法	論	(金子昇平)	.....	335
裁判法	法	(雨宮眞也)	.....	336
法哲学	学	(高橋洋城)	.....	338
地方自治	法	(富井幸雄)	.....	339
倒産処理	法	(馬越道夫)	.....	340
アメリカ経営	学	(宮城徹)	.....	341
経営財務	論	(高田光明)	.....	342
経営組織	論	(休講)		
経営技術	論	(休講)		
公益企業	論	(園田哲男)	.....	343
管理会計	論	(猿山義広)	.....	344
会計監査	論	(中平榮一)	.....	345
日本経済	論	(休講)		
中国禅宗	史	(須山長治)	.....	345
日本禅宗	史	(角田泰隆)	.....	346
インド仏教	史	(池田道浩)	.....	346
日本仏教	史	(袴谷憲昭)	.....	347
書道	道	(野村宙弘)	.....	347
仏教と文化	化	(奥野光賢)	.....	348



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ おお 大 吹 勝 男	二法・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するものであります。また、商学専修の学生は、あわせて経済原論Ⅰを履修すれば、本講義の理解の助けとなるでしょう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

#### 成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験は論述形式ですが、テキストの参照を認めます。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備をして試験に臨んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。

#### 教 科 書

- 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社）
- 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
- 3 『経済学論集』第20巻第4号
- 4 『経済学論集』第22巻第1号
- 5 『経済学論集』第22巻第4号



6 『経済学論集』第26巻第1号

7 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ 光 おか 岡 はく 博 み 美	二法・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、このような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うことにしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策の歴史
- (4) 日本における労使関係の歴史
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本的労使関係の現実とその未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の紹介、最近注目されている外国人労働者問題や女性問題などの持論、私が専門的に研究してきた問題などもできるだけ分かりやすく解説してみたいと考えている。

#### 成績評価の方法

履修条件は特になし。成績の評価基準は、授業で説明する。

#### 教 科 書

なし。

#### 参 考 書 等

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	二法・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところでは経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかなりの部分があるための準備と練習に当てられるとありがたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) 共謀解

#### 成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。

#### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成溪堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 紀	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言える。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回  
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』第6版(多賀出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中小企業論	三井逸友	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な(critical)構成要素である」(クリントン米大統領)と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中小企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』(森清著、ダイヤモンド社刊)のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用収縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーディズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的關係」

ここでは、うへの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小工業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業の「国際化」のもとの、日本的企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的關係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的な視角となる。

第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を取ってきた我が国の「中小企業近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとの、近年の「収斂傾向」を検討し、特に EU 欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国についても、近年の「構造転換」対応策、創業促進策、ベンチャー企業支援策なども検討する。

履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日的現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。

教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』(青木書店) 2,800円(税抜)  
同編『日本の生産システムの評価と展望』(ミネルヴァ書房) 予定

## 参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）2,330円  
巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ 新版』（有斐閣）2,200円  
中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕  
中小企業総合研究機構訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』（同友館）3,500円  
佐藤編『21世紀、中小企業はどうなるか』（慶大出版会）2,300円

## その他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用していく。また、諸方面のWEBサイトの提供する情報は（担当者自身のものを含めて）、必須の材料である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	二法・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

人口に係わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げつつある経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる低出生力と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていくことは周知の事実である。

一方発展途上国諸国に生じている急激な人口増加の問題は、貧困からの脱却のためには緊急に解決しなければならない困難な課題になっていることも周知のとおりである。このようにみえくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養ってみたい。

何はともあれ、この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら人口問題とは、国民一人一人の問題だからである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

#### 履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

#### 教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

#### 参考書等

大淵・水野・森岡・吉田訳『マルサス人口の原理』（中央大学出版部）1985年  
大淵寛・黒田俊夫編『現代人口問題』（大明堂）1990年  
国際人口学会編（日本人口学会訳）『人口学用語辞典』（厚生統計協会）1994年

#### その他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ経済論	瀬戸 岡 紘	二法・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発をしてみようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探求をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し、資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

##### 《導入の話題》

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

##### 《総論》

◇アメリカの建国の理念と現代の経済

◇アメリカ経済の歴史的過程

##### 《アメリカ経済各論》

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家とベンチャービジネス

◇アメリカの雇用と労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの交通・通信・情報

◇アメリカの金融

◇アメリカの教育と経済

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

◇アメリカ経済と環境問題

◇アメリカ社会とヴォランティア

◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

##### 《世界とアメリカ》

◇国際通貨ドルの地位と IMF

◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークと経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済



### 《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋

### 《むすびの話題》

- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

## 授業の方法

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話しします。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

## 成績評価の方法

熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を何回か提出してもらうことを考えていますし、受講者の希望により、この講義のなかでいただくようになった問題意識をもとにアメリカ経済にかんする自由論題で小論文を年度末に提出してもらい試験に替えることも考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を考慮にいれつつ小論文を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

## 教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふる古 みる沢 ころ紘 ぞう造	二法・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
  1. 農産物と貿易
  2. 水産物と貿易
  3. 林産物と貿易
  4. 鉱物資源と貿易
  5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
  1. 開発援助と貿易
  2. 環境と貿易
  3. 公正と貿易
  4. グローバリゼーションと貿易
  5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

#### 成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

#### 教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参考書等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	にし 西 おさむ 修	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があります。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。

なお、今年度は短期国外留学が予定されていますので、その理め合わせ方法は授業中に伝えます。

② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。

③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。

④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。

⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。

⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。

前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%。

要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・  
授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ① 日本国憲法の制定過程  | ⑨ 憲法の改正と限界    |
| ② 国民主権と象徴天皇制  | ⑩ 基本的人権の歴史と意義 |
| ③ 日本国憲法と平和主義  | ⑪ 法の下での平等     |
| ④ 政治改革と憲法問題   | ⑫ 精神的自由権      |
| ⑤ 国会の組織と機能    | ⑬ 経済的自由権      |
| ⑥ 内閣の機能、議院内閣制 | ⑭ 社会権         |
| ⑦ 司法の構造と権限    | ⑮ 身体の自由       |
| ⑧ 憲法の保障       | ⑯ 財政・地方自治     |

教 科 書

- (1) 西 修編著『日本憲法25講』（八千代出版）1996年版 2,700円  
 (2) 西 修著『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年

参 考 書 等

別に配布するシラバスを参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	さいとう ひさし 斉 藤 寿	二経・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
- 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）は、どのように歩んできたか。
- 第8回 世界各国の憲法は、どのように類型化が可能か。また、その特質は何か。
- 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第13回 これまで（第1回～第12回）の review。
- 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
- 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
- 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。
- 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
- 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
- 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
- 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
- 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
- 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
- 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
- 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
- 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
- 第28回 これまで（第14回～第27回）の review。
- 第29回 試験

#### 履修上の留意点

※学生への要望  
この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。——私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。  
目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。  
Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) —— との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送りましょう。

#### 成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

#### 教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか 高 はし 橋 ひろ 洋 き 城	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

西欧の様々な法思想を跡づけ再吟味する営みを通じて、近代法の環境の中で自明のものと考えられている思考のワクを相対化し、批判する視点を持つためのきっかけとしたい。こうした作業は、揺れ動く現代の法状況へ対峙してゆくのに必要であると思われる。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは大まかなアウトラインしか述べることができないが、重点をおくトピックおよび思想家として、以下を予定している。

- (前期) ヨーロッパ法思想の核となったギリシャの法思想（プラトン、アリストテレス）、キリスト教思想（アウグスティヌス）、中世自然法論（トマス・アクィナス）
- (後期) 前近代から近代への世界像の転換、近代法の基礎理論とも言える自然権論や社会契約思想（ホブズ、ロック、ルソー）、これを批判的に受け継ぐドイツ啓蒙期の法思想（カント）、ドイツ観念論の法思想（ヘーゲル）

基本的には、時代を順に追い、代表的な思想家と思索を共にする形で述べていくことになるが、断片的な紹介ではなく、影響関係や重要な概念枠組の変遷などを重視し、明らかにできればと思う。また狭い意味での法学理論史の枠にとらわれず、各々の法思想を、その時代の人間観やコスモロジーの中に法理解を位置づけて検討し、そうした作業を通じて最終的には、近代という時代が獲得したものと忘却してしまったものについて考えてみたい。なお、時間の都合上、最大限順調に講義が進んだとしても、19世紀前半の法思想までをカバーするのが精一杯だと思う。19、20世紀以降の法思想ないし法学理論の諸潮流については、法哲学講義の一環として取り扱うつもりである。

成績評価の方法

定期的記述試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他に任意提出課題として、講義で紹介した思想家の著作を読んでレポートを提出してもらえば、一定範囲内で評価に加える。

参考書等

ここでは、三島淑臣『法思想史』[新版]（青林書院）4,854円を挙げておくが、講義の補完、通常の学習には自分にあった概説書を選んでもらってかまわない。詳細については講義のはじめに紹介する。

そ の 他

講義の概要、参考資料を必要に応じて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋法制史	きたの 北野かほる	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
    - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
    - 第4節 統治構造 封建制の解体
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの野 かほる	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形式における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1編 概論
  - 第1章 法系論
    - 第1節 西洋近代法の法系
    - 第2節 英米法系の特色
  - 第2章 英米法の特徴
    - 第1節 法内容の歴史性
    - 第2節 法観念の社会性
    - 第3節 法思考の実務性
  - 第3章 判例法の理論
    - 第1節 総論：「判例法主義」
    - 第2節 先例拘束性の原理
    - 第3節 判決における「法」
    - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
  - 第1章 裁判所制度
    - 第1節 イギリス
    - 第2節 アメリカ合衆国
  - 第2章 訴訟過程
    - 第1節 英米訴訟制度の特徴
    - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
 その他の参考書：年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 法	おが だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	二 営 ・ 短 仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

参 考 書 等

初回の講義の時に紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	しゅうとうもとこ 首藤素子	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

現代の国際関係の課題について、知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような項目をほぼ3週分の授業を割当てながら進める予定。

1. 国際政治理論の展開  
国際政治の冷戦後の新たな視座
2. 冷戦後の大地域主義の生成
3. 地域紛争と安全保障の課題  
国連の安全保障分野の機能  
地域紛争と地域組織の機能
4. 国連の開発戦略と南北格差の問題  
近代化理論の変遷と従属論の影響  
世銀・IMFの機能と問題
5. 国際政治と人権保障の制度化  
人権保障の法的枠組みの展開と課題  
人権と人権 NGO と国際社会
6. 1970年代以降の経済のグローバル化  
政策協調と国際交渉の多様化  
Global Governance の課題
7. 経済発展と途上国の政治体制  
権威主義的政治体制と民主化の課題
8. 地球環境と国際関係の課題  
地球環境問題の現状と政策的対応  
「発展の権利」と「持続可能な発展」

成績評価の方法

定期試験および課題提出物により評価する。

教 科 書

とくに毎時間使用するというわけではないが、次の文献を入手し、授業に関連する項目を各人で勉強しつつ、授業に出席することを勧める。  
細谷千博監修、横山・野林編『国際政治の21世紀像』（有信堂）1997年（第2版）2,987円

参 考 書 等

講義の内容ごとに参考文献等を指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法総論	かねこしょうへい 金子昇平	二経・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、今後、立法化が予想される、情報公開法、プライバシー保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
  - ①法律による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
  - ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織 ④行政機関・公務員 ⑤行政情報と法
- 3) 行政手段法
  - ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査 ⑧行政強制 ⑨行政関
- 4) 行政手続の法
- 5) 行政救済法
  - ①国家賠償法 ②行政上の苦情処理 ③オンブズマン ④行政上の不服申立 ⑤行政訴訟

#### 履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

#### 成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

#### 教科書

成田頼明他『現代行政法』（有斐閣）

#### その他

塩野宏他編『行政判例百選』第三版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
裁 判 法	あま 雨 宮 眞 也	二経・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

主として、わが国の裁判制度について、その組織と運用の実情を理解させることをもって、この講義の目的とします。

裁判とは、社会関係における利害の衝突、紛争を解決し調整する規律を定めるための、法的な權威を有する第三者の判定です。

社会関係の複雑化と国民の権利意識の高まりとに従いがい、現代社会において裁判の果たすべき役割は、年々その比重を増してきています。

裁判制度の現にある姿を明らかにするとともに、そのあるべき姿を求めるため、特に、裁判の本質、裁判の構造、裁判の論理、裁判と法律の解釈、裁判と事実認定、裁判の機能、判例の成立と意義等の諸論点について、重点を置いて講義します。

裁判における裁判官の思考プロセスにも触れ、法的思考の何たるかをも明らかにしたいと考えています。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、後掲の教科書に従って次のように進めて行きます。

#### 第1章 法と裁判の役割

##### 1 民事法の実現と民事手続

- ① 紛争
- ② 法規範
- ③ 訴訟

##### 2 刑事法の実現と刑事手続

- ① 刑事手続の目的
- ② 適切な手続の保証
- ③ 刑事裁判

##### 3 司法権と違憲審査権

- ① 司法権と裁判所
- ② 違憲審査権と司法権の独立

#### 第2章 裁判所制度

- 1 最高裁判所
- 2 高等裁判所
- 3 地方裁判所
- 4 家庭裁判所
- 5 簡易裁判所

#### 第3章 法律家の役割

- 1 裁判官
- 2 検察官
- 3 弁護士
- 4 準法律家
- 5 法曹養成

#### 第4章 裁判の仕組み

- 1 民事裁判
  - ① 民事訴訟の基本構造
  - ② 訴えの提起
  - ③ 審理の展開
  - ④ 証拠調べ
  - ⑤ 判決
  - ⑥ 上訴（不服申立て）
- 2 家事裁判
- 3 行政裁判
  - ① 行政訴訟の類型
  - ② 行政訴訟の特色
- 4 刑事裁判
  - ① 刑事手続きの流れ
  - ② 捜査手続

- ③ 公訴の提起と検察官の役割
- ④ 公判手続の基本原則とその運用
- ⑤ 刑事裁判の課題
- 5 憲法裁判
  - ① 違憲審査制と憲法裁判
  - ② 違憲審査権の運用状況

第5章 裁判をめぐる現代的課題

- 1 市民の裁判を受ける権利
- 2 市民の司法参加
- 3 国際化と裁判

履修上の留意点

教科書を予め読んで、疑問点を把握しておいてください。

成績評価の方法

期末試験における論文式テストにより評価します。

教科書

市川正人外著『現代の裁判』（有斐アルマ）  
兼子一・竹下守夫著『裁判法』改訂版（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
法 哲 学	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	二経・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

- ・法哲学は、「法学」の基礎的一分野であると同時に、「哲学」でもある。法制度や法的思考をめぐる基礎理論や根本的諸問題を考察しながら、法と関わりつつ生きる人間という存在者をどのように把握していけばよいかという視点を常に持って、一緒に考えてゆきたい。
- ・出来上がった知識の体系を伝えることが講義の目標ではない。極論すれば、「わかっているつもりのこと」をわからなくする、一度根底から疑ってみる、ということが講義のねらいといってもよい。とはいえ、一人で内省しているだけでは必ずからその思考の広がりにも限界がある。法と人間、社会の関わりにおいて、どのような問題があり、どのような考え方が提起されているのか、さまざまな議論に触れることで、各自の思考の自由度を広げてもらい、参加者各人自分自身で考える、その手がかりを本講義でつかんでもらえるならば講義としては成功である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

昨年度（平成10年度）までの講義内容からかなり変更を行ない、本年度は、法と現代思想の動向とのかかわりを大きなテーマとして設定する予定である。これまで自明の前提とされてきた人間像、社会像は今日大きな懐疑・批判にさらされており、法や法律学と言えども、それと無縁ではない。また逆に法律学的な問題とされてきた諸事象が、実は人間観、世界観の問題と密接に絡み合っているということもある。人文諸科学や社会科学のなかで展開されてきた様々な考え方が示唆するものに対して、法を学ぶものとしても、その問題提起を真剣に受け止めなければならない状況に至っている。こうした基本的関心から、法をめぐる議論を哲学・思想一般の領域での議論、論争史の文脈に位置づけながら考察していきたい。したがって、講義の中では、実定法の議論の参照はもちろんだが、他の人文・社会科学、とりわけ哲学、倫理学、社会学などの知見にしばしば言及することになる。狭い意味での法律学を超えた問題関心が求められる。

個別の項目としては、たとえば以下のようなものを考えているが、現段階ではあくまで予定であり、詳細は講義開講時に伝える。

- ・近代法原理への懐疑、批判と擁護
- ・リベラリズム正義論とそれに対する批判
- ・解釈的存在としての人間と法的判断の問題
- ・法実証主義と自然法論
- ・生命倫理・環境倫理的問題状況からのインパクト

また講義の進め方としては、できるだけ現象として現われている具体的な諸問題の紹介・検討から入り、その根底にある根源的な思考や原理を洗い出していく、という方式をとりたいと考えているが、ある程度は抽象度の高い議論にもチャレンジし、自分自身でそれを具体的・日常的問題と関連づけていく、という姿勢も参加者に求めることになるだろう。

#### 成績評価の方法

前期終了後のレポート、後期終了後の定期試験、この二つを主たる評価対象とする。その他たとえば授業時間内に小論を書いてもらうことなどもあるかもしれないが、その場合は平常点として一定範囲内で評価する。

#### 教科書

田中成明『法理学講義』（有斐閣）2,900円を挙げておく。ただし、講義はこのテキストの叙述にとらわれず進めていくので、あくまで講義を補完する意味で推薦するものと考えてもらいたい。また法思想史の背景的知識を前提に話さなければならないことも多いので、できれば法思想史関係の概説書も手許に置き自学自習に役立ててほしい。

#### 参考書等

その他の参考文献については、講義の進行過程でテーマに応じてそのつど紹介する。

#### その他

上で述べた通り、法哲学という学においては知識の獲得・整理が目標ではないのだから、講義ならびに概説書だけでなく、こちらから指示する参考文献を含め、様々な著作、思考、問題に自ら直接あたり、自分なりの思索を行なうつもりでのぞんでほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。その際、現在進行している地方分権推進のシナリオは参考になる。

講義の内容・  
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位、自治立法権について議論を行う。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教 科 書

南博方他『行政法(3) (第3版)』(有斐閣双書) 1,800円

参 考 書 等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)『地方自治判例百選 (第2版)』(別冊ジュリスT)。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方自治』(岩波書店) 同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	馬 越 道 夫 <small>ま こし みち お</small>	二経・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

倒産処理法とは破産法・和議法・商法上の会社整理・清算に関する規定、会社更生法など倒産に関する諸法規の総称である。倒産処理法という名称の法典が六法全書に存在するわけではない。なお、倒産とは債務者が経済的に破綻し債務の弁済が極めて困難になった状況をさす。倒産処理法には目的の異なる二種の法規が存在する。一つは債務者の財産を清算し、債権者への平等弁済を図る制度である（例・破産法）。他の一つは債務者の財産を全面的に清算することなく、取引関係を整理し企業の再建を図る制度である（例・会社更生法）。上記二種の法規について判例を挙げ具体的に講述したい。

また、今日国際的取引の拡大や多国籍企業の高発に伴い、一企業の破産もその影響は国内に止まらず破産的処理も国際的規模が要求される。かかる涉外破産の問題点についても平易に講述したい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

4月・5月 倒産処理法の概説

6月・7月・9月 破産法

10月・11月・12月・1月 会社更生法

※授業時間ごとに、その時間の講義の要旨を記載したプリント（レジュメ）を渡します。

#### 履修上の留意点

受講者は民法・民事訴訟法の基礎知識を習得していることが望ましい。

#### 成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況を参考にします。

#### 教 科 書

桜井孝一編 馬越道夫著『演習ノート破産法』（法学書院出版）1,800円

#### 参 考 書 等

石川明『破産法』（日本評論社発行）2,800円

馬越道夫編著『論点国際民事訴訟法』（不磨書房出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ経営学	みやぎ 城 徹	二経・二法・短仏	4

#### 講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必須科目である「経営学概説」や「経営学」などの授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の8つの要目について検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

#### 1999年度『アメリカ経営学』授業計画

- I 1年間の授業の概要(1)
- II 経営学の対象と方法(2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論(4)
- VI 取引コスト理論(6)
- VII プロパティ・ライツ理論(2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論(2)

#### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

#### 教科書

指定しない。

#### 参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1983、1997
  - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
  - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
  - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1989、1998
  - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 財 務 論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	二 法 ・ 短 仏	4

#### 講義のねらい

#### 〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

#### 〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつて意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項について次の順番で講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 流動・固定分類法の重要性
6. 資金

#### 履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

#### 教 科 書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

#### 参 考 書 等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	その だ て つ お 園 田 哲 男	二 法 ・ 短 仏	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別される意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討（規制と競争）を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価においては、単元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行うつもりである。

教科書・  
参考書等

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行うつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管 理 会 計 論	さる 猿 やま 山 よし 義 ひろ 広	二法・短仏	4

#### 講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思考と計算体系を学びます。なお、講義における重点項目は、次の3つです。

- ① 近年の日商簿記検定における「工業簿記」「原価計算」の出題傾向として、管理会計的な問題が増加しつつあり、この傾向は今後も続くと思われるので、その対策。
- ② 従来の管理会計論ではあまり深く検討されてこなかったマーケティング管理会計やゼロベース予算についての解説。
- ③ 最近の管理会計手法の解説。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I 管理会計の体系
- II 管理会計における原価概念と利益概念
  1. 原価態様
  2. 全部原価計算と直接原価計算
  3. 分権管理のための原価概念と利益概念
- III 利益計画
  1. 利益計画の手続
  2. 損益分岐点分析と CVP 分析
  3. 短期利益計画のための価格分析
  4. 短期利益計画のための営業費分析
- IV 原価管理
  1. 標準原価計算
  2. 製造間接費管理
  3. 営業費管理
- V ブランド管理会計
  1. ブランド資産の意義
  2. ブランド資産の測定法
  3. 企業経営とブランド資産
- VI 予算管理
  1. 予算管理の基礎
  2. 参加型予算とゼロベース予算
  3. 資本予算

#### 履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので、かならず電卓を持参すること。

#### 成績評価の方法

以下のような課題による夏休み中のレポートと期末試験によって評価します。

- ① レポートの課題  
「短期利益計画の枠組みを用いて、価格プロモーションと広告プロモーションそれぞれの限界を指摘しなさい。」
- ② 期末試験  
問題1 「変動予算による製造間接費の差異分析」「EOQ 分析」(計算問題)  
問題2 「ブランド資産について」「参加型予算について」(論述問題)

#### 教科書

適宜、プリントを配布します。

#### 参考書等

より体系的に勉強したいという人のためには、  
櫻井通晴著『管理会計』(同文館)。  
計算問題については、  
日商簿記検定の「工業簿記」「原価計算」のテキスト。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	なか ひら えい いち 中 平 榮 一	二法・短仏	4

講義のねらい

独立監査人による財務諸表監査の基礎知識について解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

会計監査論では、つぎの題目の順で体系的に講義をすすめる。

- (1) 会計監査論の対象と方法
- (2) 会計監査の意義
- (3) 監査の種類
- (4) 監査の基準
- (5) 監査の主体
- (6) 監査証拠と監査技術
- (7) 監査計画と監査手続
- (8) 監査調書
- (9) 監査報告
- (10) 内部監査及び監査役監査
- (11) 国際監査

上記を通じて財務諸表監査の基礎知識を十分に講述したい。

履修上の留意点

継続して受講することが要請される。

成績評価の方法

定期試験のほか、小ペーパー・テストも評価の対象にする。

教科書

開講時にくわしく紹介する。

参考書等

開講時にくわしく紹介する。

その他

授業の方法 講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	す やま ちよう じ 須 山 長 治	二経・二営	4

講義のねらい

『景德伝灯録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。なぜ感動的なのか。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際は言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を語録を通して考察していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は“宗門第一の書”と言われる『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅では時代とともにどういう問題意識が展開していったのか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とは何かを考えていきたい。

履修上の留意点

試験は論文形式。

成績評価の方法

プリントを配布する。

教科書

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪 頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	つの 角 だ 田 たい 泰 りゅう 隆	二経・二営	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史-日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	いけ 池 だ 田 みち 道 ひろ 浩	二経・二営	4

講義のねらい

インド仏教の思想的展開を理解する。インドにおいて既に仏教に対して異なった見解が多数存在し、論争が行われていた。その思想的相違を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史	はかま 袴 谷 のり あき 憲 昭	二 経 ・ 二 営	4

講義のねらい

この授業は、日本において、インド伝来で中央アジアや中国や朝鮮を經由して将来された外来思想としての仏教が、いかに展開し定着したかを、通史的に述べていく一方で、仏教と一括されるものの中に生じた全く異質な相対立する二つの流れの相違を明確に押えていこうとするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、以上の目的を実現するために、通史的な講義と諸文献の講読を並行して進めていくことになるが、できれば、後者により大きなウエイトを置きたいと思っている。

履修上の留意点

参加人数の大小に大きく左右される面があるので、確定的なことは言えないが、できれば、演習形式の講読の割合を多くしたいと考えている。参加者はその点を念頭に意欲をもって授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

上述の状況いかんによる。

教 科 書

講義は、末木文美士『日本仏教史－思想史としてのアプローチ－』（新潮文庫）560円をテキストとし、講読は、適宜指示する文献のコピーによる。

参 考 書 等

袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

そ の 他

授業方法は、上述したごとくであるが、講読文献のコピーは再発行しないので、できるだけ継続して参加してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道	の 野 むら おき ひろ 村 宙 弘	二 経 ・ 二 営	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。  
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたん書道史の説明を行う)

教 科 書

王羲之『蘭亭序』（清雅堂）360円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 文 化	おくの野みつよし 賢	二経・二営	4

講義のねらい

本授業は仏教を教理の上からのみとらえるのではなく、文化史的側面から考察することによって仏教が実際に果たした役割を考えることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は仏教が中国に受容・定着するにあたっていかなる変容をとげたのかを、主として「孝」思想に的を絞って考えてみたい。前期は概説を中心とした講義形式で授業を進め、後期には『仏説孟蘭盆経』や『父母恩重経』といった経典を読みながら前期の問題を考えていきたいと思っている。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行わないのであらかじめ注意されたい。プリントを準備する関係上、受講希望者は開講初日にかならず出席すること。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末の試験によって厳正に評価する。安易な気持ちでの受講は避けられたい。

教 科 書

特に指定せず、プリントを配布して授業を進める。

参 考 書 等

適宜、授業において紹介する。

# IV 教職課程科目





## IV 教 職 課 程 科 目

### 〈教職に関する専門科目〉(必修)

教 育 原 理 (伊 藤 茂 樹) .....	353
教 育 心 理 学〔教育方法論を含む〕(遠 藤 司) .....	353
青 年 心 理 学〔教育方法論を含む〕(遠 藤 司) .....	354
道 徳 教 育 の 研 究 (坂 本 信 昭) .....	354
特 別 活 動 (坂 本 信 昭) .....	355
生 活 指 導 (国 眼 眞 理 子) .....	355
教 育 実 習 (伊 藤 茂 樹) .....	356
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法 (谷 敷 正 光) .....	357
商 業 科 教 育 法 (谷 敷 正 光) .....	358
職 業 科 教 育 法 (前 田 幸 一) .....	359

### 〈教科に関する専門科目〉(必修)

#### — 社 会 —

日 本 史 概 説 (北 條 文 彦) .....	359
世 界 史 概 説 (松 本 弘) .....	360
地 誌 学 概 説 (川 元 豊 和) .....	361
地 誌 学 概 説 (渡 邊 盾 夫) .....	362
人 文 地 理 学 概 説 (渡 邊 盾 夫) .....	362
宗 教 学 概 説 (山 岡 隆 晃) .....	363
宗 教 学 概 説 (須 藤 寛 人) .....	363
哲 学 概 説 (寺 田 誠 一) .....	364
政 治 学 原 論 (大 塚 桂) .....	365

#### — 職 業 —

産 業 概 説 (前 田 幸 一) .....	366
商 業 実 習 (山 田 勇 治) .....	366

#### — 商 業 —

職 業 指 導 (山 田 勇 治) .....	367
-------------------------	-----



## 《教職に関する専門科目（必修）》

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育原理	伊藤茂樹	教職 2 必 (二経・二法・二営)	4

### 講義のねらい

教員免許の取得をめざす受講者に、教育を考え、行うにあたって基本的なものとらえ方を身につけてもらうことを目的とする。

教育について、経験だけに基ついて考えても理解できないこと、解決できない問題は必ずある(例えばいじめ)。教育の歴史や成り立ち(構造)や仕組み(メカニズム)について、様々な側面から知ることが不可欠であり、そのために教育学はある。しかし、知るということは受動性という限界がある。知識をもとに自分なりに現象や状況について考えることが、変化し続ける教育に携わっていくうえで不可欠である。知識と経験をつなぐものとして、状況を理解し、判断するための「目」が重要なのである。

この「目」を養うための鍵は、教育と社会とのつながりに着目することにある。これには、社会と教育を対比させ、社会が教育に及ぼす影響、教育が社会に及ぼす影響を考える方向と、教育の世界や学校、学級、子どもの集団それじたいを社会としてとらえる方向があり、これらを通じて、未知の問題に対しても的確に自分なりの視野の広い理解ができるようになることをめざす。

### 講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
 ・近代社会と教育 ・現代の教育問題 ・「学歴社会」とは ・現代の子ども、青少年  
 ・学校という場 ・教育改革の現在 ・教育学という学問

### 履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えてみることを心がけること。

### 成績評価の方法

中間試験、学年末試験により評価する。

### 教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理学 (教育方法論を含む)	えん どう つかさ 遠藤 司	教職 2 必 (二経・二法・二営)	4

### 講義のねらい

現在の教育に関する諸問題を考えるとき、心理学の様々な知見が影響力を持ち得ていることに気づかざるをえない。その様子を概観し、将来、教職に就こうとしている人間として、教育心理学的なもの見方とはどのようなものであるのか考えることを通して、自分なりの見方を確立することをテーマとする。

### 講義の内容・授業スケジュール

教育心理学の中での主要なテーマを概観することが講義の主となる。中でも、「自己」の問題をテーマとして取り上げ、教育心理学の中で、「自己の成り立ち」、「自己と他者」等の問題がどのように考えられてきたか見ながら、具体的な現象から考えていくこととしたい。また、「学習」の問題にも注目し、教育心理学の中で「学ぶ」ことをどのように考えてきたか、それに伴って「教える」ことをどのように考えてきたかを見直し、「評価」の問題、「教師・生徒関係のあり方」等の問題にも触れながら、現在の学校において「学ぶ」ということを改めて問いなおしていきたい。

### 履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

### 成績評価の方法

年度末試験を予定している。

### 参考書等

参考書等については授業中に随時紹介する。特定の教科書は用いない。

### その他

講義が中心になることは否めないが、ビデオ等を用い、できるだけ実際の場面などを見ながら、実践に即して様々な問題について考える機会を作りたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青 年 心 理 学 (教育方法論を含む)	えん どう 遠 藤 つかさ 司	教 職 2 必 (二経・二法・二営)	4

講義のねらい

人間の生涯の中で「青年期」という時期が設定されていることについて、われわれはどのように考えればよいのであろうか。今まさに青年期を生きている人間として、また、将来教職に就くことによって青年期を生きる生徒たちとの関係を作らなければならない人間として、「青年期」における様々な問題を自分の問題としてとらえ考えていくことが本講義の主題である。

講義の内容・  
授業スケジュール

「青年期」においてなすべき課題について考える。中でも「自己」の問題に焦点を当て、「自己」をいかにして確立するか、そのために必要なものは何か、あるいは、「自己」を確立しえないために不適応に陥った人たちに対してどのように接するか等の問題を考えていき、最終的には「学校、あるいは社会で生きる」ことと、「自己を確立する」ことの関係についても考えていきたい。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

年度末試験を予定している。

参 考 書 等

参考書等については授業中に随時紹介する。特定の教科書は用いない。

そ の 他

青年期における様々な問題についての様々な問いに実際に自分なりに考えて答えるという機会をできるだけ作りたい。それらのことを通して自らの素朴な考え方を顕わにし、対象化し、とらえ直すことを目的とした。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 (前 期)	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教 職 2 ・ 3 必 (二経・二法・二営)	2

講義のねらい

道徳教育の問題は、古くて新しい問題である。「徳は教えるか」とは、ソクラテスのとり組んだ難問であったが、これは今日でもやはり難問である。これからの道徳はいかなるものであり、どんな方法で教えるべきかということは、いぜんとして新しい課題である。

本講義では、明治「学制」以降、今日にいたる道徳教育の史的変遷にそって検討し、殊に学校における道徳教育の成立過程と事情について探究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義を中心とするが、道徳の時間における指導案(中学校)についても、具体的な検討をする。

履修上の留意点

出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

主として定期試験をもとに評価します。

教 科 書

教師養成研究会編『道徳教育の研究』(学芸図書) 950円

そ の 他

必要な資料を適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 ( 後 期 )	さか ちのぶ あき 坂 本 信 昭	教 職 2 ・ 3 必 (二経・二法・二営)	2

講義のねらい

教育職員免許法施行規則の改正（1989年3月）によって、教職に関する専門教育科目として新設されたものであり、このことをふまえて、学校教育における教育課程の一領域としての特別活動の教育的意義や目標、内容及び方法等について講義するとともに、特別活動を指導する際に必要とされる知識や技能について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるトピックスは、①特別活動とは何か。②特別活動の心理学的基礎。③特別活動における指導原理。④学級活動・ホームルーム活動・児童・生徒会活動・クラブ活動・学校行事等の内容と指導。⑤特別活動における評価。⑥特別活動における展望と課題。

履修上の留意点

授業開始の当初に各自の出席カードを作成し、それによる出欠を厳密にとる。

成績評価の方法

期末試験による評価を主とする。

教科書

教師養成研究会編『特別活動の理論と方法』（学芸図書）1,000円

参考書等

授業で適宜紹介する。

その他

必要な資料を適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 活 指 導 ( 前 期 )	こく がん まりこ 国 眼 眞 理 子	教 職 2 ・ 3 必 (二経・二法・二営)	2

講義のねらい

生徒理解や、生徒の心の発達を促すうえで役立つ基礎的な視点を育むこと。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識をもとに、「青年期」理解を深めるとともに、教師と生徒間のコミュニケーションのあり方を考える。

1. 「青年期」と、その心理的な課題（アイデンティティ形成）
2. 自己のアイデンティティを探る
3. 自己の発達と対人関係（親子関係、友人関係、その他）
4. 進路選択とアイデンティティ形成
5. サポーターとしての教師の役割（「共感的理解」とは何か）
6. コミュニケーション（非言語的なコミュニケーション、アサーションなど）

成績評価の方法

指定図書5冊の本の中から、1冊を選び、課題に添ってレポートを提出。中間時に小テストを実施。終了時にレポートもしくは試験を実施（受講者数による）。

教科書

河合隼雄『大人になることのむずかしさ』子どもと教育を考える2（岩波書店）1983

参考書等

- ① 河合隼雄『カウンセリングを考える（上）』（創元社）1995
- ② 菅佐和子『思春期女性の心理療法』（創元社）1988
- ③ 清水将之『思春期のこころ』（日本放送出版会）1996

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 実 習	伊 藤 茂 樹 <small>いとう しげき</small>	教 職 4 必 (二経・二法・二営)	3

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・  
授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容についての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献講読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

授業の中で適宜指示・紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科・公民科教育法	や 谷 し 敷 た だ み つ 正 光	教 職 3 必 (二経・二法・二営)	4

#### 講義のねらい

社会科は民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと言っても過言ではない教科である。この社会科教育も戦後の政治・経済の発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。学習指導要領は1989年に第6回目の改訂が行われた。第6次の改訂は単なる教科内容の改訂にとどまらずに小学校低学年の社会科と理科を廃止し、新たに生活科を設け、高等学校の社会科を再編し、新たに地理歴史科と公民科を設けたことの意味を考えなければならない。

この授業のねらいは、しっかりとした社会科教育を樹立するため、単なる授業方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」「社会科教育とは何か」といったところまでさかのぼって検討してみることにある。その上で、社会科教育の歴史、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 日本教育の現状
2. 教育の基本概念
3. 社会科の成立
4. 社会科学習指導要領の変遷
5. 中学校の教育課程と社会科
6. 高等学校の教育課程と公民科
7. 社会科の学習指導計画
8. 社会科学習指導案の意義と作成
9. 社会科教師による授業研究（ビデオ）
10. 4年生による模範授業
11. 模範授業を通じての社会科の学習指導、授業実践の研究
12. 中学校社会科の目標・内容・取り扱いと平成10年12月告示の中学校学習指導要領
13. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱いと平成11年3月告示の高等学校学習指導要領
14. 教育評価
15. 社会科教育実習の意義
16. 社会科教師論
17. 社会科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

#### 成績評価の方法

授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践など総合的に評価する。

#### 教科書

大森・谷敷共著『社会科教育研究』（粹出版）

#### 参考書等

社会科・公民科の『教科書』、『中学校・高等学校学習指導要領』



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 科 教 育 法	や 谷 <sup>しき</sup> 敷 <sup>ただ</sup> 正 <sup>みづ</sup> 光	教 職 3 必 (二経・二営)	4

#### 講義のねらい

「産業教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなうめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「職業科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従って、この講義のねらいは、「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来の意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 日本経済の発展と産業教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 職業教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 商業科学習指導案の作成
9. 商業科教師による授業研究(ビデオ)
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科の学習指導、授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 商業科教育実習の意義
15. 商業科教師論
16. 商業科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

#### 成績評価の方法

授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践など総合的に評価する。

#### 教科書

岡田修二他『新商業教育論』(多賀出版)

#### 参考書等

高等学校商業科の『教科書』、『高等学校学習指導要領』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業科教育法	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教 職 3 必 ( 二 経 )	4

#### 講義のねらい

- 基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。
- ① 「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。
  - ② 『中学校学習指導要領』の技術・家庭について、その新旧の違い、変化などを比較検討していく。
  - ③ 職業教育について考えていく。
- ①、②は前期授業、③は後期授業で行う予定です。

#### 履修上の留意点

自分や周りの人の家庭や職業について改めて考えてきてほしい。

#### 成績評価の方法

筆記試験はせず、平常点かレポートで成績評価をします。

#### 教科書

『中学校学習指導要領』（文部省平成元年3月）。他については授業の際に指示します。

#### 参考書等

中学校で使用していた『技術・家庭』の教科書など。

#### その他

授業を受ける人は少人数なので、ゼミ形式で授業を進めていきます。

## 《教科に関する専門科目（必修）》

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説	ほう じょう かつみ ひこ 北 條 文 彦	教職2・3教科 (二経・二法・二営)	4

#### 講義のねらい

将来、中等・高等学校教員を志す者にとって必要な基礎的教養ともいべき日本史の、上古より現代に至る各時代の政治・経済・宗教・文化等について概説する。

#### 成績評価の方法

筆記試験は実施しない。後期にレポートを提出してもらい、評価する。

#### 教科書

宝月圭吾・児玉幸多編『新稿日本史概論』（吉川弘文館）1,597円

#### 参考書等

児玉幸多編『標準日本史年表』（B5判）（吉川弘文館）600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	まつ 松 もと 本 ひろし 弘	教職 2・3 教科 (二経・二法・二営)	4

#### 講義のねらい

本年度の世界史概説の東洋史は、中東の歴史を扱う。近い将来、学生諸君が教職について世界史を担当する際、最も困難を憶える部分は、おそらく中東やイスラムに関わるものであろう。近年、教科書における中東やイスラムに関わる記述は増えており、また中東和平問題やイスラム原理主義などの報道も大きく扱われている。にもかかわらず、中東は未だ「遠いところ」であり、その理解のための情報提供や教育は、ますます困難さを増しているように思われる。それゆえ本講義では、イスラム成立以後の中東の歴史を詳解し、学生諸君が教職につくという前提の下、中学校及び高校において中東やイスラムに関する授業を行うために、最低限必要な情報と解説を示すことを講義の目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

「中東 (Middle East、地理用語では西アジア及び北アフリカ)」という言葉の意味から始めて、中東における民族や宗教を概観し、アイデンティティの問題を論じることによって、その社会の特質を明らかにする。加えて、ユダヤ教、キリスト教、イスラムという中東で成立した一神教の流れから、イスラムの占める位置も確認する。

次いで、預言者ムハンマドから正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝のイスラム史を概観し、その政治史や政治体制を解説するとともに、イスラム神学・法学やイスラム神秘主義といった思想史も扱いたい。

その後は、オスマン帝国の概説から中東の近代史に入り、ヨーロッパ列強の進出とそれに対する抵抗の過程を通して、「中東の近代」に関わる特質を論じる。そして、アラブ民族主義や中東和平問題から現代に入り、イスラム原理主義や湾岸戦争後の情勢などを解説して、中東における歴史と現状の関わり合いについて、筆者なりの評価を示してみたい。

#### 成績評価の方法

前後期 2 回の試験によって、成績を評価する。

#### 教 科 書

特に用いない。

#### 参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	かわ 川 元 豊 和	教職2・3教科 (二経・二法・二営)	4

講義のねらい	主にアジアを対象として、「地域の変貌」について講義する。
講義の内容・ 授業スケジュール	前半では、まず、地誌学の基本的な考え方について説明し、次に、さまざまな人文地理学的事象から世界のなかにおけるアジアの特殊性や他地域とアジアの共通性などについて考えてゆきたい。後半では、南アジアのインド及びバングラデシュ、東南アジアのマレーシアを事例として、社会経済構造の変化や村落と都市の変貌などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。
履修上の留意点	高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。
成績評価の方法	出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。
教 科 書	特に定めず、プリントを配布する。
参 考 書 等	矢野暢編『講座現代の地域研究1 地域研究の手法』(弘文堂) 1993 4,800円 藤岡謙二郎ほか『世界地誌第二改定増補版』(大明堂) 1989 2,060円 B. L. C. ジョンソン著、山中一郎ほか訳『南アジアの国土と経済第2巻バングラデシュ』(二宮書店) 1986 3,605円 白田雅之ほか編『もっと知りたいバングラデシュ』(弘文堂) 1993 2,800円 水島司編『アジア読本マレーシア』(河出書房新社) 1993 2,000円
そ の 他	講義中心の授業であるが、年に2～3回はスライドの使用を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学概説	わた なべ たて お 夫 渡 邊 盾 夫	教職2・3教科 (二経・二法・二営)	4

講義のねらい

この講義では、学生諸君が教職につく時の基本事項、または就職試験の時の一般教養（人文科学系）問題が解けることを目標として、進めます。

次に地理学の一つの見方である地誌を、「ある場所」を具体的にとり上げ、その場所にはさまざまな自然環境（気候、地形など）や社会環境（サービス業、農業など）があり、この中にさまざまな人間活動が営まれている。これらを総合的に分析をし、その現象を明らかにしていく方法を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは、前期にある場所の自然環境を理解するために気候、地形そして地形図の基礎的なことを学習する。後期には、各国を地誌的な見方で説明する。

履修上の留意点

基本的には、学生諸君が日本や世界各国の様子を「何んでそこにその様な現象があるのか」という疑問で接してほしい。地誌学または地理は暗記の科目ではない。

また講義を聞く時には、高校時代に使った地図帳を必ず持参して下さい。その方が理解が早くなります。

成績評価の方法

年度末に定期試験があり、これに出席の様子を加えています。答えは自分が他の人に説明をし、理解してもらえる様に書いて下さい。その方が勉強になります。

教科書

教科書等については、特に指定しません。講義の進行に合わせて、プリントを配布します。このプリントの中に各自で必要事項を加えて下さい（試験の時に参考になります）。

参考書等

講義の時、それぞれの分野での参考図書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概説	わた なべ たて お 夫 渡 邊 盾 夫	教職2・3教科 (二経・二法・二営)	4

講義のねらい

ある場所の自然環境の上には、さまざまな人間活動が行われています。この人間活動を産業の点から講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

前期に人文地理学の研究方法を説明し、後期には、具体的な人間活動（産業）についてプリントを配布しながら説明します。

履修上の留意点

高校時代に使用した地図帳を持参して下さい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験と出席とを総合して評価します。

教科書

教科書については、特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。プリントの中に各自で必要事項を加えて下さい（試験の時に参考になります）。

参考書等

講義の時、それぞれの分野での参考図書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学概説	やま おか たか あき 山 岡 隆 晃	教職2・3教科 (二経・二法・二堂)	4

#### 講義のねらい

世界には様々な宗教が存在し、時代と社会を異にする多くの人々によって支えられているが、いったい、人間にとって宗教はいかなる意味や役割を持つのであろうか。宗教の構造やその構成要素はいかなるものであろうか。

この講義では宗教について提示された心理学的、社会学的、人類学的な諸学説を紹介しながら、「宗教の原初形態」「科学・呪術・宗教」「宗教の諸類型」「宗教の構成要素」「宗教の機能」など、宗教学の基本的テーマについて概観することとする。

なお、本講座が教職科目の中に設置されていることに留意し、宗教と教育の関係についても、様々な角度から問題にすることにしたい。今日、教育の荒廃がさげばれ、心の教育の必要性が強く求められているが、この時、宗教と教育に関する問題を避けて通ることはできないであろう。なぜなら、宗教こそは心の教育そのものを目ざしてきたのであるからである。

授業は原則として講義形式をとるが、学生諸君にも随時問題提起をしてもらい、それをもとにディスカッションを交えるなど、できる限りともに考える授業にしたい。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート等にもとづき、総合的に評価する。

#### 教科書

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）940円

#### 参考書等

授業の中で必要に応じて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学概説	す とう ひろ と 須 藤 寛 人	教職2・3教科 (二経・二法・二堂)	4

#### 講義のねらい

宗教学的視座を養うことが本講義の目的です。多くの日本人にとって、宗教は、必ずしも明確な形をもったものではありません。しかし、人間や文化を理解することの、すべてではないにしても一部は、宗教を理解することであると考えられます。明確な形を持たない日本人にとっての宗教を理解するための方法を考察したいと思います。日本人にとっての宗教を理解することは、日本人とは何かという問題に深く関わっていますし、ひいては自分は何かを考えるための足がかりとなるはずで、また日頃目にする出来事でも、そこに何らかの宗教的意味が見いだされることが多々あります。このような視座の転換が生み出す新鮮さを、宗教的視座を身につけることによって、得られるのではないかと考えています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 宗教と何か？日本人の宗教とは何か？宗教学の成立について。聖と俗。
- 儀礼。呪術。シャーマニズム。
- 日本人の他界観。生と死。

以上の三点を以て本講義の基軸とし、主要な概念や理論の解説と共に、それらの概念や理論と具体的事例との関係を考慮に入れながら考察を行っていきたいと思います。

#### 履修上の留意点

遅刻・欠席はできるだけなくしてください。私語は慎んでください。

#### 成績評価の方法

試験・レポート等で総合的に評価します。

#### 教科書

教科書は用いませんが、講義の内容に沿って資料を配付します。

#### 参考書等

適宜紹介したいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 概 説	てら だ せい いら 寺 田 誠 一	教職 2・3 教科 (二経・二法・二営)	4

講義のねらい

西洋哲学史の簡単な説明の後、何人かの哲学者を選んで、その考え方を紹介する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は近現代哲学についてデカルトを中心に重要と思われる幾つかの論点を解説し、後期は古代ギリシア哲学を歴史の流れに沿って概説する。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	教職2・3教科 (二経・二営)	4

#### 講義のねらい

- 自己紹介  
私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず、ひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。
- 講義の目的  
私の研究室は、第二研究館八階(2835)にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 講義の目的  
政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、実際の政治の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を習得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目の研究に必要な基本的な知識を提供することです。
- 講義のすすめかた  
現代政治学のおおよそのアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。
- 講義内容  
おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。  
A 政治学の課題と対象、および方法  
B 政治の原理的究明
  - ① 政治的なるもの  
～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従
  - ② 共同体的なるもの  
～国家、社会、主権、法
  - ③ イデオロギー的なるもの  
～イデオロギー、正義、自由、平等、人権(レティズンシップ)
- C 国家の実体論的究明
  - ① 制度論的究明  
～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制
  - ② 機能論的究明  
～政党、圧力団体

#### 成績評価の方法

- 本年度もまた、受講者との相談のうえA・B両方式のうちのいずれかに決定します。
- A方式(レポートによる単位認定)  
複数回(前期・後期)のレポートを提出してもらい成績を評価します。課題報告(レポート)の作成をとおして、文献の読解力と書く能力を涵養します。
- B方式(試験による単位認定)  
中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。
- ※A方式の場合には、追・再試験は実施しません。B方式は、実施します。

#### 教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂)3,000円  
大塚桂『政治哲学入門』(法律文化社)2,900円

#### 参 考 書 等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 概 説	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職2・3教科 (二 経)	4

講義のねらい

授業は85（昭和60）年以降の日本の産業界の動向を業種別に流れをつかんでいく。

講義の内容・  
授業スケジュール

(総論) バブル経済と平成不況  
(各論) 非鉄金属、建設、食品、紙・パルプ、化学、繊維、石油、エネルギー、鉄鋼、産業機械、造船、重電、家電、コンピューター、半導体、自動車、商社、流通、銀行、生損保、証券、住宅、不動産、運輸、サービス、レジャー、外食産業、通信、ノンバンク、なお、受講者の要望を聞きながらですが、今年度は工場見学などを授業に組んで、実施したいと考えています。

履修上の留意点

できるならば、日経新聞などの経済・産業欄に目を通して授業に望んで欲しい。

成績評価の方法

当授業は多分に受講者が少ないと思いますので、ペーパーテスト等はしません。平常点で決めます。

教 科 書

高村寿一・小山博之編『日本産業史4』（日本経済新聞社）1,500円

参 考 書 等

授業の際に提示します。

そ の 他

授業での受講者は恐らく少人数であろう。そこで授業の初段階では私が講義をしていきますが、その後はゼミ形式で、皆で議論しながら授業をすすめていきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 実 習	やま だ ゆう し じ 山 田 勇 治	教職2・3教科 (二 経)	4

講義の内容・  
授業スケジュール

商業教育の内容は大きく商業活動に関する理論的な内容と実践的な内容とに分けることができる。商業教育においては、この両面の有機的な総合をはかる必要がある。  
商業実習では、とくに後者に重点をおいて講義を行なうものである。とくに高校の商業科の教員希望者に対しては、商業科の教員採用試験に合格できるように、受験準備教育に重点をおいて指導を行なうものである。

教 科 書

『99高校商業の頻出問題』（時事通信社）1,400円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 指 導	やま だ 勇 治 山 田 勇 治	教職2・3教科 (二経・二営)	4

講義のねらい

職業指導（進路指導）は教職科目であるから、将来教員として役立つような講義内容にするように心掛け、なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、職業指導の基礎的概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心にした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心にして講義していきたいと考えています。

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点を考えていくような授業をするつもりです。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明したいと考えています。

履修上の留意点

受講する学生は、積極的に問題意識をもって教育問題を考えるようにしてほしい。

成績評価の方法

授業中における課題などの提出や出席状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価します。

教 科 書

開講時に指示。

参 考 書 等

有本章・近藤大牛編『現代の職業と教育』（福村出版）2,000円  
 寺田晃・佐藤怜監修『進路指導』（中央法規出版）2,500円  
 仙崎武・野々村新・渡辺三枝子編著『進路指導論』（福村出版）2,300円